

神戸大学
データ資料集
2019

— データと資料が語る

神戸大学の今の姿 —



Contents

目次

概要

1. 概要・ランキング … 1

教育

2. 学生数 … 4
 3. 学部一般選抜志願状況 … 6
 4. 入学状況 -学部- … 9
 5. 入学状況 -大学院- … 11
 6. 学位授与状況 -授与率- … 13
 7. 進路・就職状況 … 15
 8. 資格試験合格状況 … 24
 9. 学生生活状況 … 26

研究

10. 国際的な研究論文 … 28
 11. 科学研究費 … 34
 12. 日本学術振興会特別研究員 … 39
 13. 研究プログラムの採択状況 … 40
 14. 研究業績に関する主な受賞者等一覧 … 43

産学官連携

15. 産学官連携状況 … 44
 16. 国内の大学等との連携協定 … 48
 17. 連携大学院等実施状況 … 49
 18. 教育関係共同利用拠点 … 51

国際

19. 留学 … 53
 20. 海外大学との交流状況 … 57
 21. 研究者等交流状況 … 60
 22. 国際化の状況 … 61

附属病院

23. 附属病院 … 63

附属学校

24. 附属学校 … 66

社会貢献

25. 公開講座等 … 67
 26. 学外機関への参画状況 … 68

教職員

27. 教員 … 69
 28. 職員 … 72

財務

29. 財務 … 73

附属図書館・その他一般開放施設

30. 附属図書館・その他一般開放施設 … 80

表紙写真：百年記念館（神大会館）
 表紙裏写真：出光記念六甲台講堂

1. 概要・ランキング

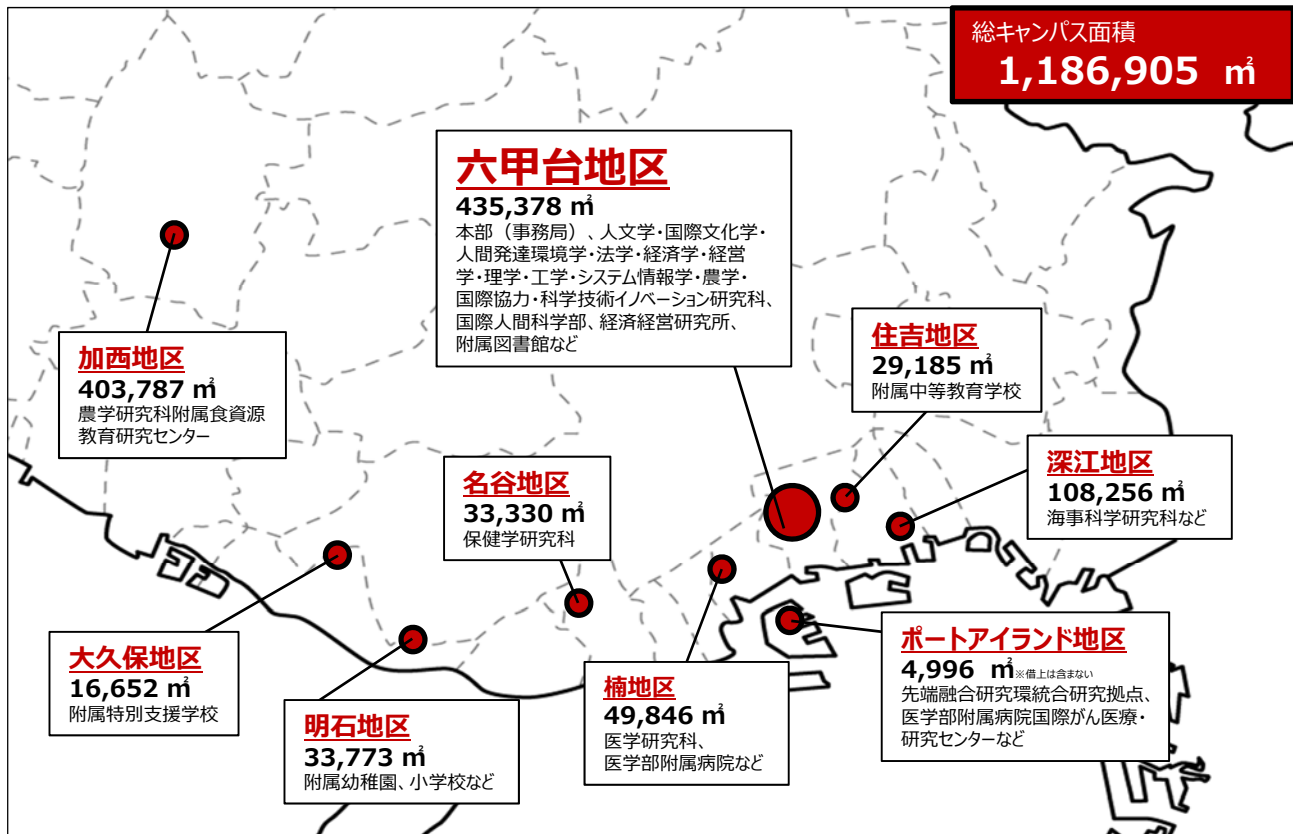
1-1 神戸大学の概要

2019年5月1日現在

区 分		入学定員 (※1)	入学者数	総定員	在籍者数 (女子内数)		
学生等数	学部	2,670	2,729	10,656	11,577	(4,245)	
	大学院	修士課程・博士課程前期課程	1,258	1,214	2,512	2,710	(951)
		博士課程・博士課程後期課程	395	320	1,263	1,632	(534)
		専門職学位課程	149	140	378	307	(87)
	合計	4,472	4,403	14,809	16,226	(5,817)	
	外国人留学生数	学部生 (内数)		大学院生 (内数)	研究生等	計	
			119	918	362	1,399	(743)
附属学校	学級数		在籍者数 (※2)				
	47		1363 [60]				
区 分		教員数 (※4)	附属学校教諭	その他職員数	計		
教職員数 (※3)		1,550	111	2,035	3,696		
	女性教職員数	257	52	1,350	1,659		
	女性比率	16.6%	46.8%	66.3%	44.9%		
予算規模		2019年度 約748億円 (うち運営費交付金等 約210億円)					

※1：入学定員は編入学定員を含む。 ※2：在籍者数の[]は、帰国子女数を内数で示す。
 ※3：教職員数は休職者を除く現員数。 ※4：教員数は役員及び特別顧問を含む。

1-2 主要キャンパス



学外オフィス等 [国内] 神戸大学東京オフィス、神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ (大阪)
 [海外] 神戸大学中国事務所 (北京)、神戸大学ブリュッセルオフィス

1-3 神戸大学の位置

◆近隣国立大学との比較◆

大学名	神戸大学	京都大学	大阪大学	岡山大学	広島大学
学部	<ul style="list-style-type: none"> 文学部 国際人間科学部 (※) 法学部 経済学部 経営学部 理学部 医学部 工学部 農学部 海事科学部 	<ul style="list-style-type: none"> 総合人間学部 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 薬学部 工学部 農学部 	<ul style="list-style-type: none"> 文学部 人間科学部 外国語学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 歯学部 薬学部 工学部 基礎工学部 	<ul style="list-style-type: none"> 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 歯学部 薬学部 工学部 環境理工学部 農学部 	<ul style="list-style-type: none"> 総合科学部 文学部 教育学部 法学部 経済学部 理学部 医学部 歯学部 薬学部 工学部 環境理工学部 生物生産学部 情報科学部
大学院	<ul style="list-style-type: none"> 人文学研究科 国際文化学研究科 人間発達環境学研究科 法学研究科 (法科大学院) 経済学研究科 理学研究科 医学研究科 経営学研究科 (経営専門職大学院) 理学研究科 医学研究科 保健学研究科 工学研究科 システム情報学研究科 農学研究科 海事科学研究科 国際協力研究科 科学技術イノベーション研究科 	<ul style="list-style-type: none"> 文学研究科 教育学研究科 法学研究科 (法科大学院) 経済学研究科 理学研究科 医学研究科 薬学研究科 工学研究科 農学研究科 人間・環境学研究科 エネルギー科学研究科 アジア・アフリカ地域研究研究科 情報学研究科 生命科学研究科 総合生存学館 地球環境学舎 公共政策教育部 経営管理教育部 	<ul style="list-style-type: none"> 文学研究科 人間科学研究科 言語文化研究科 法学研究科 経済学研究科 理学研究科 医学系研究科 歯学研究科 薬学研究科 工学研究科 基礎工学研究科 国際公共政策研究科 情報科学研究科 生命機能研究科 高等司法研究科 (法科大学院) (大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学) 連合小児発達学研究科 	<ul style="list-style-type: none"> 教育学研究科 (教職大学院) 社会文化科学研究科 自然科学研究科 保健学研究科 環境生命科学研究科 医歯薬学総合研究科 ヘルスシステム統合科学研究科 法務研究科 (法科大学院) 	<ul style="list-style-type: none"> 総合科学研究科 文学研究科 教育学研究科 (教職大学院) 社会科学研究科 理学研究科 先端物質科学研究科 医系科学研究科 工学研究科 統合生命科学研究科 国際協力研究科 法務研究科 (法科大学院)
附属学校	<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園 附属小学校 附属中等教育学校 附属特別支援学校 			<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校 附属特別支援学校 	<ul style="list-style-type: none"> 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校 附属高等学校 附属特別支援学校

※2017年4月より、国際文化学部と発達科学部を再編統合し、新たに「国際人間科学部」を設置した。

出典：各大学ホームページ

◆大規模13大学間の比較◆

学部

大学名	入学定員	学部数
大阪大学	3,255	11
東京大学	3,063	10
京都大学	2,823	10
九州大学	2,555	12
神戸大学	2,530	10
北海道大学	2,485	12
東北大学	2,396	10
広島大学	2,338	12
千葉大学	2,317	10
新潟大学	2,242	10
岡山大学	2,195	11
名古屋大学	2,107	9
筑波大学	2,102	9

(2019)

大学院

大学名	入学定員	入学定員 (M)	入学定員 (D)	入学定員 (P)	大学院数
東京大学	4,925	2,843	1,697	385	15
京都大学	3,732	2,287	1,111	334	18
大阪大学	3,032	2,025	927	80	16
九州大学	2,668	1,748	780	140	18
東北大学	2,667	1,773	774	120	15
名古屋大学	2,413	1,634	729	50	13
筑波大学	2,396	1,651	679	66	8
北海道大学	2,367	1,608	659	100	21
東京工業大学	2,151	1,544	567	40	6
神戸大学	1,802	1,258	395	149	15
広島大学	1,561	1,028	493	40	11
千葉大学	1,283	955	268	60	7
岡山大学	1,125	785	271	69	8

(2019)

※国立大学間で学部入学定員の上位13大学を「大規模13大学」と定義する。

◆世界ランキングによる比較◆

QS社・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	22
2	京都大学	33
3	東京工業大学	58
4	大阪大学	71
5	東北大学	82
6	名古屋大学	115
7	北海道大学 九州大学	132
9	早稲田大学	196
10	慶應義塾大学	200
11	筑波大学	270
12	広島大学	334
13	東京医科歯科大学	359
14	神戸大学	395

(2019-2020)

QS社・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	13
2	京都大学	15
3	東京工業大学	17
4	大阪大学	22
5	東北大学	23
6	名古屋大学	28
7	北海道大学	29
8	九州大学	30
9	早稲田大学	38
10	慶應義塾大学	41
11	筑波大学	49
12	神戸大学	64
13	広島大学	74
14	一橋大学	81
15	東京医科歯科大学	105

(2019-2020)

上海交通大学・世界大学学術ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	25
2	京都大学	32
3	名古屋大学	90
4	東北大学 東京工業大学	101-150
6	北海道大学 大阪大学	151-200
8	九州大学 筑波大学	201-300
10	慶應義塾大学	301-400
11	神戸大学 千葉大学 岡山大学 東京理科大学	401-500

(2019)

THE誌・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	8
2	京都大学	11
3	東京工業大学	30
4	東北大学	31
5	名古屋大学	34
6	大阪大学	40
7	九州大学	58
8	東京医科歯科大学	66
9	北海道大学	68
10	藤田医科大学	74
11	筑波大学	76
12	帝京大学	78
13	首都大学東京	80
14	日本医科大学	116
15	横浜市立大学	127
16	慶應義塾大学	138
17	立教大学	147
18	広島大学	148
19	神戸大学	156

(2019)

THE誌・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	36
2	京都大学	65
3	東北大学 東京工業大学	251-300
5	名古屋大学 大阪大学	301-350
7	産業医科大学	351-400
8	藤田医科大学 北海道大学 九州大学 帝京大学 東京医科歯科大学 筑波大学	401-500
14	関西医科大学 横浜市立大学	501-600
16	神戸大学 他9大学	601-800

(2019-2020)

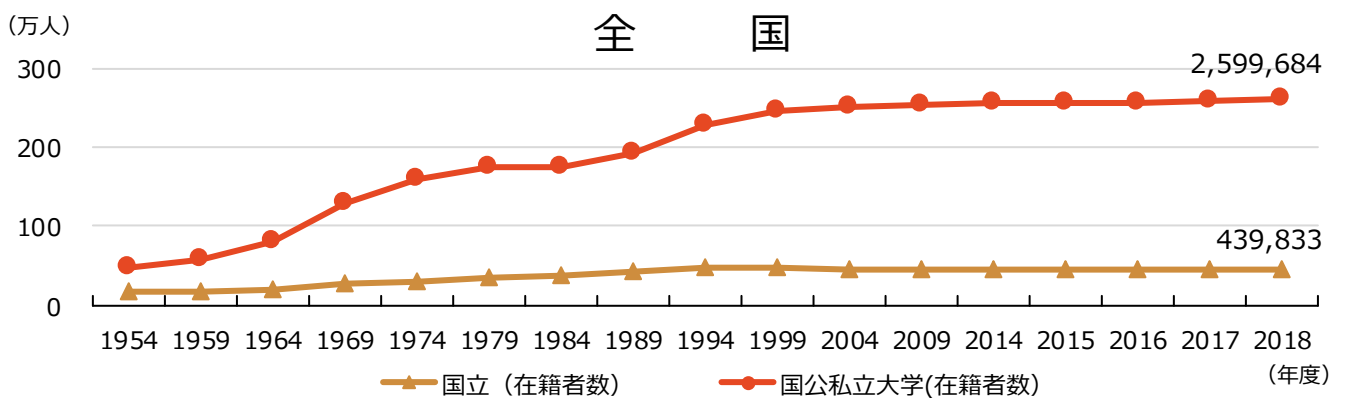
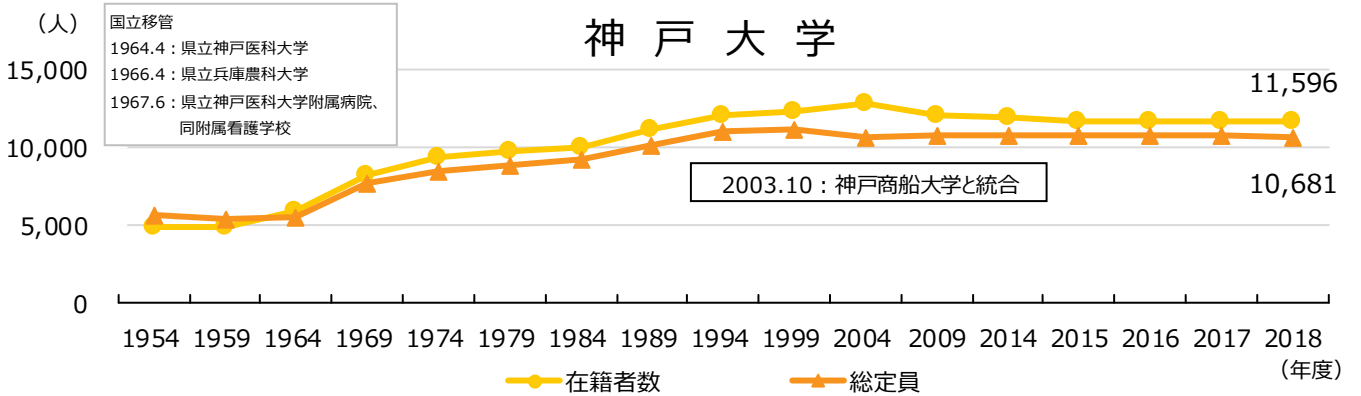
出典:各発表機関ウェブサイト

※「-」についてはその順位グループに属していることを示している。(例:「201-300」は、201位から300位のグループ)

2. 学生数

2-1 学生数の推移 — 学士課程 —

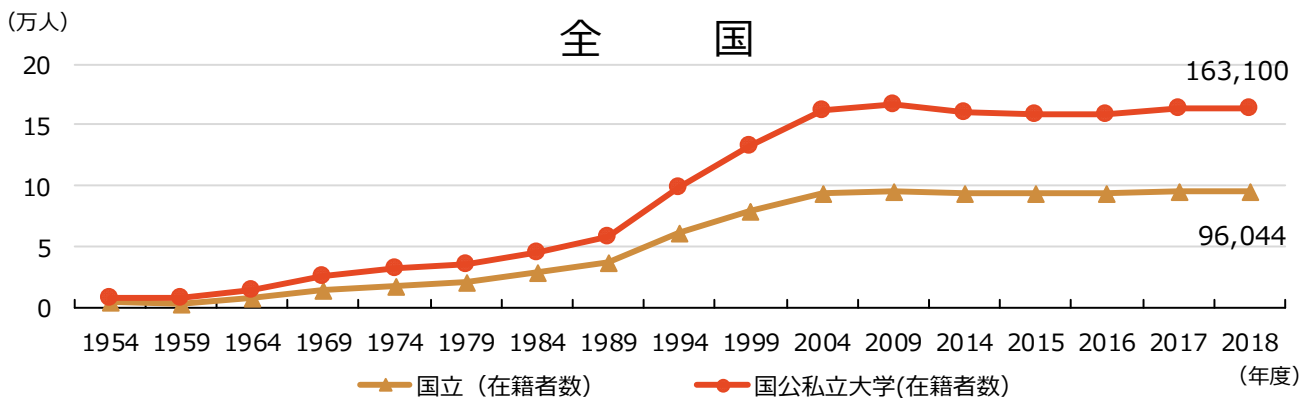
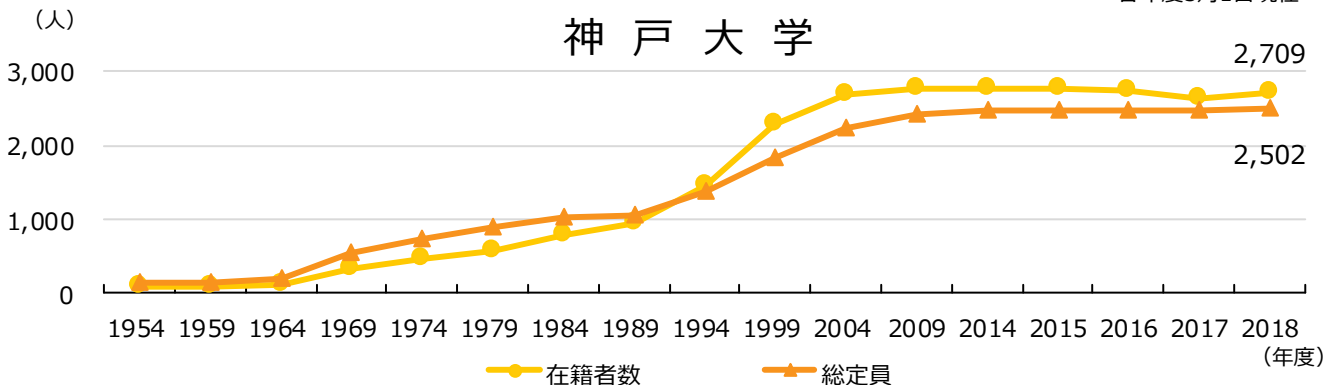
各年度5月1日現在



出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

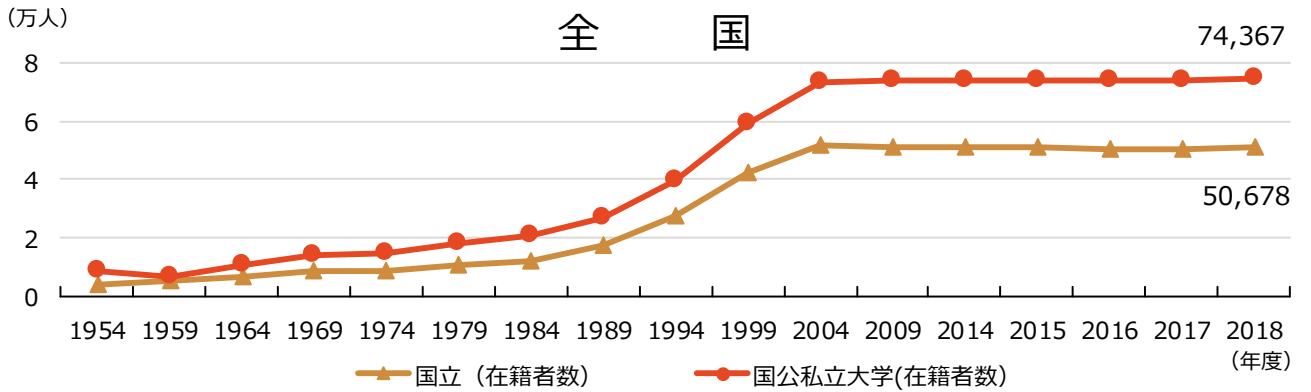
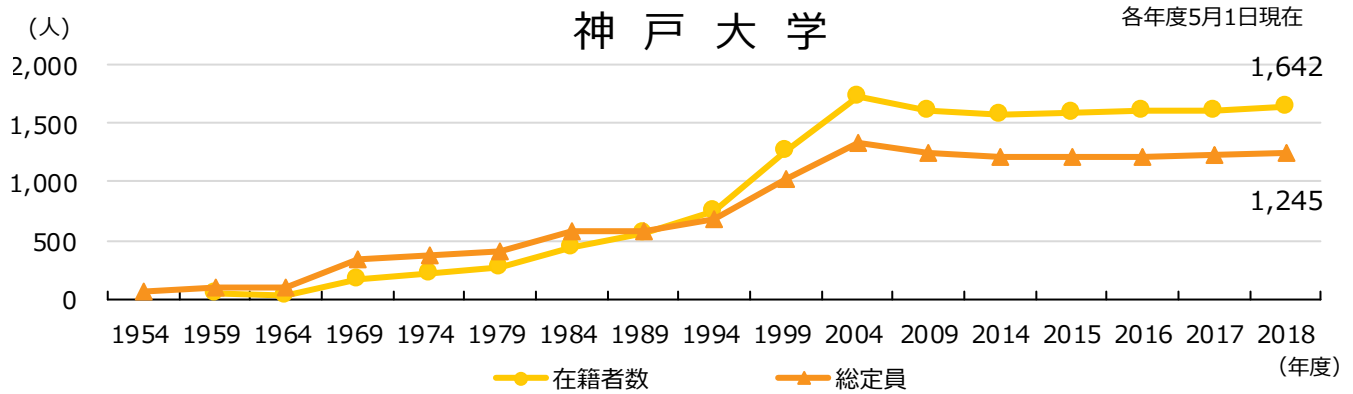
2-2 学生数の推移 — 修士課程・博士課程前期課程 —

各年度5月1日現在



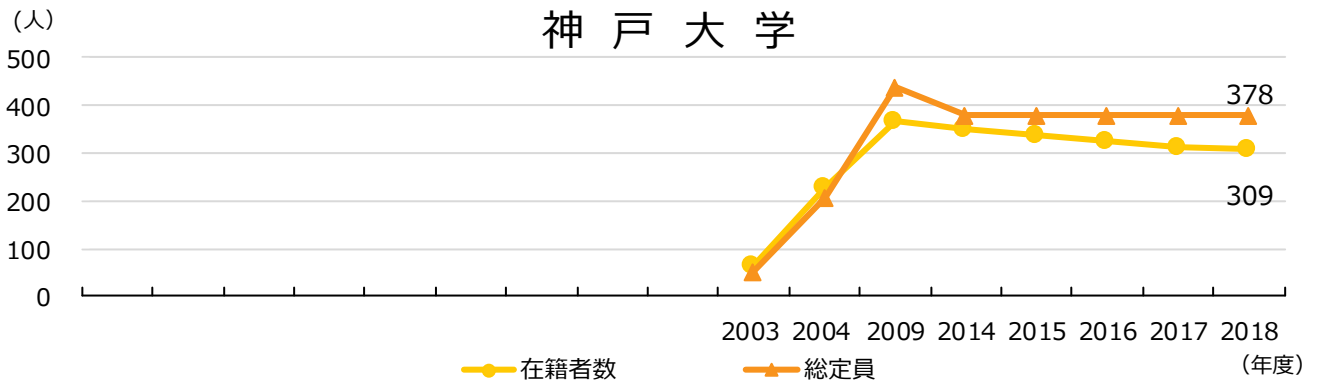
出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

2-3 学生数の推移 — 博士課程・博士課程後期課程 —

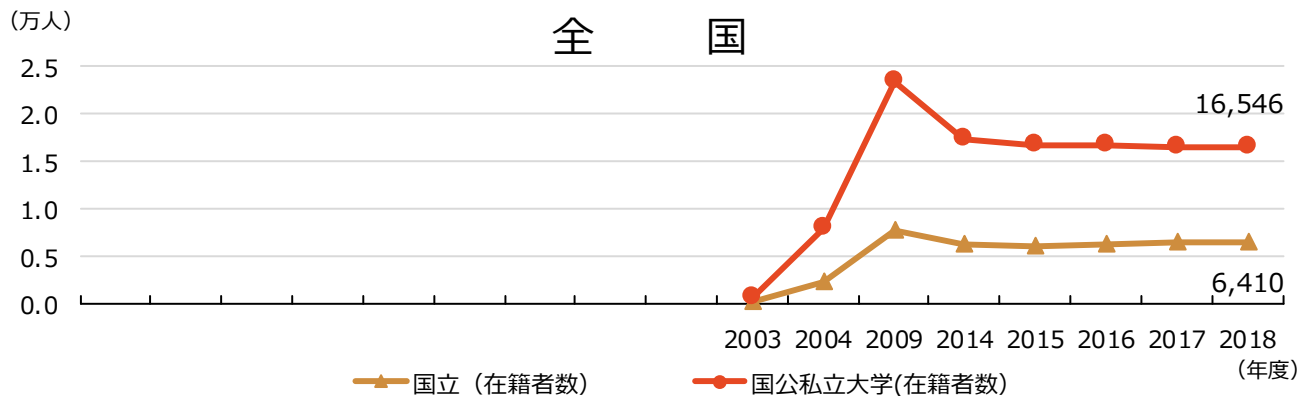


出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

2-4 学生数の推移 — 専門職学位課程 —



※法学研究科実務法律専攻（法科大学院）は総定員（入学定員×3年）に対して、2年で修了できる法学既修者コースの入学者が約7割を占めるため、構造的に総定員を充たせない。



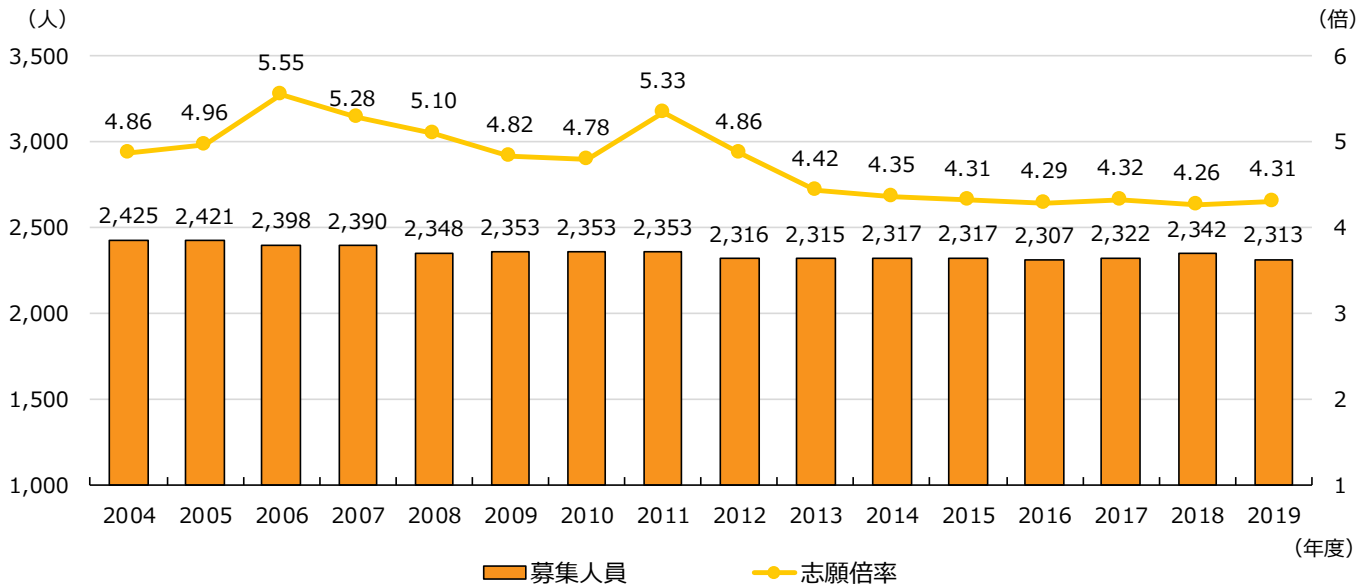
※2004年度から法科大学院制度が創設されたことに伴い、専門職大学院の在籍者数が急激に増加し、2009年度以降に一旦減少したが、近年は同水準を維持している。

出典：文部科学省 学校基本調査報告書・学校基本調査

3. 学部一般選抜志願状況

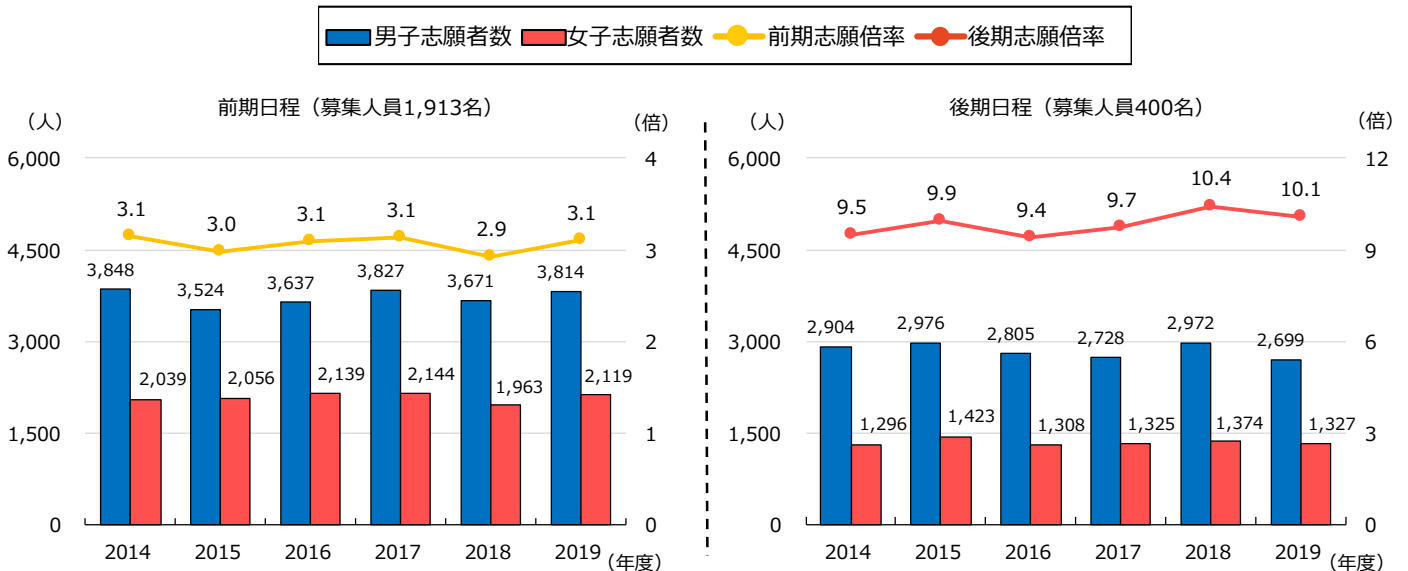
3-1 学部一般選抜志願状況（推移）

- 国立大学法人化（2004年度）以降、本学の学部一般選抜（一般入試）の志願倍率は、5倍を超える年度もあったが、近年は4.3倍前後で推移している。
- 2019年度入試においては、2,313名の募集人員に対し9,959名の受験生が志願し、志願倍率は4.31倍であり、最も低かった昨年度から比べ微増となった。



3-2 学部一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

- 前期日程は3倍程度、後期日程は10倍程度の志願倍率を推移しており、安定して志願者を確保している。
- 志願者の男女比については、年度によってやや差があるものの、概して2対1の割合で推移している。



※各日程の募集人員は2019年度の数値を記載している。その他の各年度の募集人員は以下のとおり。

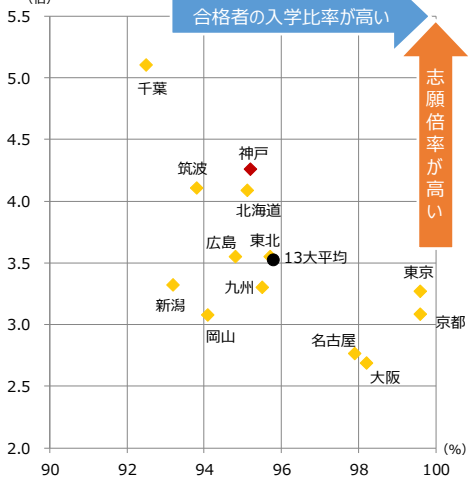
2014-2015	前期：1,874名	後期：443名	2017	前期：1,905名	後期：417名
2016	前期：1,869名	後期：438名	2018	前期：1,925名	後期：417名

3-3 全国の大学の志願状況及び入学定員

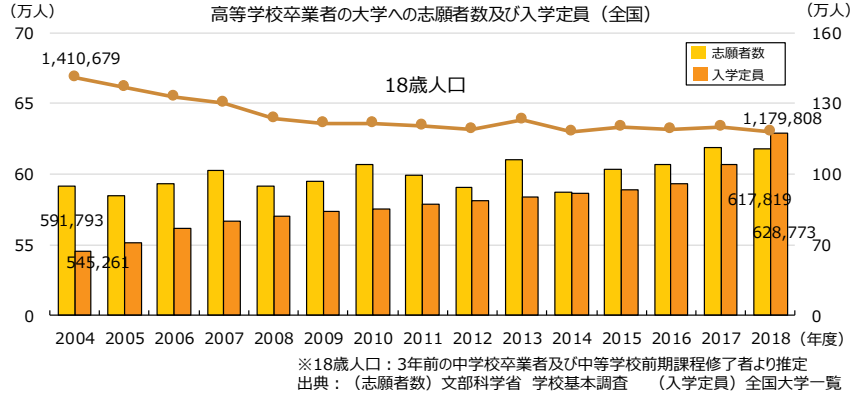
◆大規模13大学の状況（2018年度入試）

大学名	北海道	東北	筑波	千葉	東京	新潟	名古屋	京都	大阪	神戸	岡山	広島	九州	13大学平均
募集人員	2,411人	1,872人	1,476人	2,109人	2,960人	1,752人	1,739人	2,668人	2,929人	2,342人	1,691人	2,020人	2,341人	2,178人
志願者数	9,849人	6,640人	6,064人	10,756人	9,675人	5,816人	4,805人	8,233人	7,867人	9,980人	5,203人	7,175人	7,725人	7,676人
志願倍率	4.1	3.5	4.1	5.1	3.3	3.3	2.8	3.1	2.7	4.3	3.1	3.6	3.3	3.5
合格者の入学率	95.1%	95.7%	93.8%	92.5%	99.6%	93.2%	97.9%	99.6%	98.2%	95.2%	94.1%	94.8%	95.5%	95.8%

出典（募集人員・志願者数・志願倍率）：平成30年度国立大学入学者選抜の志願状況，大学入試センターHP
 出典（合格者の入学率）：朝日大学ランキング2020（※北海道大学はHPの入試結果より算出）



◆全国の大学志願者数および入学定員（推移）

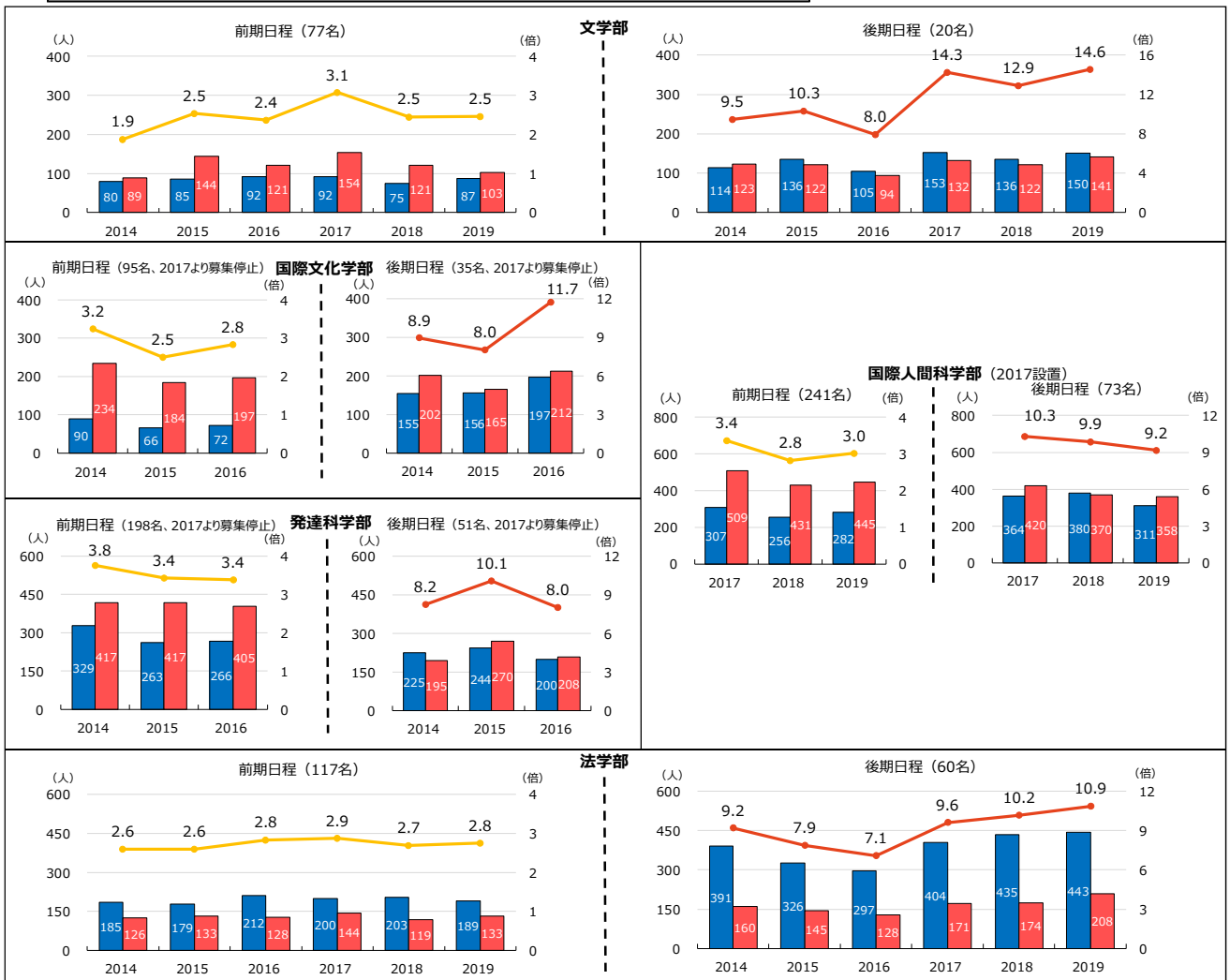


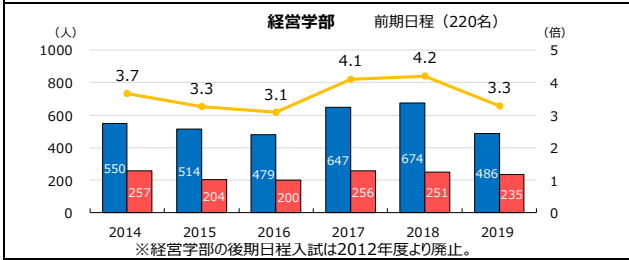
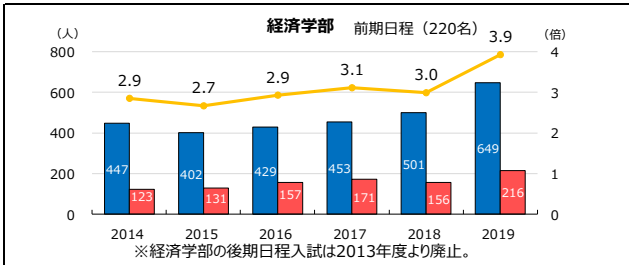
3-4 学部ごとの一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

- 志願倍率は各学部とも毎年上下しており、前期日程では、昨年度は全体的に倍率が下降したが、2019年度入試では大半の学部が回復する結果となった。
- 後期日程は、どの学部も例年高い倍率を維持している。医学部保健学科においては募集定員を段階的に削減していることもあり、6年連続で倍率が上昇している。

■ 男子志願者数 ■ 女子志願者数 ● 前期志願倍率 ● 後期志願倍率

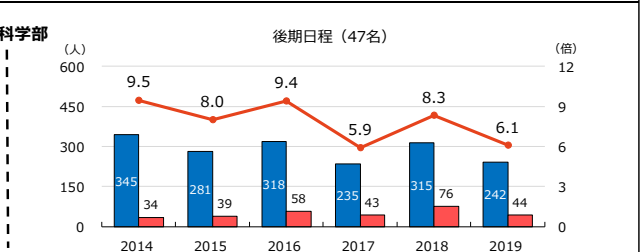
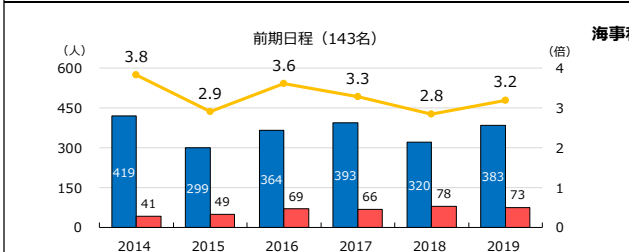
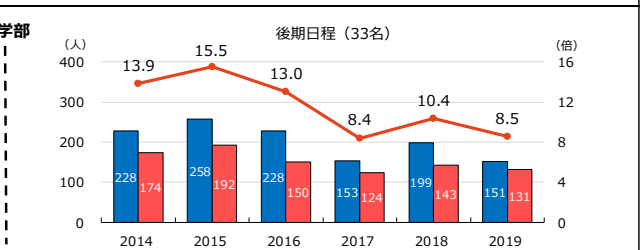
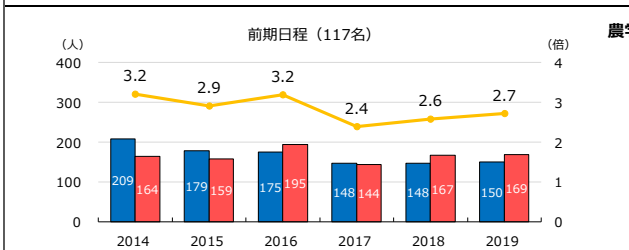
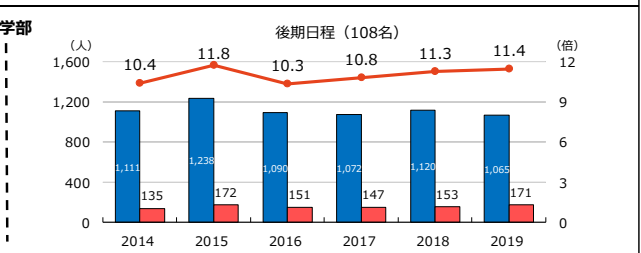
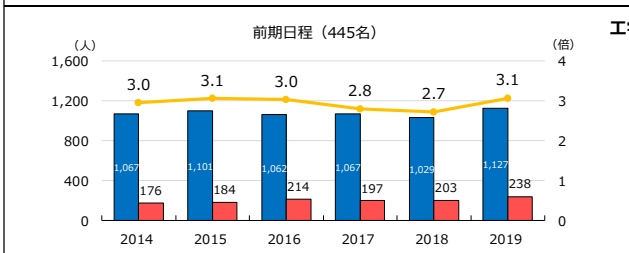
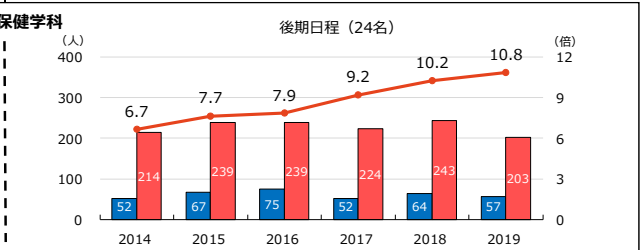
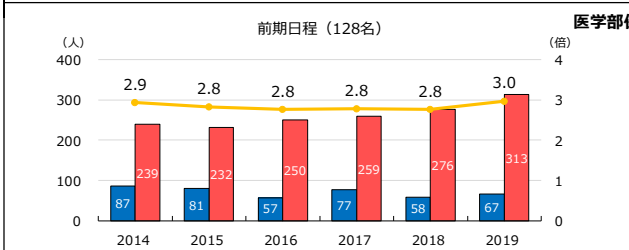
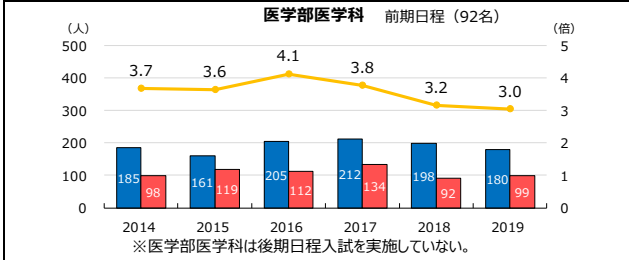
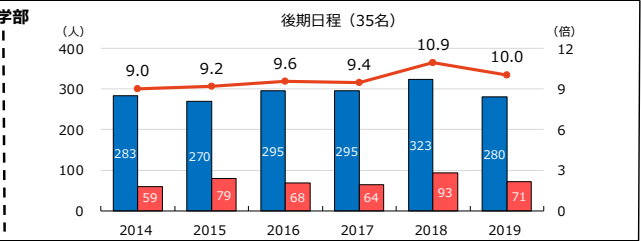
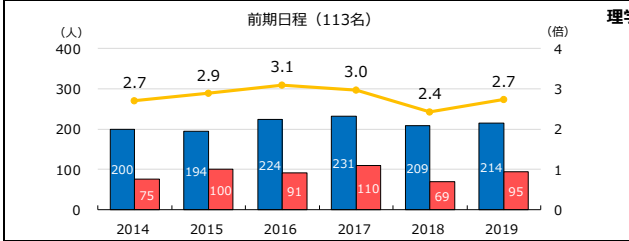
・（ ）書きは各日程の2019年度募集定員（国際文化学部、発達科学部は2016年度）





※募集定員が年度により、2019年度（国際文化学部は2016年度）と異なる学部については、以下のとおり。

- 文学部 (前) 2014~2016:90名、2017~2018:80名 (後) 2014~2016:25名
- 国際文化学部 (前) 2014~2015:100名 (後) 2014~2015:40名
- 国際人間科学部 (前) 2017~2018:243名 (後) 2017~2018:76名
- 法学部 (前) 2014~2018:120名
- 経済学部 (前) 2014~2017:200名
- 理学部 (前) 2014~2016:102名、2017~2018:115名 (後) 2014~2018:38名
- 医学部医学科 (前) 2014~2016:77名
- 医学部保健学科 (前) 2014~2016:111名、2017~2018:121名 (後) 2014~2016:40名、2017~2018:30名
- 工学部 (前) 2014~2016:420名、2017~2018:452名 (後) 2014~2016:120名、2017~2018:113名
- 農学部 (前) 2014~2016:116名、2017~2018:122名 (後) 2014~2016:29名
- 海事科学部 (前) 2014~2016:120名、2017~2018:140名 (後) 2014~2016:40名

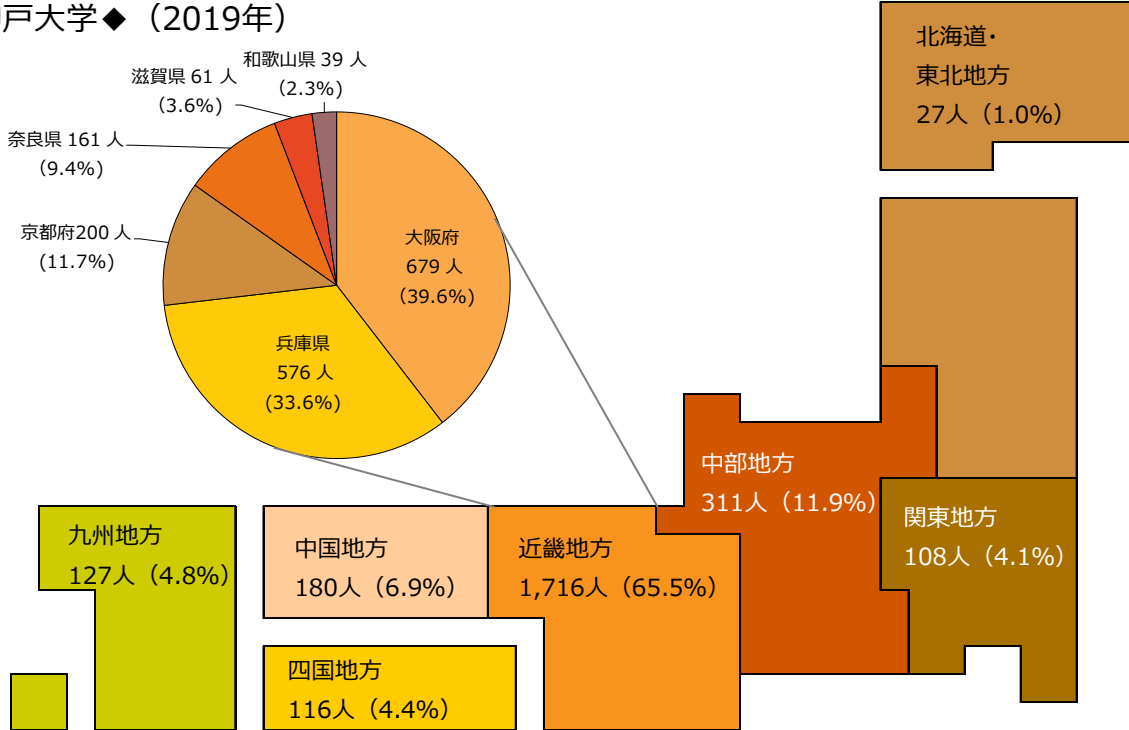


4. 入学状況 - 学部 -

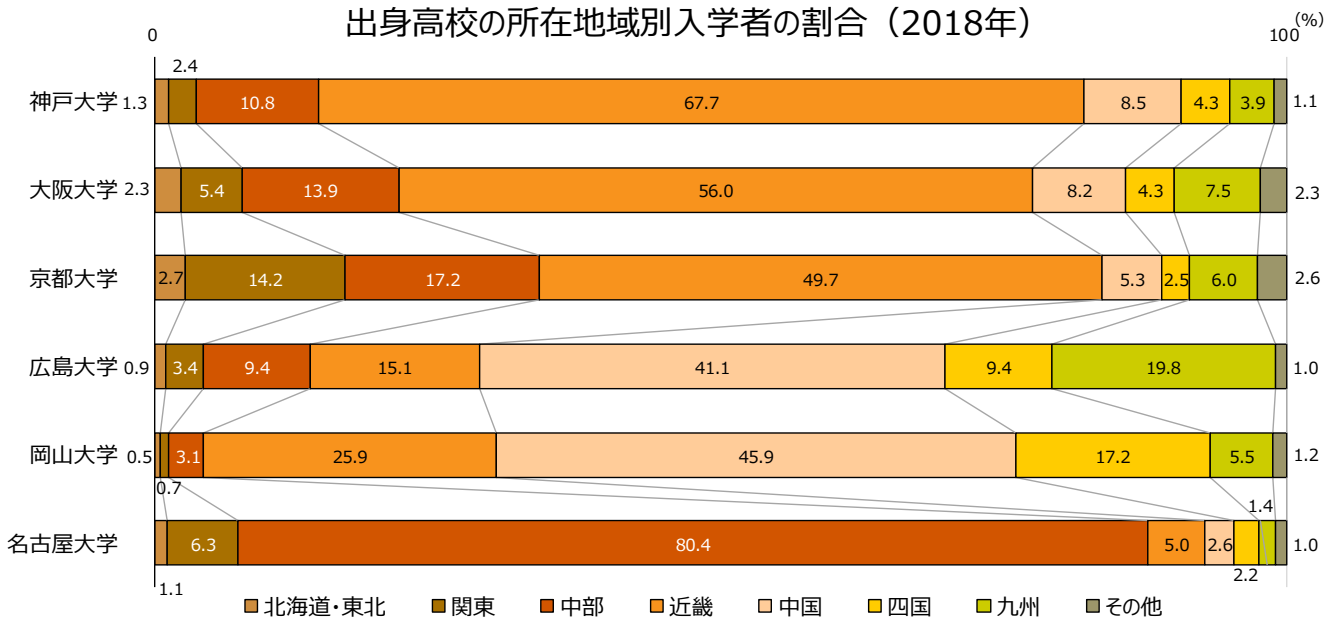
4-1 出身高校の所在地別入学者状況

○ 神戸大学では入学者のおよそ3分の2を近畿地方の高校出身者が占めており、うち7割以上が大阪府または兵庫県に所在する高校の出身者である。

◆神戸大学◆ (2019年)



出身高校の所在地別入学者の割合 (2018年)



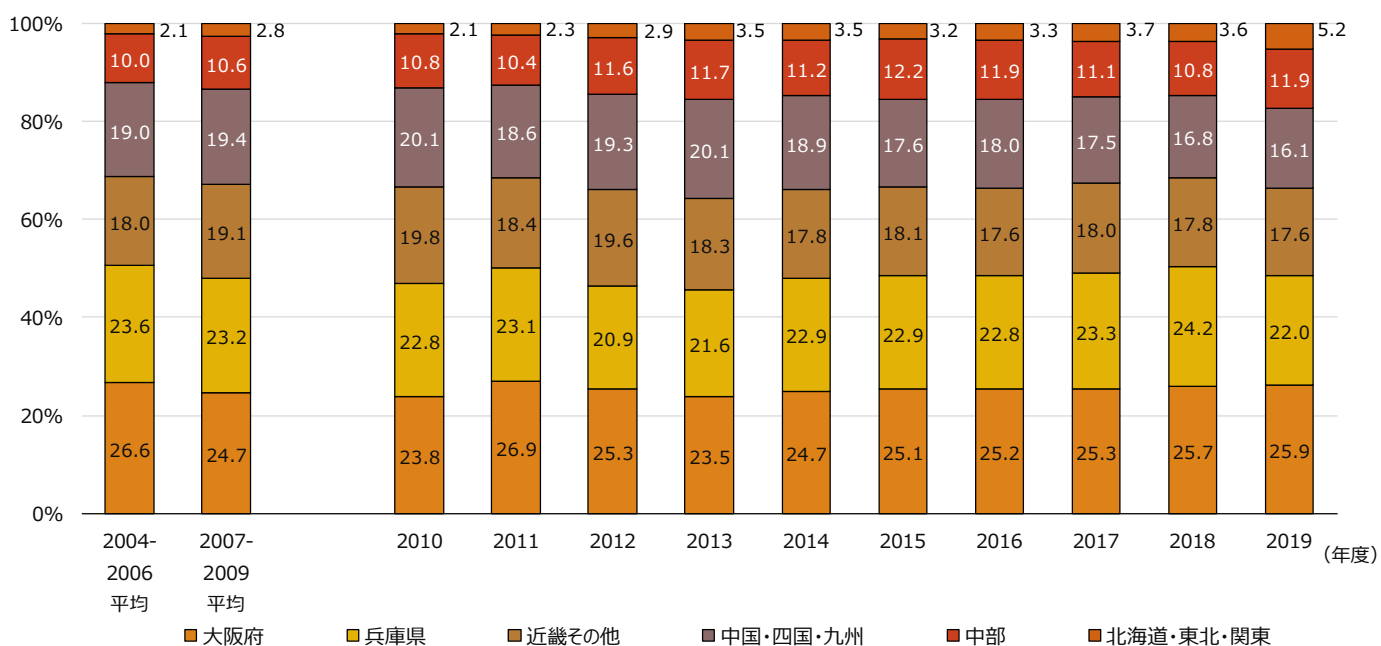
- 【北海道・東北地方】北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
- 【関東地方】群馬県、茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県
- 【中部地方】新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県、岐阜県、愛知県、静岡県、三重県
- 【近畿地方】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 【中国地方】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 【四国地方】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 【九州地方】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- 【その他】外国の学校等

出典：大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報(8-G) 出身高校の所在地別入学者数
 ※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

4-2 出身高校の所在地別入学者状況の経年推移

◆神戸大学◆

出身高校の所在地別入学者状況の経年推移

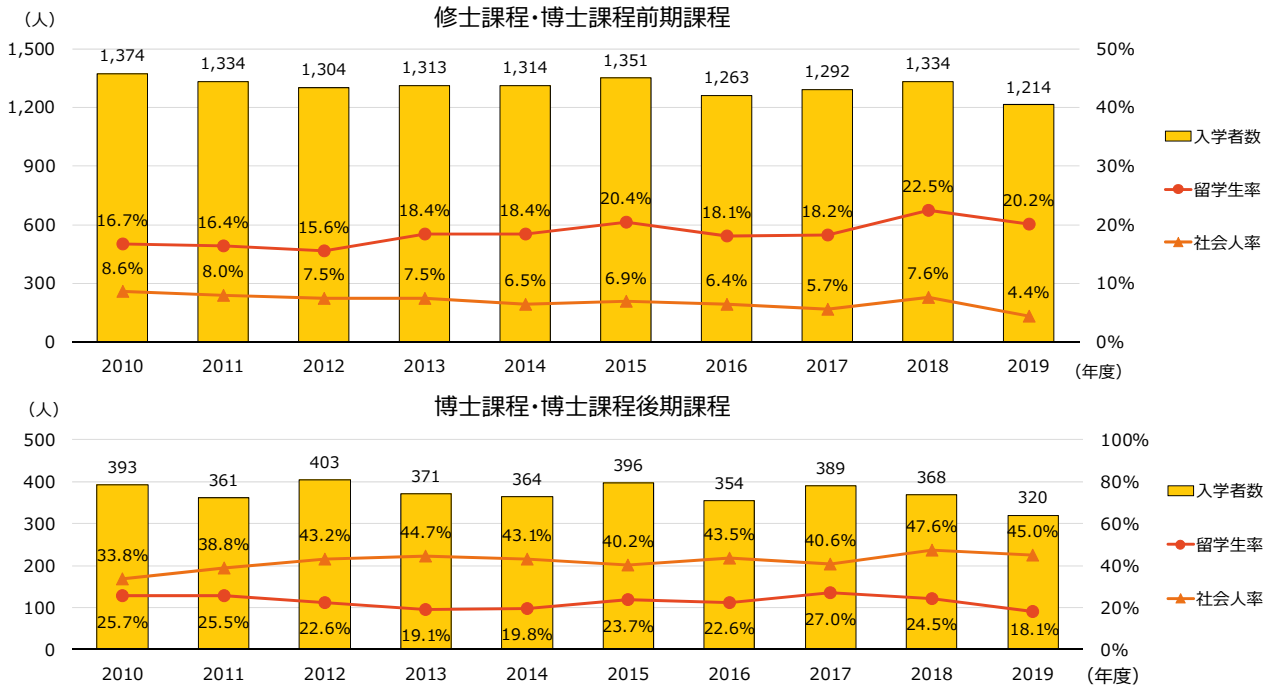


※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

5. 入学状況 — 大学院 —

5-1 大学院入学状況

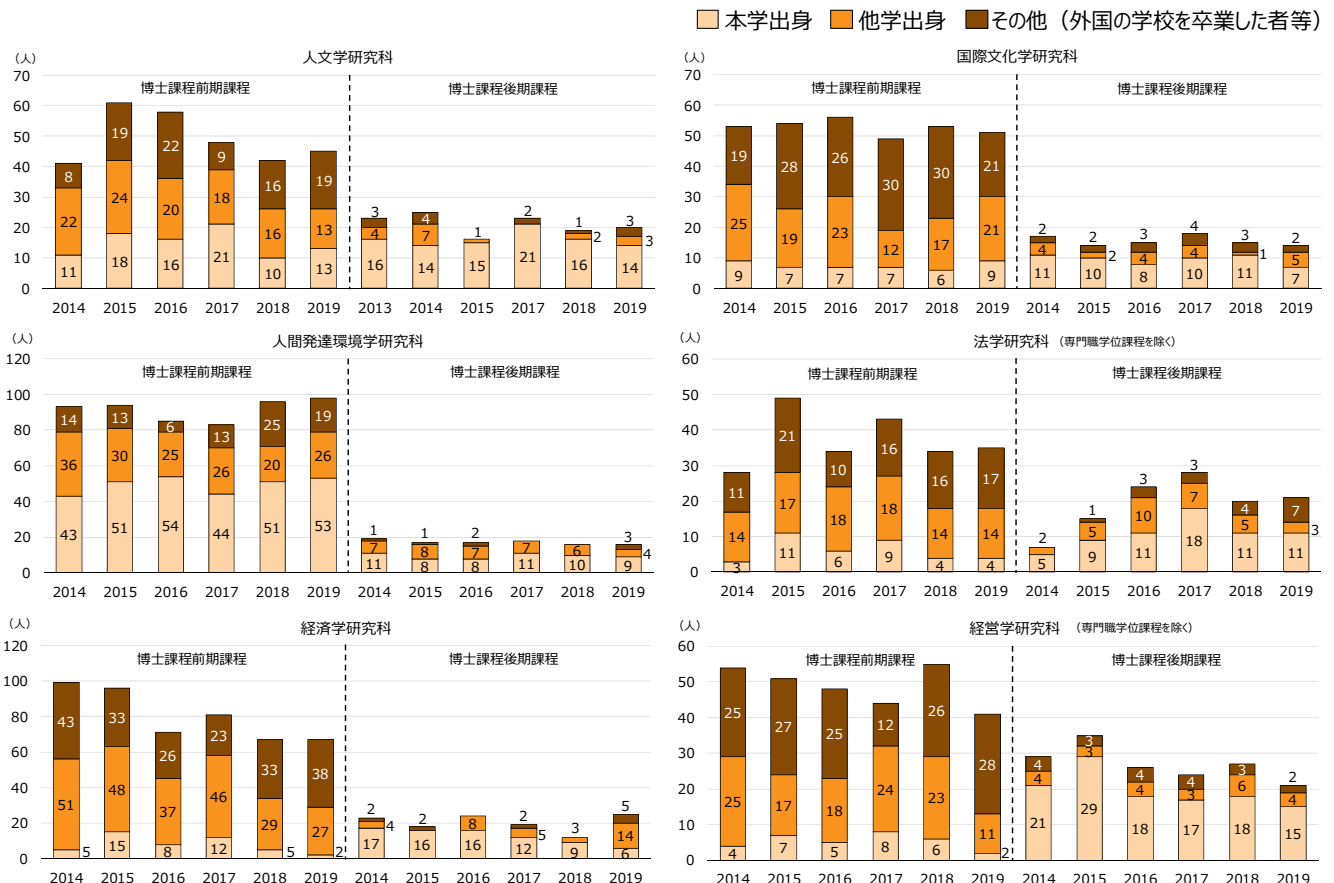
◆神戸大学◆ ※2010～2018年度は春入学者及び秋入学者、2019年度は春入学者のみを計上している。



5-2 大学院入学状況 — 研究科別・出身大学別 —

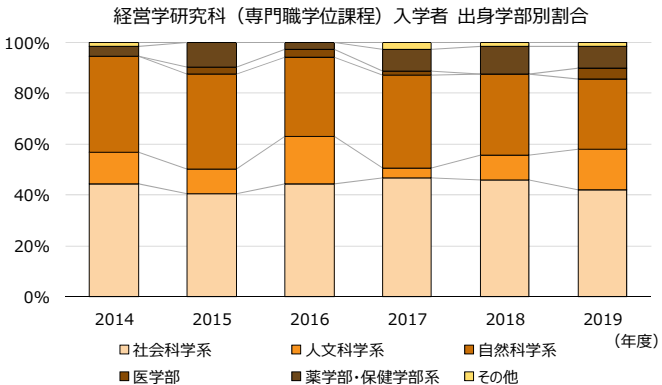
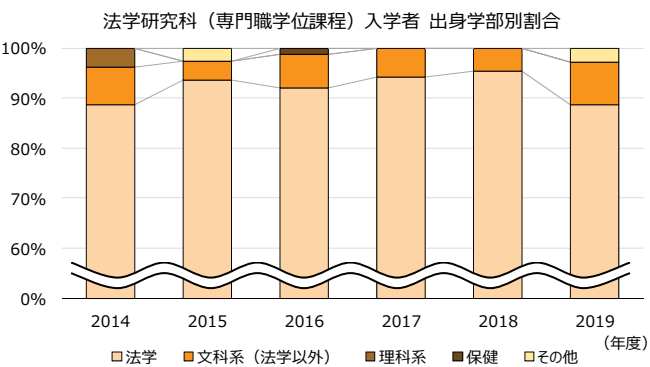
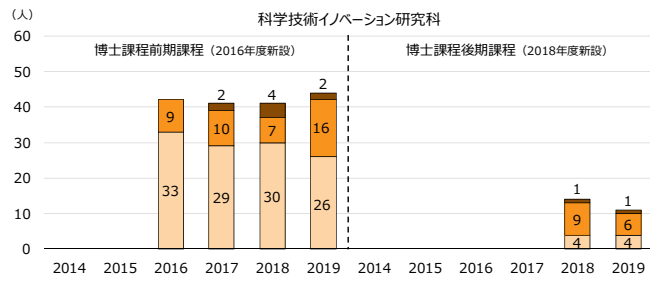
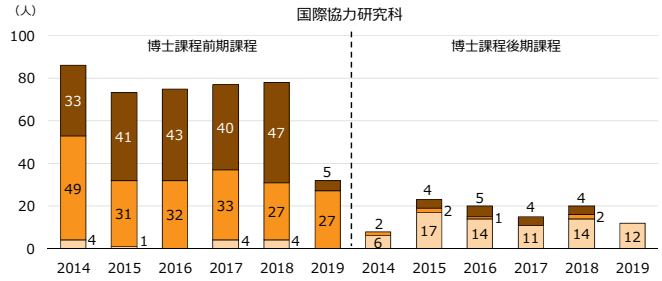
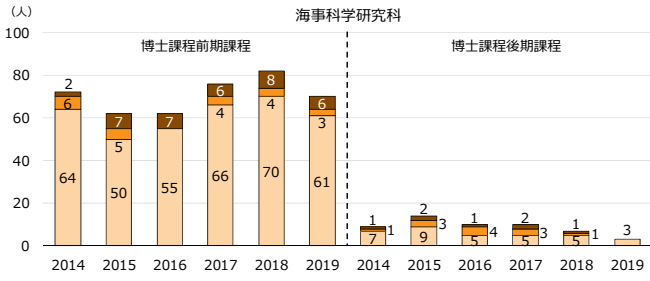
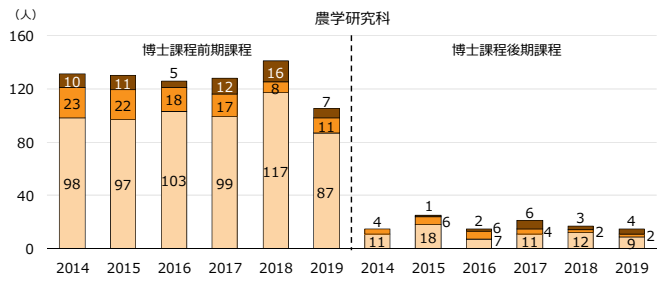
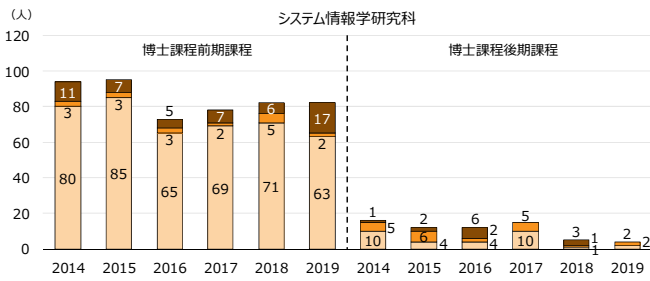
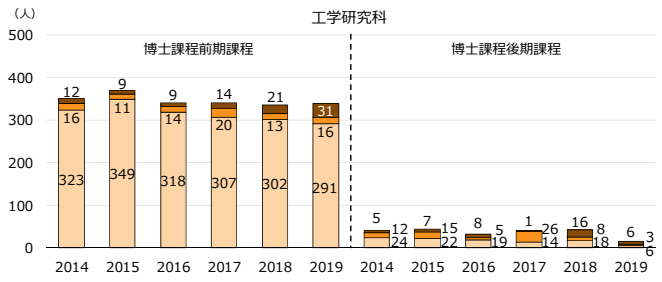
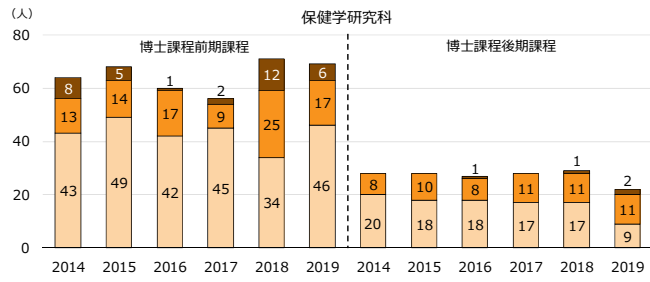
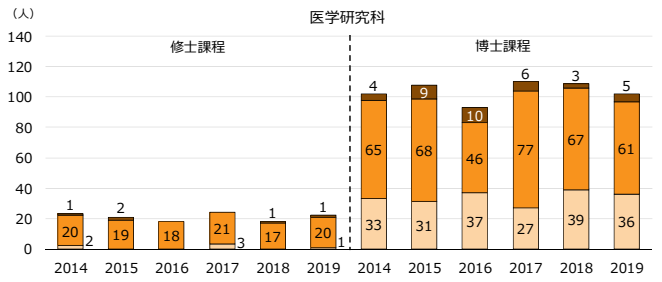
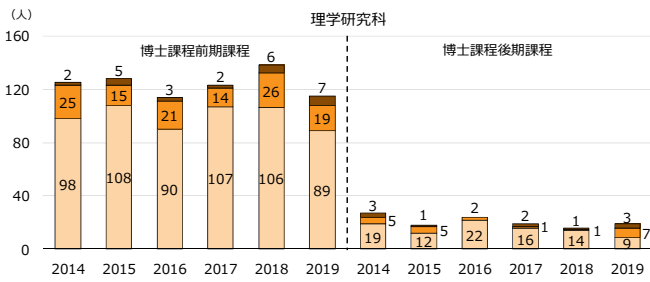
○ 自然科学系の研究科においては、博士課程前期課程に本学出身の学生がそのまま進学するケースが多いが、人文科学系、社会科学系及び医学系の研究科においては、多くの他学出身者が入学している傾向が見られる。

◆神戸大学◆ ※2014～2018年度は春入学者及び秋入学者、2019年度は春入学者のみを計上している。



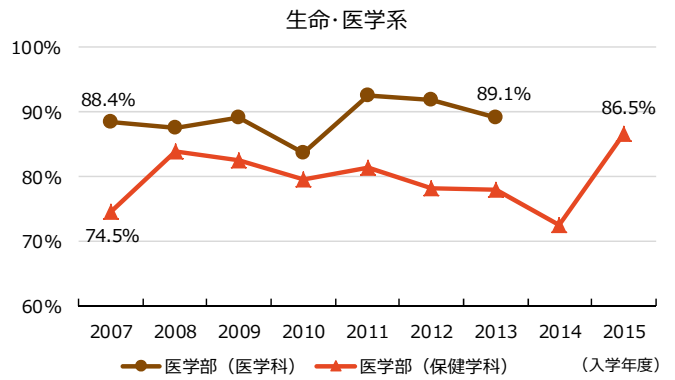
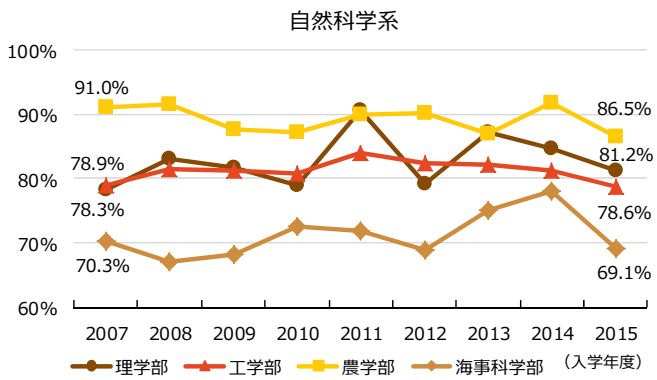
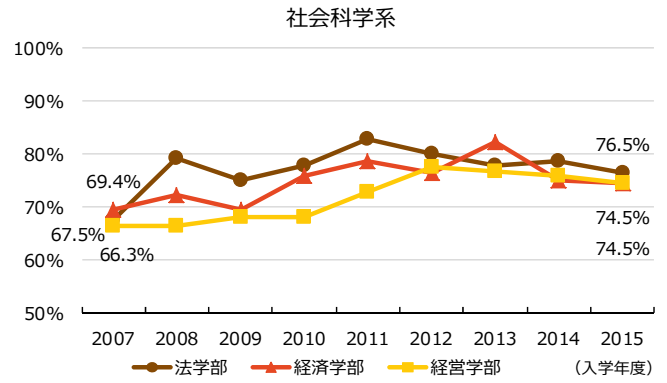
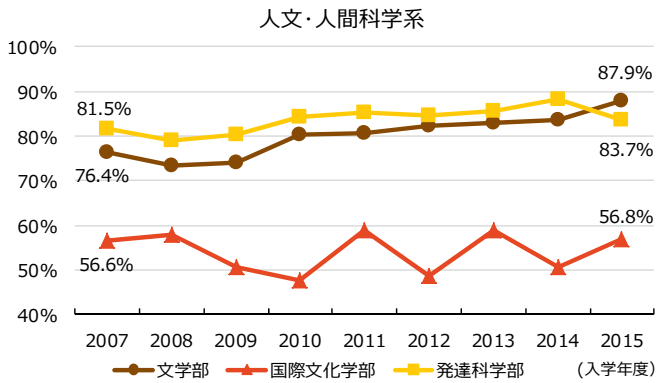
※2014～2018年度は春入学者及び秋入学者、2019年度は春入学者のみを計上している。

□ 本学出身 □ 他学出身 ■ その他（外国の学校を卒業した者等）



6. 学位授与状況 — 授与率 —

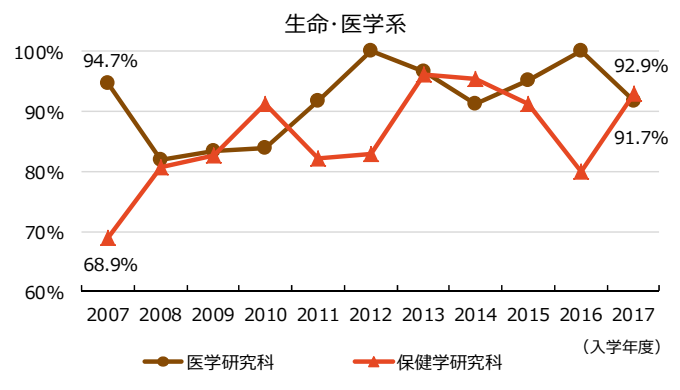
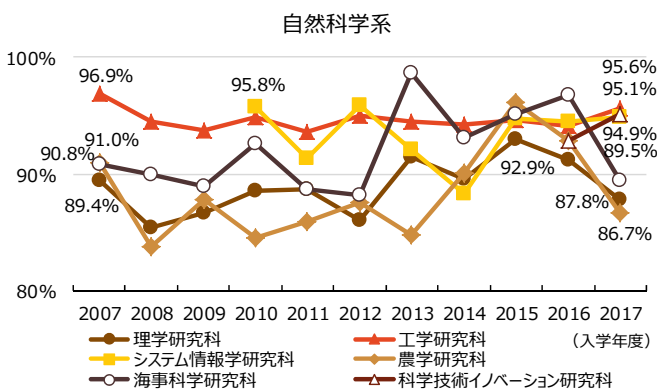
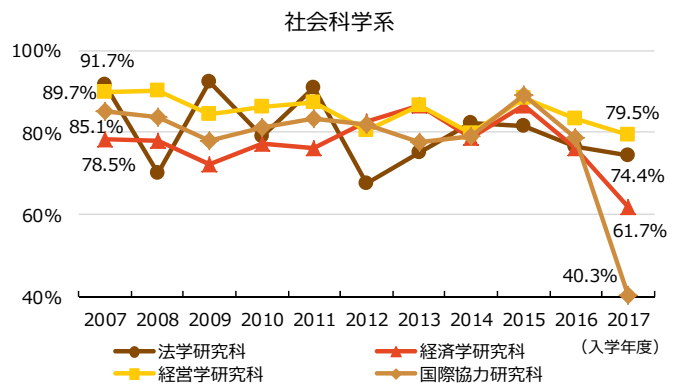
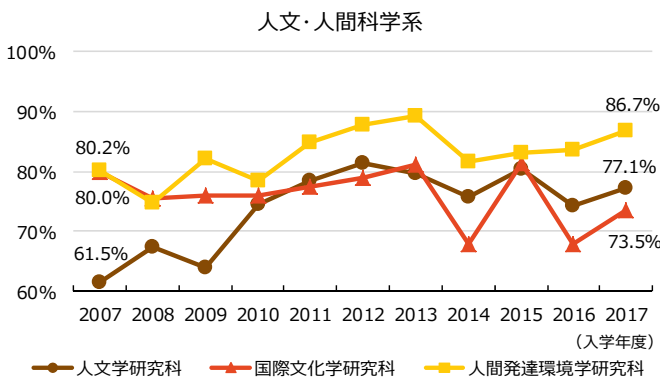
◆ 学士課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）



※医学部（医学科）は6年制のため2014,2015年度入学の学位取得者はいない。

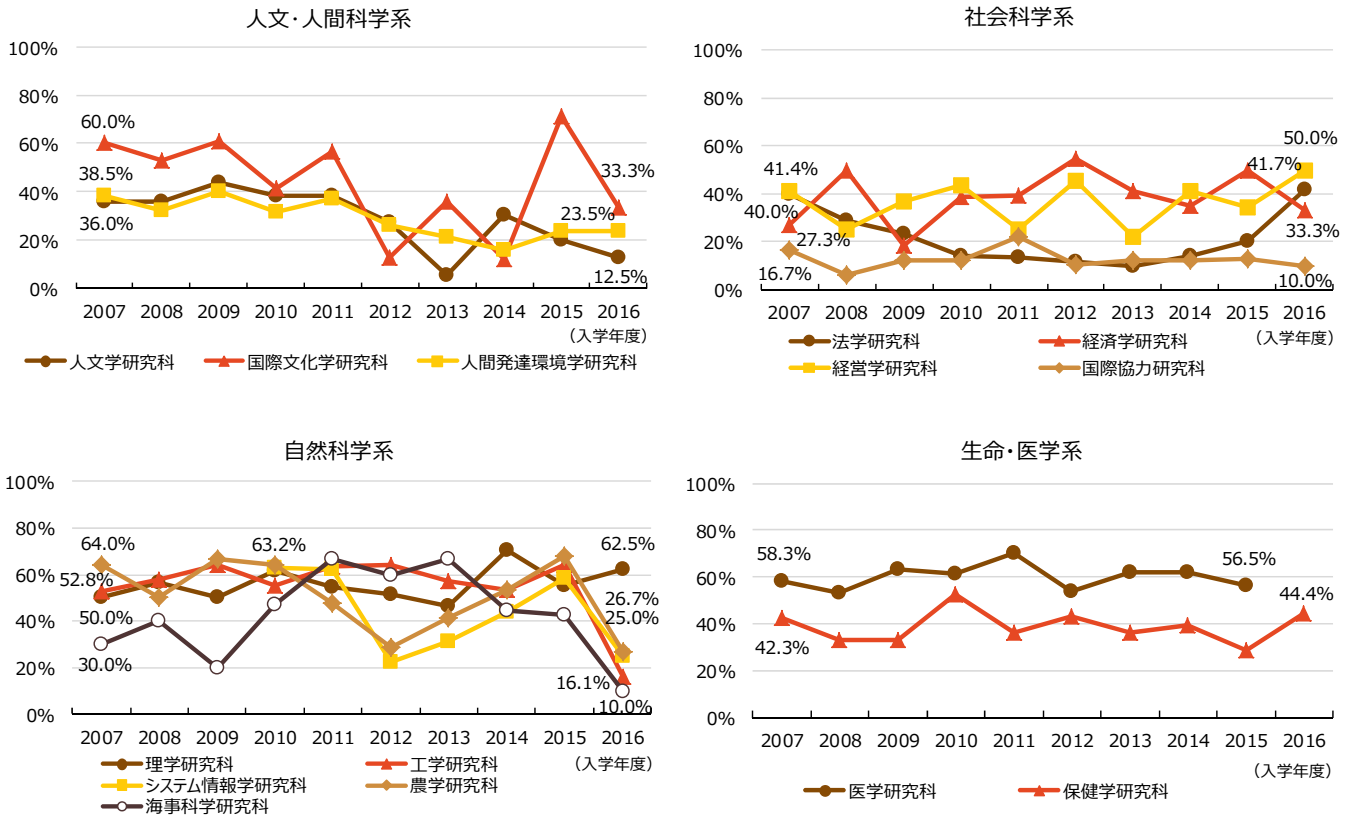
◆ 修士課程・博士課程前期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率 = 修了者数 / 入学者数（秋入学者を含む）
ただし、最新年度は春入学した修了者のみを計上しているため、秋入学を実施している研究科の授与率は低くなる。

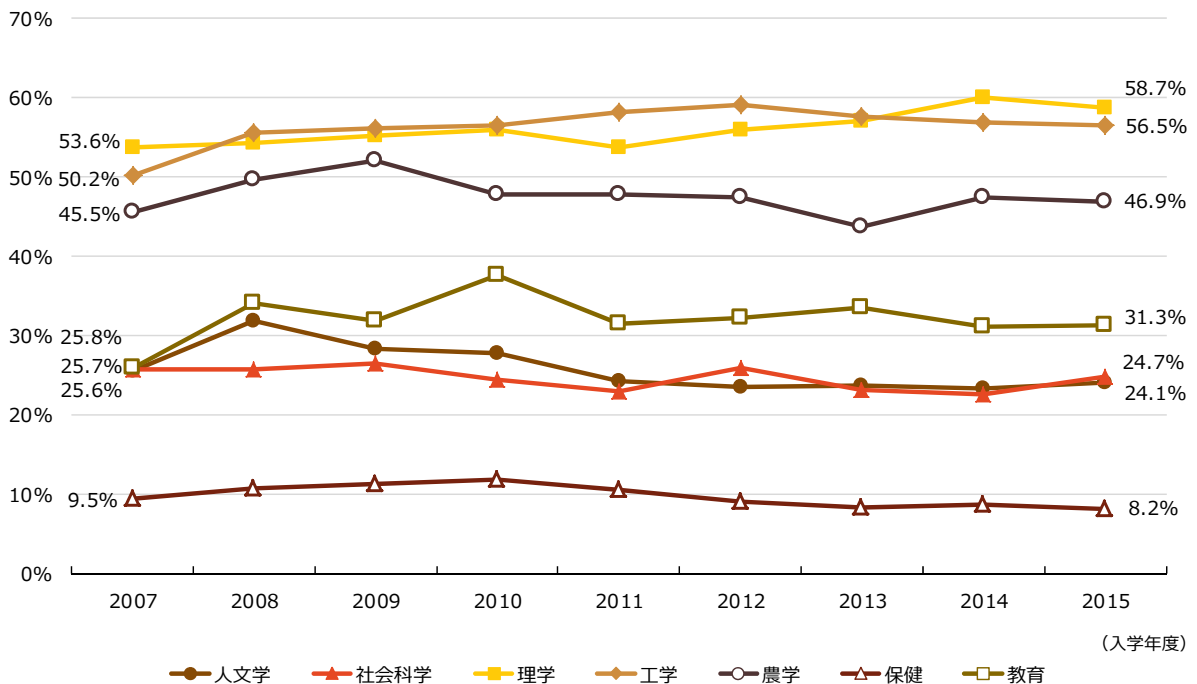


◆博士課程・博士課程後期課程（入学年度別標準修業年限内学位取得者の割合）

※授与率 = 修了者数 / 入学者数（秋入学者を含む）
 ただし、最新年度は春入学した修了者のみを計上しているため、秋入学を実施している研究科の授与率は低くなる。



◆全国（入学年度別標準修業年限内修業率 博士課程専攻分野別）



出典：文部科学省 学校基本調査
 博士課程の「専攻分野別最低修業年数卒業者数/博士課程の専攻分野別入学者数」の推移を入学年度別に示した。

7. 進路・就職状況

7-1 学士課程卒業生の進路・就職状況

進学者
 就職者
 臨床研修医
 その他

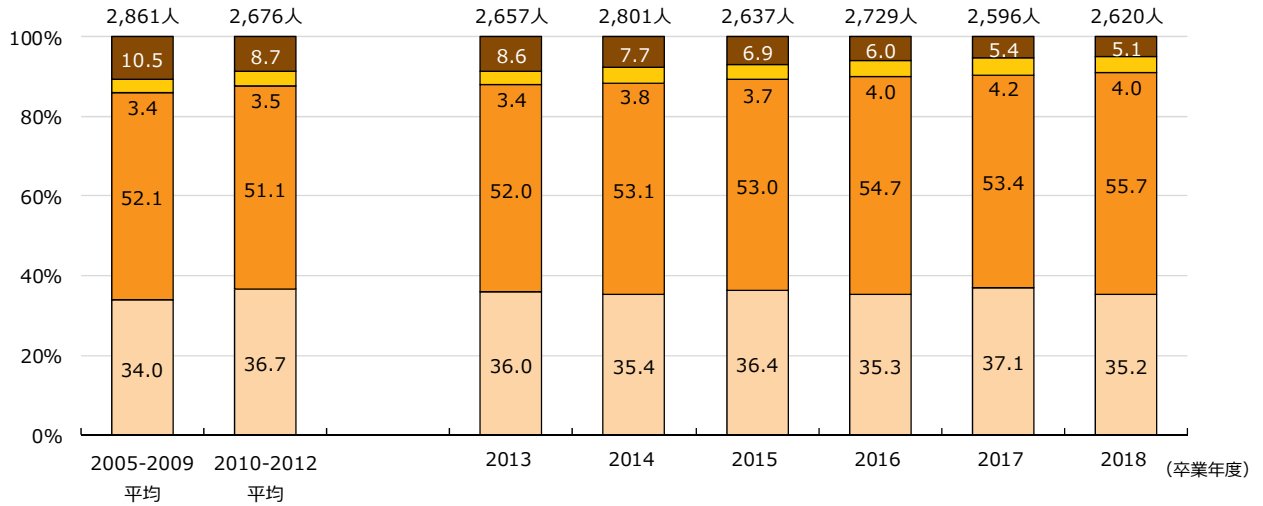
※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。

※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

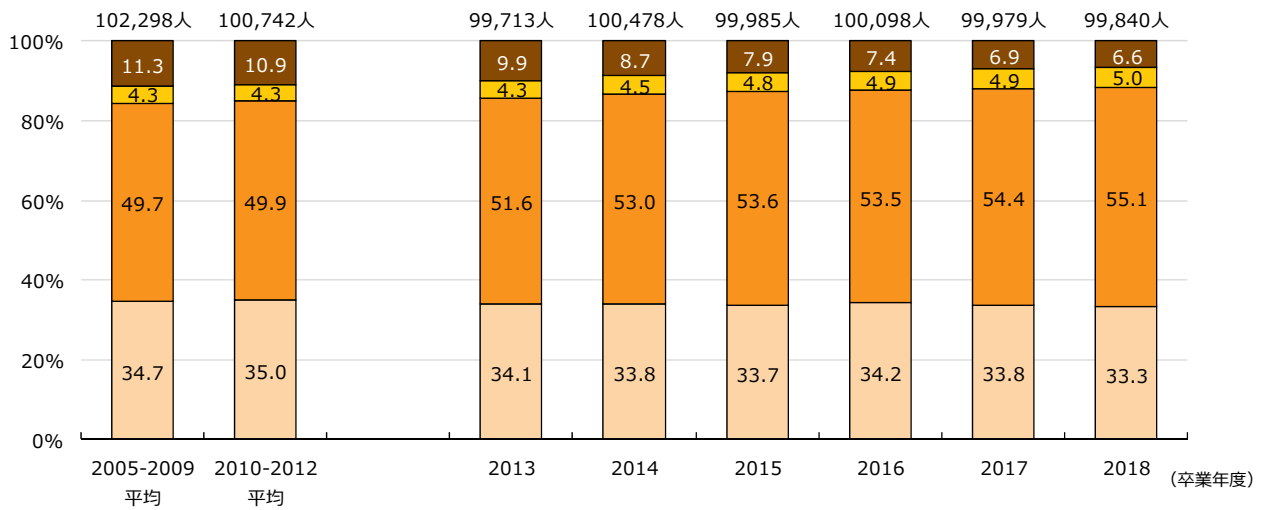
※2012年度以前は、第一期（2004～2009）、第二期前半（2010～2012）の平均値。

※「その他」には「一時的な仕事に就いた者」、「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

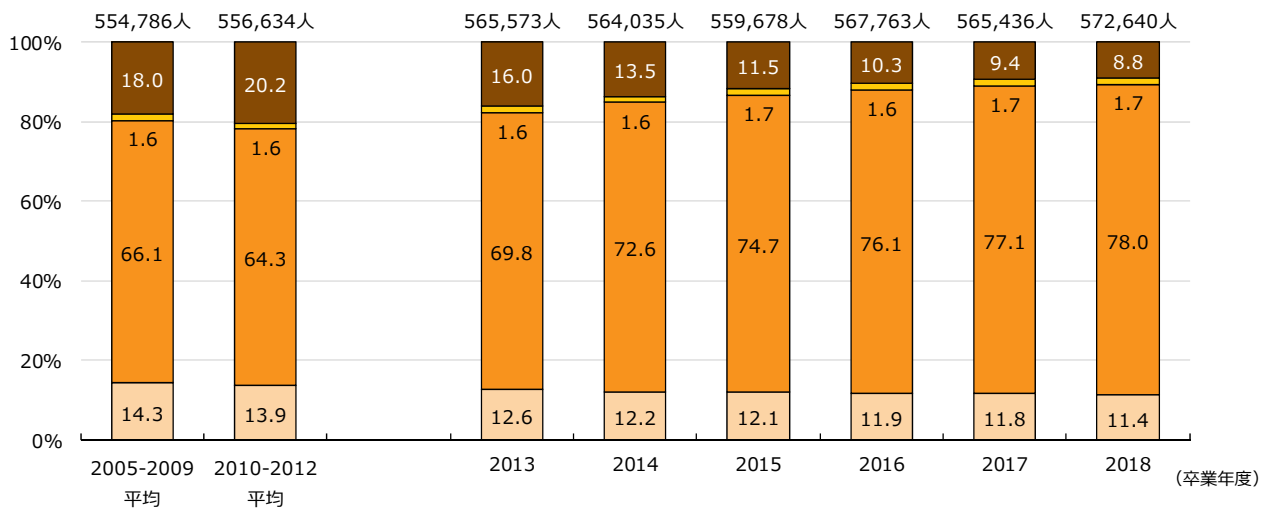
神戸大学



国立大



全国



出典：文部科学省 学校基本調査（国立大および全国の2018年度の値は2019年8月時点の速報値）

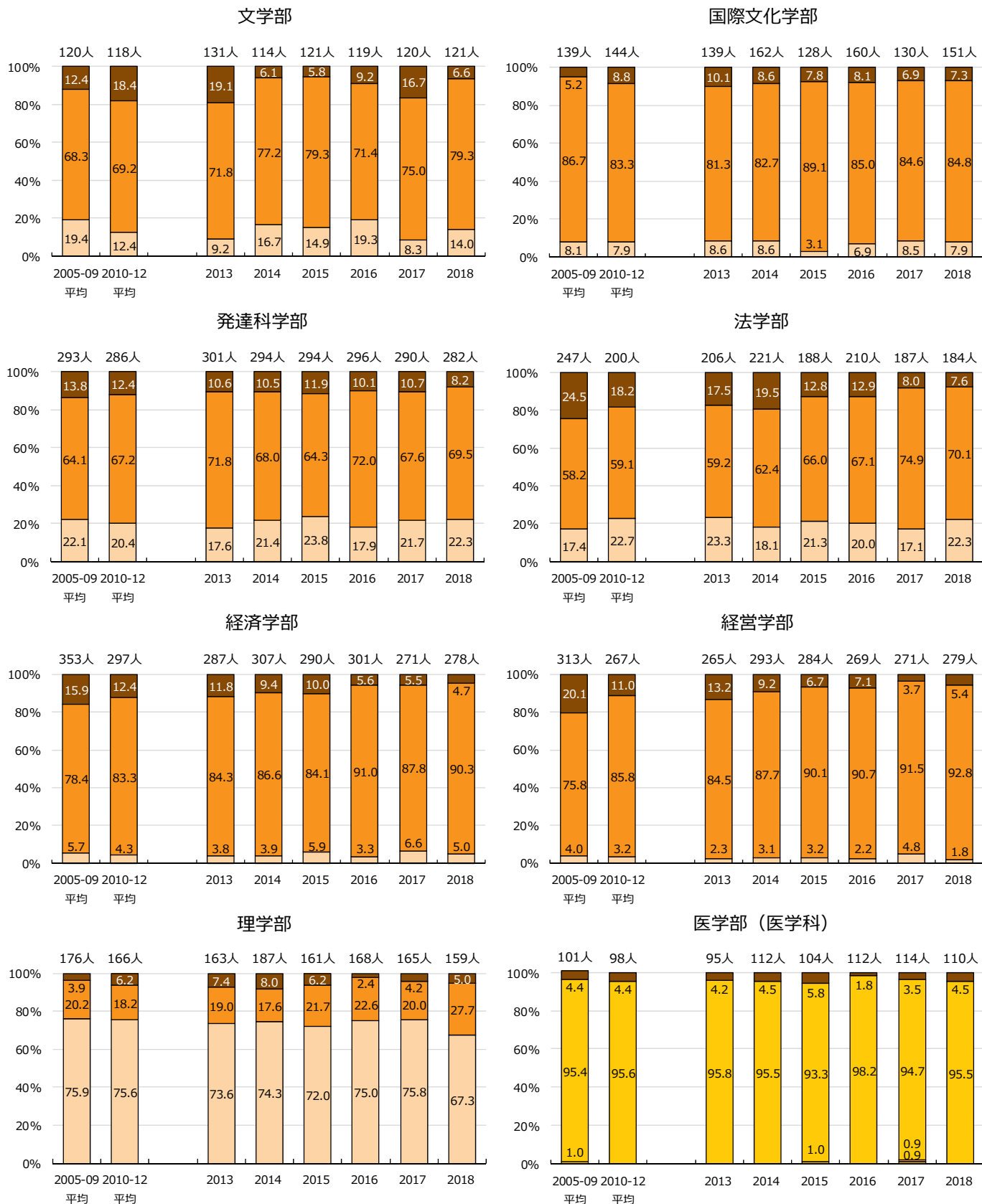
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-2 学士課程卒業生の学部別進路・就職状況

- 文科系学部においては就職する学生の割合が高く、理科系学部においては医学部を除き、進学する学生が多い。
- 2005～2009年度の平均と比較すると、国際文化学部を除き、文学部、発達科学部、法学部、経済学部、経営学部、理学部、農学部では就職者の割合が上昇し、医学部保健学科、工学部、海事科学部では進学者の割合が上昇している。

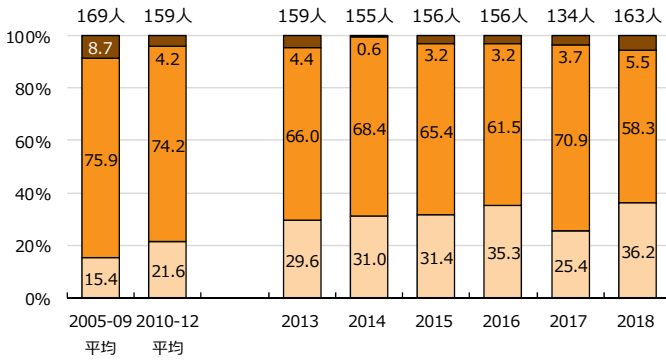
◆神戸大学◆（学士課程 卒業年度）

※2012年度以前は、第一期（2004～2009）、第二期前半（2010～2012）の平均値。

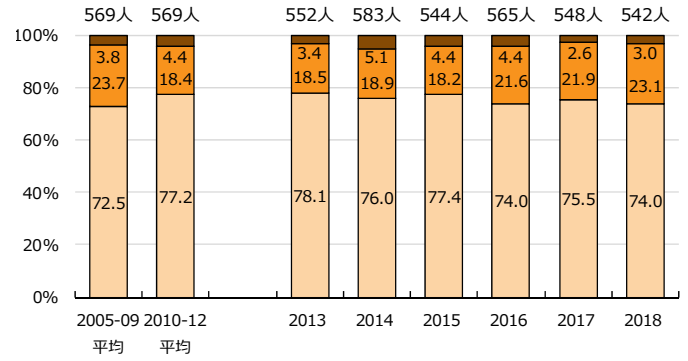


※2005-2009年平均、2015の「1.0%」は進学者、2017の「0.9%」は進学者と就職者。

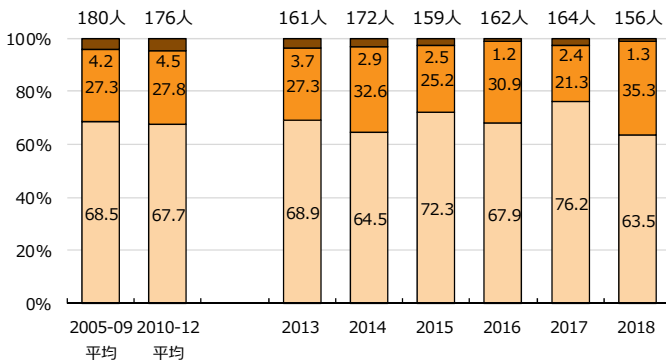
医学部（保健学科）



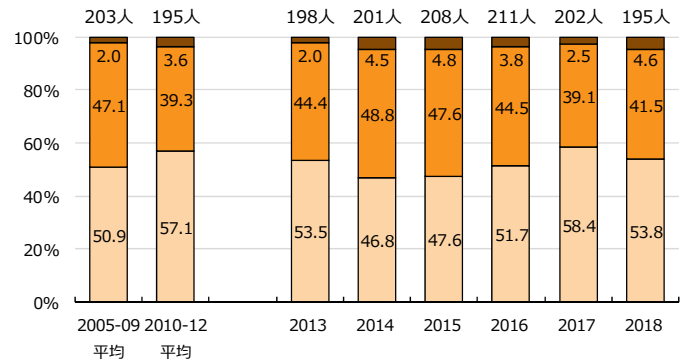
工学部



農学部



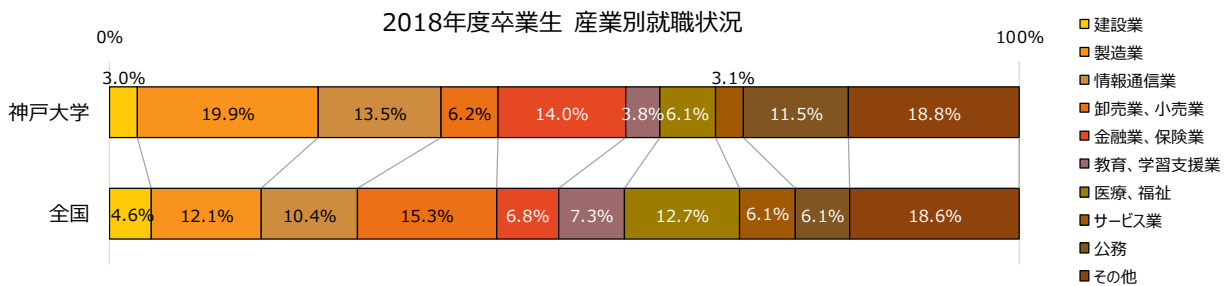
海事科学部



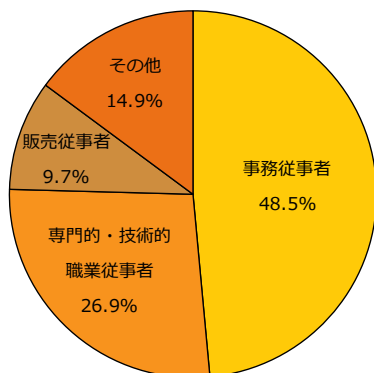
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-3 学士課程卒業生の産業別・職業別就職状況

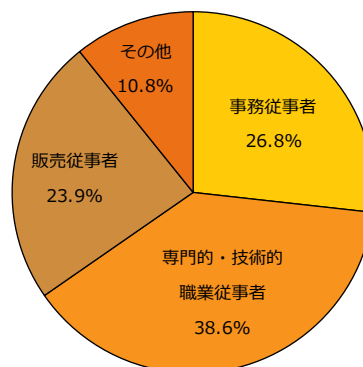
○ 全国と比較して、産業別では「製造業」、「金融業、保険業」、「公務」に、職業別では「事務従事者」にそれぞれ就職している割合が高い。



職業別（神戸大学）



職業別（全国）



出典：文部科学省 学校基本調査（2019年8月時点速報値）

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-4 修士課程・博士課程前期課程修了生の進路・就職状況

進学者
 就職者
 その他

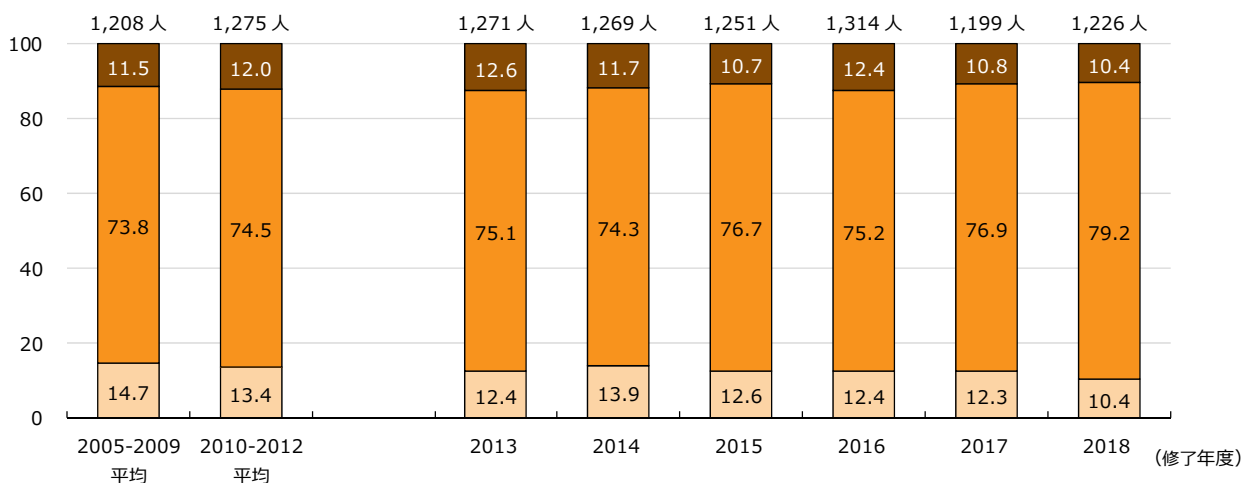
※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。

※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。

※「その他」には「一時的な仕事に就いた者」、「就職準備中の者」「進学準備中の者」を含む。

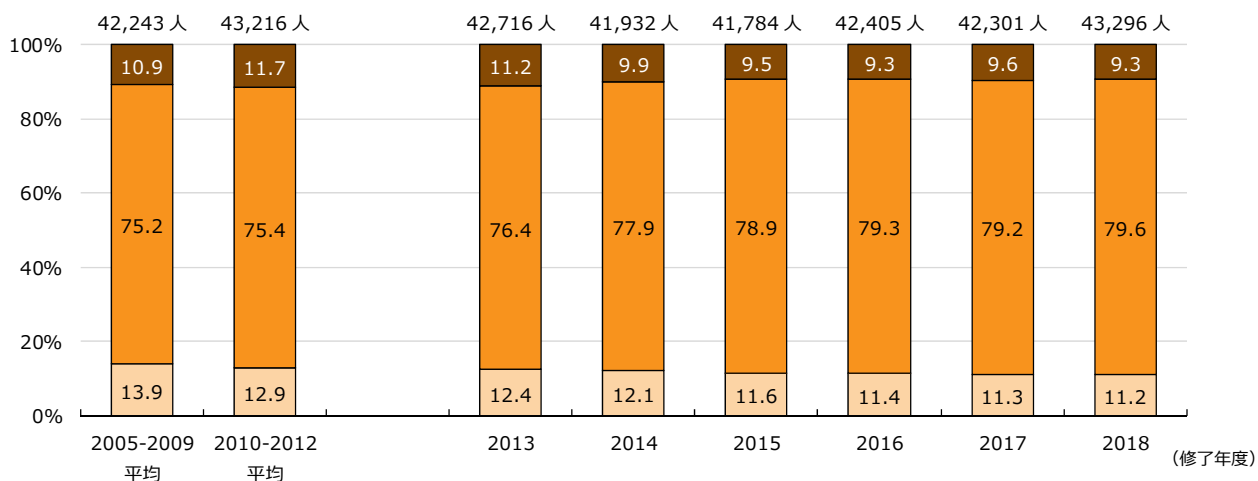
※2012年度以前は、第一期（2004～2009）、第二期前半（2010～2012）の平均値。

神戸大学

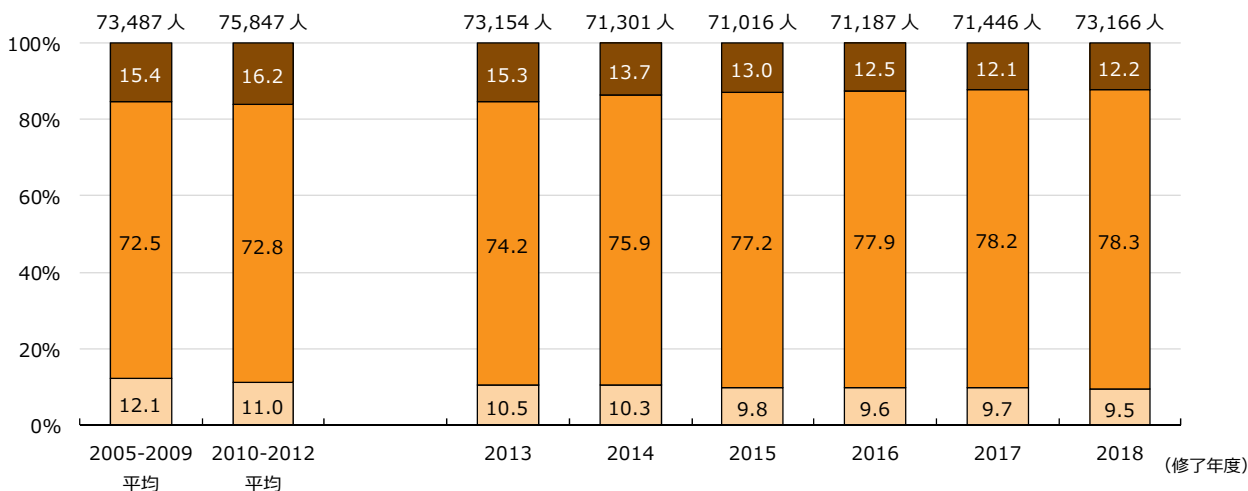


※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても含む。

国立大



全国



出典：文部科学省 学校基本調査（国立大および全国の2018年度の値は2019年8月時点の速報値）

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

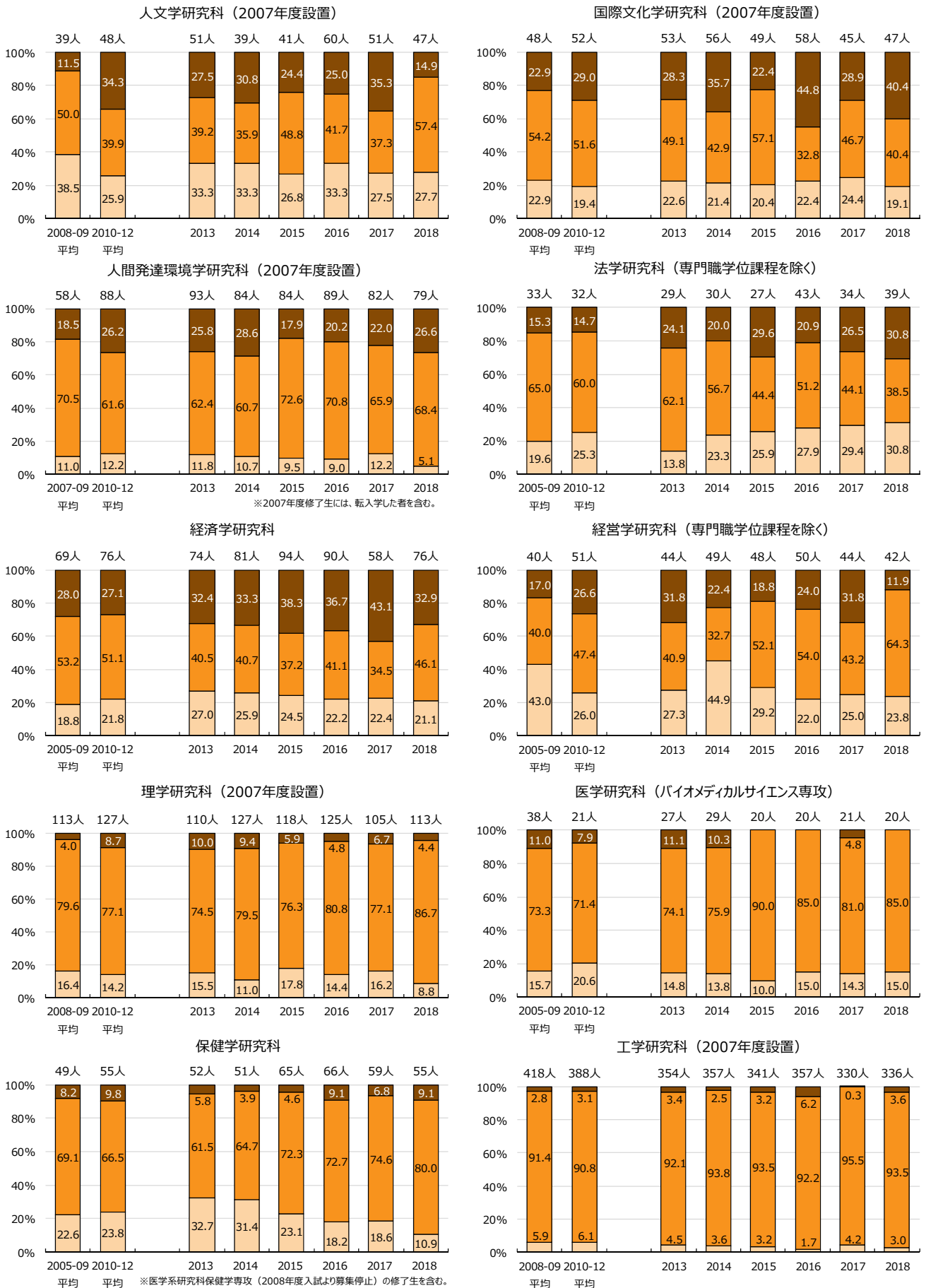
7-5 修士課程・博士課程前期課程修了生の研究科別進路・就職状況

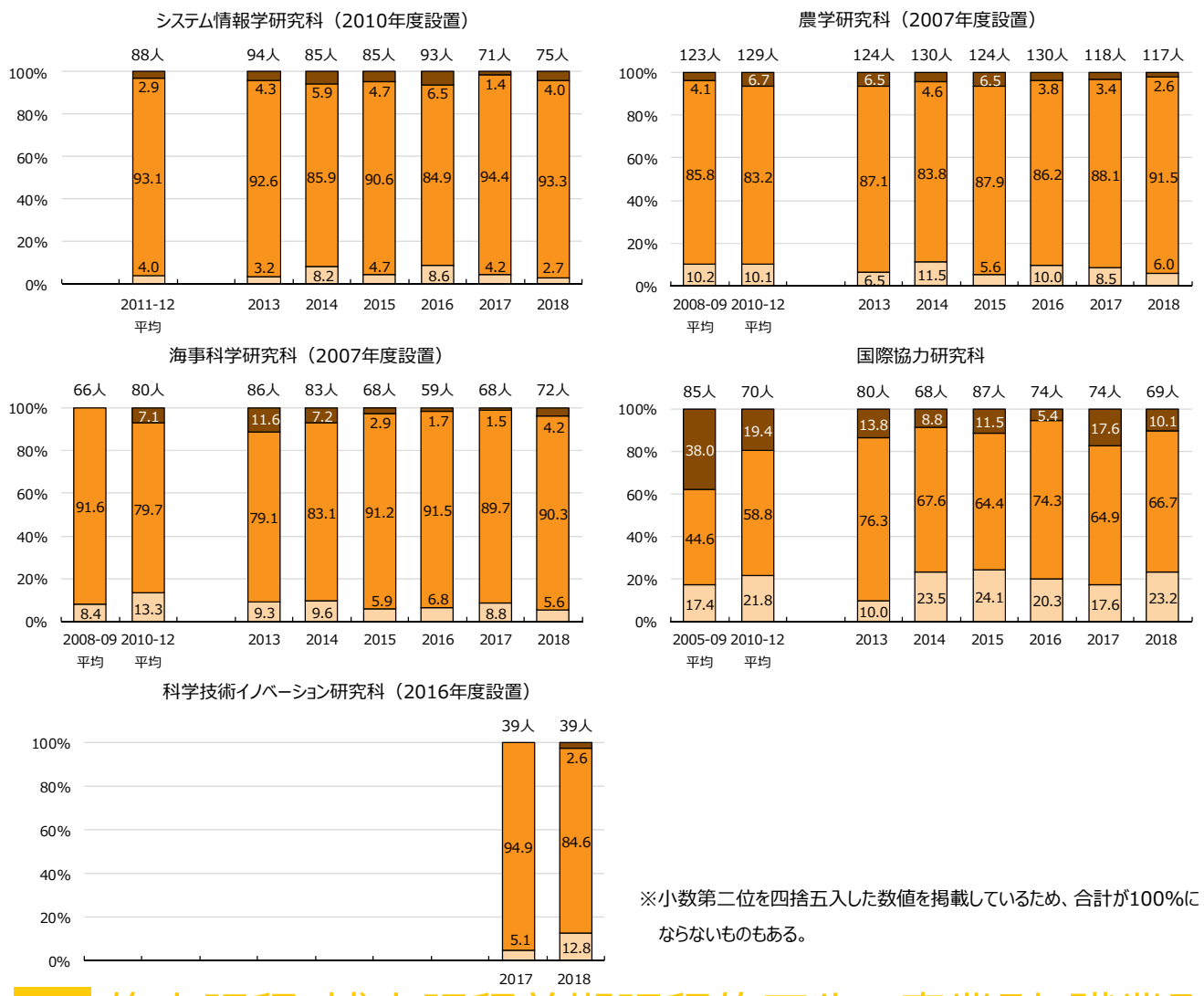
○ 文科系研究科において進学率が比較的高く、学士課程卒業生とは異なる傾向がみられる。

◆神戸大学◆（修士課程・博士課程前期課程 修了年度）

※2012年度以前は、第一期（2004～2009）、第二期前半（2010～2012）の平均値。

□ 進学者 □ 就職者 ■ その他

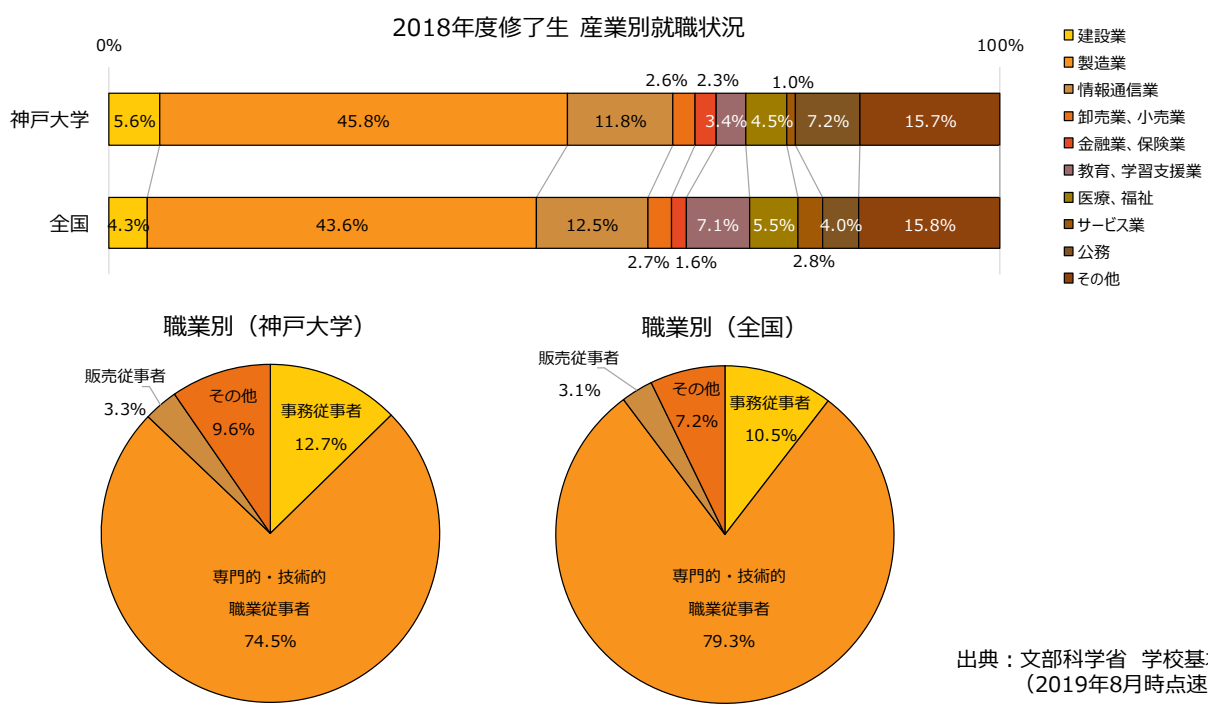




※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-6 修士課程・博士課程前期課程修了生の産業別・職業別就職状況

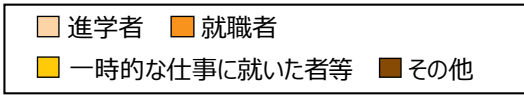
○ 産業別、職業別ともに概ね全国における傾向と同様の傾向が見られる。



出典：文部科学省 学校基本調査 (2019年8月時点速報値)

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

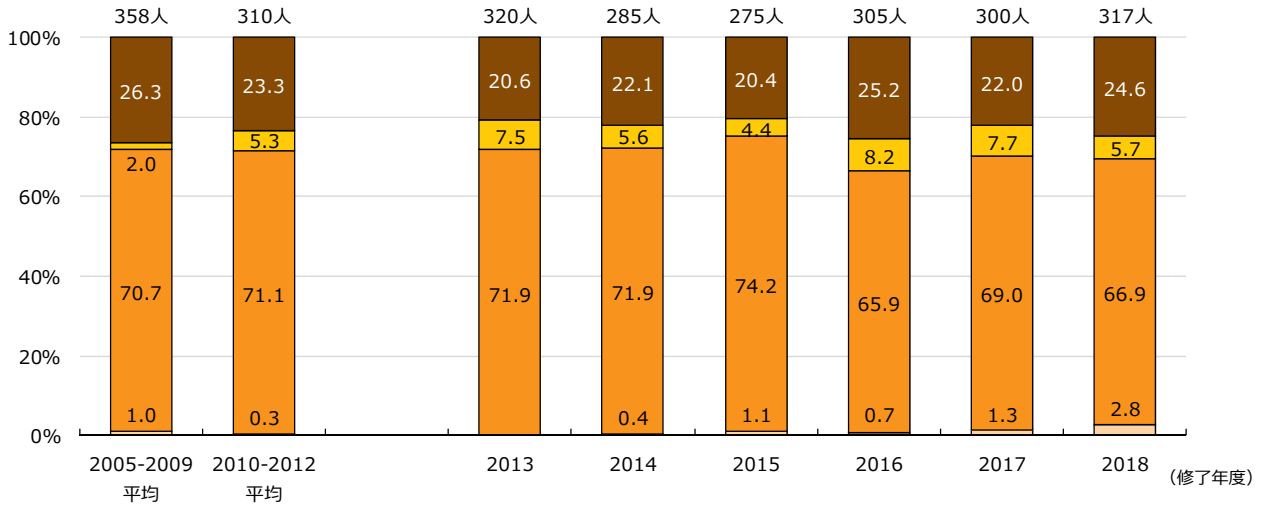
7-7 博士課程・博士課程後期課程修了生の進路・就職状況



※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。
 ※「一時的な仕事に就いた者等」には「臨床研修医」を含む。
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。
 ※「その他」には「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

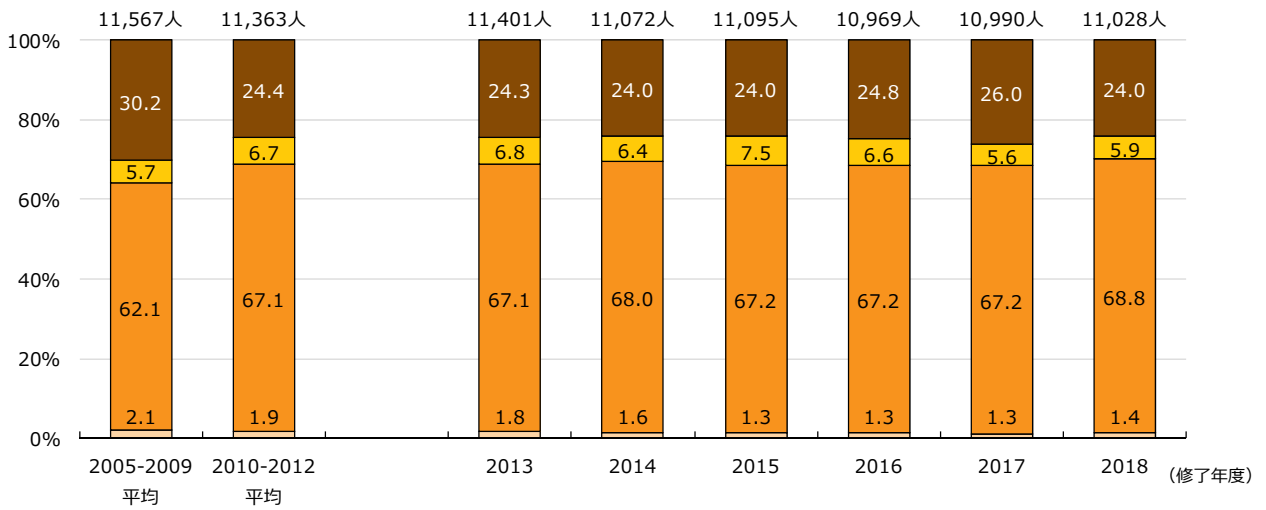
※2012年度以前は、第一期（2004～2009）、第二期前半（2010～2012）の平均値。

神戸大学

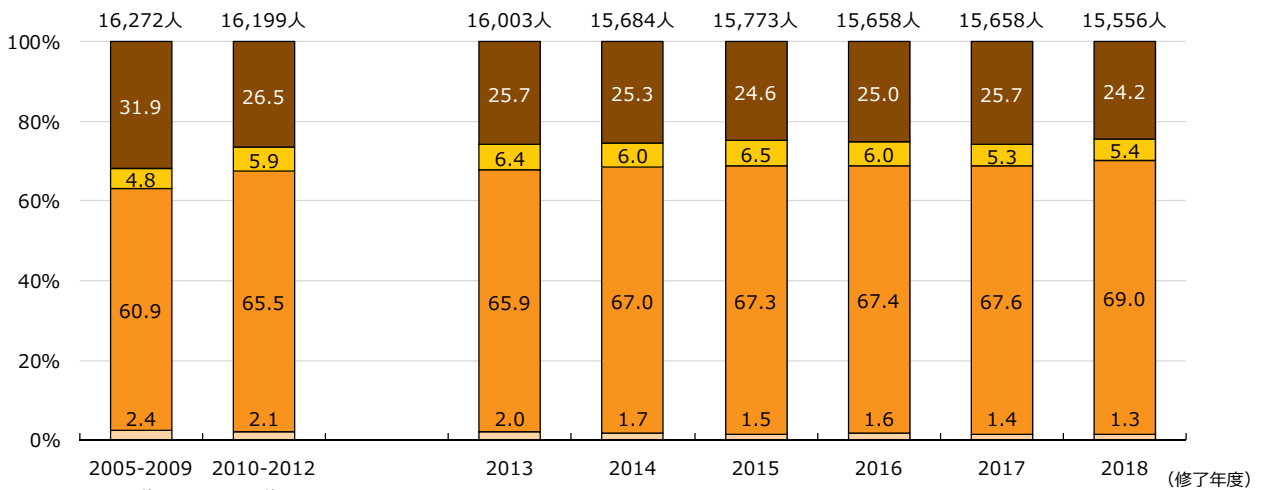


※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても計上。

国立大



全国



出典：文部科学省 学校基本調査（国立大および全国の2018年度の値は2019年8月時点の速報値）

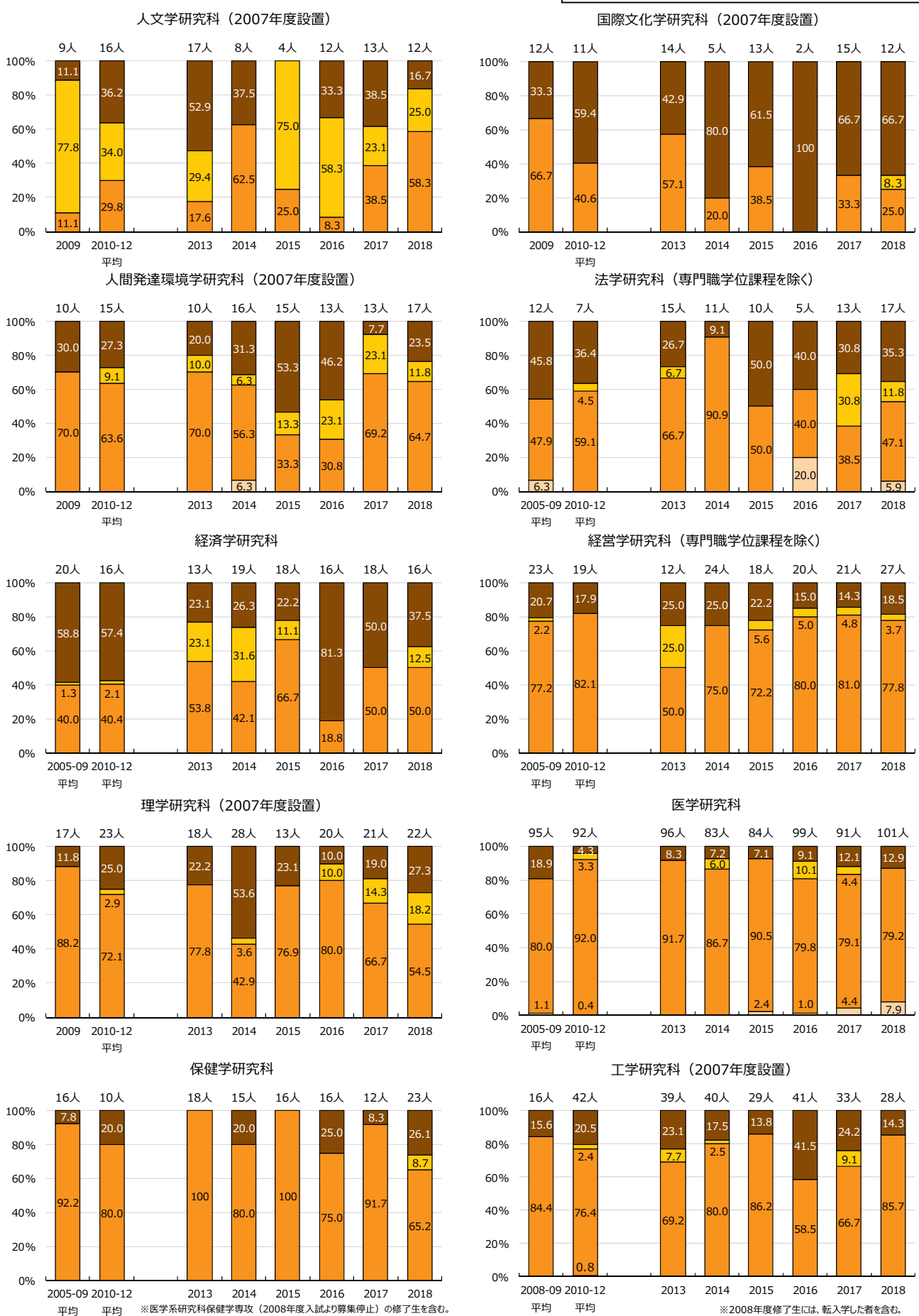
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-8 博士課程・博士課程後期課程修了生の研究科別進路・就職状況

◆神戸大学◆ (博士課程・博士課程後期課程 修了年度)

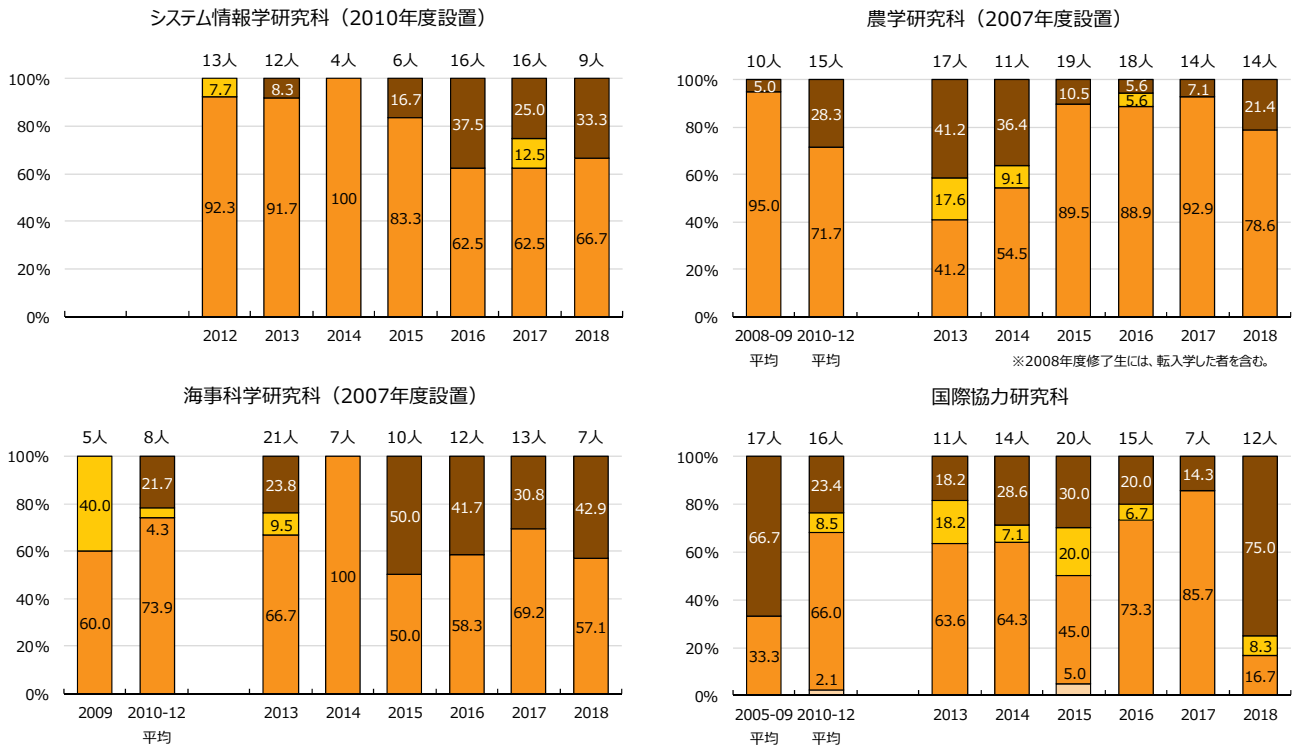
※2012年度以前は、第一期(2004~2009)、第二期前半(2010~2012)の平均値。

進学者
 就職者
 一時的な仕事に就いた者等
 その他



※医学系研究科保健学専攻(2008年度入試より募集停止)の修了生を含む。

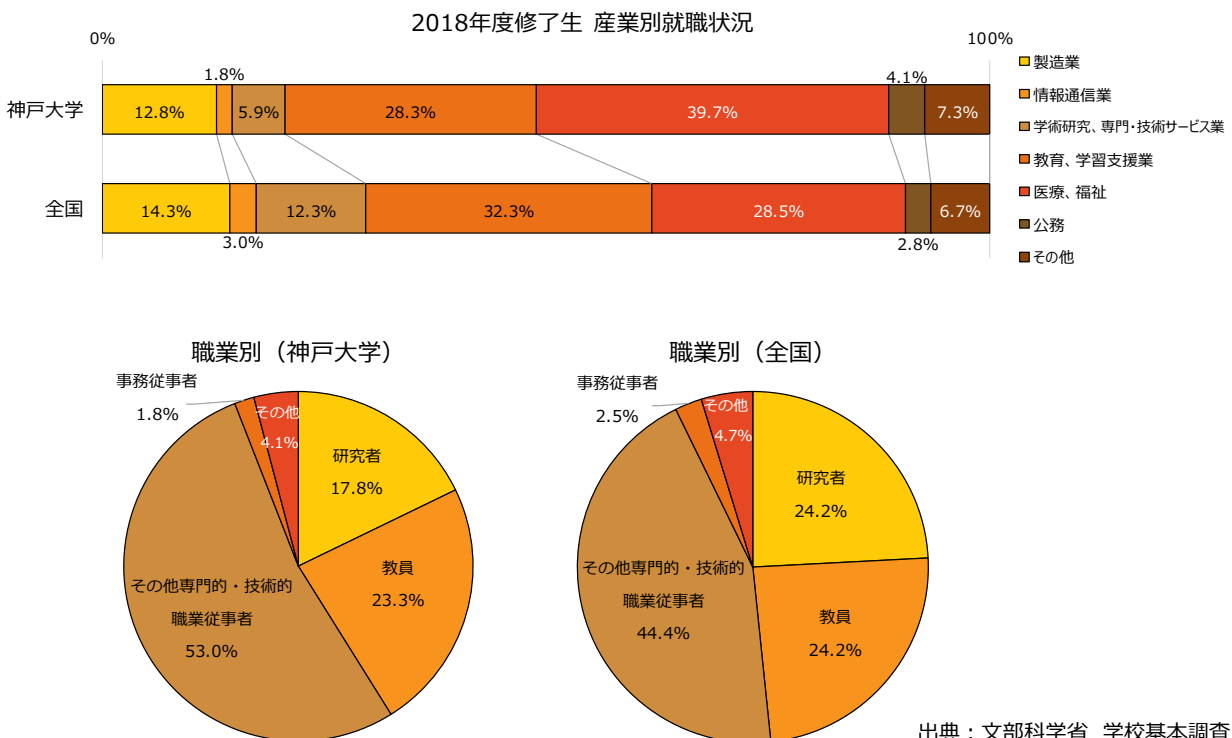
※2008年度修了生には、転入学した者を含む。



※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-9 博士課程・博士課程後期課程修了生の産業別・職業別就職状況

○ 全国と比較して、産業別では「医療・福祉」に就職している割合が高く、職業別では概ね全国における傾向と同様の傾向が見られる。



出典：文部科学省 学校基本調査 (2019年8月時点速報値)

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

8. 資格試験合格状況

8-1 司法試験合格状況

○ 毎年40人以上の司法試験合格者を安定して輩出している。

【合格率推移（上位20大学）】

順位	2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	一橋大	55.6%	79	一橋大	49.6%	63	京都大	50.0%	111	東北学院大	60.0%	3	京都大	62.7%	126
2	京都大	53.3%	128	東京大	48.1%	137	一橋大	49.6%	60	一橋大	59.5%	72	一橋大	59.8%	67
3	東京大	48.9%	149	京都大	47.3%	105	東京大	49.4%	134	京都大	59.3%	128	東京大	56.3%	134
4	神戸大	48.3%	72	慶應義塾大	44.3%	155	慶應義塾大	45.4%	144	東京大	48.0%	121	慶應義塾大	50.7%	152
5	慶應義塾大	45.5%	158	早稲田大	35.8%	152	大阪大	40.7%	66	神戸大	39.5%	51	愛知学院大	42.9%	3
6	愛知大	36.4%	8	神戸大	32.3%	41	神戸大	38.7%	55	慶應義塾大	39.2%	118	早稲田大	42.1%	106
7	中央大	35.8%	170	中央大	29.4%	136	愛知大	30.8%	4	大阪大	37.6%	50	大阪大	41.1%	46
8	早稲田大	30.8%	145	九州大	28.8%	36	早稲田大	29.4%	102	早稲田大	36.5%	110	東北大	38.5%	20
9	大阪大	29.1%	48	大阪大	26.8%	42	首都大東京	27.0%	31	九州大	33.3%	29	名古屋大	37.3%	25
10	北海道大	28.6%	42	愛知大	26.7%	4	中央大	26.2%	119	名古屋大	30.5%	29	広島大	35.9%	14
11	九州大	26.1%	40	名古屋大	25.0%	34	東北大	26.1%	18	白鷗大	28.6%	2	九州大	33.9%	20
12	東北大	25.7%	35	東北大	24.0%	23	北海道大	24.6%	29	東北大	27.3%	15	神戸大	33.8%	44
13	名古屋大	25.0%	37	北海道大	23.4%	30	名古屋大	23.7%	28	広島大	25.0%	12	東海大	28.6%	2
14	首都大東京	23.0%	26	広島大	20.3%	15	熊本大	20.0%	5	香川大	25.0%	3	中央大	28.4%	109
15	神奈川大	22.9%	8	千葉大	19.8%	17	鹿児島大	20.0%	3	中央大	23.2%	101	創価大	24.6%	16
16	大阪市立大	18.6%	22	首都大東京	19.5%	25	神戸学院大	20.0%	1	愛知大	23.1%	3	北海道大	24.0%	25
17	岡山大	18.5%	12	創価大	19.4%	13	創価大	19.4%	13	信州大	22.7%	5	筑波大	23.4%	18
18	熊本大	18.4%	7	岡山大	18.0%	11	琉球大	19.4%	6	首都大東京	22.3%	23	首都大東京	22.9%	22
19	創価大	17.9%	14	静岡大	16.7%	3	九州大	19.3%	17	岡山大	21.6%	11	大宮法科大学院大	22.2%	2
20	同志社大	17.5%	33	神戸学院大	15.4%	2	関西学院大	18.4%	18	創価大	21.3%	13	神奈川大		

【既修者・合格率推移（上位20大学）】

順位	2017年度			2018年度			2019年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	大宮法科大学院大	100.0%	1	東北学院大	100.0%	1	静岡大	100.0%	1
2	福岡大			一橋大	76.6%	59	明治学院大		
3	東京大	68.7%	103	京都大	73.8%	110	東京大	77.6%	111
4	一橋大	65.0%	52	岡山大	71.4%	5	京都大	77.2%	112
5	京都大	63.2%	96	琉球大	66.7%	2	一橋大	74.3%	52
6	熊本大	60.0%	3	東京大	66.2%	92	慶應義塾大	58.7%	128
7	慶應義塾大	58.6%	123	山梨学院大	50.0%	2	早稲田大	55.0%	83
8	大阪大	53.1%	51	熊本大	50.0%	1	大阪大	51.9%	27
9	金沢大	50.0%	4	静岡大			名古屋大	50.0%	17
10	岡山大	50.0%	4	慶應義塾大	46.7%	92	金沢大	50.0%	4
11	神奈川大			大阪大	46.2%	30	南山大	50.0%	2
12	関東学院大	50.0%	1	西南学院大	42.9%	3	信州大		
13	神戸大	45.0%	49	神戸大	42.7%	44	香川大	50.0%	1
14	早稲田大	35.5%	76	九州大	42.6%	20	獨協大		
15	東北大	34.9%	15	早稲田大	41.5%	80	九州大	47.2%	17
16	創価大	33.3%	5	京都産業大	36.4%	4	東北大	44.7%	17
17	名古屋大	32.1%	17	名古屋大	34.1%	15	創価大	43.8%	7
18	北海道大	31.0%	22	信州大	33.3%	1	愛知学院大	42.9%	3
19	首都大東京	30.9%	29	南山学院大	30.0%	3	広島大	41.2%	7
20	中央大	29.5%	100	東北大	29.0%	9	筑波大	37.5%	6
(21)							神戸大	35.6%	37

【未修者・合格率推移（上位20大学）】

順位	2017年度			2018年度			2019年度		
	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者	大学名	合格率	合格者
1	愛知大	36.4%	4	東北学院大	50.0%	2	一橋大	35.7%	15
2	東京大	25.6%	31	白鷗大	33.3%	1	広島大	31.8%	7
3	神戸学院大	25.0%	1	香川大	30.0%	3	大阪大	31.7%	19
4	大阪大	22.7%	15	一橋大	29.5%	13	慶應義塾大	29.3%	24
5	京都大	21.4%	15	大阪大	29.4%	20	関西大	27.8%	5
6	琉球大	20.0%	6	広島大	29.4%	10	神戸大	26.9%	7
7	鹿児島大	20.0%	3	早稲田大	27.8%	30	京都大	25.0%	14
8	慶應義塾大	19.6%	21	名古屋大	27.5%	14	愛知大	25.0%	2
9	早稲田大	19.5%	26	愛知大	27.3%	3	神奈川大		
10	一橋大	19.5%	8	神戸大	26.9%	7	東海大	25.0%	1
11	神戸大	18.2%	6	法政大			名古屋大	24.2%	8
12	名古屋大	16.9%	11	京都大	26.9%	18	東京大	24.2%	23
13	中央大	16.4%	19	東京大	25.7%	29	中京大	23.1%	3
14	創価大	15.4%	8	慶應義塾大	25.0%	26	早稲田大	22.8%	23
15	千葉大	15.4%	4	大阪市立大	25.0%	8	大宮法科大学院大	22.2%	2
16	島根大	15.4%	2	東北大	25.0%	6	東北大	21.4%	3
17	同志社大	15.2%	7	九州大	22.5%	9	関西学院大	20.5%	8
18	北海道大	14.9%	7	信州大	21.1%	4	筑波大	19.7%	12
19	大阪市立大	14.6%	6	創価大	20.8%	10	千葉大	19.0%	4
20	大阪学院大	14.3%	2	学習院大	20.8%	5	首都大東京	18.8%	3
	愛知学院大	14.3%	1						

出典：法務省ホームページ「司法試験の結果について」

※ このランキングは法科大学院卒業生のみを対象とし、予備試験合格者については含めていない。

8-2 各種資格試験・採用試験合格状況

○ 各種資格試験・採用試験において、安定して合格者を輩出している。

国家公務員総合職			国家公務員一般職			弁理士			公認会計士		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者
1 (1)	東京大	329	1 (1)	岡山大	270	1 (1)	東京大	36	1	慶應義塾大	144
2 (2)	京都大	151	2	中央大	213	2 (2)	京都大	29	2	早稲田大	115
3	早稲田大	111	3	明治大	207	3 (3)	大阪大	16	3	中央大、明治大	77
4 (3)	東北大、 慶応義塾大	82	4	立命館大、 早稲田大	176	4 (4)	北海道大、 慶応義塾大	11	5 (1)	東京大	43
6 (4)	北海道大	67	6 (2)	琉球大	164	6 (5)	東京工業大	10	6 (2)	京都大、立命館大	39
7 (5)	大阪大	55	7	同志社大	159	7	早稲田大	9	8 (3)	一橋大	37
8	中央大	50	8 (3)	東北大	153	8 (6)	筑波大、東北大、 横浜国立大、 東京理科大	6	9	関西学院大	34
9 (6)	神戸大	48	9 (4)	広島大、日本大	149				10	立教大	32
10 (7)	岡山大	45	11 (5)	金沢大	147				-	神戸大	17
			12 (6)	北海道大	140				12 (9)	神戸大	5
			13 (7)	神戸大	136						
13.0 (9.0)	神戸大 過去三カ年平均	41.0	10.7 (5.0)	神戸大 過去三カ年平均	144.7	17.0 (11.0)	神戸大 過去三カ年平均	4.0	9.5 (3.0)	神戸大 過去二カ年平均	27.5

一級建築士			技術士			医師国家試験			看護師		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格率	順位	大学名	合格者
1	日本大	209	1 (1)	京都大	142	1	自治医科大学	99.2%	1	東京医療保健大 [東が丘・立川看護]	214
2	東京理科大	117	2 (2)	九州大、 北海道大、日本大	121	2	横浜市立大	97.7%	2	順天堂大[医療看護]	192
3	芝浦工業大	100				3	兵庫医科大学	97.5%	3	聖隷クリストファー大	160
4	早稲田大	96	5 (4)	東京大	115	4	順天堂大	96.9%	4	日本赤十字広島看護大	144
5	近畿大	77	6 (5)	東北大	108	5	慶応義塾大	96.6%	5	日本赤十字豊田看護大	143
6	明治大	75	7	早稲田大	90	6	杏林大、東京医科大	96.4%	6	大阪府立大、 帝京大[医療技術]、 日本赤十字看護大、 大和大	142
7 (1)	神戸大	70	8 (6)	東京工業大	85	8	東邦大	96.3%			
8 (2)	千葉大	66	9 (7)	大阪大	76	9 (1)	金沢大、浜松医科大	96.0%			
9	工学院大学	58	10 (8)	名古屋大、東京理科大	61		：				
10	東京都市大	54		：		42 (20)	神戸大、他2大学	91.4%	10	広島文化学園大	137
			20 (13)	神戸大、他3大学	42						
									119 (1)	千葉大、名古屋大、他3大学	83
									210 (33)	神戸大	56
8.0 (1.7)	神戸大 過去三カ年平均	62.3	14.7 (10.7)	神戸大 過去三カ年平均	54.7	50.3 (28.0)	神戸大 過去三カ年平均	89.9%	150.3 (15.3)	神戸大 過去三カ年平均	71.7

臨床検査技師			作業療法士			理学療法士		
順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者	順位	大学名	合格者
1	熊本保健科学大	105	1	国際医療福祉大 [保健医療]	87	1	帝京科学大	136
2	藤田医科大	100				2	北海道文教大	97
3	北里大[医療衛生]	97	2	帝京平成大 [健康メディカル]	61	3	国際医療福祉大 [保健医療]	95
4	神戸常盤大	95				4	藍野大	91
5	岐阜医療科学大	94	3	健康科学大、目白大	54	5	国際医療福祉大 [福岡保健医療]	87
6	杏林大	90	5	川崎医療福祉大	52	6	目白大	85
7	国際医療福祉大	85	6	東北福祉大、 東北文化学園大、 藤田医科大、 北海道文教大	47	7	新潟医療福祉大	84
8	文京学院大	81				8	文京学院大	82
9	麻布大	76				9	了徳寺大	80
10	帝京大	72				10	健康科学大	78
	：			：				
19 (1)	金沢大	44	10	国際医療福祉大 [福岡保健医療]	45			
	：			：				
33 (10)	神戸大	38	39 (1)	広島大	28	75 (1)	広島大	30
				：			：	
			66 (11)	神戸大	14	84 (4)	神戸大、他4大学	19
29.0 (8.7)	神戸大 過去三カ年平均	37.7	60.7 (8.3)	神戸大 過去三カ年平均	16.7	82.3 (6.0)	神戸大 過去三カ年平均	19.0

※合格者数は(人)
カッコ内は国立大学内の順位

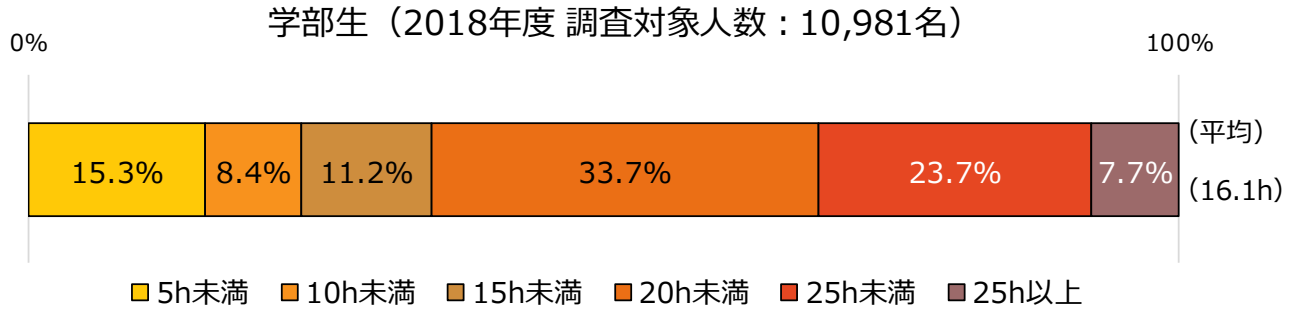
出典：朝日新聞出版
「大学ランキング2020年版」より作成。
※データは2018年の数値、過去三カ年平均値は2016～2018年の平均値
(公認会計士のみ2016～2017年の平均値、2018年度は大学独自調べ)

9. 学生生活状況

9-1 学部学生の学修時間等について

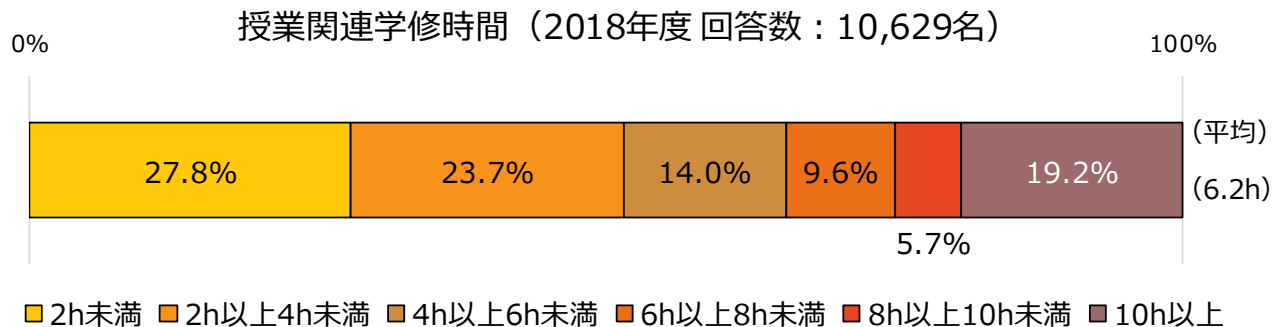
◆学部学生の1週間あたりの授業時間

○ 1週間に15時間以上の授業を受けている学生が、65.1%と半数以上を占めている。

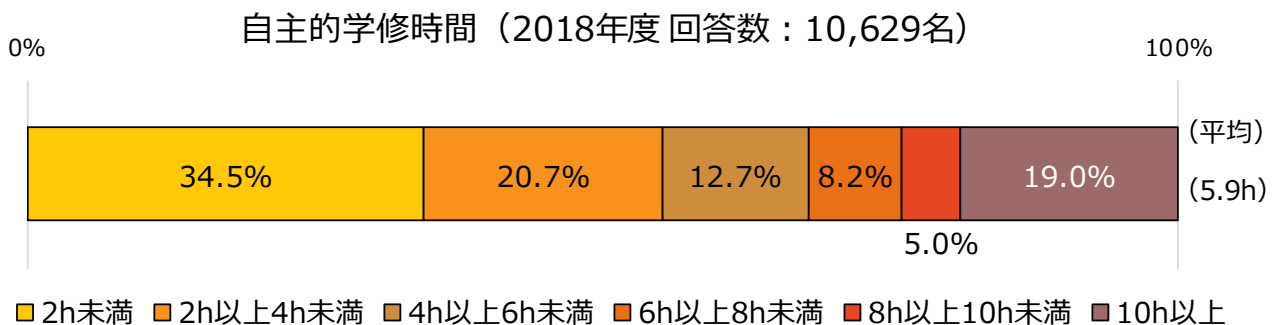


◆学部学生の1週間あたりの授業関連学修時間と自主的学修時間

○ 1週間に授業関連の学修をする時間が6時間以上である学生が34.5%、自主的学修をする時間が6時間以上である学生は、32.2%となっている。



授業関連学修時間… 履修している授業に関連した学修や、ゼミ・卒業論文・卒業研究等に関する学修
 （授業の予習・復習、課題やレポートの作成、定期試験の準備、資料検索、実験準備、実験実施、発表準備、論文執筆等）



自主的学修時間… 授業関係時間以外で、自主的に行った学修
 （資格試験学習、語学学習、大学院試験対策、就職試験対策、フィールドワーク、インターンシップ、ボランティア、セミナー、クラブ・サークル活動、教養のための読書等）

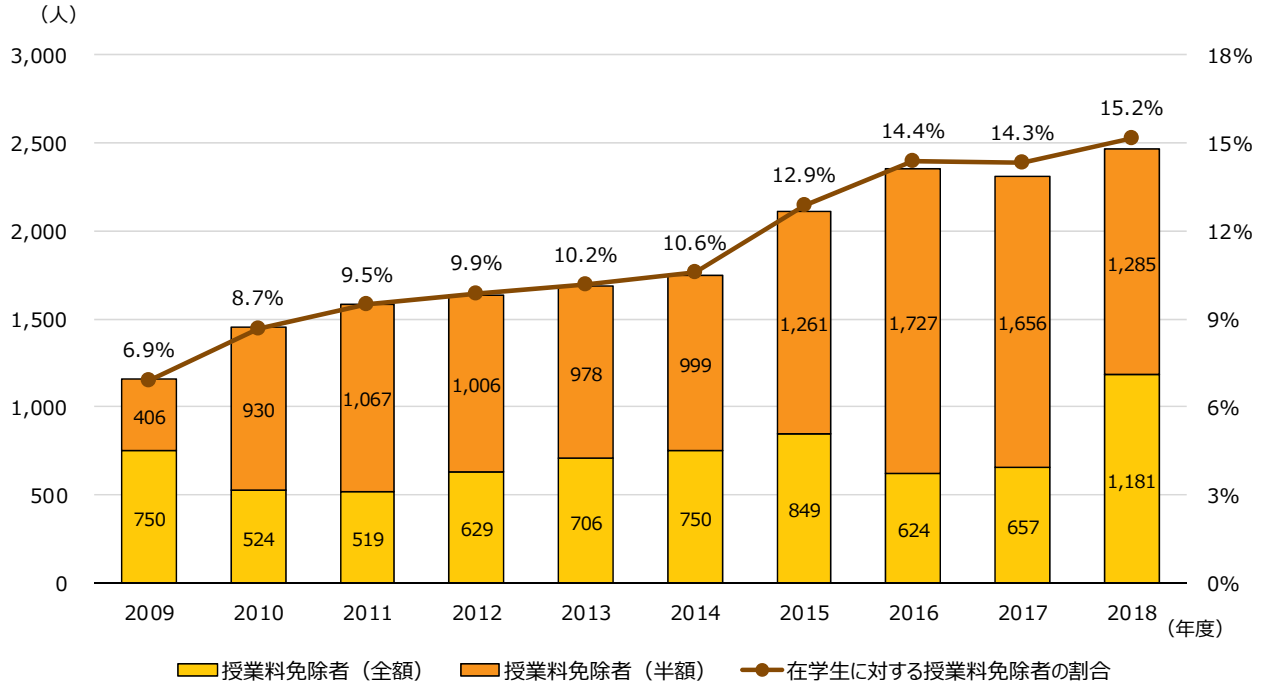
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならない。

出典：神戸大学「学修の記録」全学集計結果

9-2 経済支援について

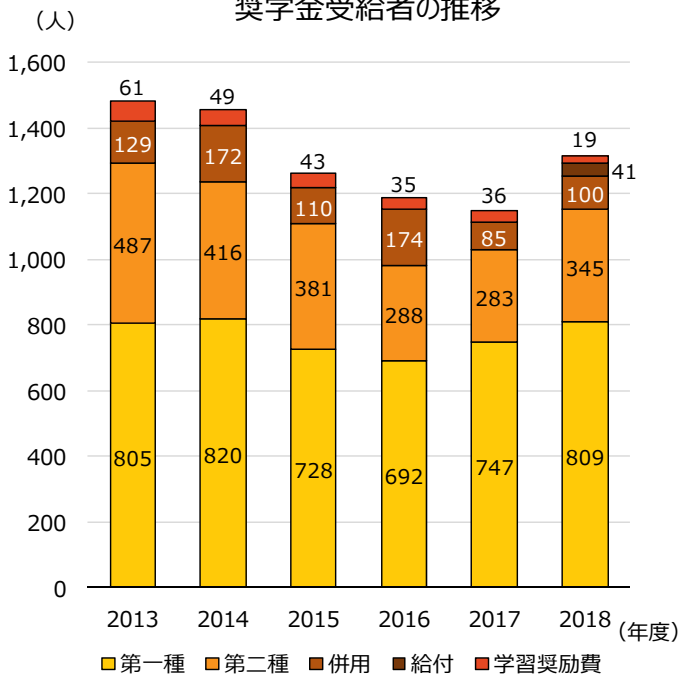
- 授業料の全額免除枠を拡大し、在学生に対する免除者の割合は15%超となっている。
- 日本学生支援機構の奨学金の受給者は増加している。また、日本学生支援機構以外の奨学金の受給者は減少している。

授業料免除者とその割合

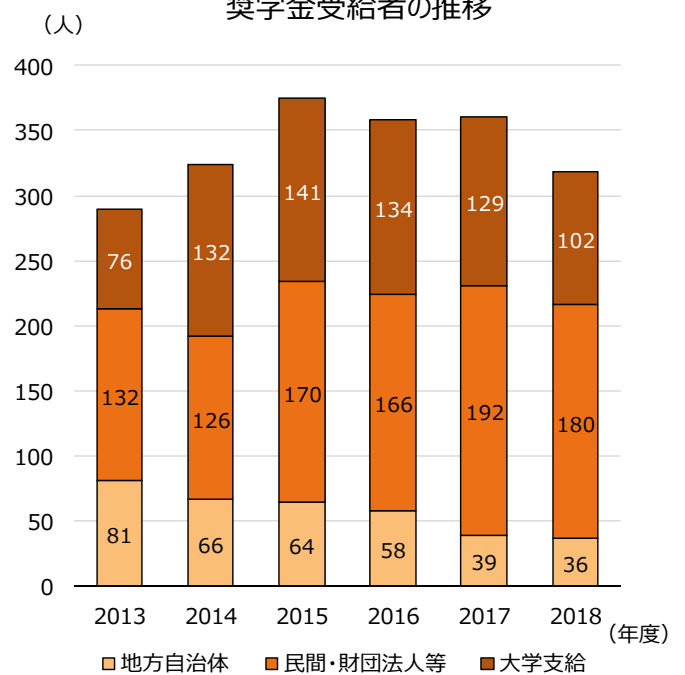


※授業料免除者については、前後期の平均値

日本学生支援機構の奨学金受給者の推移



日本学生支援機構以外の奨学金受給者の推移



※日本学生支援機構の内訳

第一種：第一種（無利息）のみ受給している学生

第二種：第二種（利息付）のみ受給している学生

併用：第一種、第二種併用して受給している学生

給付：給付型のみ受給している学生（2018年度から開始）

学習奨励費：学習奨励費（私費外国人学生対象の給与型奨学金）を受給している学生

10. 国際的な研究論文

10-1 インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング

- 本学の2008年1月から2018年12月の約11年間における高被引用論文数は、国内で14位、大学に限ると11位となっている。
- 20位以内にランクインした国立大学は、すべて国立大学法人運営費交付金の支援枠の重点支援3（卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装を推進する大学:16大学）の枠組みであった。
- ただし、データ元の「Web of Science™」（以下、WoS）は自然科学・生命医学系の学術論文を中心に収録しているデータベースであることに留意が必要である。（「10.国際的な研究論文」全体の項目について）

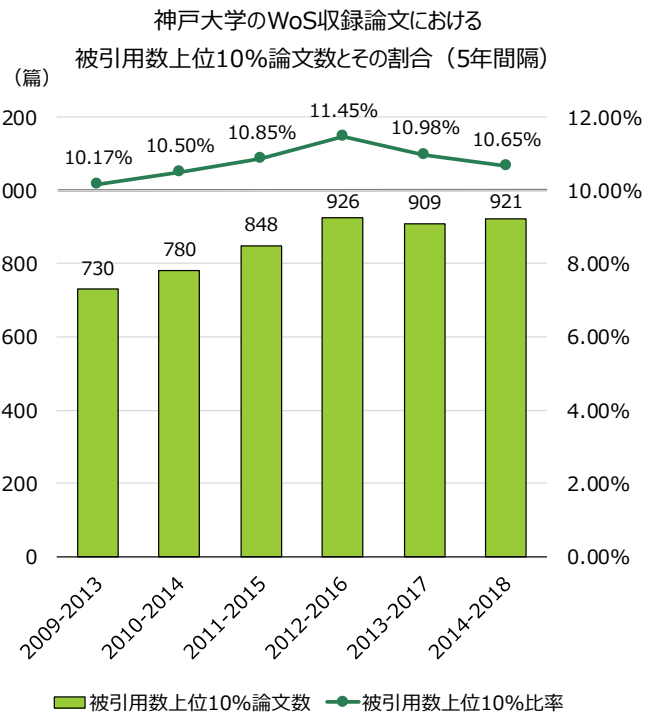
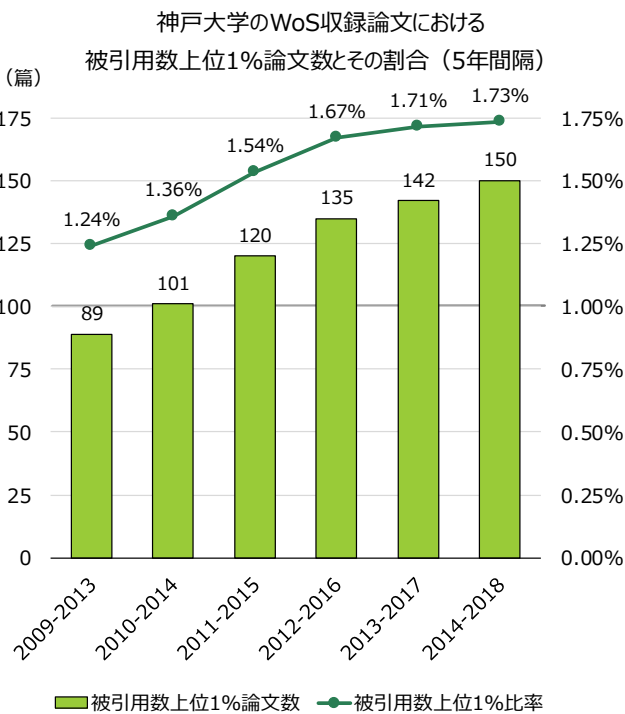
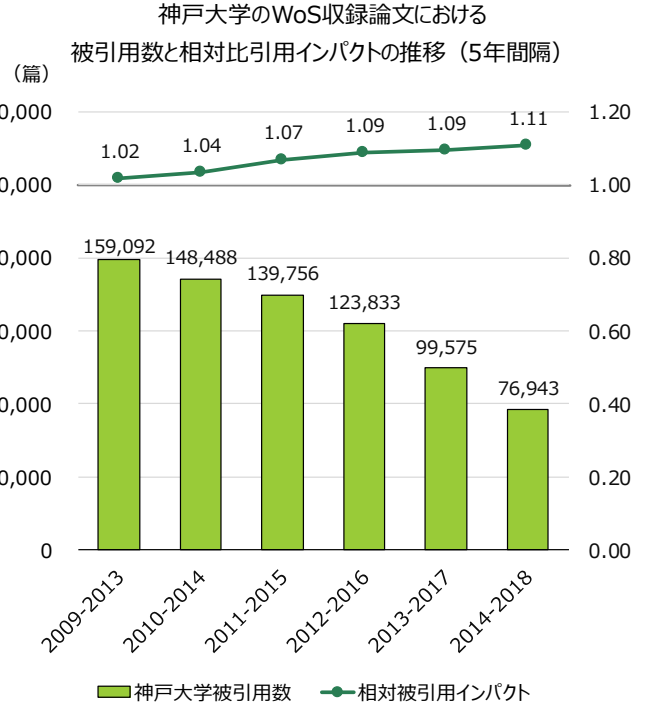
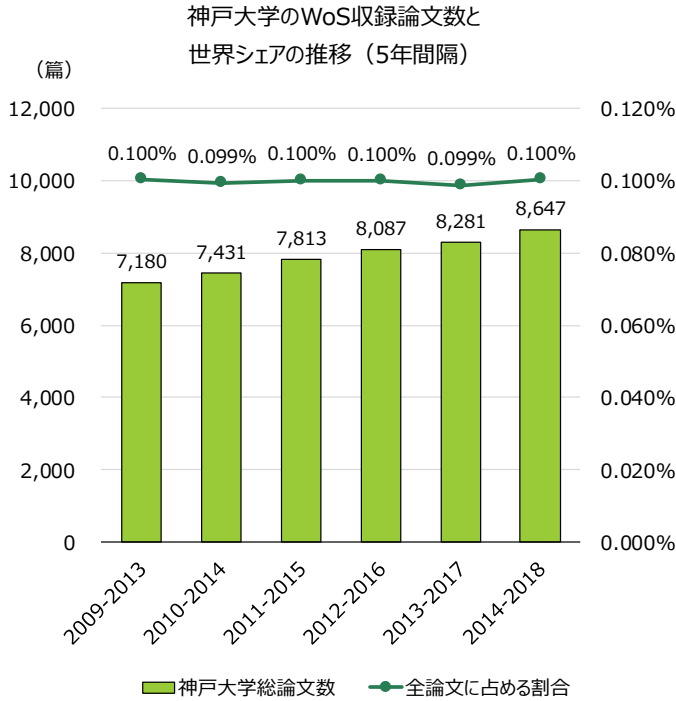
順位	機関名	高被引用論文数	当該大学の論文数に占める割合
1	東京大学	1,474	1.7%
2	京都大学	918	1.4%
3	国立研究開発法人 理化学研究所	707	2.6%
4	大阪大学	584	1.2%
5	東北大学	528	1.1%
6	名古屋大学	464	1.3%
7	九州大学	362	1.0%
8	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	337	2.3%
9	東京工業大学	334	1.3%
10	筑波大学	294	1.3%
11	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	291	1.1%
12	北海道大学	268	0.8%
13	岡山大学	239	1.5%
14	神戸大学	219	1.3%
15	慶應義塾大学	203	1.0%
16	広島大学	201	1.1%
17	早稲田大学	193	1.5%
18	国立研究開発法人 国立がん研究センター	190	2.7%
19	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構	184	1.5%
20	大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構	179	2.8%

出典：クラリベイト・アナリティクス社プレスリリース「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング」

※当データは、同社が提供する学術文献データベース「Web of Science™」の収録レコードをもとにした引用動向の統計データベース「Essential Science Indicators™」に収録されている世界の研究機関情報から、同データベースの22研究分野において被引用数が上位1%の高被引用論文を集計し、ランキング化したものである。

10-2 論文の量と質についての比較 — 推移 —

- 総論文数は増加傾向にあり、世界シェアは0.1%前後を維持している。
- 被引用数は、過去の論文であるほど増えるため傾向を一概には読み取れないが、被引用数上位1%論文数は増加傾向にあり、本学の総論文数における割合も最新の比較では世界平均を0.73%ポイント上回っている。



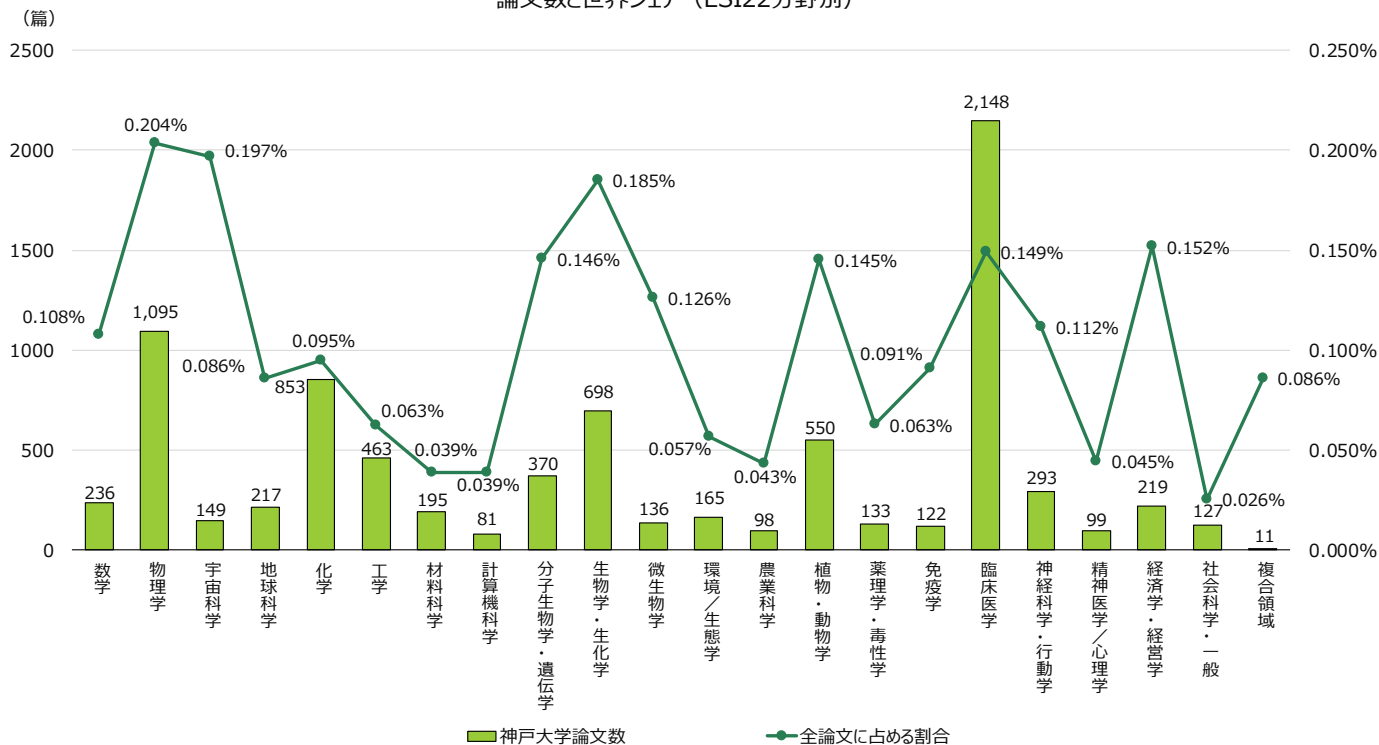
出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ (Article, Review) のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、本データは2019年7月31日現在の数値である。

○相対被引用インパクト：各分野における1論文あたりの被引用数を世界平均1.0とした場合の相対的な割合を示す数値。

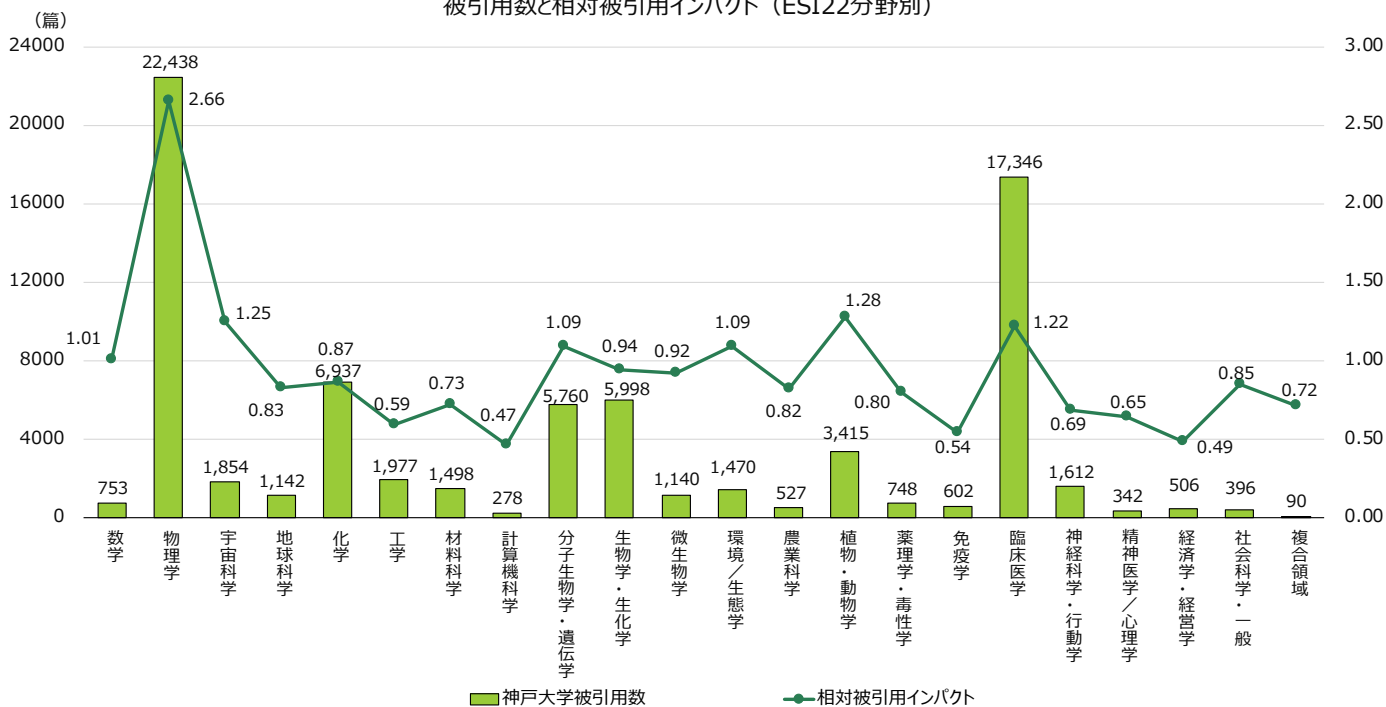
10-3 論文の量と質についての比較 — ESI22分野別 —

- InCites™を用いて、本学の研究をESI22分野別に比較した結果である。
- 相対被引用インパクトが世界平均1.0を超える分野は学術的影響力の高い研究成果が生まれていることを示している。

論文数と世界シェア (ESI22分野別)



被引用数と相対被引用インパクト (ESI22分野別)

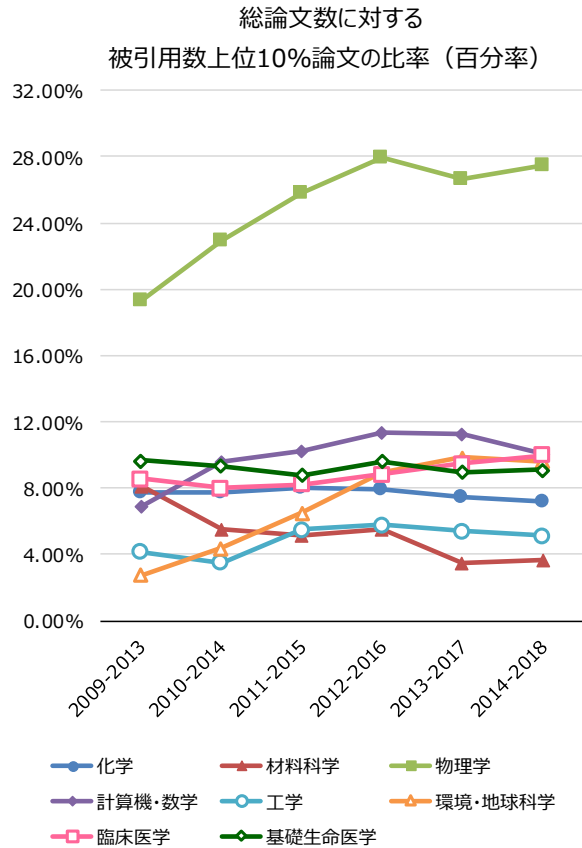
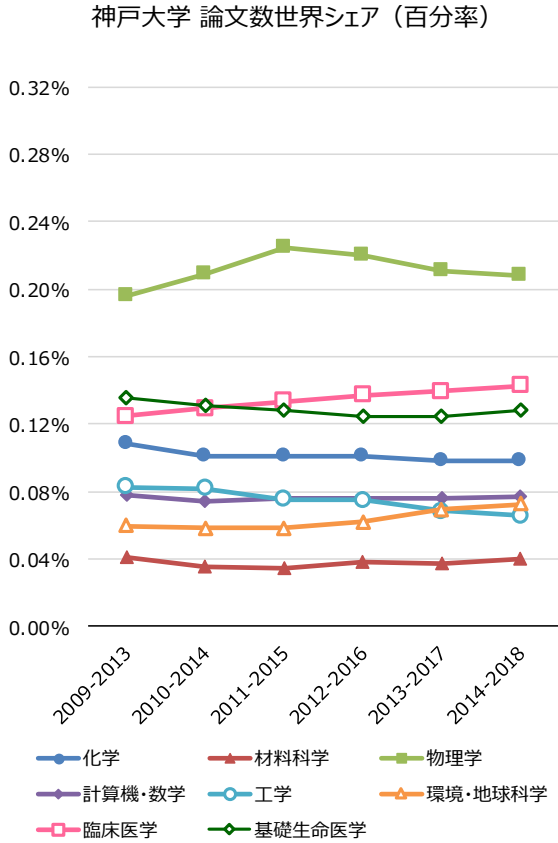


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2014～2018年の2つのドキュメントタイプ (Article, Review) の論文について、「Essential Science Indicators™」の22分野別でデータを分析した。なお、本データは2019年7月31日現在の数値である。

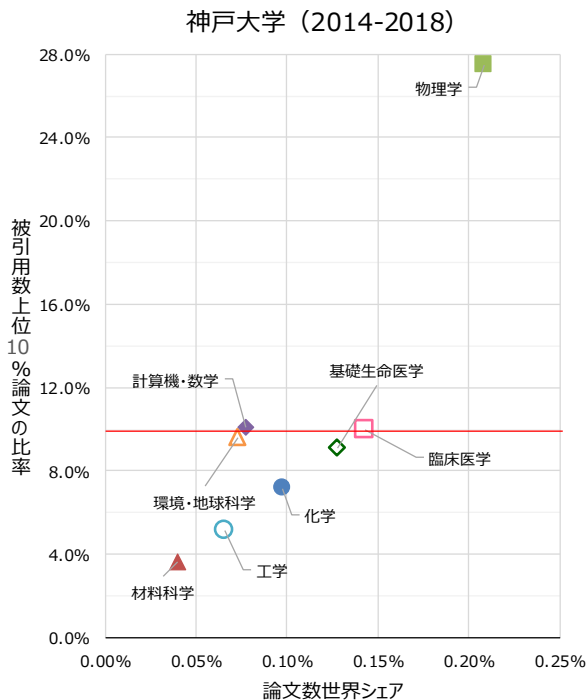
10-4 論文の量と質についての比較 – NS 8 分野別 –

○ 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）が定義した研究ポートフォリオ8分野別に、本学の論文を分析した結果である。本学では、物理学分野が突出していることがわかる。

◆ 推移（2009-2018年、5年間隔）



◆ マッピング

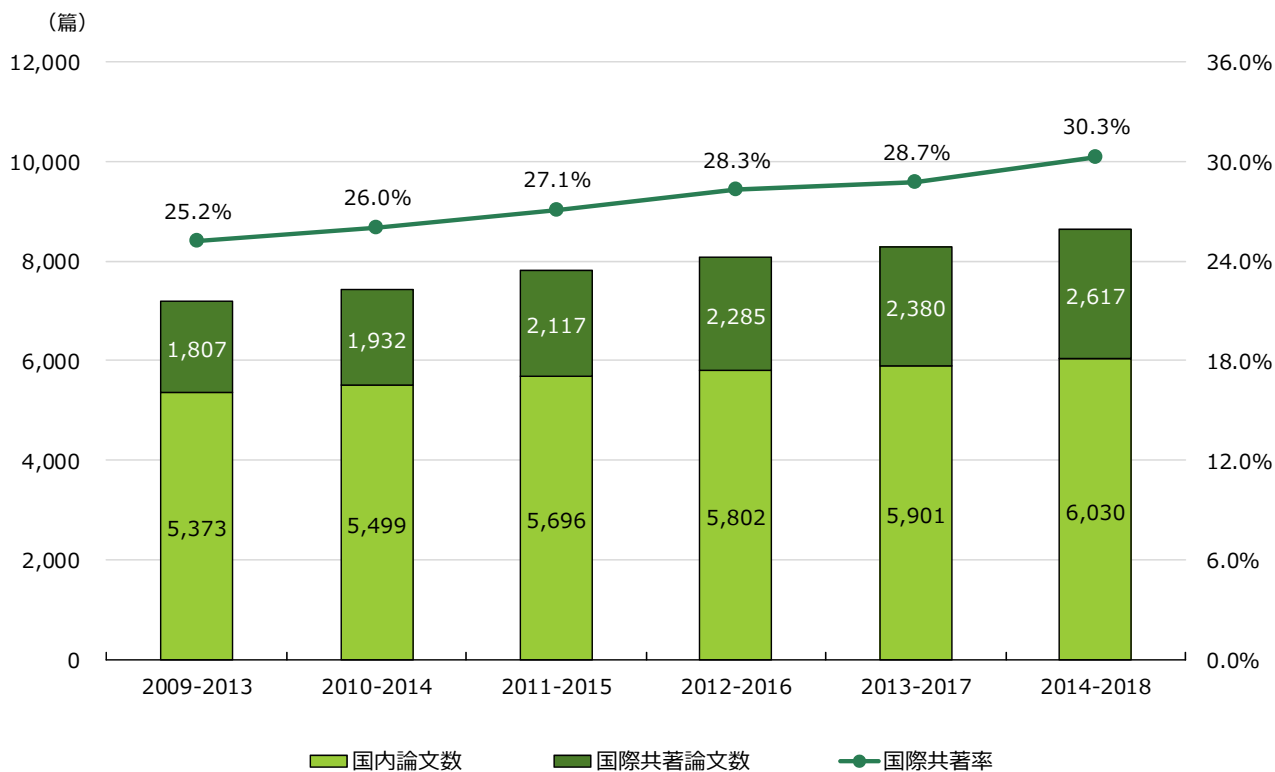


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2つのドキュメントタイプ（Article, Review）の論文について、科学技術・学術政策研究所「研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2015」において用いられていた「研究ポートフォリオ8分野（ESI22分野のうち19分野を再分類したもの）」別にデータを分析した。共著論文のカウント方法は整数カウント法である。また、本データは2019年7月31日現在の数値である。

10-5 論文の量と質についての比較 — 国際共著 —

○ 本学の国際共著論文数・国際共著率はともに増加傾向にある。分野別で見ると、物理学や天文学が特に高く、その他幅広い分野で積極的に国際連携して研究を行っていることがわかる。

◆神戸大学の国際共著論文数の推移（5年毎の合計値）



◆神戸大学の国際共著論文の多い分野（2014-2018年の合計）

分野名 (Web of Science252分野)	国際共著論文数	国際共著率
PHYSICS, PARTICLES & FIELDS (物理学、粒子、界)	578	90.2%
ASTRONOMY & ASTROPHYSICS (天文学、宇宙物理学)	311	73.3%
BIOCHEMISTRY & MOLECULAR BIOLOGY (生化学、分子生物学)	125	24.3%
PHYSICS, NUCLEAR (物理学、核)	108	81.8%
PLANT SCIENCES (植物学)	102	31.7%
BIOTECHNOLOGY & APPLIED MICROBIOLOGY (バイオテクノロジー、応用微生物学)	100	28.8%
PHYSICS, MULTIDISCIPLINARY (物理学、総合)	98	49.7%
PHYSICS, APPLIED (物理学、応用)	97	23.5%
ENGINEERING, ELECTRICAL & ELECTRONIC (工学、電気電子)	93	14.9%
CELL BIOLOGY (細胞生物学)	91	26.8%
ONCOLOGY (腫瘍学)	91	13.0%
MATERIALS SCIENCE, MULTIDISCIPLINARY (物質科学、総合)	84	24.5%
ECONOMICS (経済学)	80	28.6%
CHEMISTRY, PHYSICAL (化学、物理)	76	24.9%
CARDIAC & CARDIOVASCULAR SYSTEMS (心臓、循環器系)	71	16.4%
RADIOLOGY, NUCLEAR MEDICINE & MEDICAL IMAGING (放射線学、核医学、医用画像)	68	23.6%
GENETICS & HEREDITY (遺伝学、遺伝)	64	30.9%
MATHEMATICS (数学)	62	30.4%
NEUROSCIENCES (神経科学)	60	22.0%

※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」より、2つのドキュメントタイプ (Article, Review) の論文についてデータを分析した。
また、本データは2019年7月31日現在の数値である。

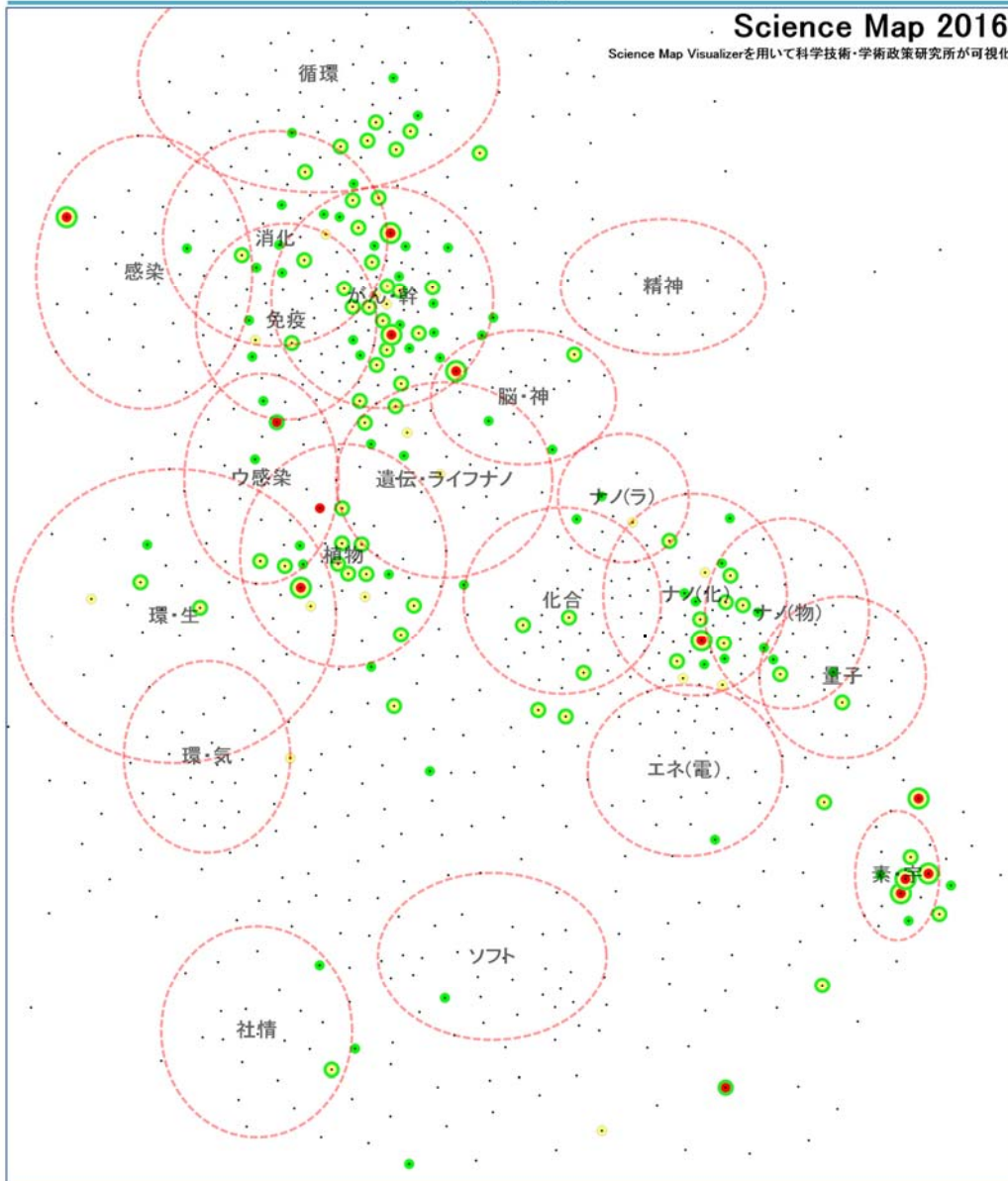
10-6 サイエンスマップから見る本学の強みである研究領域

- NISTEP（科学技術・学術政策研究所）が2018年10月に公表した「サイエンスマップ2016」によると、本学では「がんゲノム解析・遺伝子治療、幹細胞研究」、「植物科学研究」、「ナノサイエンス研究(化学)」、「素粒子・宇宙論研究」の4分野を中心に、世界をリードする研究が行われていることがわかる。
- ペーパー数については、サイティングペーパー及びそのうちのTOP10%論文数が着実に伸びている。

サイエンスマップとは？

論文データベース分析により国際的に注目を集めている研究領域を定量的に把握し、それらが、互いにどのような位置関係にあるのか、どのような発展を見せているのかを示した科学研究の地図。

神戸大学



- 研究領域のコアペーパー、サイティングペーパー(Top10%)、サイティングペーパーに入っている場合
- 研究領域のサイティングペーパー(Top10%)、サイティングペーパーに入っている場合
- 研究領域のサイティングペーパー(Top10%)に1件入っている場合
- 研究領域のサイティングペーパーに入っている場合(2件以上)
- 参照していない場合

神戸大学	コアペーパー		サイティングペーパーのうち Top10%論文		サイティングペーパー	
	該当領域数	ペーパー数	該当領域数	ペーパー数	該当領域数	ペーパー数
サイエンスマップ2008	12	21	79	188	100	592
サイエンスマップ2010	26	33	100	207	118	642
サイエンスマップ2012	21	53	76	284	106	821
サイエンスマップ2014	16	41	79	278	114	926
サイエンスマップ2016	13	49	86	334	133	1,038

◆研究領域群名

- 【循環】循環器系疾患研究
- 【感染】感染症研究
- 【消化】消化器系疾患研究
- 【免疫】免疫研究
- 【がん・幹】がんゲノム解析・遺伝子治療、幹細胞研究
- 【脳・神】脳・神経疾患研究
- 【精神】精神疾患研究
- 【ウ感染】ウイルス感染症研究
- 【遺伝・ライフナノ】遺伝子発現制御研究、ライフナノブリッジ
- 【植物】植物科学研究
- 【環・生】環境・生態系研究
- 【環・気】環境・気候変動研究
- 【化合】化学合成研究
- 【ナノ(ラ)】ナノサイエンス研究 (ライフサイエンス)
- 【ナノ(化)】ナノサイエンス研究 (化学)
- 【ナノ(物)】ナノサイエンス研究 (物理学)
- 【量子】量子情報処理・物性研究
- 【エネ(電)】エネルギー創出 (リチウムイオン電池)
- 【素・宇】素粒子・宇宙論研究
- 【ソフト】ソフトコンピューティング関連研究
- 【社情】社会情報インフラ関連研究 (IoT等)

◆用語

研究領域
2011～2016年の6年間に発行された論文の中で、各年、ESI22分野の被引用数Top1%論文に対し、「共引用」を用いたグループ化を行うことにより得られた895の領域。

コアペーパー
各研究領域を構成しているTop1%論文。

サイティングペーパー
コアペーパーを引用している論文。

出典：文部科学省 科学技術・学術政策研究所,サイエンスマップ2016, NISTEP REPORT No. 178, 2018年10月、サイエンスマップ2014, NISTEP REPORT No.169, 2016年9月、サイエンスマップ2010&2012,NISTEP REPORT No.159, 2014年7月

11. 科学研究費

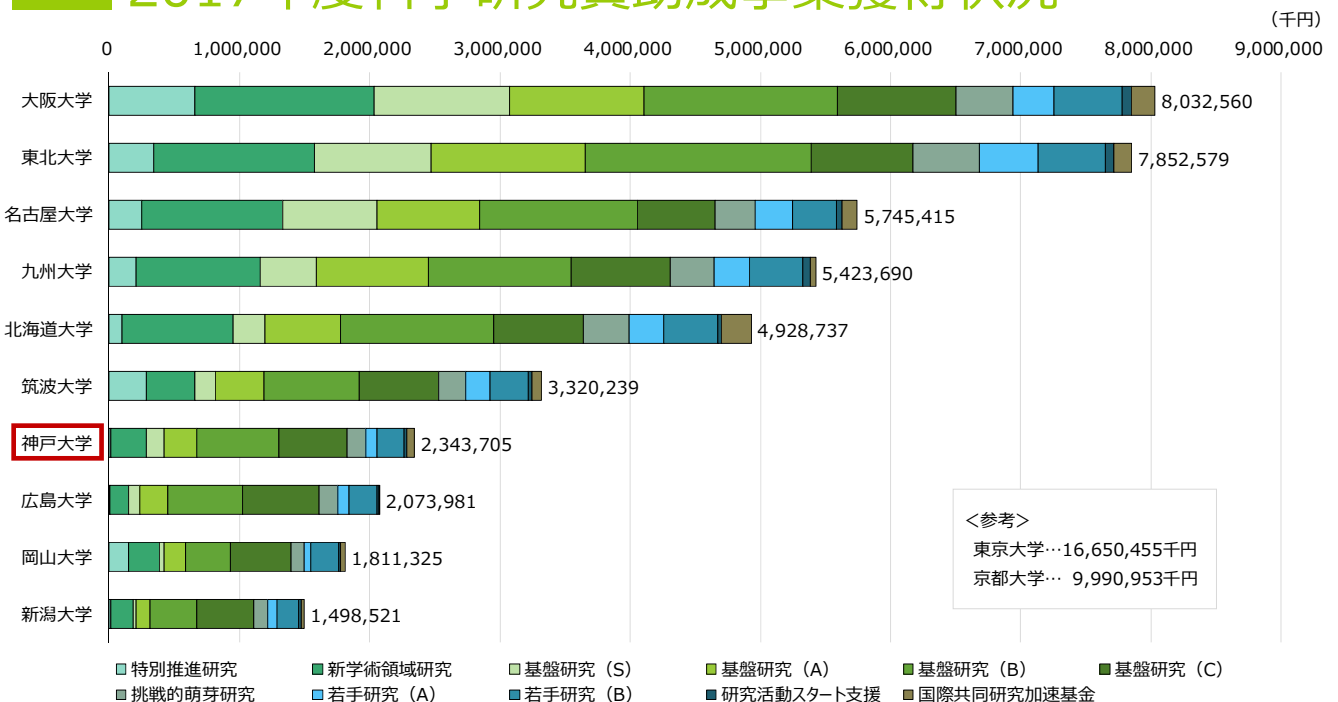
11-1 2019年度科学研究費助成事業獲得状況

種 目	新規申請件数	採択件数			新規採択率	配分額 (新規+継続)		
		新規	継続	合計		直接経費 (千円)	間接経費 (千円)	合計 (千円)
特別推進研究	3	1	0	1	33.3%	77,400	23,220	100,620
	1	0	0	0	-	0	0	0
新学術領域研究 (計画)	25	2	5	7	8.0%	119,900	35,970	155,870
	29	1	9	10	3.4%	199,358	59,190	258,548
新学術領域研究 (公募)	41	12	12	24	29.3%	51,800	15,540	67,340
	57	12	10	22	21.1%	59,800	17,940	77,740
基盤研究 (S)	13	1	6	7	7.7%	148,700	44,610	193,310
	12	0	5	5	-	116,990	36,558	153,548
基盤研究 (A)	46	14	28	42	30.4%	382,200	114,660	496,860
	45	8	27	35	17.8%	253,508	75,300	328,808
基盤研究 (B)	187	58	154	212	31.0%	722,000	216,600	938,600
	192	55	153	208	28.6%	699,796	214,939	914,735
基盤研究 (C)	438	154	369	523	35.2%	482,850	144,855	627,705
	440	165	345	510	37.5%	495,150	148,545	643,695
挑戦的研究 (開拓)	10	0	4	4	-	21,000	6,300	27,300
	10	3	1	4	30.0%	28,700	8,880	37,580
挑戦的研究 (萌芽)	161	22	47	69	13.7%	121,100	36,330	157,430
	189	34	27	61	18.0%	125,200	37,560	162,760
挑戦的萌芽研究	-	-	3	3	-	0	0	0
	-	-	36	36	-	18,300	5,490	23,790
若手研究 (A)	-	-	8	8	-	21,000	6,300	27,300
	-	-	15	15	-	49,296	15,189	64,485
若手研究 (B)	-	-	62	62	-	36,900	11,070	47,970
	-	-	146	146	-	123,900	37,170	161,070
若手研究	207	89	83	172	43.0%	205,200	3	205,203
	258	89	0	89	34.5%	112,900	33,870	146,770
研究活動スタート支援	38	-	11	11	-	10,500	3,150	13,650
	38	15	6	21	39.5%	21,124	6,240	27,364
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (A))	-	-	20	20	-	35,800	10,740	46,540
	14	4	20	24	28.6%	57,300	17,190	74,490
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))	23	-	13	13	-	52,500	15,750	68,250
	57	13	0	13	22.8%	35,900	10,770	46,670
合 計	1,192	353	825	1,178	29.6%	2,488,850	685,098	3,173,948
	1,342	399	800	1,199	29.7%	2,397,222	724,831	3,122,053

- 「国際共同研究加速基金」：2015年度から公募が始まった新規研究種目である。
※「国際共同研究強化」は2018年度から(A)、(B)に分けて公募を開始。(A)の新規採択分は2019年7月現在公募中のため未掲載。
- ※「国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化)」は、「国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(A))」に計上。
- 「挑戦的研究(開拓)」、「挑戦的研究(萌芽)」：2017年度から公募が始まった新規研究種目である。
※「挑戦的萌芽研究」は2016年度限りで新規の公募を終了。
- 「若手研究」：2018年度から公募が始まった新規研究種目である。
※「若手研究(A)」、「若手研究(B)」は2017年度限りで新規の公募を終了。

上段：2019年度採択状況 (2019.7現在)
下段：2018年度採択状況 (最終版)
※表中の件数欄の「-」は該当なし又は申請中を示す。
※研究代表者として申請した課題のみを集計。

11-2 2017年度科学研究費助成事業獲得状況

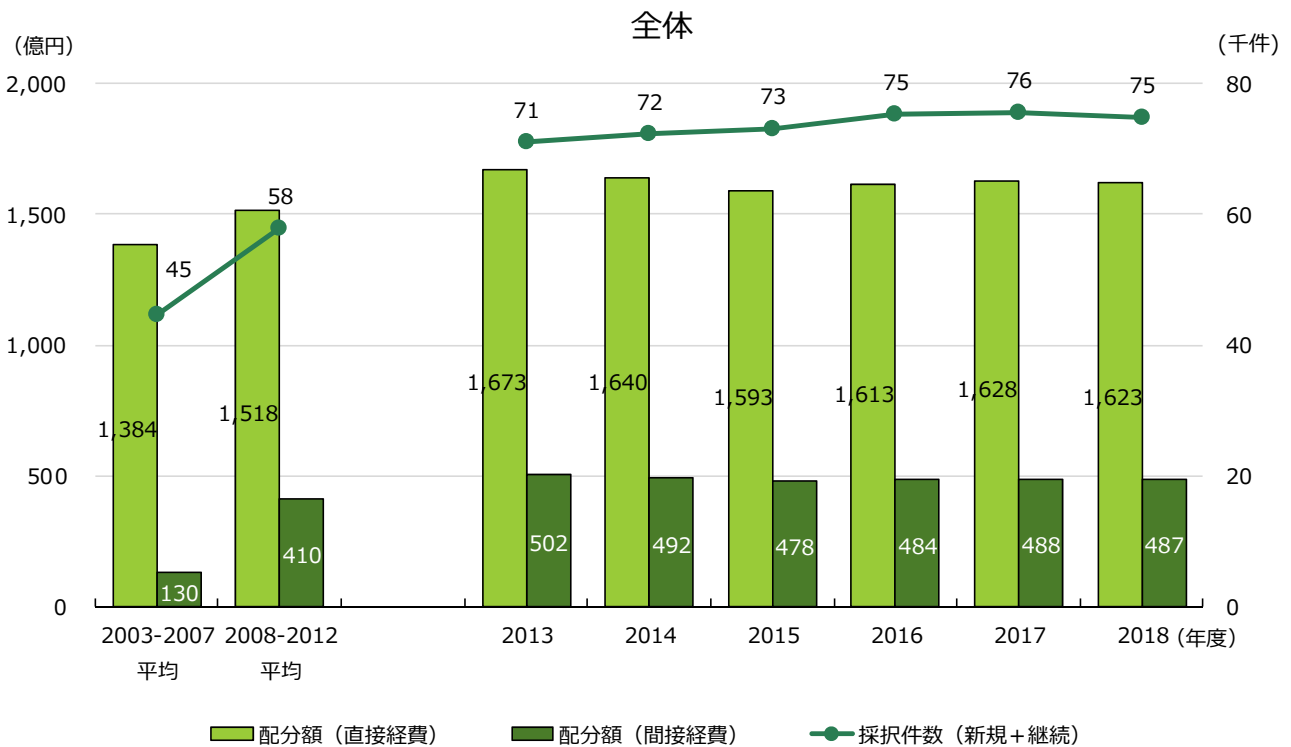
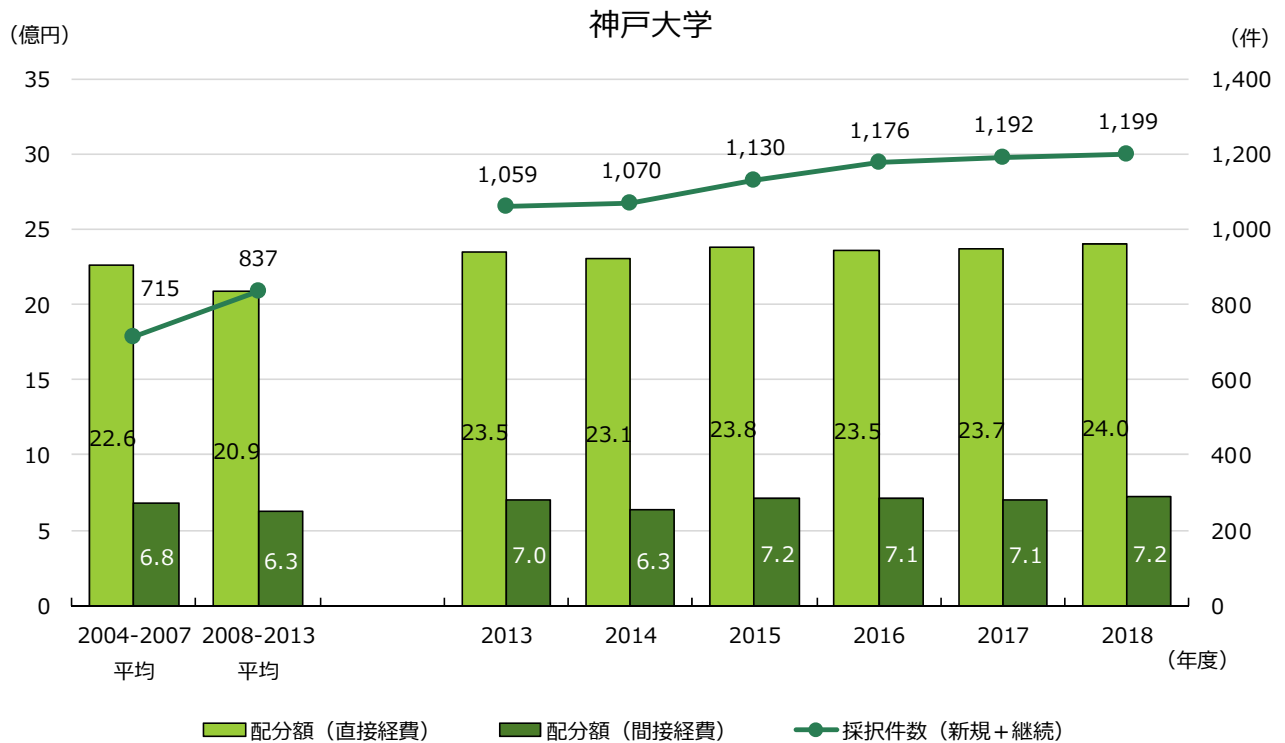


<参考>
 東京大学…16,650,455千円
 京都大学… 9,990,953千円

※学生収容定員1万人以上の国立大学法人を比較対象とし、各大学財務諸表 (2017年度版) より科学研究費の明細が示されているものを集計した。
 ※配分額は直接経費相当額のみを示しており、研究分担者分も含む。

11-3 科学研究費助成事業採択状況 — 推移 —

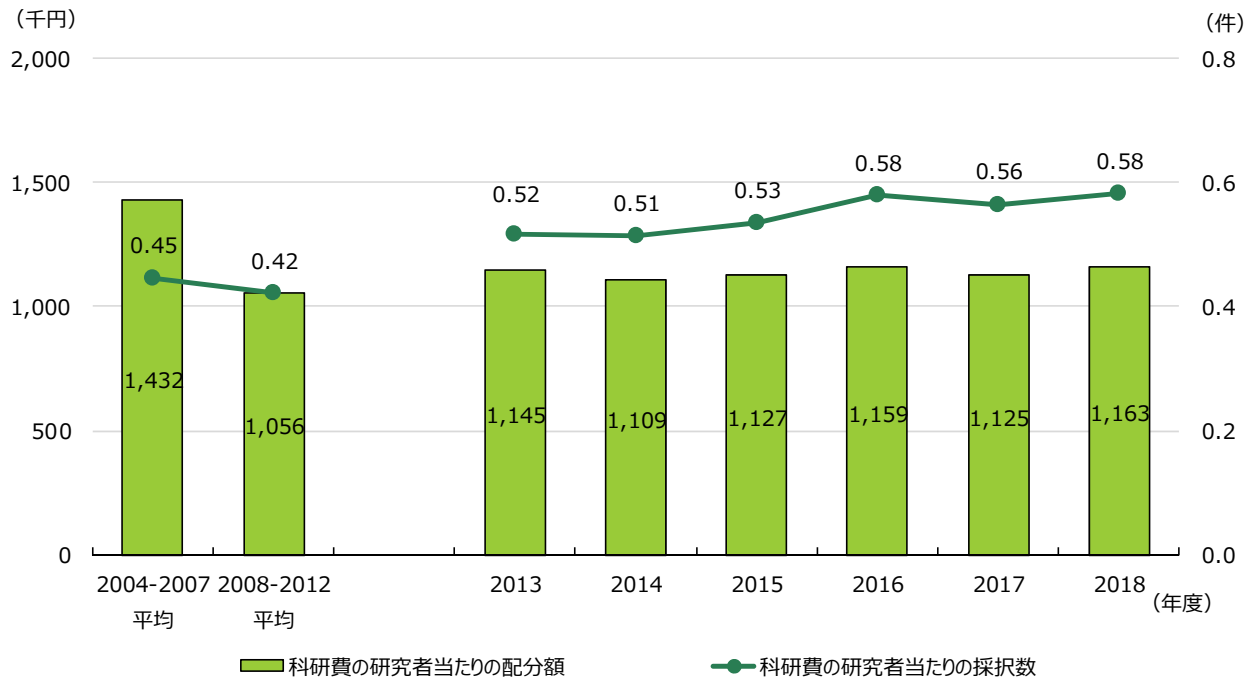
○ 2014年度以降、科学研究費助成事業全体の傾向として緩やかな伸びになっており、本学も類似した傾向にある。



出典：文部科学省HP掲載「科学研究費補助金 配分結果」

11-4 科研費の研究者当たりの配分額・採択数 — 推移 —

○ 科研費の研究者当たりの配分額及び採択数は2009年に底を打ち、緩やかな増加傾向にあったが、近年はやや停滞気味である。

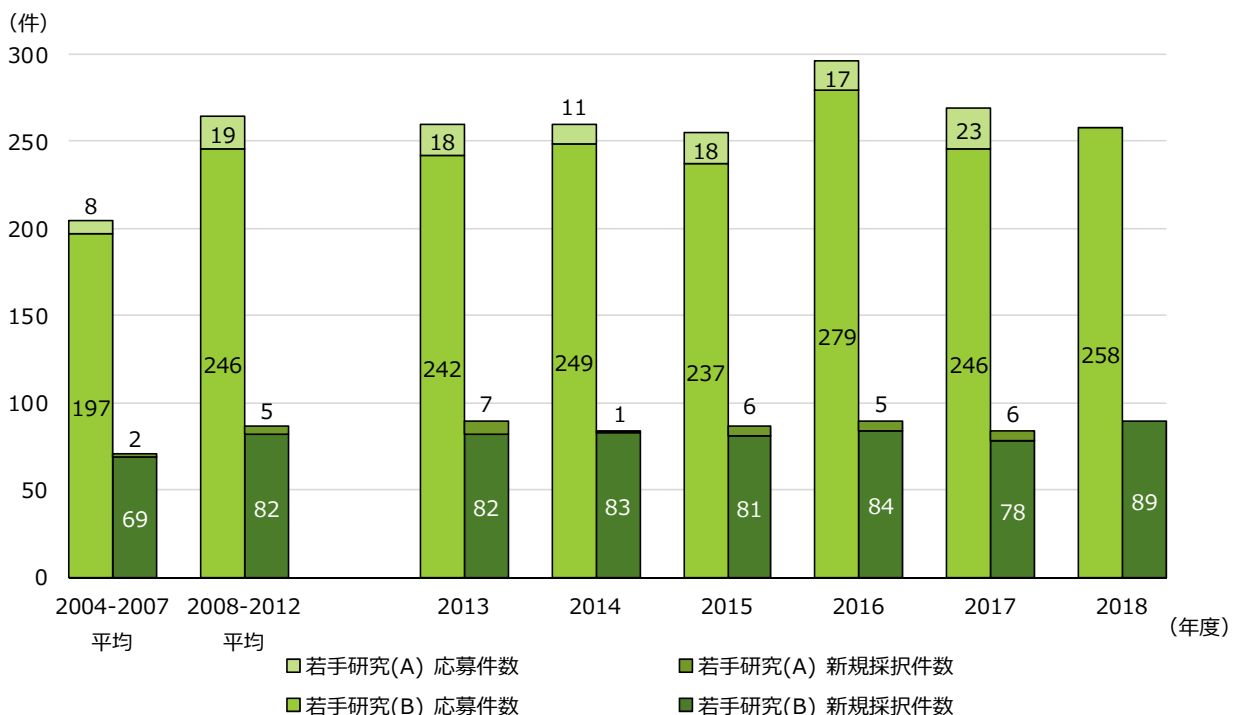


※科研費の研究者当たりの配分額 = 採択額（直接経費） / 科研費応募資格者

※科研費の研究者当たりの採択数 = 科研費採択件数（新規+継続） / 科研費応募資格者

11-5 科研費若手種目の応募件数と新規採択件数 — 推移 —

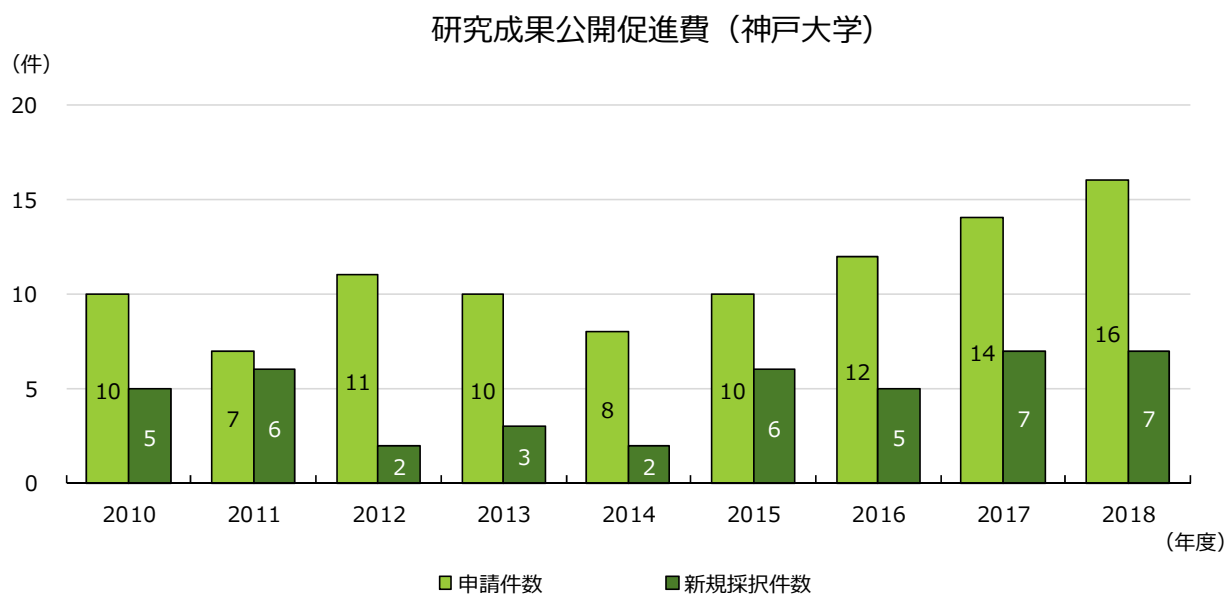
○ 科研費の若手種目の採択件数は、前年度と比べて増加した。



※2018年度から「若手研究(A)」は「基盤研究」に統合。「若手研究(B)」は新規種目の「若手研究」となった。

11-6 研究成果公開促進費 — 推移 —

○ 2018年度の新規採択件数の内訳は、学術図書5件、データベース2件となっている。



○研究成果公開促進費

科学研究費助成金の種目で、研究成果の公開発表、重要な学術研究の成果の発信及び、データベースの作成・公開について助成することによって、我が国の学術の振興と普及に資するとともに、学術の国際交流に寄与することを目的とするものであり、優れた研究成果の公的流通の促進を図るもの。

11-7 2018-2019年度科学研究費助成事業新規採択状況

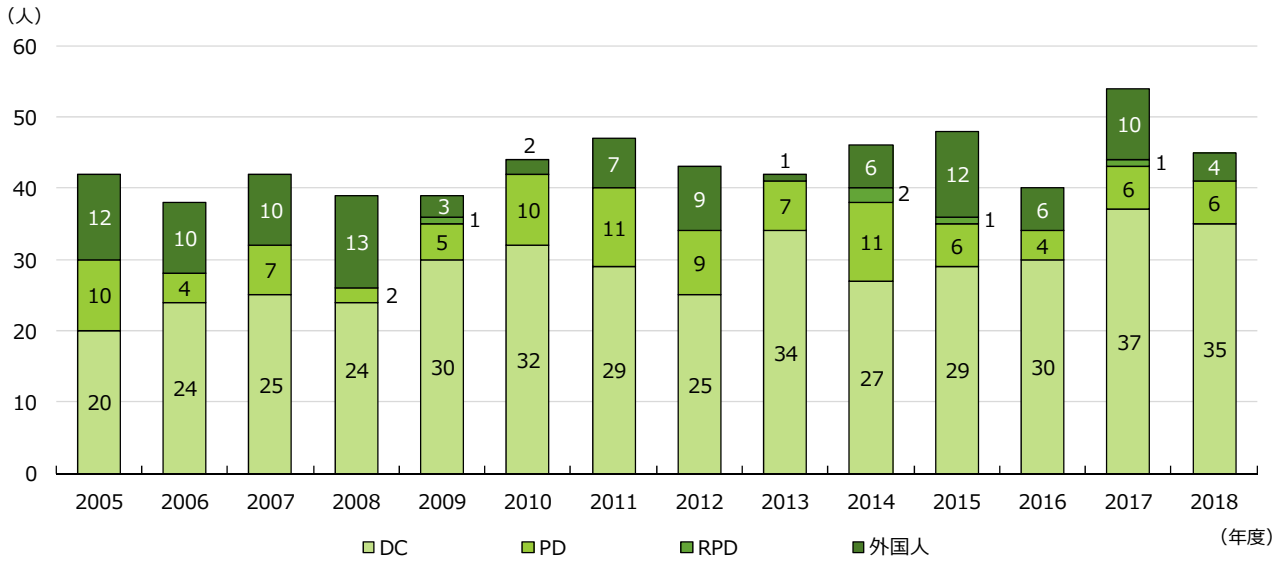
大区分	(研究分野)	中区分数	中区分別採択数上位10機関に本学がランクインしている中区分名	順位	新規採択件数(件)	配分額(直接経費)(千円)
A	(人文学・社会科学)	10	思想、芸術およびその関連分野	8	18.0	20,700
			法学およびその関連分野	4	28.0	45,300
			政治学およびその関連分野	5	14.3	31,983
			経済学、経営学およびその関連分野	3	65.0	115,600
B	(数物系科学)	7	解析学、応用数学およびその関連分野	9	13.0	17,300
C	(工学系科学)	8	建築学およびその関連分野	9	11.0	22,500
			航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	10	7.0	24,200
			社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	8	7.0	23,900
D		7	化学工学およびその関連分野	7	15.0	70,500
			応用物理工学およびその関連分野	9	5.0	19,500
E	(化学)	6	物理化学、機能物性化学およびその関連分野	8	10.0	40,300
F	(農学・環境学)	5	生産環境農学およびその関連分野	7	16.0	49,500
			社会経済農学、農業工学およびその関連分野	6	12.0	34,000
K		2	—	—	—	—
G	(生物系科学)	4	—	—	—	—
H	(医歯薬学)	3	生体の構造と機能およびその関連分野	9	14.0	38,900
I		11	内科学一般およびその関連分野	8	51.0	74,600
			生体情報内科学およびその関連分野	8	25.0	49,600
J	(情報学)	3	—	—	—	—

出典：文部科学省「令和元年度科学研究費助成事業の配分について」

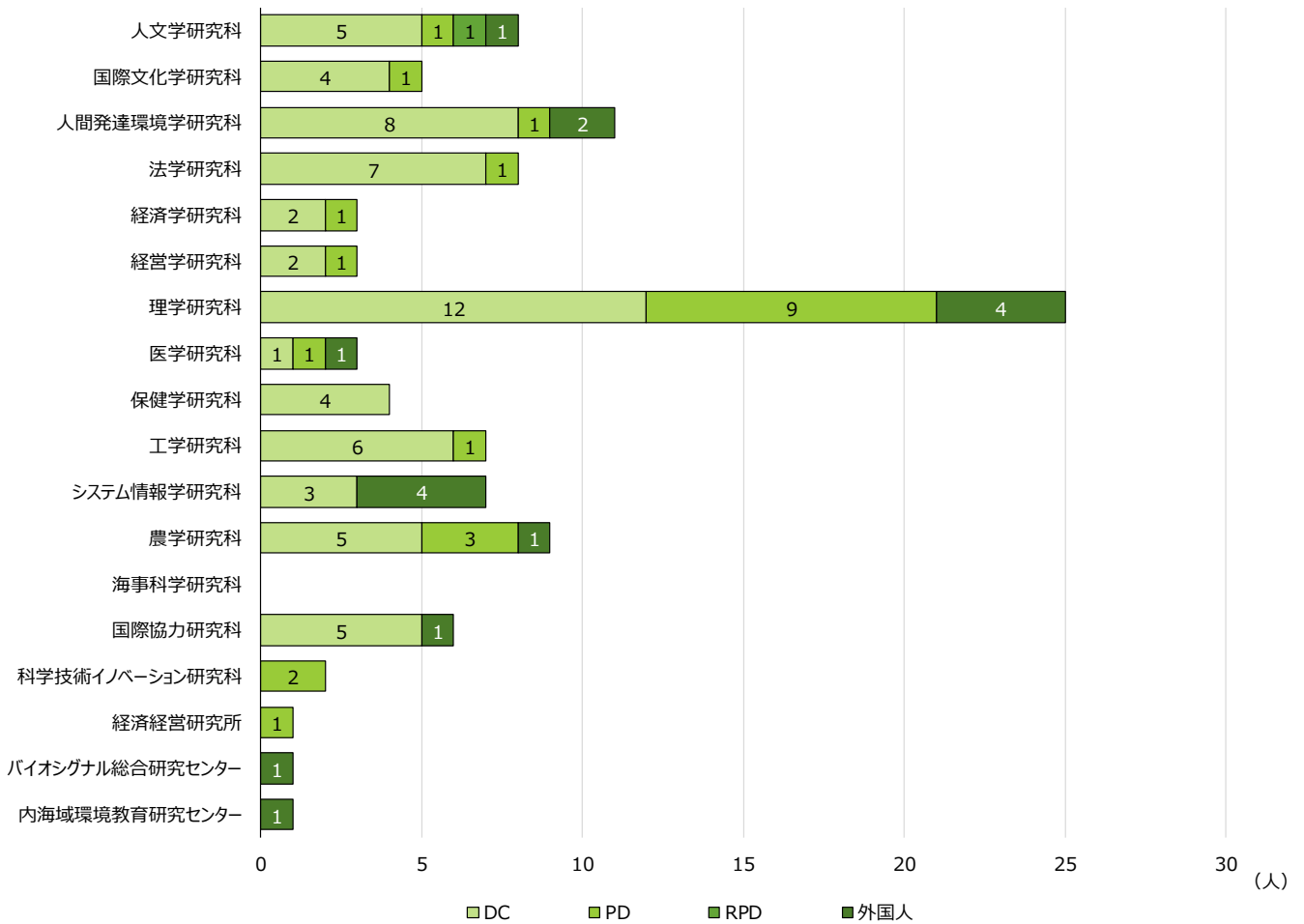
※2018年度から2019年度までの科学研究費（新規採択分）のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究」（計画研究及び公募研究）、「基盤研究」（特設分野研究は除く）、「挑戦的萌芽研究」、「特設審査領域を除く」、「若手研究」及び「国際共同研究加速基金（国際共同研究基盤（B））」について分類したもののうち、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしているものを集計した。（対応する中区分が複数ある小区分については、件数、配分額を按分して集計）

12. 日本学術振興会特別研究員

12-1 全学の受入れ状況 - 新規 -



12-2 研究科別受入れ状況 - 在籍者 -



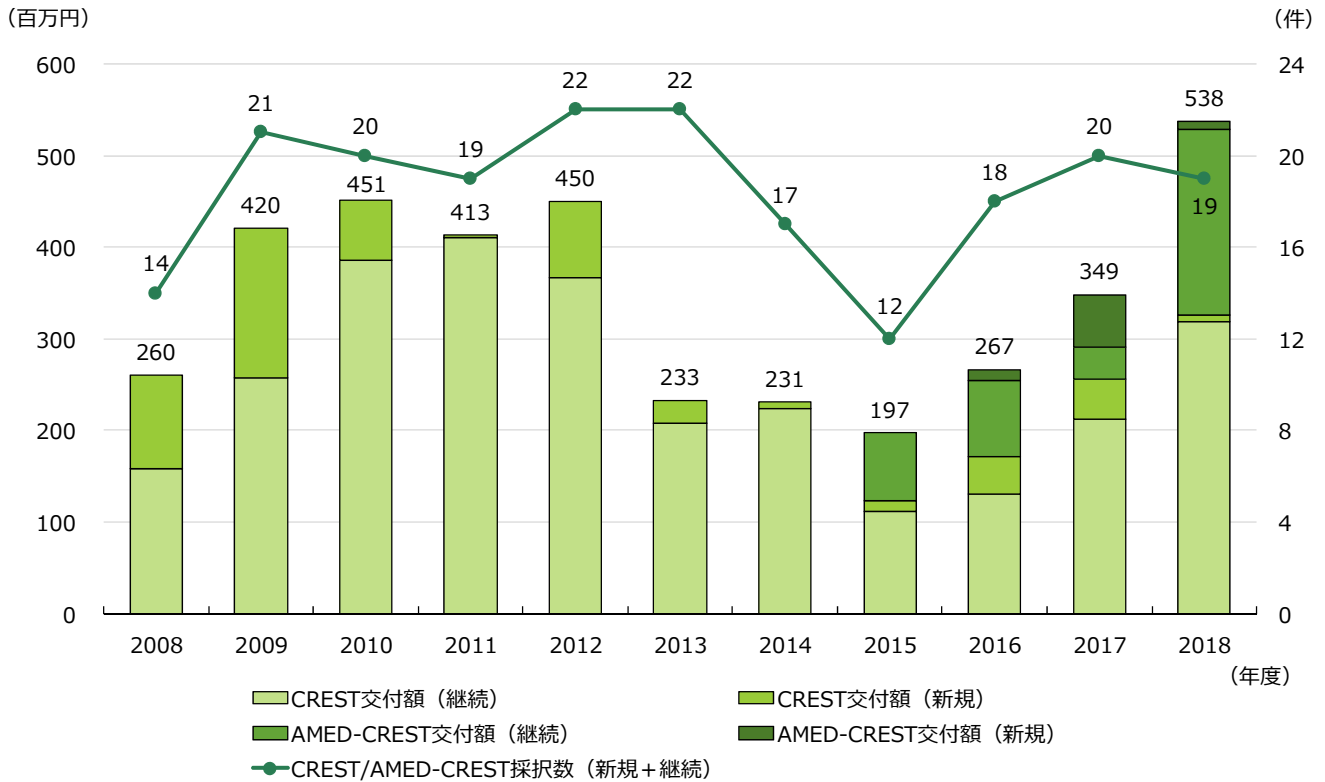
※2018年度内に在籍した者を集計。

DC : 博士課程に在籍中の日本学術振興会特別研究員
 PD : 博士の学位を取得後5年未満の日本学術振興会特別研究員
 RPD : 博士の学位取得者で、過去5年以内に出産又は子の養育のため研究活動を一定期間中断していた日本学術振興会特別研究員
 外国人 : 博士の学位を取得前後の外国人日本学術振興会特別研究員

13. 研究プログラムの採択状況

13-1 戦略的創造研究推進事業「CREST」、革新的先端研究開発支援事業「AMED-CREST」

○ 採択件数については、2009年度以降20件前後を保持しており、2015年度に一旦落ち込んだものの、2016年度以降は再び同程度となっている。交付額については、2018年度に過去最高となった。



※グラフの「交付額」及び「採択数」には、分担研究分も含む。
 ※2014年度以前のCRESTには、AMED設立に伴い、2015年度以降AMED-CRESTへ承継された課題を含む。

CREST/AMED-CREST 2018年度継続中のプログラム一覧 (代表研究のみ)

プログラム名・取組名		実施担当部局
CREST	ホログラム光刺激による神経回路再編の人為的創出	医学研究科
	放牧牛のインタラクション分析による革新的飼養管理技術の開発	システム情報学研究所
	分極制御非鉛圧電薄膜による高効率MEMS振動発電素子の創製	工学研究科
	活性酸素生成抑制システムの非破壊評価系の確立とフィールドへの応用～危機早期診断システムの構築～	農学研究科
	提示系心理情報学の確立とシステム構築	工学研究科
AMED-CREST	ストレス関連疾患を担う機能性脂質の探索と機能解析に基づく臨床応用のための技術基盤の創出	医学研究科
	機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開	医学研究科
	包括的メタボロミクス・ターゲットプロテオミクスによるがん診断・薬効診断マーカー探索と革新的統合臨床診断ネットワーク構築	医学研究科

○ 「CREST」

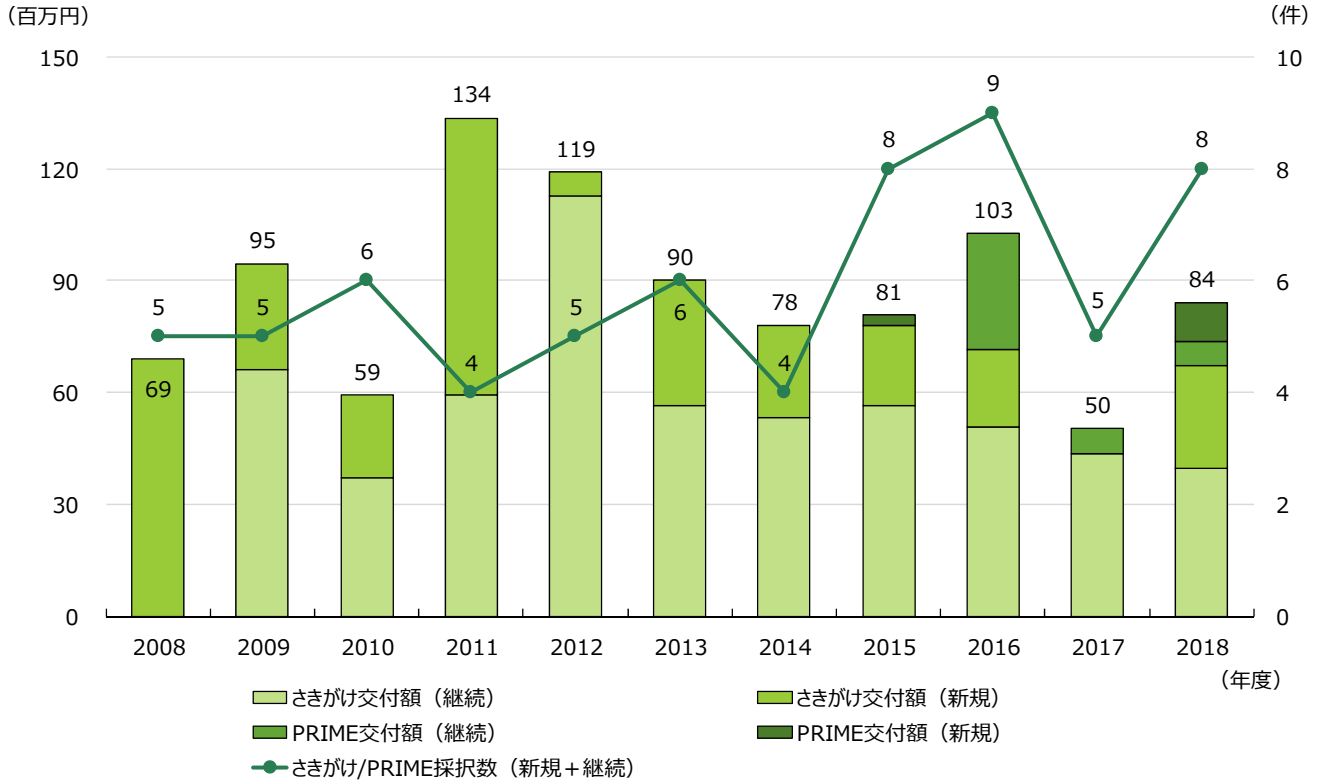
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、国が定める戦略目標の達成に向けて、課題型基礎研究を推進し、科学技術イノベーションを生み出す革新的技術シーズを創出するためのチーム型研究プログラム。

○ 「AMED-CREST」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による、画期的シーズの創出に向けて国際的に高い水準の成果を目指すユニット型研究プログラム。

13-2 戦略的創造研究推進事業「さきがけ」、革新的先端研究開発支援事業「PRIME」

○ 採択件数については、2017年度に一旦落ち込んだものの、2018年度は3件の新規プログラムを含め、合計8件となり、過去最多となった2016年度に次ぐ件数となった。



※2014年度以前のさきがけには、AMED設立に伴い、2015年度以降PRIMEへ承継された課題を含む。

さきがけ/PRIME 2018年度継続中のプログラム一覧

プログラム名・取組名		実施担当部局
さきがけ	情報幾何学と離散力学の融合と社会ネットワーク解析への応用	システム情報学研究科
	「提示系心理情報学」確立のためのウェアラブルシステムプラットフォーム	工学研究科
	脳性麻痺障害者の個人適応型コミュニケーション支援システムの開発	都市安全研究センター
	気候変動と病原菌の進化に頑強な作物設計システムの構築	農学研究科
	高周波電子スピン共鳴によるマグノン熱伝導の制御	先端融合研究環
	Triturated Computing System (粉末コンピューティングシステム)	システム情報学研究科
PRIME	癌細胞の浸潤・転移を司る細胞膜の張力を介したシグナル伝達機構の解明	バイオゲナル総合研究センター
	ヒト腸内細菌Bacteroides 2 菌種の抗炎症作用機序の解明と慢性炎症性疾患治療への応用	医学部附属病院

○ 「さきがけ」

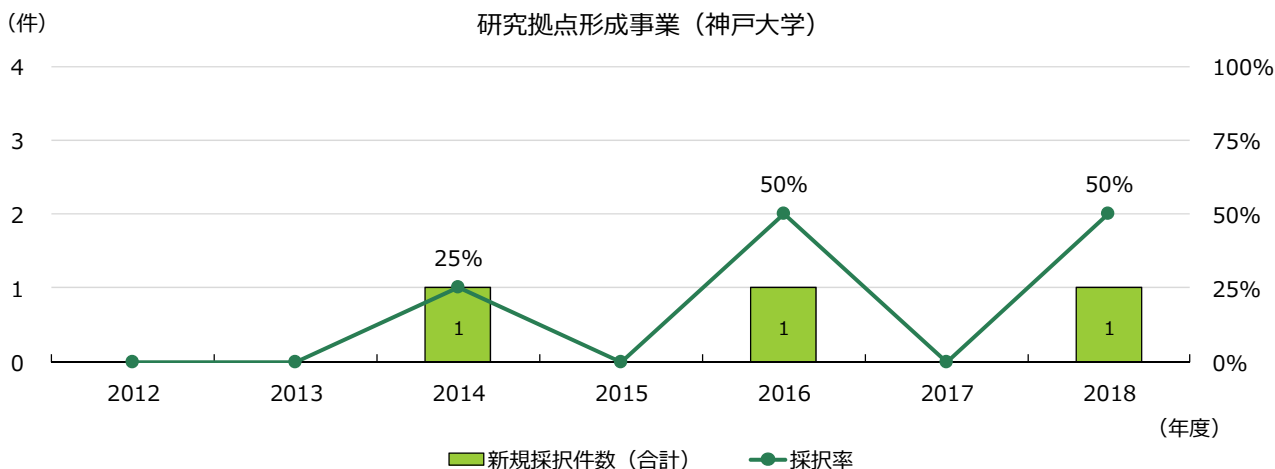
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、戦略目標に基づいて未来のイノベーションの芽を育む個人型研究プログラム。

○ 「PRIME」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による、画期的シーズの源泉となる成果の創出を目指す個人型研究プログラム。

13-3 研究拠点形成事業

○ 全国で20件前後のプログラムが採択されており、本学は2014年、2016年、2018年に1件ずつ採択されている。



研究拠点形成事業 2018年度継続中のプログラム一覧

プログラム名・取組名	実施担当部局
日欧亜におけるコミュニティの再生を目指す移住・多文化・福祉政策の研究拠点形成	国際文化学研究科
階層横断的グリア脳科学研究のための国際コンソーシアム拠点形成	医学研究科

○ **研究拠点形成事業**

我が国において先端的かつ国際的に重要と認められる研究課題、または地域における諸課題解決に資する研究課題について、我が国と世界各国の研究教育拠点機関をつなぐ持続的な協力関係を確立することにより、当該分野において世界的水準または地域における中核的な研究交流拠点の構築とともに、次世代の中核を担う若手研究者の育成を目的とした事業。

14. 研究業績に関する主な受賞者等一覧

○所属教員

2019年7月現在

賞名等	氏名	決定年	所属(旧所属)	職名
【文化勲章】	西塚 泰美	1988年	医学部	教授(神戸大学第11代学長)
【文化功労者】	西塚 泰美	1987年	医学部	教授(神戸大学第11代学長)
	五百旗頭 真	2011年	法学研究科	名誉教授
	中井 久夫	2013年	医学部	名誉教授
【紫綬褒章】	岩井 誠三	1989年	医学部	教授
	三嶋 豊	1994年	医学部	教授
	天野 明弘	2000年	経営学部	教授
	岡村 均	2007年	医学系研究科	教授
	春日 雅人	2007年	医学系研究科	教授
	清野 進	2011年	医学研究科	教授
	金井 壽宏	2019年	経営学研究科	教授
【ウルフ賞】	西塚 泰美	1994年	医学部	教授(神戸大学第11代学長)
【アルバート・ラスカー-医学研究賞】 基礎医学研究賞	西塚 泰美	1989年	医学部	教授(神戸大学第11代学長)
【ガードナー-国際賞】	西塚 泰美	1988年	医学部	教授(神戸大学第11代学長)
【朝日賞】	西塚 泰美	1986年	医学部	教授(神戸大学第11代学長)
	戸田 達史	2008年	医学研究科	教授
【京都賞】基礎科学部門	西塚 泰美	1992年	医学部	教授(神戸大学第11代学長)
【女性化学賞】	相馬 芳枝	2011年	自然科学研究科	特別顧問
【武田医学賞】	西塚 泰美	1982年	医学部	教授(神戸大学第11代学長)
	春日 雅人	2007年	医学系研究科	教授
	高井 義美	2014年	医学研究科	教授
【日本学士院賞】	戸田 達史	2017年	医学研究科	教授
	清野 進	2018年	医学研究科	教授
【日本学士院会員】	西塚 泰美	1991年	医学部	教授(神戸大学第11代学長)
	河本 一郎	1995年	法学部	名誉教授
	三宅 一郎	1999年	法学部	名誉教授
	西村 和雄	2012年	社会科学系教育研究府	特命教授
	根岸 哲	2018年	社会システムイノベーションセンター	特命教授
	大塚 啓二郎	2018年	社会システムイノベーションセンター	特命教授

※本学在籍時及び名誉教授の受賞等を掲載

○神戸大学出身者

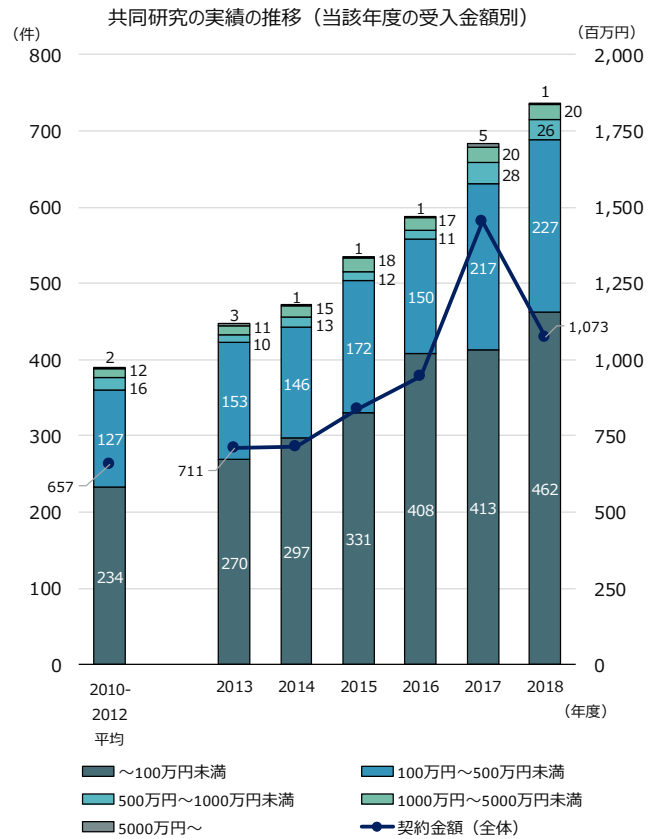
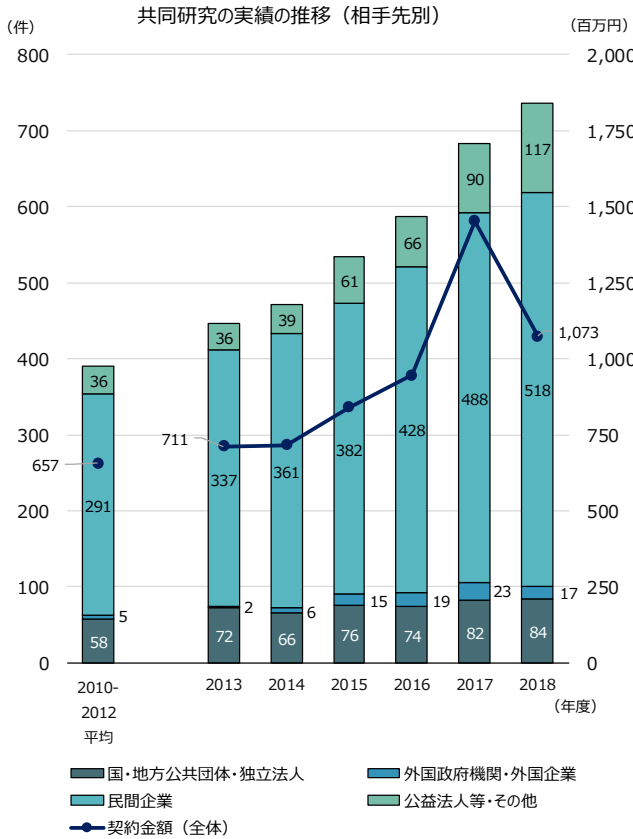
2019年7月現在

氏名	賞名等	受賞部門	決定年	卒業校等
江崎 玲於奈	【ノーベル賞】	物理学賞	1973年	兵庫県師範学校附属小学校高等科 (神戸大学附属中等教育学校の前身)
	【文化勲章】	-	1974年	
	【日本国際賞】	-	1998年	
河合 隼雄	【朝日賞】	-	1997年	神戸工業専門学校卒 (神戸大学工学部の前身)
佐川 真人	【朝日賞】	-	1990年	神戸大学工学部卒 神戸大学大学院工学研究科修了
	【日本国際賞】	-	2012年	
高井 義美	【紫綬褒章】	-	2003年	神戸大学医学部卒 神戸大学大学院医学研究科(医学博士)
野依 良治	【ノーベル賞】	化学賞	2001年	兵庫師範学校男子部附属小学校卒 (神戸大学附属小学校の前身)
	【文化勲章】	-	2000年	
	【ウルフ賞】	化学部門	2001年	
	【朝日賞】	-	1992年	
山中 伸弥	【ノーベル賞】	生理学・医学賞	2012年	神戸大学医学部卒
	【文化勲章】	-	2012年	
	【ウルフ賞】	医学部門	2011年	
	【アルバート・ラスカー-医学研究賞】	基礎医学研究賞	2009年	
	【ガードナー-国際賞】	-	2009年	
	【ミレニアム技術賞】	-	2012年	
	【京都賞】	先端技術部門	2010年	
	【武田医学賞】	-	2008年	
	【朝日賞】	-	2007年	
	【恩賜賞・日本学士院賞】	-	2010年	
【日本学士院会員】	-	2010年		
脇田 晴子	【文化勲章】	-	2010年	神戸大学文学部卒

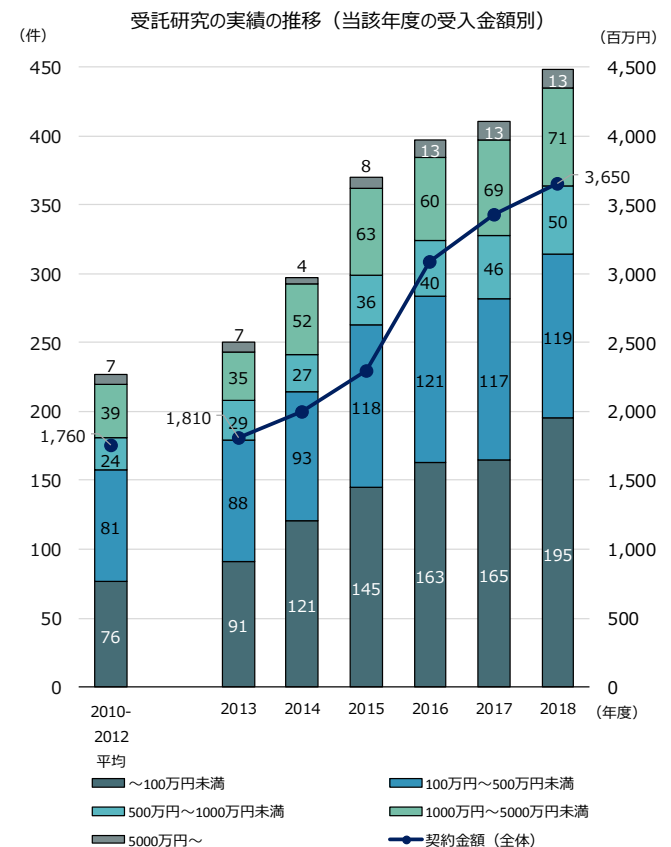
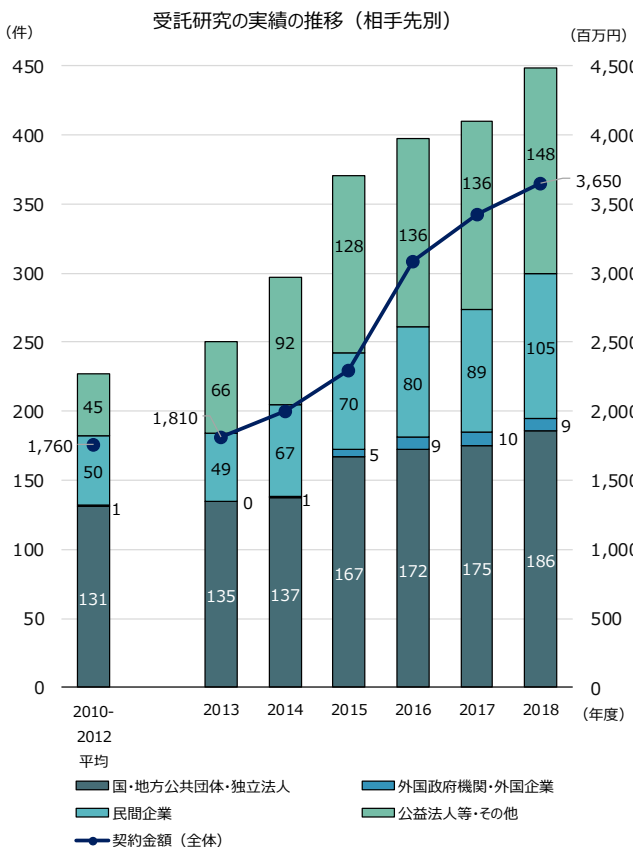
15. 産学官連携状況

15-1 共同研究・受託研究の状況

- 共同研究の件数は各分野で順調に伸びている。
- 共同研究の契約金額は2014年度以降順調に伸びていたが、2018年度は前年度に比べ減少した。

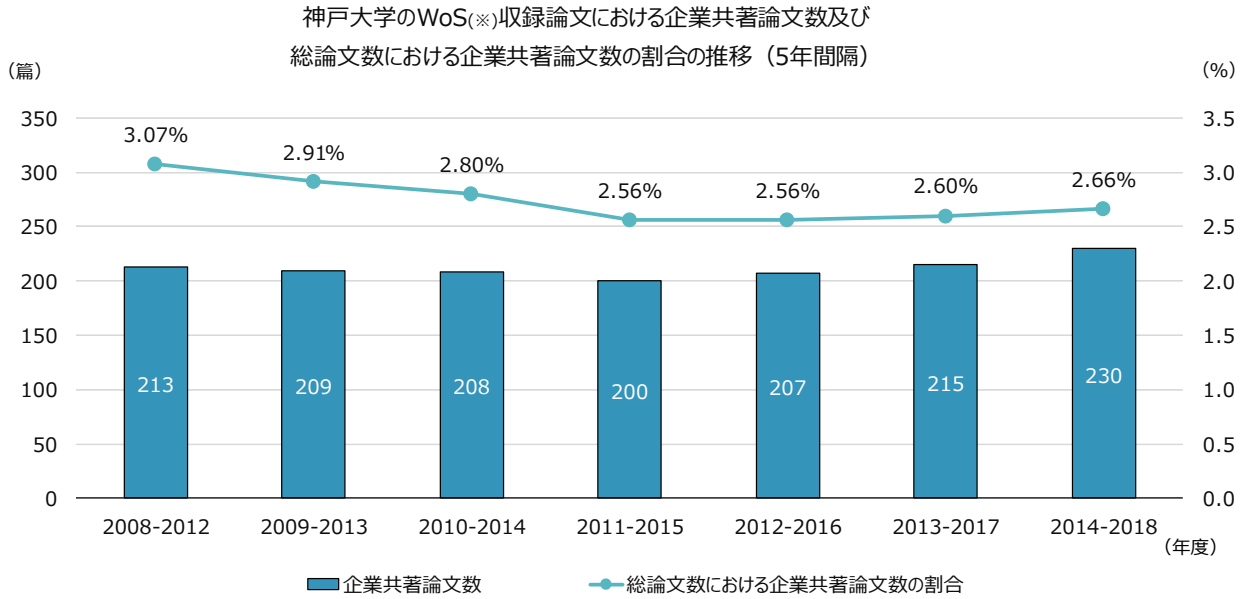


- 2013年度以降順調に伸びており、2010-2012年度平均と比べ、受託研究の件数および受入金額は約2倍となっている。



15-2 企業共著論文数の推移

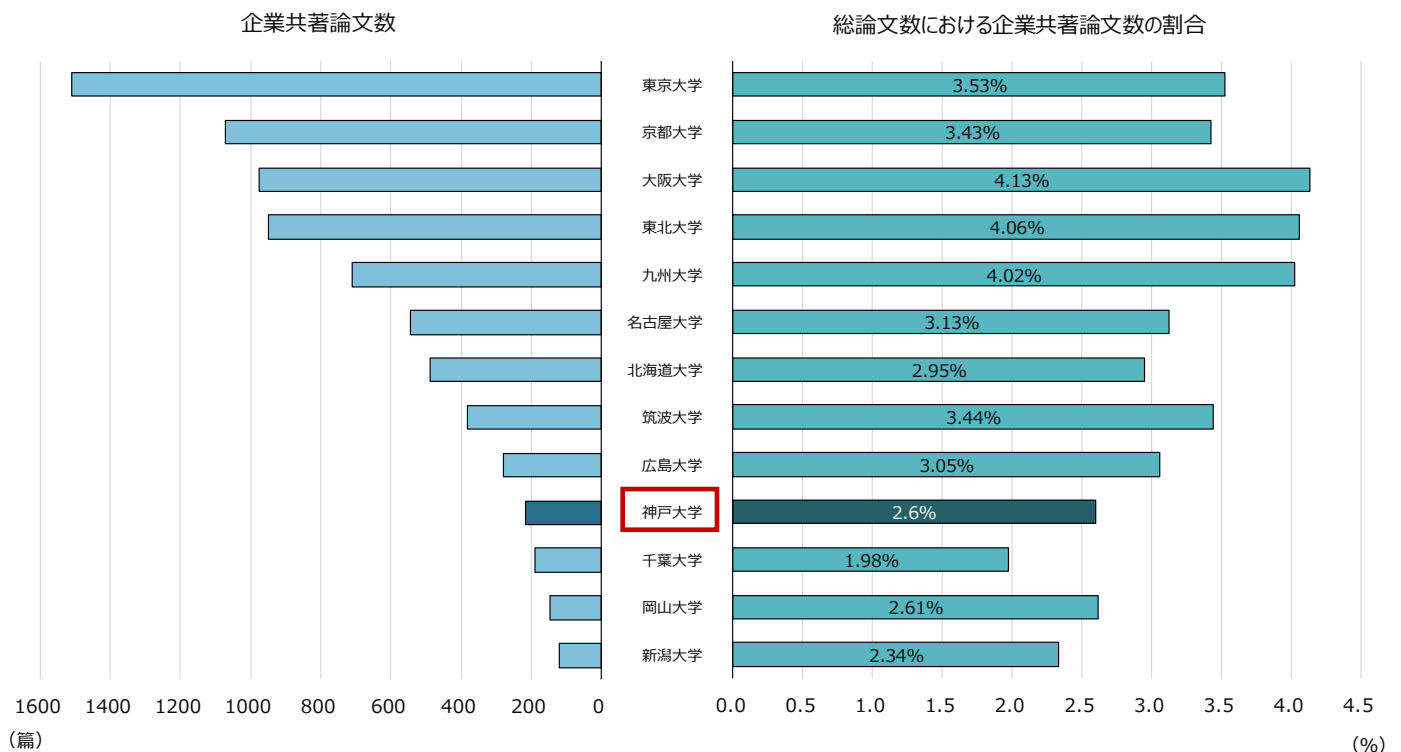
○ 企業共著論文数は緩やかな増加傾向にあり、総論文数に占める割合も回復しつつある。



出典：「InCites™」によりWoS(※)収録論文の2つのドキュメントタイプ (Article, Review) のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、データは2019年7月31日現在の数値である。
※「WoS」=「Web of Science™」(クラリベイト・アナリティクス社が提供する学術文献データベース)の略。

15-3 企業共著論文の状況 – 大規模13大学間の比較 –

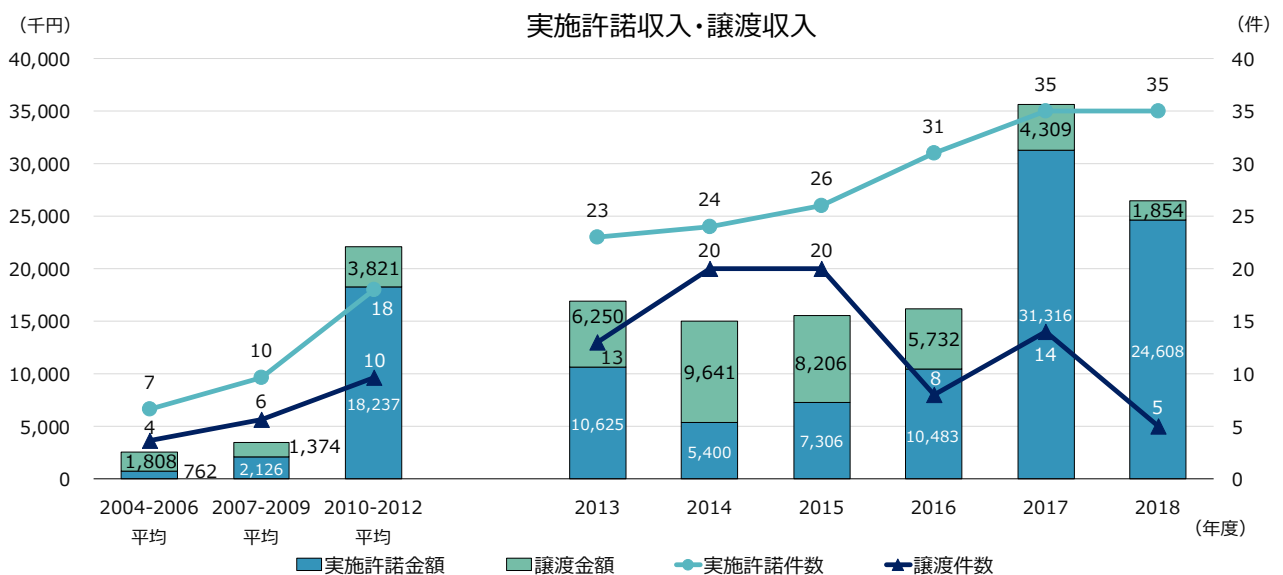
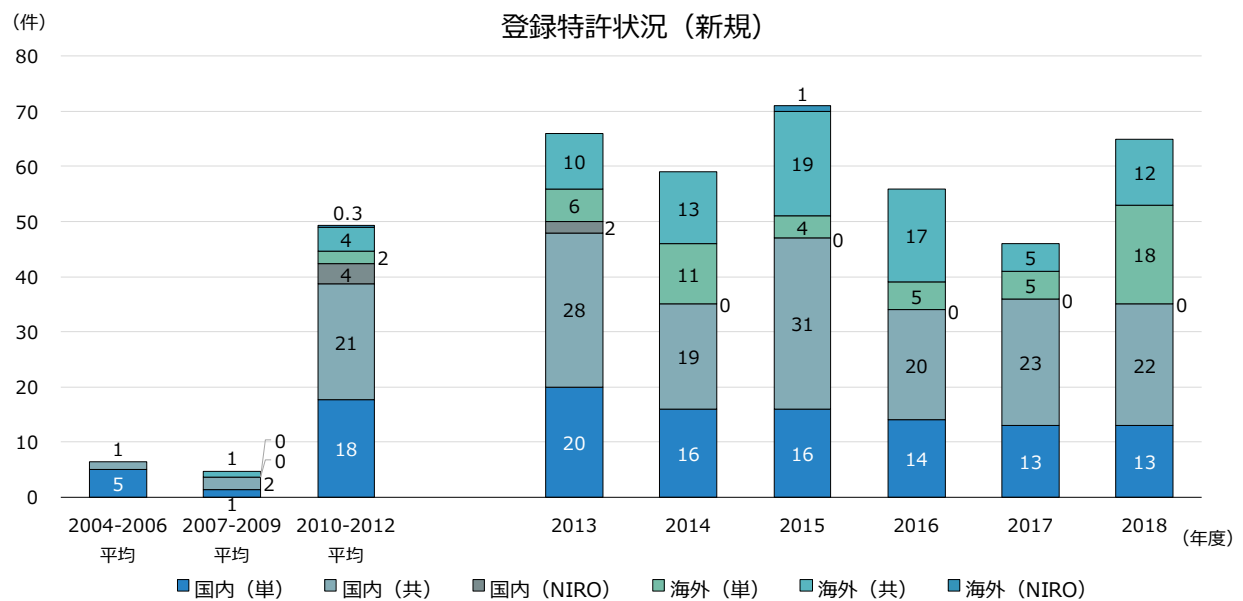
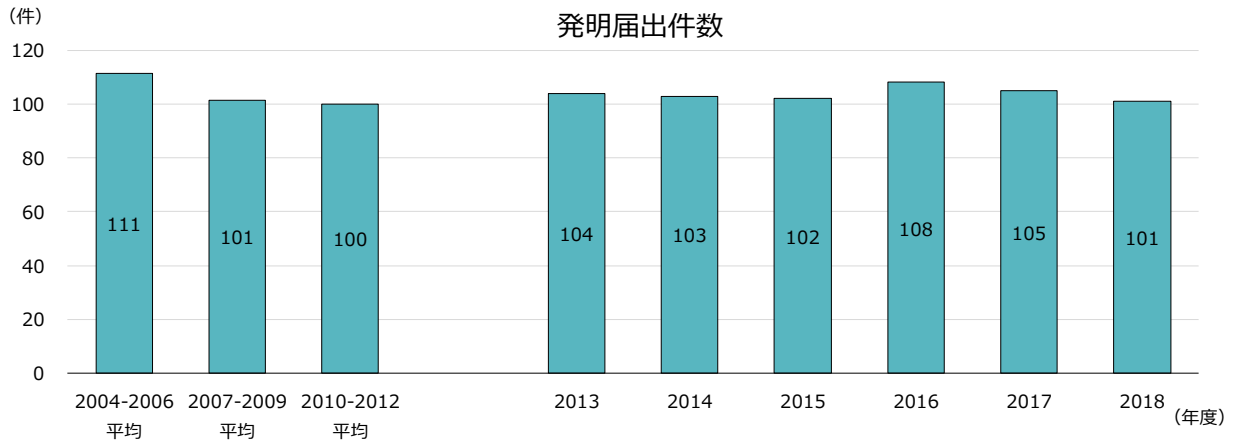
○ 国立大学で学部入学定員の上位13大学のうち、神戸大学の企業共著論文数は10位であった。また、総論文数における企業共著論文数の割合は11位であった。



出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS収録論文の2つのドキュメントタイプ (Article, Review) のデータについて、各大学における2014-2018の5年間の累計値及び割合を分析した。なお、データは2019年7月31日現在の数値である。

15-4 神戸大学の知的財産の状況

- 発明届出件数は、過去14年間、100件程度/年を推移している。
- 登録特許は、法人化以降、2011年度まで海外の登録を中心に急増し、その後は安定的に推移している。
- 実施許諾件数は全体的に増加傾向にあるが、2018年度の実施許諾金額は約2,400万円であり、前年度から減少した。
- 譲渡件数は2015年度をピークに減少している。



15-5 主な大学発ベンチャー企業

- 本学では累計28社のベンチャー企業を設立している。
- 2016年に設立した「株式会社科学技術アントレプレナーシップ」は、大学発ベンチャー企業の立ち上げのための出資や創業期における支援を行っており、本学における研究成果の事業化及びベンチャー企業の設立は加速している。

(2019年5月1日現在)

形態	企業名	設立年月	事業の概要
株式会社	きゅぶふあーむ	2000年9月	次世代型植物栽培装置の開発及び販売など
株式会社	エアールテック	2001年4月	集積回路の設計、開発・販売業務 および設計者育成
株式会社	ネオクミア	2001年5月	医薬品、医療用具、化粧品等の研究開発
株式会社	Bio-energy	2001年8月	バイオ燃料生産、アーミング菌体の開発など
有限会社	行動医科学研究所 (現：株式会社 行医研)	2002年1月	健康食品素材の研究開発、健康食品の開発
株式会社	ビークル	2002年8月	制癌剤、遺伝子治療薬、バイオナノ粒子を用いる細胞の開発など
株式会社	環境管理会計研究所	2003年4月	マテリアルフローコスト会計の導入支援
株式会社	膠原病研究所	2003年6月	自己免疫疾患の治療薬開発、関節リウマチなど膠原病の治療薬の開発
株式会社	リタニアルバイオサイエンス	2004年3月	免疫賦活剤LBSカルチャー原末の研究開発、製造販売
有限会社	ジーン・アンド・ジーンテクノロジー	2004年5月	石油系炭化水素を生産する微細藻類の研究開発
株式会社	マスター・オブサイエンス	2006年7月	安全性の高い医薬品の開発
株式会社	E S 研	2009年3月	省エネルギー技術コンサルティング業
株式会社	センサーズ・アンド・ワークス	2011年4月	焦電型赤外線センシング技術の開発販売
株式会社	Integral Geometry Science	2012年4月	計測機器、信号・画像処理ソフトウェアの専門事業
株式会社	mplusplus	2013年8月	LED電飾を使ったウェアラブル機器を主とした企画開発、コンサルティング
株式会社	科学技術アントレプレナーシップ	2016年1月	ベンチャー起業コンサルタント、M & Aに関するアドバイザーなど
株式会社	ドリームファスナー	2016年3月	医療機器分野の新商品開発、商品の企画、制作、販売
株式会社	シンプロジェン	2017年2月	長鎖DNA合成技術による「正確で長い」DNAを活用した事業
株式会社	バイオパレット	2017年2月	切らないゲノム編集技術を活用した事業開発
株式会社	ViSpot	2017年9月	ウイルス安全性評価試験（ウイルスクリアランス試験）受託
株式会社	イノベーション・アクセル	2018年2月	アントレプレナーシップ教育事業、会員のネットワーキング事業とメンターの育成、シード・アクセラレーション事業
株式会社	BESTOW S	2018年8月	機械加工用アプリケーションソフトウェアの開発、販売および保守・点検など
株式会社	アルジー・ネクサス	2019年1月	微細藻類関連バイオベンチャー
株式会社	シンアート	2019年3月	合成生物及び合成化学の融合技術に係る研究及び開発

※HP等で内容を確認できる主な企業等を掲載。

16. 国内の大学等との連携協定

○ 本学は、国内の数多くの機関や企業と連携協定を結び、研究・教育・医療の各分野において、充実した社会発展への寄与に取り組んでいる。

◆大学間連携協定等締結状況 (2019.5.1現在)



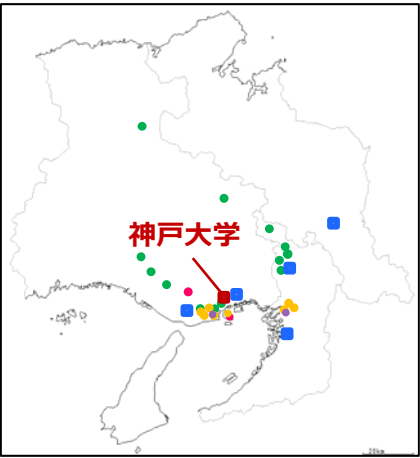
○東北地方の連携先との大学間連携協定

区分	協定名称	協定締結機関	締結日
大	国立大学法人神戸大学と国立大学法人東北大学との災害科学分野における連携協力に関する協定	東北大学	2011年10月23日
大・研	国立大学法人神戸大学、国立大学法人東北大学及び大学共同利用機関法人人間文化研究機構の歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業における連携・協力に関する基本協定書	東北大学、人間文化研究機構	2018年1月26日

○関東地方の連携先との大学間連携協定等 (一部近畿地方の連携先含む)

区分	協定名称	協定締結機関	締結日
大	一橋大学、神戸大学及び大阪府立大学における教育交流に関する協定	一橋大学 大阪府立大学	2010年2月1日
民	国立大学法人神戸大学と一般社団法人日本プロジェクト産業協議会との連携協力に関する協定	一般社団法人日本プロジェクト産業協議会	2014年4月1日
	国立大学法人神戸大学と一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携協力に関する協定	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	2014年6月23日
	国立大学法人神戸大学とアステラス製薬株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	アステラス製薬株式会社	2018年3月30日
	国立大学法人神戸大学と第一三共株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	第一三共株式会社	2018年5月31日
	教育研究活動や国際交流への支援、及びこれに資する人材育成等を目的とした連携協定	株式会社クレディン	2018年11月26日
独	国立大学法人神戸大学と独立行政法人国際協力機構との連携協定	(独) 国際協力機構 (JICA)	2011年3月1日
研	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構と国立大学法人神戸大学との間における包括的連携・協力関係の推進に関する協力協定	(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構	2017年6月7日
	国立大学法人神戸大学と独立行政法人海洋研究開発機構 ⁽⁸⁾ との包括連携協定	国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)	2012年12月20日
	現代中国地域研究に関する研究協力協定	大学共同利用機関法人人間文化研究機構	2013年8月1日

◆近畿地方の大学間連携協定等締結先 (2019.5.1現在)



- = 大学 (本部所在地)
- = 自治体等 (庁舎等所在地)
- = 民間企業 (本社所在地)
- = 国立研究開発法人等 (所在地)
- = 官公庁 (庁舎)

※このページにて記されている連携協定は全学的に締結した「大学間連携協定等」であり、部局において締結された連携協定については記載していない。

○近畿地方の連携先との大学間連携協定等

区分	協定名称	協定締結機関	締結日
大	国立大学法人神戸大学と学校法人神戸薬科大学との連携に関する協定	神戸薬科大学	2007年7月17日
	国立大学法人神戸大学と国立大学法人京都大学との計算科学分野における連携協力に関する協定	京都大学	2010年4月1日
	京都大学、大阪大学及び神戸大学における相互の協力に関する協定	京都大学、大阪大学	2013年12月21日
	国立大学法人神戸大学と公立大学法人兵庫県立大学との連携に関する協定	兵庫県立大学	2018年1月23日
	国立大学法人神戸大学と国立大学法人徳島大学との連携に関する協定	徳島大学	2018年1月23日
自	国立大学法人神戸大学と神戸市灘区との連携協力に関する協定	神戸市灘区	2004年12月2日
	国立大学法人神戸大学と小野市との連携協力に関する協定	小野市	2005年1月26日
	国立大学法人神戸大学と兵庫県朝来郡生野町 (現・朝来市) との連携協力に関する協定	朝来市	2005年3月23日
	国立大学法人神戸大学と加西市との連携協力に関する協定	加西市	2009年5月19日
	国立大学法人神戸大学と兵庫県との連携に関する協定	兵庫県	2010年8月2日
	国立大学法人神戸大学と篠山市との連携協力に関する協定	丹波篠山市	2010年8月30日
	教員養成のための連携協力に関する協定	大阪府豊能地区 (豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町) 教育委員会	2012年12月18日
	国立大学法人神戸大学と神戸市との連携に関する協定	神戸市	2013年5月24日
	三木市と国立大学法人神戸大学との連携に関する協定	三木市	2013年6月27日
	神戸大学と兵庫県教育委員会との連携に関する協定	兵庫県教育委員会	2014年1月30日
	国立大学法人神戸大学と神戸市教育委員会との連携に関する協定	神戸市教育委員会	2015年11月6日
	国立大学法人神戸大学と川崎重工業株式会社との産学連携の推進に関する協定	川崎重工業株式会社	2006年10月23日
	連携協力協定	本州四国連絡高速道路株式会社	2009年7月1日
	神戸大学と池田銀行 (現・池田泉州銀行) の連携協力に関する協定	池田泉州銀行	2009年8月6日
	国立大学法人神戸大学と株式会社カネカとの包括的な産学連携推進に関する協定	株式会社カネカ	2010年12月14日
国立大学法人神戸大学と株式会社神戸新聞社との連携に関する協定	神戸新聞社	2014年7月7日	
国立大学法人神戸大学とバンドー化学株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	バンドー化学株式会社	2014年9月24日	
国立大学法人神戸大学と阪神高速道路株式会社との連携に関する協定	阪神高速道路株式会社	2015年12月15日	
国立大学法人神戸大学と小野薬品工業株式会社との包括的な産学連携推進に関する協定	小野薬品工業株式会社	2018年3月30日	
研	国立大学法人神戸大学と独立行政法人理化学研究所 ⁽⁸⁾ 計算科学研究機構との計算科学、計算機科学及びこれらに関連する分野における連携・協力に関する協定	国立研究開発法人理化学研究所計算科学研究センター (R-CCS)	2012年5月15日
	独立行政法人防災科学技術研究所 ⁽⁸⁾ 兵庫耐震工学研究センターと国立大学法人神戸大学との連携に関する協定	国立研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター	2014年9月29日
	国立大学法人神戸大学と国土交通省近畿地方整備局との連携・協力に関する協定	国土交通省近畿地方整備局	2015年7月8日
官	サイバー空間の脅威に対処するための連携及び協力に関する協定	兵庫県警察本部、兵庫県立大学	2016年2月19日

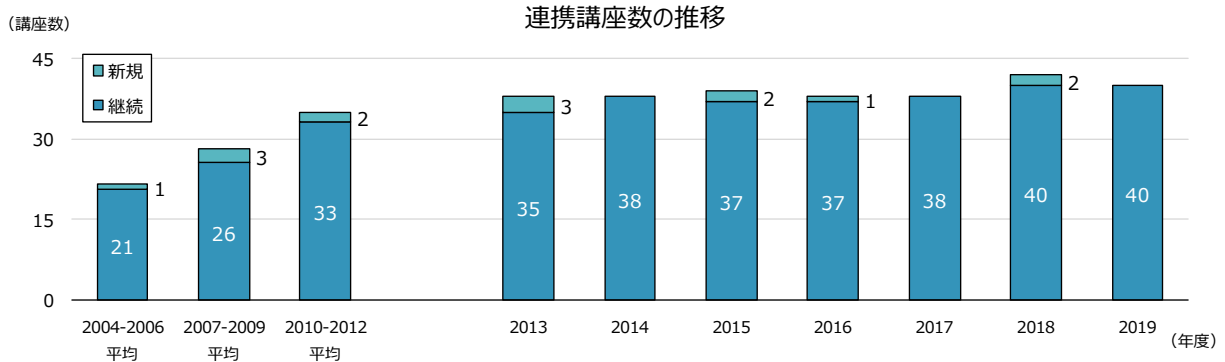
○九州地方の連携先との大学間連携協定

区分	協定名称	協定締結機関	締結日
自	国立大学法人神戸大学と中津市との連携に関する協定	大分県中津市	2016年4月22日

【区分】大・・・大学、自・・・自治体等、民・・・民間企業等、独・・・独立行政法人、研・・・国立研究開発法人等、官・・・官公庁等
 (※)・・・2018年4月1日、国立研究開発法人となった。

17. 連携大学院等実施状況

○ 本学では、ほとんどの研究科において、多様な分野で官・民・病等の組織と連携講座を設けており、2019年度は40講座となっている。



◎連携講座一覧（2019年5月1日現在）

※グラフの講座数は下記一覧の「講座数」数を表す。

研究科名	専攻名	講座名	連携先	開始年度
人文学研究科	社会動態専攻	文化資源論	(財)大和文華館 (独)国立文化財機構 奈良国立博物館	2007年度
国際文化学研究科	グローバル文化専攻	先端コミュニケーション論	(株)国際電気通信基礎技術研究所	2007年度
人間発達環境学研究科	人間環境学専攻	環境先端科学	国立研究開発法人国立環境研究所 国立研究開発法人産業技術総合研究所	2007年度
経営学研究科	経営学専攻・現代経営学専攻	マネジメント・システム設計	(株)野村総合研究所	1998年度
		事業価値評価	GCA(株)	2006年度
		経営戦略システム設計	アクセンチュア(株)	1999年度
理学研究科	化学専攻	構造解析化学	(財)高輝度光科学研究センター	2007年度
	理論生物化学	国立研究開発法人理化学研究所 計算科学研究機構	2011年度	
	生物学専攻	発生物学	国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター	2007年度
		生物制御科学	住友化学(株) 健康・農業関連事業研究所	2015年度
惑星学専攻	惑星地球変動史	国立研究開発法人海洋研究開発機構	2013年度	
		大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台		
	応用惑星学	気象庁気象研究所	2016年度	
		多細胞システム形成研究センター	2002年度	
医学研究科	医科学専攻	生理学・細胞生物学	(財)高輝度光科学研究センター	2000年度
		生化学・分子生物学	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	2007年度
		微生物感染症学	兵庫県立健康生活科学研究所	2008年度
		地域社会医学・健康科学	(独)医薬品医療機器総合機構	2011年度
		内科学	(株)カン研究所	2010年度
			兵庫県立姫路循環器病センター	2015年度
		内科系	兵庫県立粒子線医療センター	2001年度
			(公財)神戸医療産業都市推進機構 先端医療センター	2001年度
			(公財)神戸医療産業都市推進機構 先端医療センター、シスメックス(株)	2008年度
			兵庫県立こども病院	2013年度
		外科学	兵庫県立姫路循環器病センター	2015年度
			兵庫県立総合リハビリテーションセンター 兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター	2007年度
		兵庫県立こども病院	2013年度	
		保健学研究科	保健学専攻	リハビリテーション科学
工学研究科	建築学専攻	地域減災計画	総務省消防庁消防大学校消防研究センター	2007年度
	電気電子工学専攻	機能性薄膜学	パナソニック(株) 先端技術研究所	2007年度
		知的製造システム	(株)神戸製鋼所技術開発本部 神戸総合技術研究所	2007年度
	機械工学専攻	機能適応モデル	国立研究開発法人情報通信研究機構	2007年度
		開智型ものづくり	川崎重工業(株) 技術開発本部	2009年度
	応用化学専攻	局所場反応・物性解析学	国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター	2007年度
		化学エネルギー変換プロセス学	国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター	2007年度
		生物機能工学	(財)サントリー-生物有機科学研究所	2009年度
		製剤設計生産工学	アステラス製薬(株)	2010年度
		ケミカル・バイオセンシング	国立研究開発法人産業技術総合研究所	2011年度
環境エネルギー・材料学		国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	2018年度	
システム情報学研究科	システム科学専攻	応用システム	三菱電機(株)	2007年度
	情報科学専攻	感性アートメディア	(株)国際電気通信基礎技術研究所	2007年度
		知能統合	国立研究開発法人理化学研究所 革新知能統合研究センター	2018年度
	計算科学専攻	応用計算科学	国立研究開発法人海洋研究開発機構	2010年度
大規模計算科学		国立研究開発法人理化学研究所 計算科学研究機構	2013年度	
農学研究科	資源生命科学専攻	食料生産フィールド科学	兵庫県立農林水産技術総合センター	2007年度
海事科学研究科	海事科学専攻	海洋環境計測科学	国立研究開発法人海洋研究開発機構	2007年度
		地域環境科学	(財)ひよご環境創造協会 兵庫県環境研究センター	2009年度

◎寄附講座（2019年5月1日現在）

研究科名	専攻名	講座名	寄附者	講座期間
医学研究科	医科学専攻	生理学・細胞生物学講座	MSD(株) ノボルディスクファーマー(株) 興和創薬(株) 大正富山医薬品(株)	2018年10月1日 ~ 2023年3月31日
		病理学講座	北播磨総合医療センター	2017年4月1日 ~ 2020年3月31日
		地域社会医学・健康科学講座	兵庫県	2015年4月1日 ~ 2020年3月31日
			兵庫県病院事業管理者	2019年4月1日 ~ 2022年3月31日
		内科学講座	神戸市	2018年4月1日 ~ 2021年3月31日
			日本メドトロニック(株) アボットメディカルジャパン(株)	2019年4月1日 ~ 2022年3月31日
		内科系講座	神戸市	2019年4月1日 ~ 2024年3月31日
			神戸市	2015年4月1日 ~ 2020年3月31日
		外科学講座	シスメックス(株)	2018年10月1日 ~ 2021年9月30日
			シスメックス(株)	2017年4月1日 ~ 2020年3月31日
兵庫県/養父市	2019年4月1日 ~ 2020年3月31日			
(株)メディカロイド	2019年4月1日 ~ 2021年3月31日			
外科系講座	神戸市	2017年4月1日 ~ 2022年3月31日		
	(株)サージカル・スパイン	2018年4月1日 ~ 2021年3月31日		
	兵庫県病院事業管理者	2018年4月1日 ~ 2023年3月31日		

◎寄附研究部門（2019年5月1日現在）

センター名	部門名	寄附者	講座期間
バイオングナル総合研究センター	シグナル分子応答研究部門	公益財団法人住友電工グループ 社会貢献基金	2018年4月1日 ~ 2023年3月31日

◎共同研究講座（2019年5月1日現在）

研究科名	専攻名	講座名	共同研究機関	講座期間
工学研究科	応用化学専攻	サステナブルケミストリー（日本触媒） 共同研究講座	株式会社日本触媒	2017年7月1日 ~ 2019年6月30日
医学研究科	医科学専攻	生化学・分子生物学講座	エーザイ(株)	2018年4月1日 ~ 2023年3月31日
		内科系講座	GEヘルスケアジャパン(株)	2019年4月1日 ~ 2024年3月31日

18. 教育関係共同利用拠点

- 2014年度に教育関係共同利用拠点への認定申請を行い、以下の3施設について認定された。
 (認定期間：2014年7月31日～2019年3月31日)
 ※なお、2018年度に新たな拠点名で再度認定申請を行い、3施設とも2019年4月1日～2024年3月31日まで認定された。

内海域環境教育研究センター マリンサイト ※2016年度から自然科学系先端融合研究環より移行 【 拠点名 都市域沿岸の海洋生物・生態系と環境管理に関わる教育共同利用拠点 】

2018年度共同利用状況 (学内を除く)

区分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	13	41	171
公立大学	3	12	27
私立大学	5	7	25
民間・独立行政法人等	30	34	64
外国の研究機関	2	5	15
計	53	99	302



2018年度実施プログラム (抜粋)

課題	概要
全国公開臨海実習 Aコース	沿岸域生態系の主要な構成要素の1つである海藻類を対象に、その生物多様性を、分類・生態・形態・生理・進化・遺伝子などの多様な側面から学んだ。(利用者数：7名)
全国公開臨海実習 Bコース	ため池と河川の生物群集が陸域からの資源供給に支えられていることを実測するとともに、それら陸域－淡水域間の相互作用が河口付近に形成される干潟の生物群集とどのように関係しているか検証した。(利用者数：2名)
全国公開臨海実習 Cコース	調査実習船「おのころ」による海上実習を行い、海水の水温・塩分・溶存酸素濃度・光量・流速などの観測、海水・プランクトン・海底堆積物の採取・分析を通して、内湾環境の多様性とその原因を考察した。(利用者数：4名)
奈良女子大学 臨海実習	藻類の多様性と進化・沿岸環境との関わりについての講義、船舶を用いた沿岸環境の観察、淡路島の沿岸における海藻類・海産底生動物の生態観察・採集、実験室における海藻類・海産底生動物の同定、標本作製、組織観察などを行った。(利用者数：12名)
大型藻類培養技術ワークショップ	ナショナルバイオリソースプロジェクト「藻類」と連携し、研究材料としての大型藻類の系統保存株の確立と保存、利用などの基礎について学んだ。国際実習として英語で実施した。(利用者数：4名)

大学院農学研究科附属 食資源教育研究センター

【 拠点名 農場と食卓をつなぐフィールド教育拠点 】

2018年度共同利用状況 (学内を除く)

区分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	8	18	18
公立大学	6	144	268
私立大学	9	251	313
民間・独立行政法人等	6	201	264
外国の研究機関	0	0	0
計	29	614	863



2018年度実施プログラム (抜粋)

課題	概要
農場と食卓をつなぐフィールド演習	大学コンソーシアム単位互換科目。9/5-9/7の日程で、ウシの管理、ブドウの収穫と調製、イネの管理、キャベツの定植、里山散策、野草の利用などについて実習し、ワークショップを行った。(利用者数：14名)
農場から食卓まで (兵庫大学)	利用大学開講科目「食品学実験Ⅱ」の一環として実施。6/24にウシの飼養管理、タマネギ・パレイシヨの収穫・調製などについて実習した。(利用者数：41名)
農場から食卓まで (関西国際大学)	利用大学開講科目「コミュニティビジネス」の一環として実施。7/14にパレイシヨの収穫・調製、ナシの袋かけ、ウシの飼養管理、里山散策、野草の利用などについて実習した。(利用者数：105名)
農場から食卓まで (吉備国際大学)	利用大学開講科目「フィールド実習Ⅱ」の一環。10/20にサツマイモの収穫、カキの脱渋、ウシの飼養管理などについて実習した。(利用者数：59名)
食料生産実習 (大阪府立大学)	利用大学開講科目「食料生産実習」を本学で実施。9/3-5にウシの取り扱い・鼻紋採取・除角・体重測定、トラクター操作、里山散策などについて実習した。(利用者数：14人)
実践食料生産 (大阪市立大学)	利用大学開講科目「QOLプロモーション演習Ⅰ・Ⅱ」の一環として実施。9/10-12にウシの体重測定、キャベツ追肥、ブドウ・ナシの収穫・調製、イネ収穫などについて実習し、ワークショップを行った。(利用者数：5人)

大学院海事科学研究科附属 練習船深江丸

【 拠点名 グローバル海上輸送に関わる海事技術・海洋環境とヒューマンファクタの教育のための共同利用拠点 】

2018年度共同利用状況（学内を除く）

区 分	所属機関数	利用人数	延べ人数
国立大学	1	75	75
公立大学	1	24	48
私立大学	8	143	273
民間・独立行政法人等	0	0	0
外国の研究機関	0	0	0
計	10	242	396



2018年度実施プログラム（抜粋）

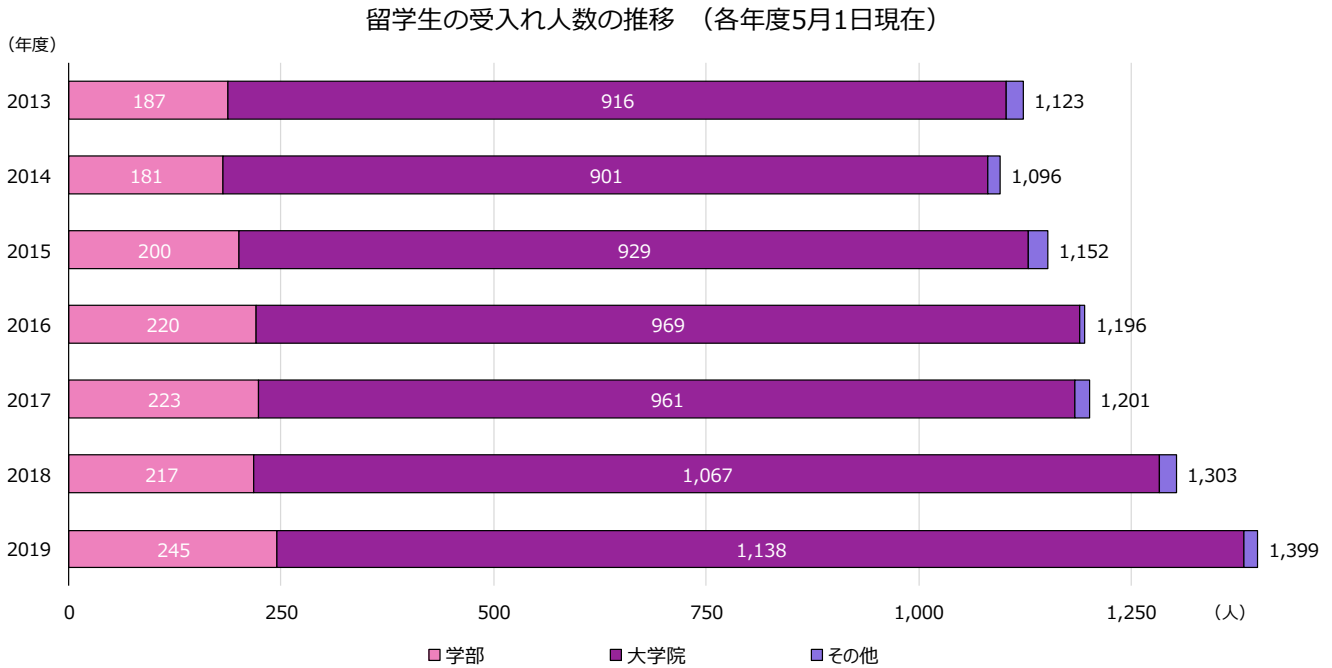
課 題	概 要
帝塚山大学大学院 心理科学研究科 心理科学基礎論Ⅱ	心理学の諸問題に対処するための高度な知識や技能を修得することを目的とし、特に、応用・社会心理学的なアプローチに役立つと思われる具体的な技法を学ぶことを通して、新たな提言ができることを目指した。授業は原則として講義形式で行ったが、実習的要素も盛り込み、神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」を利用して海上交通心理学関連の実習を行った。（利用者数：13名）
関西大学 商学部 専門演習	神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」に乗船し、神戸港の物流施設の見学、及び交通機関における安全問題とチームワークの重要性について実習を通して学んだ。（利用者数：13名）
神戸女学院大学 人間科学部 演習ⅠB	関心のあるテーマが共通した学生でグループになり、共同で研究（実験、調査、観察）を行うとともに、グループで主体的に研究し、データ解析及び論文へのまとめを行った。また、他のメンバーとのディスカッションを通じて、心理学の研究法について理解を深めた。さらに、並行して、各自の卒論のテーマにつながる文献を読んで発表し、ゼミ生全員でディスカッションした。船舶（船内・海上）における安全意識・安全対策に関する体験実習として、神戸大学海事科学研究科所属練習船「深江丸」に乗船し、船舶実習を行った。（利用者数：19名）
大阪大学 工学部 船舶設計製図	船舶の全体形状、居住施設、船倉、設備等を示した見取り図である船体一般配置図の船舶設計における重要性と、各種船舶の一般配置図の概要を学び、課題船舶の一般配置図を製図するため、神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」に乗船し、船内の調査を行った。（利用者数：47名）
奈良大学 文学部 地理学講読・調査法（六）	フィールドワーク（野外巡検）を企画し、動画および報告書の作成を通してフィールドワークのまとめを行った。一連の調査を通しては、先行研究の整理と地形図、空中写真、空間データ、衛星画像等の情報収集及び分析を通して、地域構造、社会生活、経済活動、人口変化、地域文化といった総合的研究の基礎を学んだ。これらの演習に加えて、関連技術として、海上での最新の測位システムや地形図と海図の違いについて学ぶために、神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船「深江丸」にて船上実習を行った。（利用者数：13名）

19. 留学

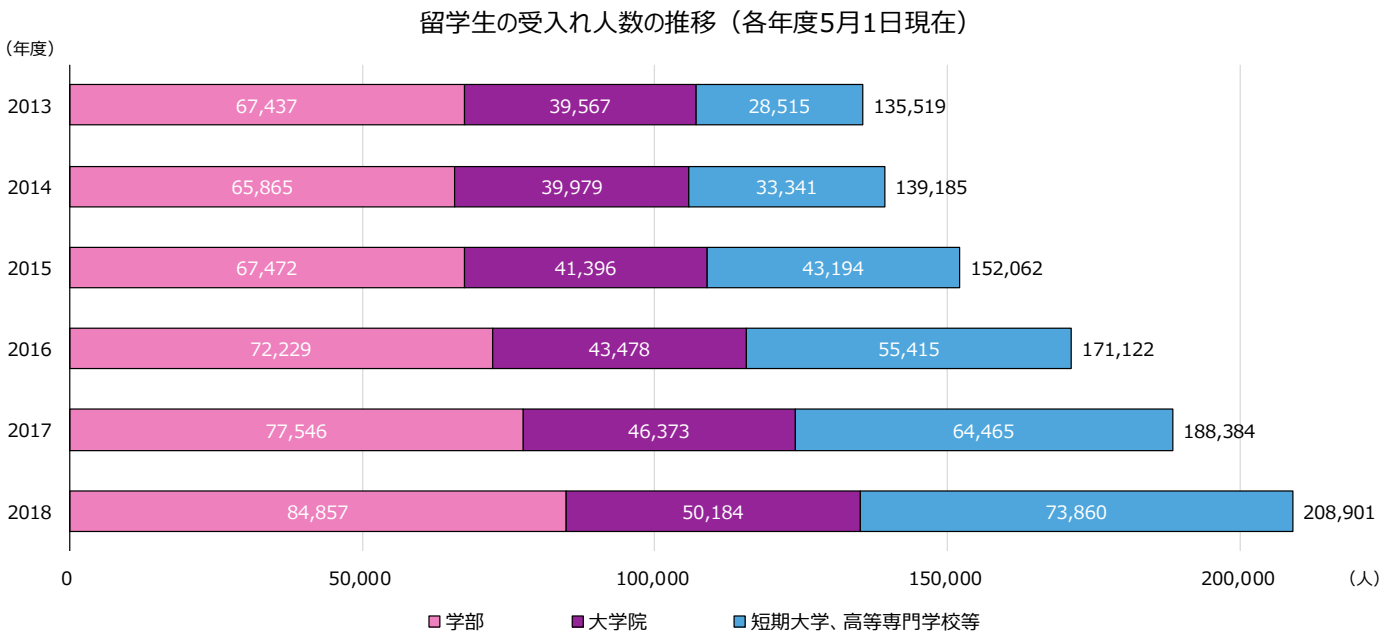
○ 留学生の受入れについて、2019年度（5月1日時点）は前年度の1,303名を上回り、過去最多となる1,399名を受け入れた。

19-1 外国人留学生受入れ状況 — 在籍段階別 —

◆神戸大学◆



◆全国◆

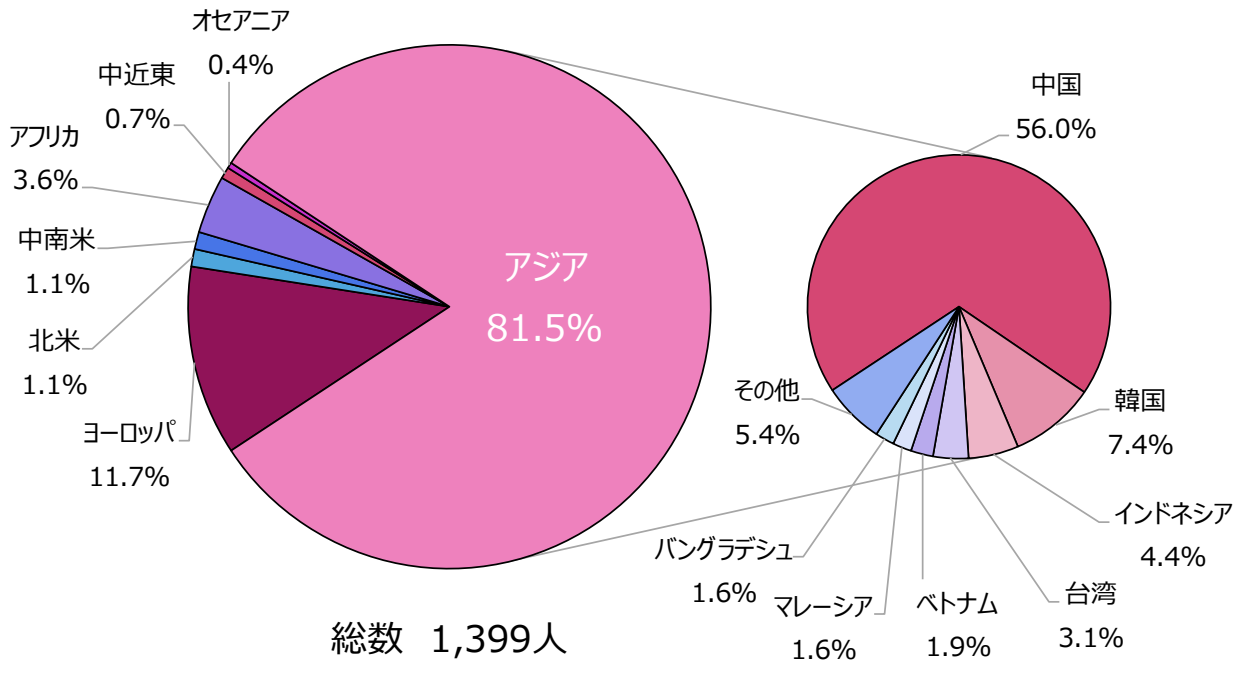


出典（全国）：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」

19-2 外国人留学生受入れ状況 — 地域別 —

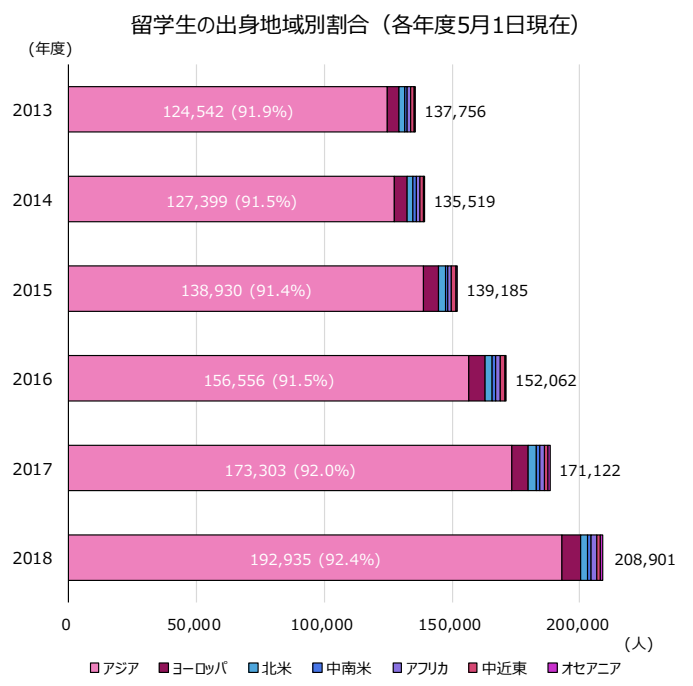
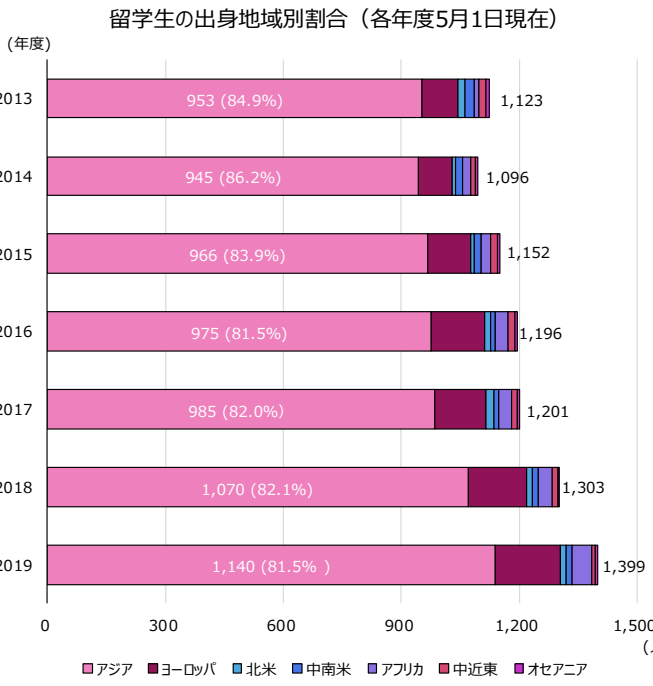
◆神戸大学◆

受入れ留学生数の地域別割合（2019年5月1日現在）



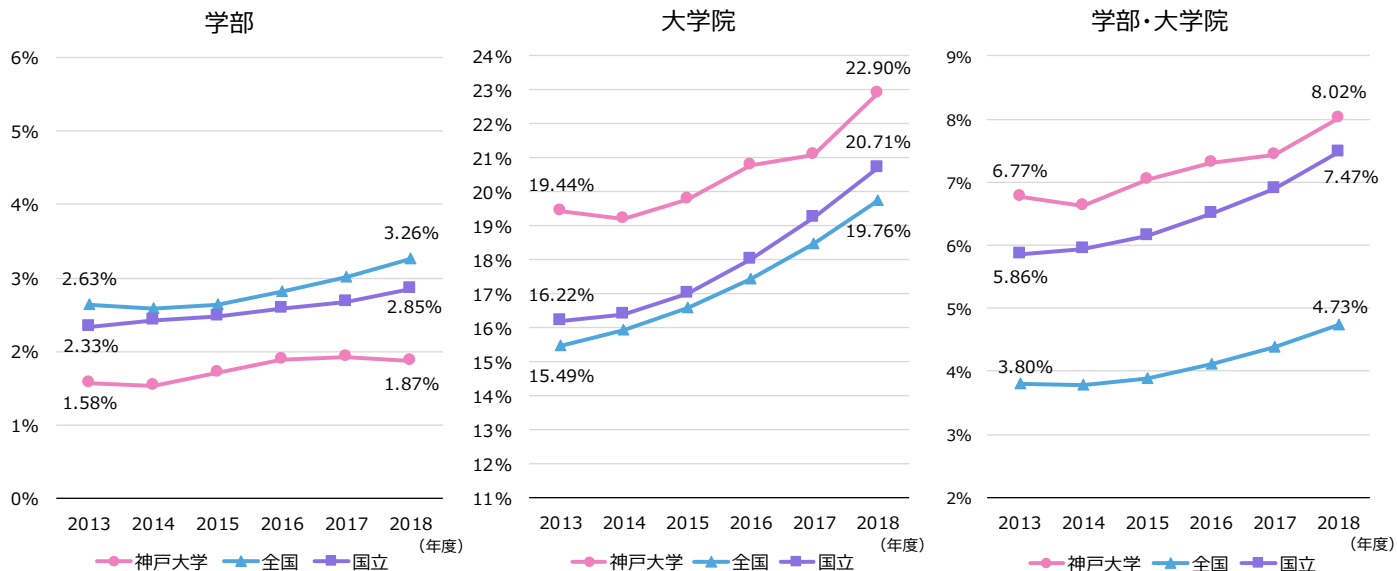
◆神戸大学◆

◆全国◆



出典（全国）：JASSO「外国人留学生在籍状況調査」
 ※（ ）内は各年度における全体に対するアジア出身留学生の割合。
 ※ 全国の留学生には、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）、準備教育課程の留学生を含む。
 ※ 小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

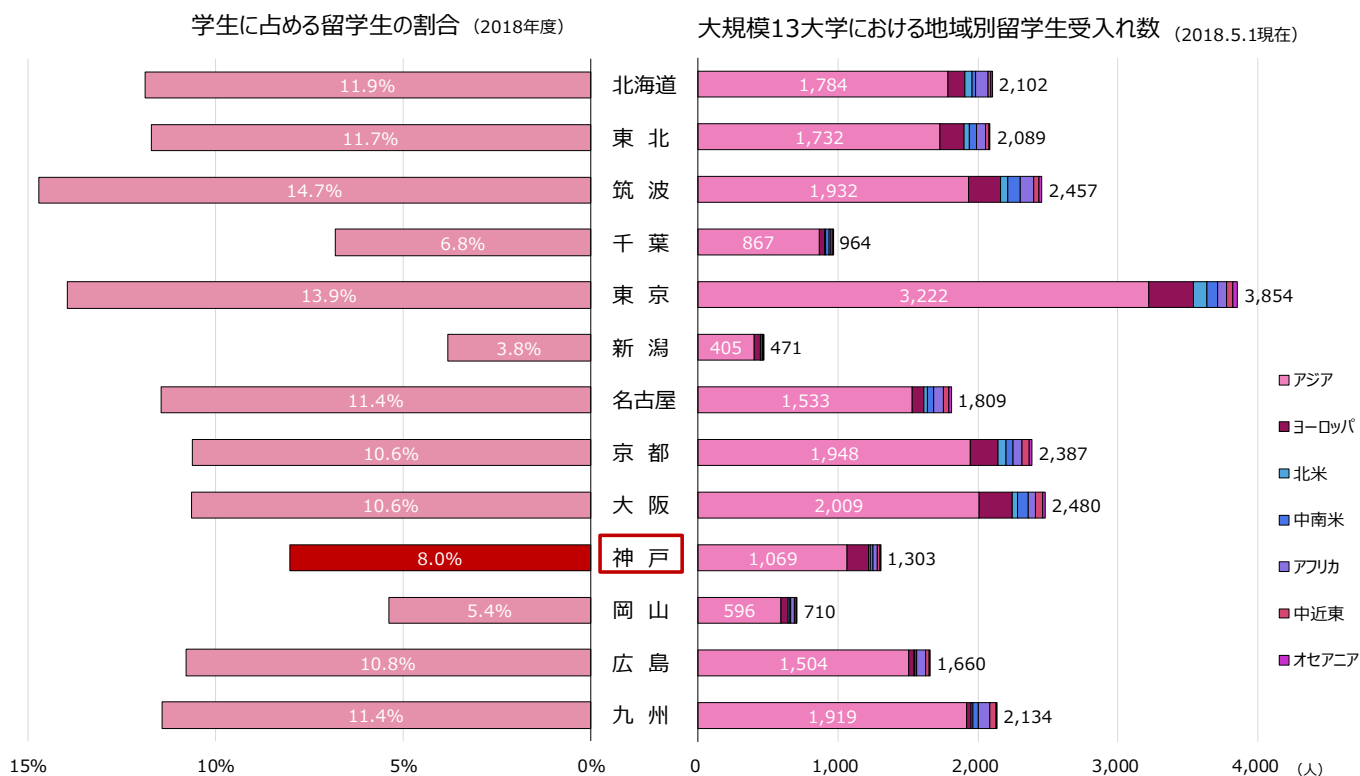
19-3 在籍学生に占める外国人留学生の比率



出典 (全国・国立) : (留学生数) JASSO「外国人留学生在籍状況調査」、(学生数) 文部科学省「学校基本調査」

※留学生比率 (学部・大学院留学生比率) = (学部留学生数 + 大学院留学生数) ÷ (学部学生数 + 大学院学生数) × 100

19-4 大規模13大学の外国人留学生受入れ状況



出典 (学生数) : 大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報 [(7-A) 学生数] ※別科や専攻科を含む

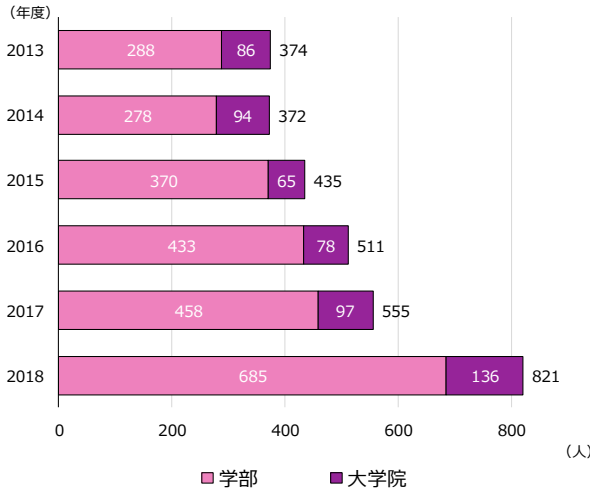
出典 (留学生数) : 大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報 [(11) 国費留学生, 私費留学生, 留学生以外の外国人学生] ※留学生以外の外国人学生は含まない

※留学生の割合 = (学部留学生数 + 大学院留学生数) ÷ (学部学生数 + 大学院学生数) × 100

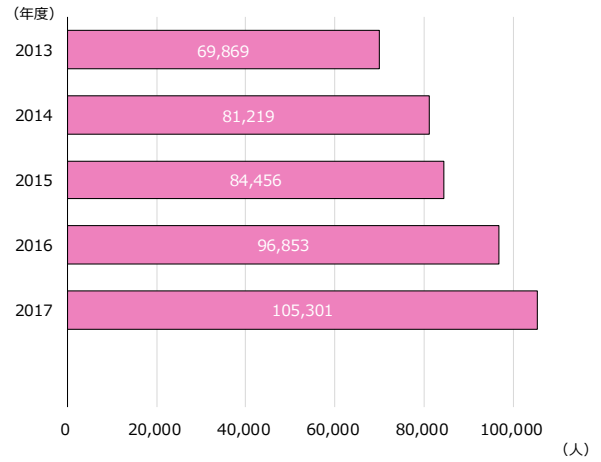
- 本学では学生の海外留学を支援するため、2018年度からグローバル教育管理システムを導入したことにより、留学手続きが以前よりも簡略化され、派遣数が前年度比で約1.5倍増と大幅に伸びた。
- 学生の海外派遣数について、その地域別割合を見ると、神戸大学は他大学と比して、ヨーロッパへの派遣比率が高い。EUの中心地であるブリュッセルにオフィスを構え、ヨーロッパ諸国との国際連携活動を展開している本学の特徴と言える。

19-5 学生の海外派遣状況 — 在籍段階別 —

◆神戸大学◆



◆全国◆



※各年度4月1日～3月31日に派遣した人数

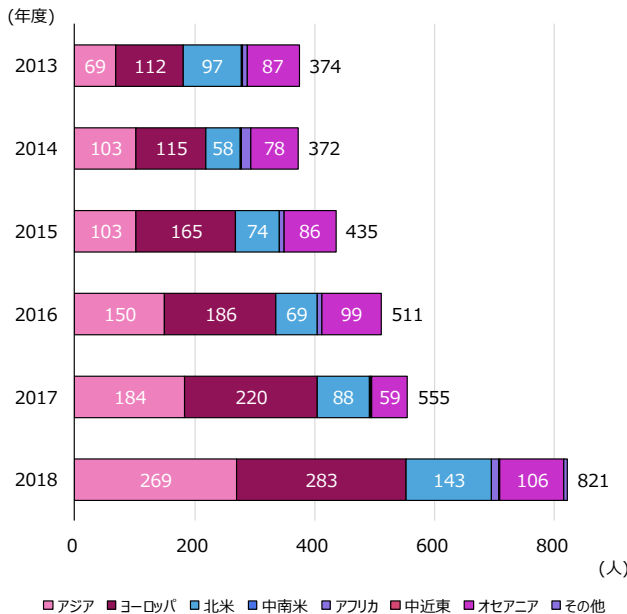
※神戸大学（左）…単位授与を伴うプログラムに基づくもの。

※全国（右）…協定等に基づく日本人留学状況及び協定等に基づかない日本人学生留学状況（在籍大学等把握分）の合計。

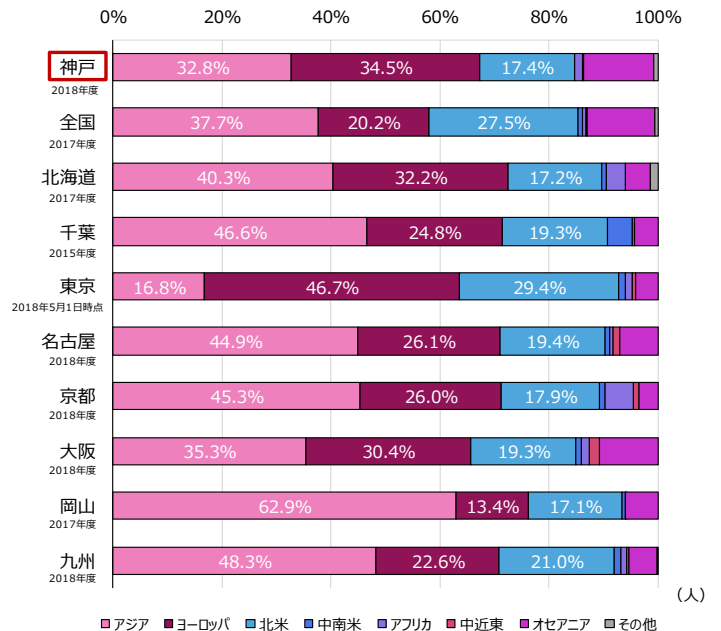
出典（全国）：JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

19-6 学生の海外派遣状況 — 地域別 —

◆神戸大学◆



◆各大学◆



※各大学のグラフ内には、比較的割合の大きいアジア、ヨーロッパ、北米の割合のみ記載している。

※以下のとおり、大学によって定義が異なるので、単純比較はできない。

北海道大学…協定等に基づく学生の海外派遣者数及び協定等に基づかない学生の海外派遣者数の合計

千葉大学…学生交流協定校以外への派遣を含む

東京大学、大阪大学…定義の記載なし

名古屋大学…海外留学の種類・目的は交換留学、研究、語学研修、学位取得等

京都大学…外国へ渡航した学生数

神戸大学…単位授与を伴うプログラムに基づくもの

岡山大学…スーパーグローバル大学創成支援事業の実績値より

九州大学…過年度に留学を開始した者を含む

出典（全国）：JASSO「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

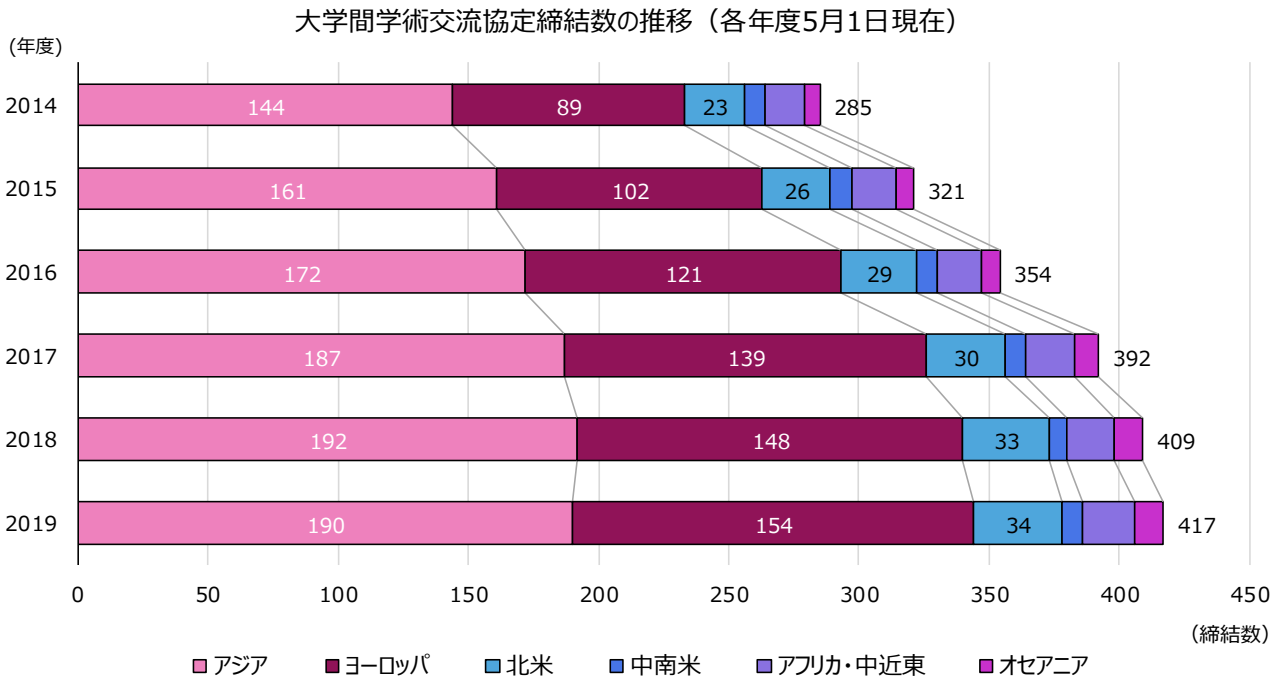
※「協定等に基づく日本人学生派遣数」と参考として記載されている「協定等に基づかない日本人学生留学状況（在籍学校において把握している限り）」の合計。

出典（各大学）：各大学のHP等

20. 海外大学との交流状況

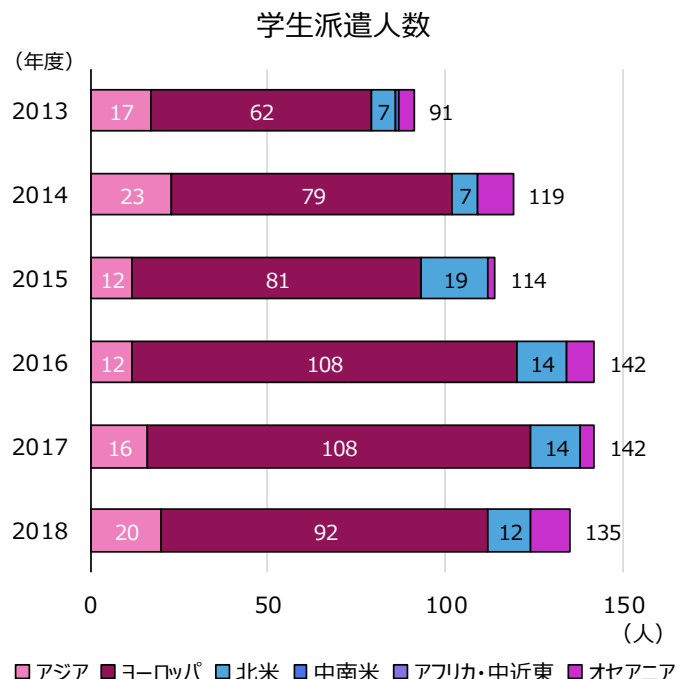
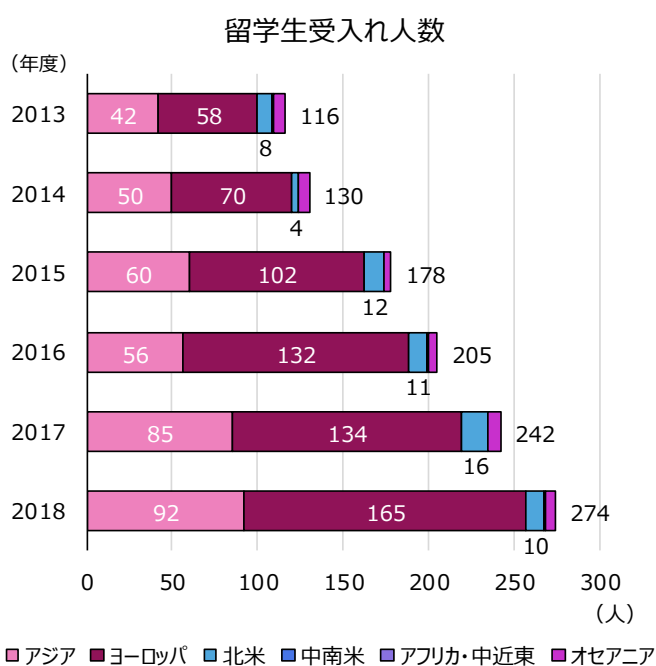
20-1 外国の大学等との学術交流協定の締結状況

○ 大学間学術交流協定締結数は近年、アジア及びヨーロッパを中心に増加傾向にある。



20-2 大学間学術交流協定に基づく留学生受入れ・学生派遣状況

○ 大学間学術交流協定数の伸びと同調して、2018年度は留学生受入れ人数が過去最多となったが、学生派遣人数については若干減少した。ヨーロッパの大学との交流が多くを占める一方、協定数の割にアジアの大学の交流が少なかったが、2017年度以降の留学生の受入れは大きく増加している。



20-3 ダブルディグリープログラムによる交流学生数

○神戸大学におけるダブルディグリー設置状況

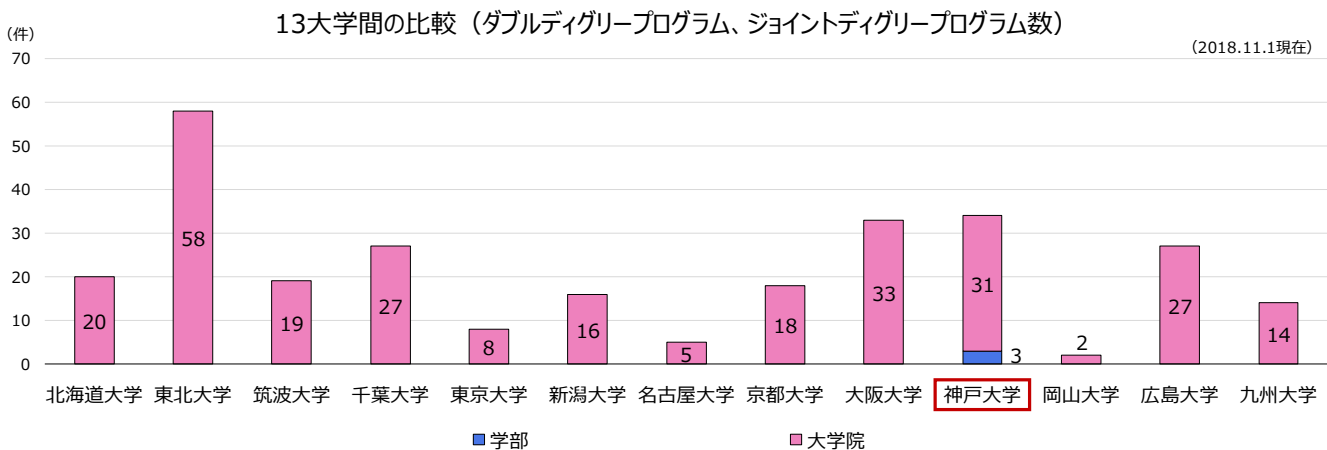
2019年3月31日現在

部局	課程	共同設置機関国	共同設置機関校	先方における関係部局	プログラム発書締結日	派遣/受入れ開始日	派遣												受入れ																							
							2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018														
人文学研究科	修士	中国	北京外国語大学	北京日本学研究中心	2014/9/30	2015年9月(派遣) 2016年4月(受入)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	0						
国際文化学研究科	修士	ベルギー	ルーヴン大学※1	人文学研究科	2012/3/28 2017/7/6 更新	2012年秋以降	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0	0	1						
				MAES	2015/12/15	2017年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0						
	中国	浙江大學※1	人文学院	2011/9/28	2012年春	-	-	-	-	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
	イタリア	ナポリ東洋大学	—	2014/5/19	2015年春	-	-	-	-	-	-	0	0	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	2						
	フランス	パリ・デイトロ大学※1	地理・歴史・社会科学研究所	2015/10/23	2016年春	-	-	-	-	-	-	-	0	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0	1							
ドイツ	ハンブルク大学	人文科学部アジア・アフリカ研究所	2015/10/23 2019/3/11更新	2019年10月	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0							
法学研究科	修士	英国	エセックス大学※1	政治学部	2013/9/19	2014年秋以降	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	0	1						
				ヨーロッパ研究センター	2014/3/11 2018/7/19更新	2014年秋以降	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	3	0				
経済学研究科	修士	中国	北京外国語大学※2	北京日本学研究中心	2010/5/18 2013/5/8 更新 2014/3/12 更新	2012年春	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	2	0	1			
				武漢大学※2	外国語文学部	2012/12/10	2013年秋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	2	3	5	1	2	3
				ベトナム	貿易大学※5	—	2016/7/13	2017年秋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0		
				英国	エセックス大学	—	2018/3/23	未定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
				ベトナム	貿易大学※4	日本語学部	2015/2/24 2019/3/11更新	2016年春	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	1		
	学士	中国	武漢大学※4	外国語文学部	2015/3/16	2016年春	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	3				
				ベルギー	ルーヴン大学※4	人文学部	2015/6/8	2016年春	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
				英国	シェフィールド大学	マネジメントスクール	2016/11/29	2017年9月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1			
				ベトナム	貿易大学※5	—	2016/7/13	2017年秋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0		
				インドネシア	ガジャマダ大学※1	医学部	2016/2/29	未定	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0		
タイ	マヒドン大学	シリラート病院医学部	2015/11/26	未定	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0						
インドネシア	バジャラン大学※1	医学部	2018/12/6	未定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0							
保健学研究科	修士	インドネシア	シアクラ大学※1	医・公衆衛生・看護学部	2018/10/1	未定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
工学研究科	修士	インドネシア	シアクラ大学※1	大学院	2019/3/29	未定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
国際協力研究科	修士	インドネシア	インドネシア大学※3	経済学研究科	2014/11/26	2007年秋 (受入) 2010年8月 (派遣)	-	1	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1	3	2	2	2	1	1	-	3	4	2	2													
				経済経営研究科	2014/12/1		-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	3	3	4	-	2	2	1	2										
				都市工学系研究科	2006/6/28		-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	2	1	1	0	1	1	1	1	1									
				政治学研究科	2015/12/18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	1	
				建築計画政策開発研究科	2006/6/28 2009/3/27更新		-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
				韓国	高麗大学校※1		国際大学院	2012/3/26	2012年秋	-	-	-	2	2	3	0	3	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	3	1	1	1	2					
		中国	復旦大学※1	国際関係・公共事務学院	2012/6/12	2012年秋	-	-	-	2	2	4	0	2	0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	3	0	3	2	2									
		ベトナム	貿易大学※5	—	2016/7/13	2017年4月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0					
		英国	イーストアングリア大学	国際開発学部	2008/7/16 2015/3/18 更新 2018/9/5更新	2009年秋	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
				—	2009/9/7	2010年秋	-	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
				—	2010/2/25	2010年秋	-	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		米国	ピッツバーグ大学	公共国際関係学研究所	2009/9/24	2013年秋	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0	0		
計							1	3	2	6	4	10	4	8	7	11	7	7	6	6	11	15	19	15	26	37	26	28														

- ※1 授業料相互不徴収によるダブルディグリープログラム。
- ※2 受入れのみのダブルディグリープログラムであり、日本語学科の修士課程に在籍の学生を対象として、最短2年間で共同設置大学と神戸大学経済学研究科の修士号取得を目指すもの。
- ※3 インドネシア大学、ガジャマダ大学、バンドン工科大学とは、2006年に日本の国際協力銀行（当時）の円借款による支援を受けてダブルディグリー取得を目指す学生の受入れのために覚書を交わし、2007年秋学期から、受入れを開始した。その後、2014年度に一旦受入れを中断し、同年にインドネシア大学、ガジャマダ大学と覚書を更新、2015年度より再開している（バンドン工科大学については協定終了）。なお、これらの大学とは、別途私費でダブルディグリー取得を目指す学生の相互派遣・受入れを目指した覚書も締結している。
- ※4 受入れのみの3年次編入のダブルディグリープログラム。
- ※5 4研究科（法学・経済学・経営学・国際協力）による、受入れのみの修士課程のダブルディグリープログラム。

20-4 ダブルディグリー、ジョイントディグリープログラム — 大規模13大学間の比較 —

○ 国立大学で学部入学定員の上位13大学のうち、神戸大学のダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム数は学部・大学院を合計すると2位であった。

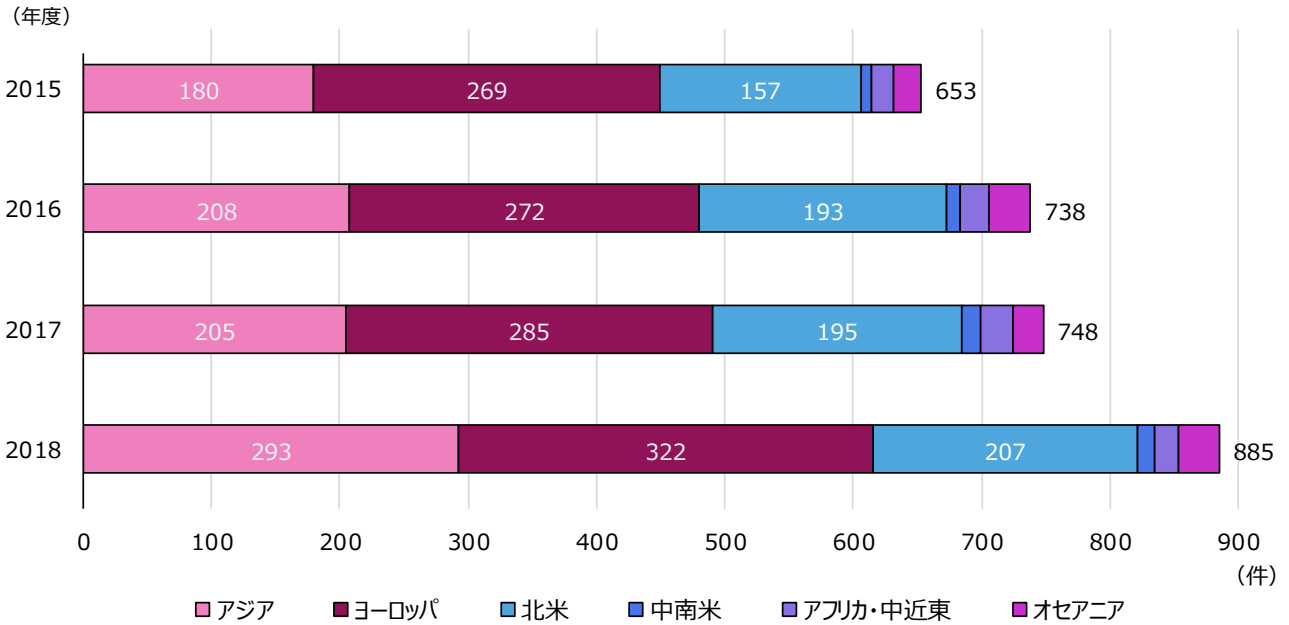


出典：国立大学協会「Study abroad at National Universities in Japan」

20-5 海外研究機関との国・地域別共同研究数

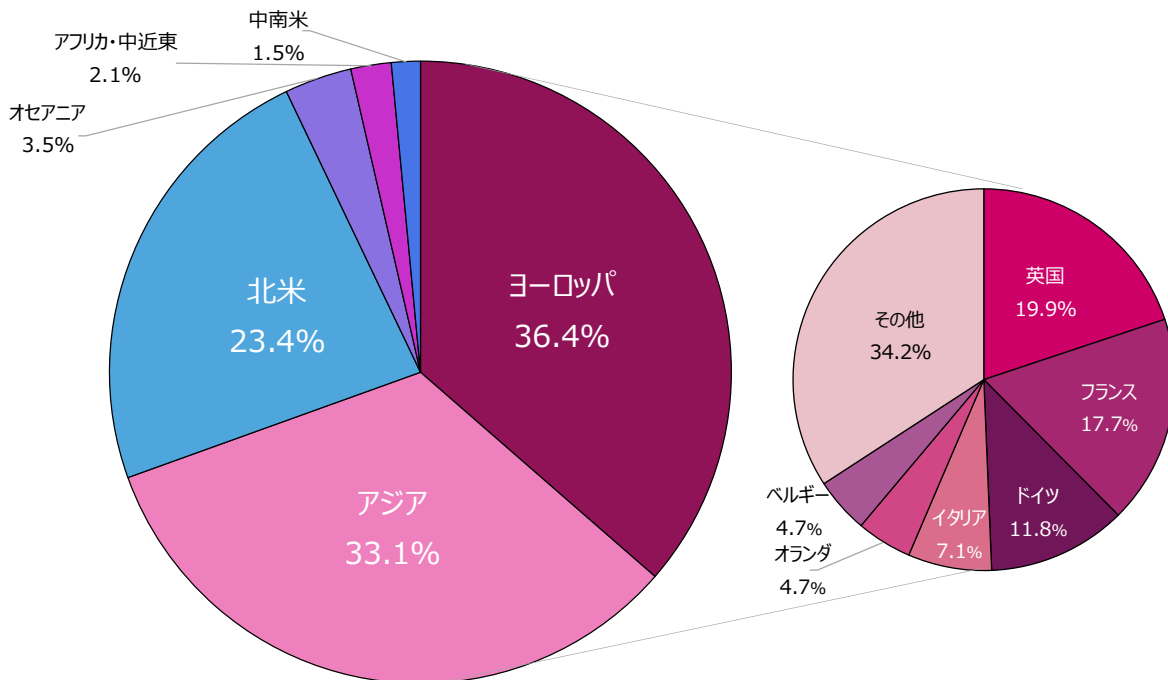
- 海外研究機関との共同研究については、アジア、ヨーロッパ、北米地域との共同研究が全体の9割程度を占めている。
- 地域別割合ではヨーロッパの割合が最も高い。ヨーロッパの国別に見ると、英国、フランス、ドイツの順になっており、その他様々な国との研究が進んでいる。

海外研究機関との地域別共同研究数



※海外研究機関とは海外の大学、研究所等を指す。

海外研究機関との共同研究の国・地域別割合（2018年度）



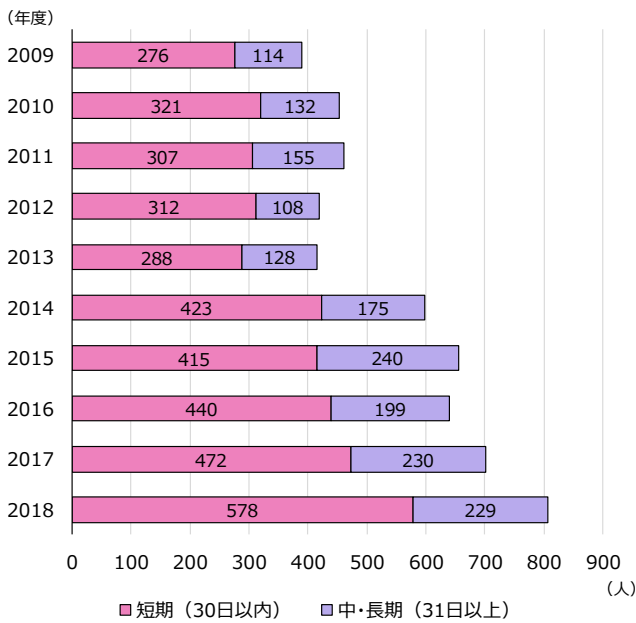
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

21. 研究者等交流状況

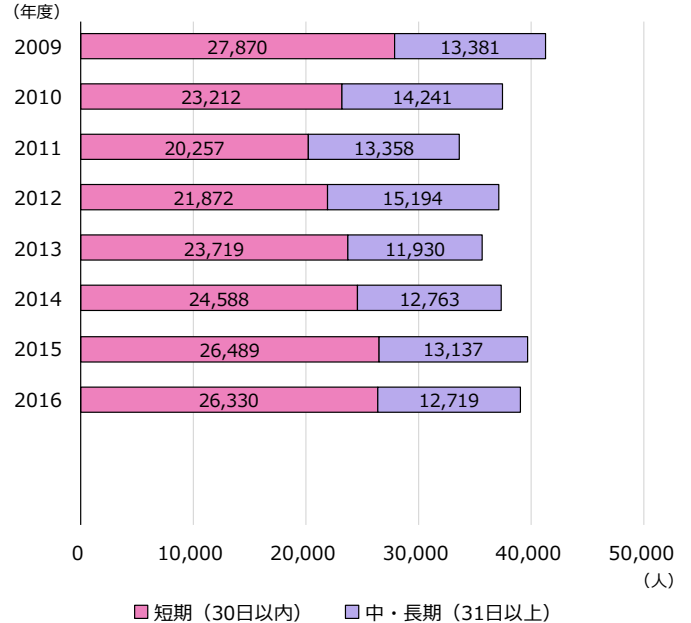
21-1 外国人研究者受入れ数の推移

- 本学における外国人研究者受入れ数については、2013年度までは毎年400～450名程度を推移していたが、2014年度以降は600～700名程度を推移し、2018年度は800名を超えた。

神戸大学における期間別外国人研究者受入れ数



国公立大学・独立行政法人等の期間別受入れ研究者数

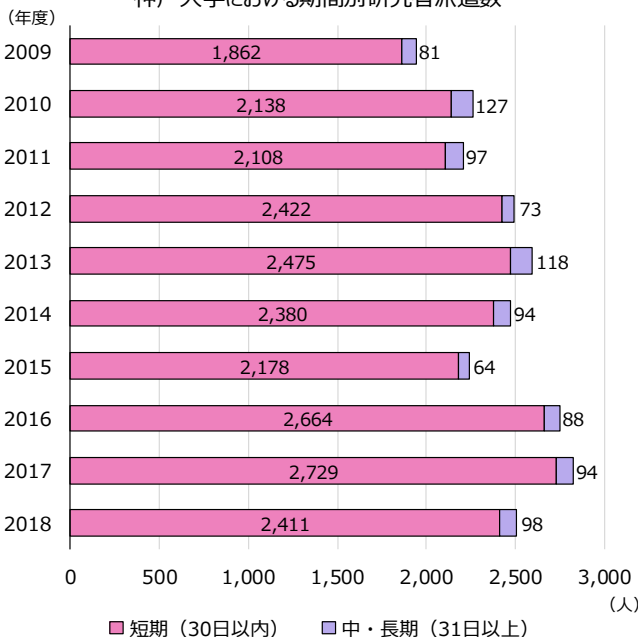


出典 (右) : 文部科学省「国際研究交流の概況」

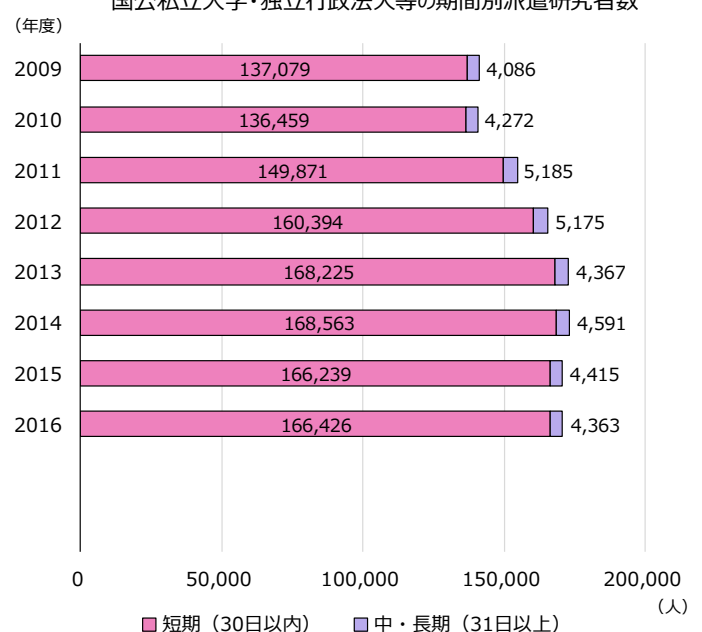
21-2 研究者海外派遣数の推移

- 本学では、「若手教員長期海外派遣制度」により、中・長期派遣研究者数を毎年安定して派遣している。
- 2016年度以降は、短期派遣研究者数が増加したことにより、全体として研究者の海外派遣数は増加し、2017年度は統計を開始した2008年度以降最多となる2,823名を派遣したが、2018年度は若干減少したものの、2,509名を派遣した。

神戸大学における期間別研究者派遣数



国公立大学・独立行政法人等の期間別派遣研究者数



出典 (右) : 文部科学省「国際研究交流の概況」

22. 国際化の状況

22-1 スーパーグローバル大学創成支援事業採択大学との比較

- 本学は、外国人教員等数の総教員数に対する割合が高い。
- 外国語による授業の実施率、外国人留学生の全学生に対する割合等は高くないため、今後さらなる国際化が求められる。

①外国人教員等数の割合

順位	大学名	外国人教員等数	専任教員数	外国人教員等の割合
1	広島大学	693	1,686	41.1%
2	神戸大学	631	1,583	39.9%
3	岡山大学	576	1,479	38.9%
4	九州大学	858	2,409	35.6%
5	北海道大学	725	2,346	30.9%
6	東北大学	901	3,146	28.6%
7	筑波大学	513	1,853	27.7%
8	大阪大学	892	3,259	27.4%
9	名古屋大学	638	2,354	27.1%
10	千葉大学	318	1,336	23.8%
11	東京大学	1,267	5,821	21.8%
12	京都大学	498	3,375	14.8%

(2018年5月1日現在)

②外国人教員等数当たりの学生数

順位	大学名	全学生数	外国人教員等数	外国人教員等数当たりの学生数
1	東北大学	18,448	901	20.48
2	九州大学	18,962	858	22.10
3	東京大学	28,409	1,267	22.42
4	広島大学	15,888	693	22.93
5	岡山大学	13,485	576	23.41
6	名古屋大学	16,215	638	25.42
7	北海道大学	18,607	725	25.66
8	神戸大学	16,769	631	26.58
9	大阪大学	24,289	892	27.23
10	筑波大学	17,483	513	34.08
11	千葉大学	14,656	318	46.09
12	京都大学	23,515	498	47.22

(2018年5月1日現在)

③外国語による授業の実施率

順位	大学名	外国語による授業数	全授業科目数	実施率
1	広島大学	3,437	12,653	27.2%
2	名古屋大学	2,747	10,566	26.0%
3	筑波大学	2,893	13,673	21.2%
4	九州大学	2,575	12,500	20.6%
5	北海道大学	1,509	8,525	17.7%
6	東北大学	923	8,342	11.1%
7	岡山大学	930	8,428	11.0%
8	東京大学	1,498	15,263	9.8%
9	京都大学	1,248	13,283	9.4%
10	神戸大学	603	7,081	8.5%
11	大阪大学	1,204	17,651	6.8%
12	千葉大学	602	12,795	4.7%

(2017年度実績)

④外国人留学生の全学生に対する割合

順位	大学名	外国人留学生数	全学生数	外国人留学生の割合
1	筑波大学	2,457	17,483	14.1%
2	東京大学	3,846	28,409	13.5%
3	名古屋大学	1,981	16,215	12.2%
4	九州大学	2,313	18,962	12.2%
5	東北大学	2,089	18,448	11.3%
6	北海道大学	2,102	18,607	11.3%
7	広島大学	1,660	15,888	10.4%
8	大阪大学	2,480	24,289	10.2%
9	京都大学	2,387	23,515	10.2%
10	神戸大学	1,303	16,769	7.8%
11	千葉大学	956	14,656	6.5%
12	岡山大学	710	13,485	5.3%

(2018年5月1日現在)

⑤日本人学生の海外留学生の全学生に対する割合

順位	大学名	海外留学生数	全学生数 (外国人留学生除く)	海外留学の割合
1	千葉大学	872	13,600	6.4%
2	筑波大学	824	14,965	5.5%
3	岡山大学	666	12,800	5.2%
4	広島大学	635	14,297	4.4%
5	九州大学	644	16,752	3.8%
6	北海道大学	630	16,433	3.8%
7	神戸大学	555	15,387	3.6%
8	東北大学	568	16,514	3.4%
9	大阪大学	695	21,574	3.2%
10	東京大学	718	24,468	2.9%
11	名古屋大学	311	14,415	2.2%
12	京都大学	255	21,026	1.2%

(2017年度実績)

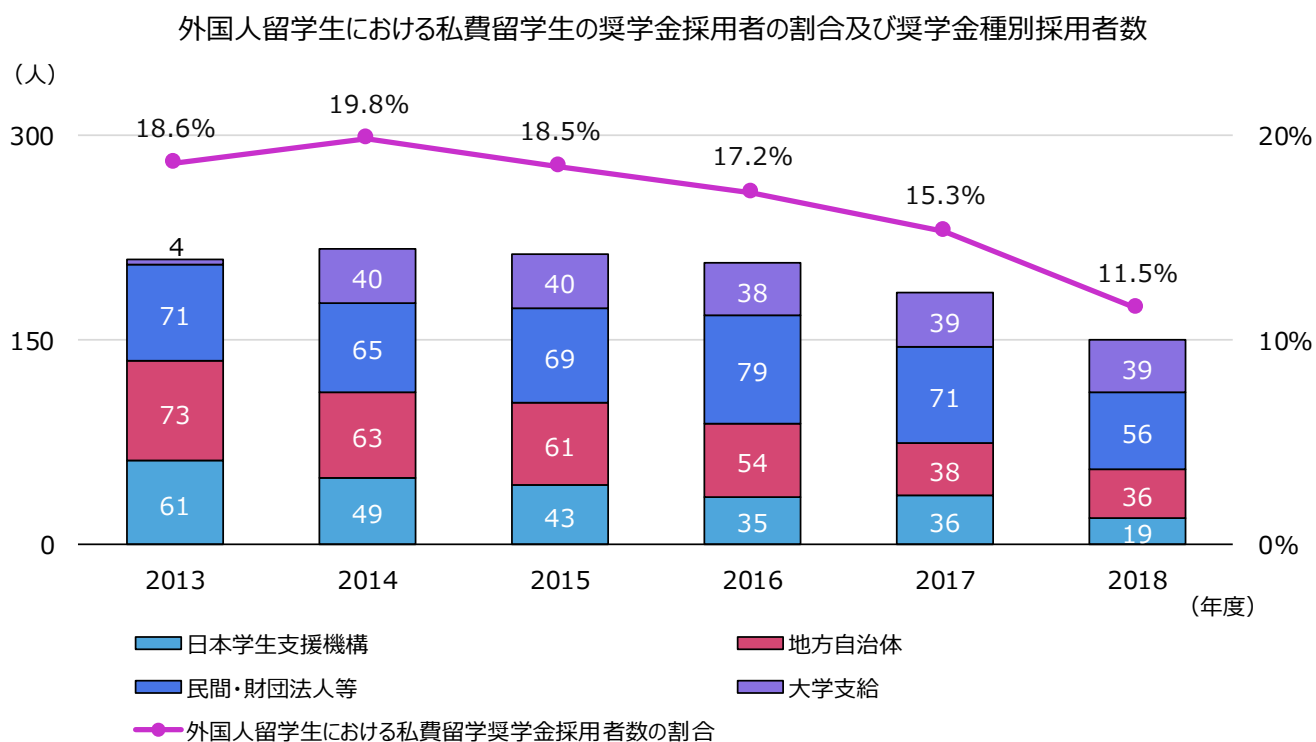
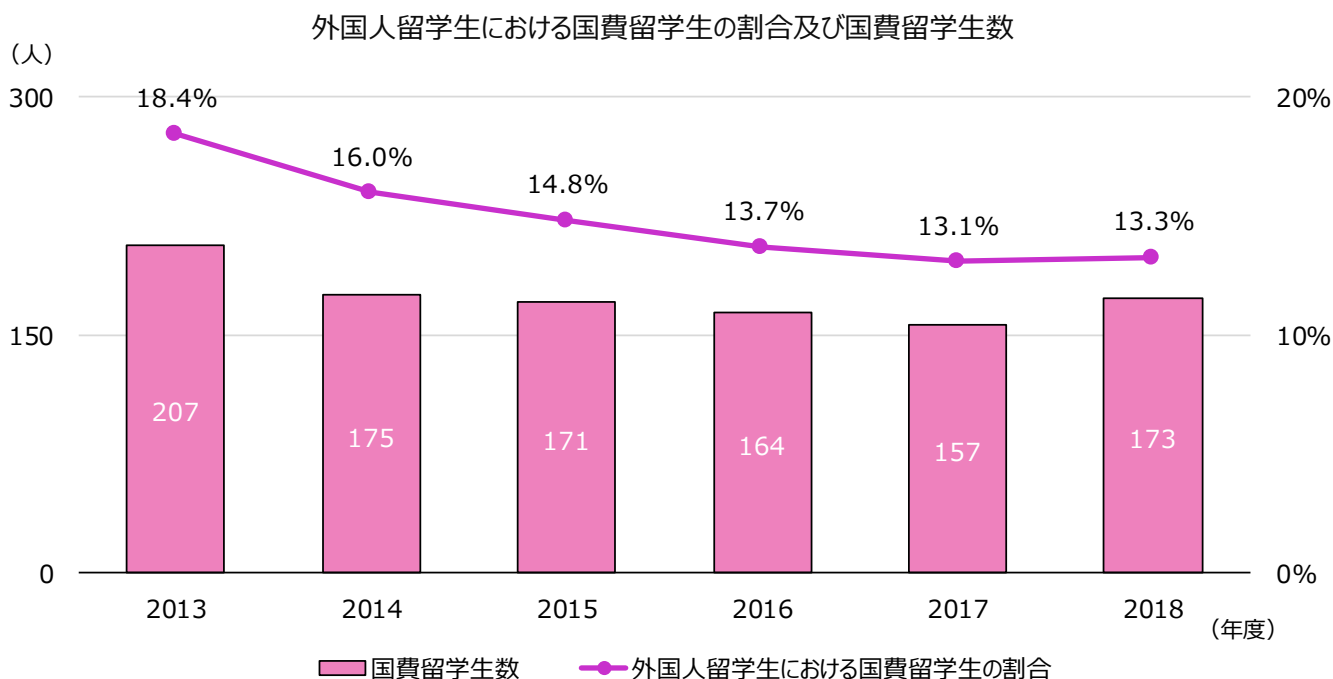
出典：独立行政法人 日本学術振興会「スーパーグローバル大学等事業
スーパーグローバル大学創成支援」平成30年度フォローアップ結果より

国立大学で学部入学定員の上位13大学（大規模13大学）のうち、事業採択大学と比較

- ※ 外国人教員等数：外国籍の教員に加え、国外の大学での学位取得、通算1年以上教育研究に従事した日本人教員を含む。
- ※ 外国語による授業の実施率：日本語の併用や外国語教育を主たる目的とするものを除く。
- ※ 外国人留学生：在留資格が「留学」の者のみ計上。
- ※ 日本人学生の海外留学生数：2017年4月1日から2018年3月31日までに海外の大学において留学を開始した日本人学生数
- ※ 全学生数：非正規課程の学生を含む。

22-2 留学生への経済支援について

- 外国人留学生数が増加している一方で、私費留学生の奨学金採用者数はやや減少傾向にあり、奨学金採用者の割合は低下している。
- 私費留学生の奨学金採用者の内訳としては、2014年度に大学支給を拡大したが、地方自治体、日本学生支援機構の減少が進んでいる。



※外国人留学生数は学校基本調査より算出しており、科目等履修生・聴講生・研究生等を含む。

※日本学生支援機構による奨学金は「留学生受入れ促進プログラム（旧：文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度）」の採用者数を集計している。

23. 附属病院

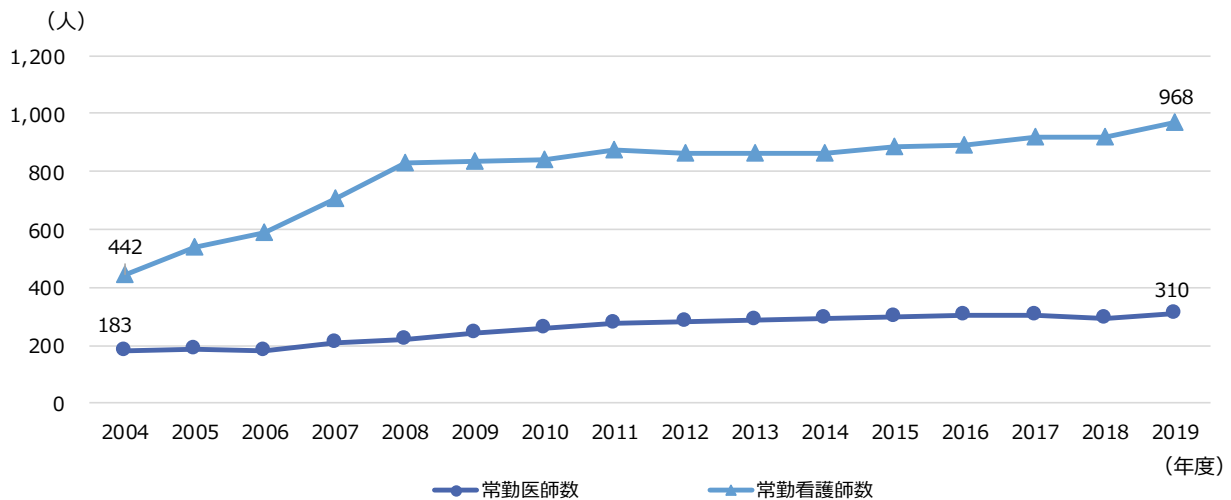
23-1 附属病院の病床数・常勤医師数・常勤看護師数

○ 2017年度に国際がん医療・研究センター（以下、ICCRC）を設置し、病床数が増えている。それに伴い、常勤看護師数も増加している。

病床数		常勤医師数	常勤看護師数
一般病棟	精神病棟		
1008床	46床	310名	968名
(うちICCRC120床)		(うちICCRC9名)	(うちICCRC45名)

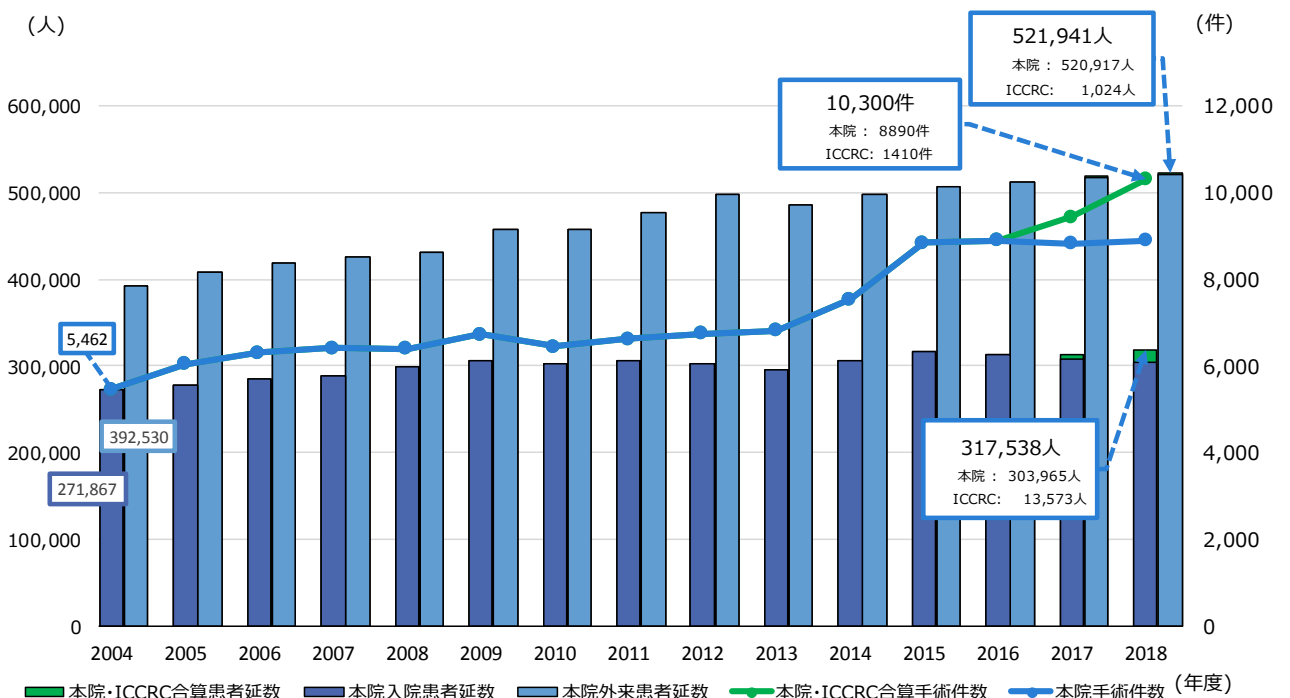
2019年5月1日現在

常勤医師数と常勤看護師数の推移



23-2 附属病院の患者数と総手術件数の推移

○ 患者延べ数は2004年度と比較すると約1.3倍となっており、増加している。また、総手術件数は法人化時（2004年度）から2015年度にかけて約1.6倍に増加し、2017年度のICCRCの設置により、2018年度には約1.9倍に増加した。



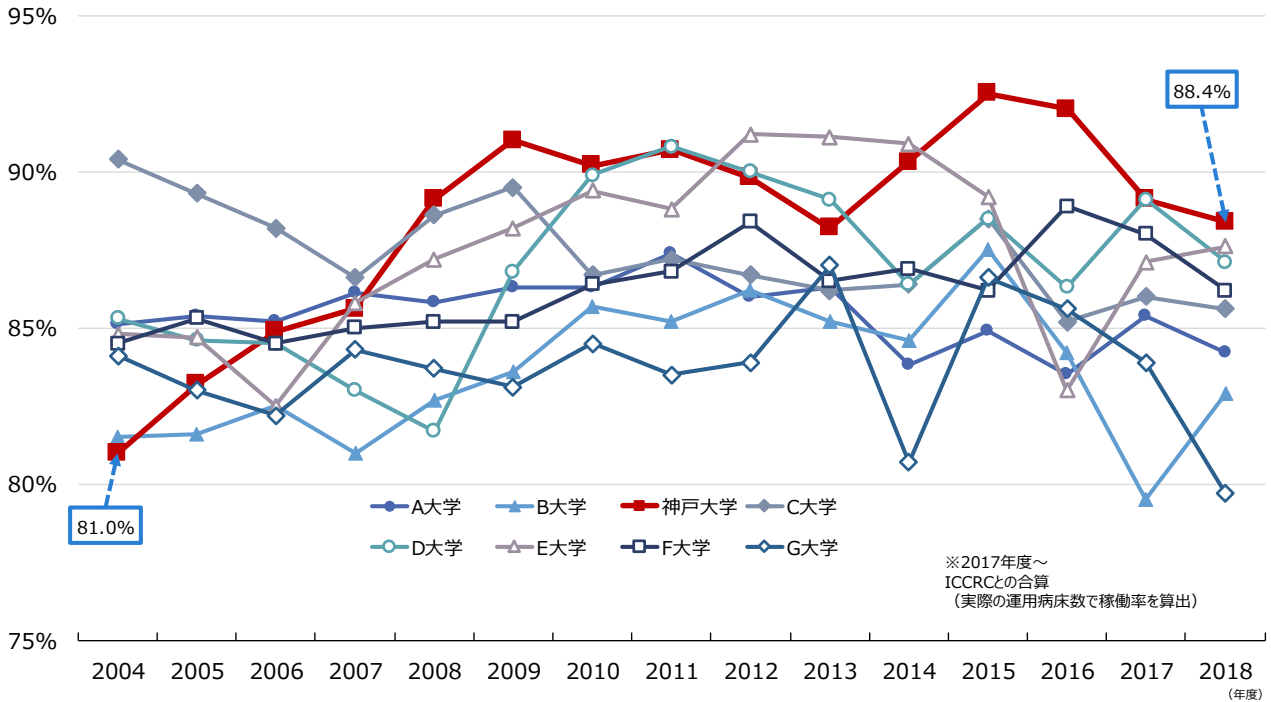
・入院患者延数・・・退院患者数+在院患者延数 ・外来患者延数・・・新来患者数+再来患者数

23-3 附属病院の病床稼働率・平均在院日数の推移

○ 2018年度の本学の病床稼働率は88.4%であり、病床数が同規模である8国立大学の附属病院間で比較したところ1位であった。また、全国の国立大学附属病院における病床稼働率は10位となっている。

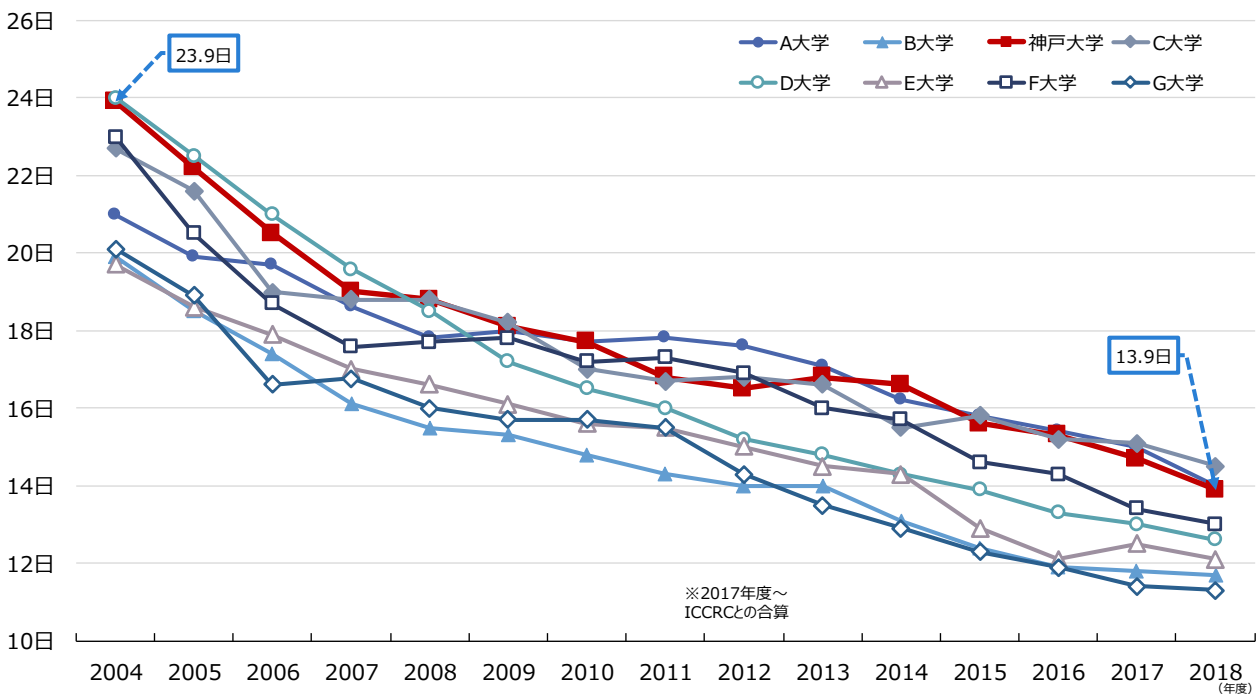
病床稼働率の推移（2004～2018年度）

病床数が同規模である国立8大学について比較



平均在院日数（一般病床）の推移（2004～2018年度）

病床数が同規模である国立8大学について比較



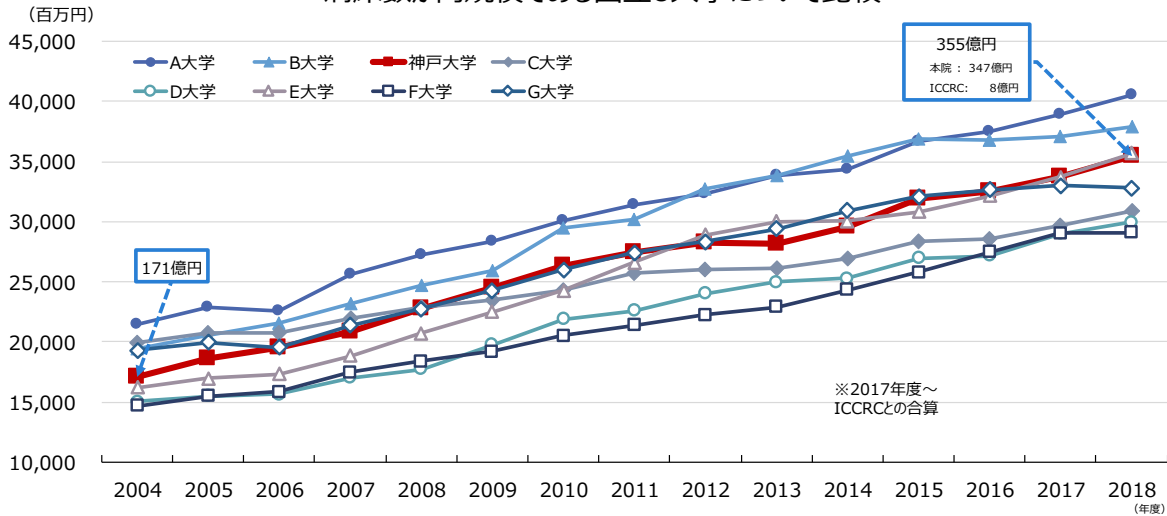
出典（病床稼働率、平均在院日数（一般病床））：国立大学附属病院長会議が東京大学医学部附属病院に設置した国立大学病院データベースセンターから、国立大学病院データベース管理委員会の定めたデータ提供/利用依頼規約に基づいて提供を受けた。(承認番号：118-20190819)

23-4 附属病院の診療報酬請求額の推移

○ 本学の2018年度診療報酬請求額は355億円であり、法人化時（2004年度）の約2.1倍となっている。

診療報酬請求額の推移（2004～2018年度）

病床数が同規模である国立8大学について比較



《参考》 (千円)

大学名	病床数	運営費交付金 (平成29事業年度)	大学名	病床数	運営費交付金 (平成29事業年度)
A大学	1,086床	3,101,039	D大学	871床	3,662,250
B大学	1,032床	3,451,060	E大学	850床	3,218,089
神戸大学	994床	3,090,988	F大学	848床	2,949,388
C大学	939床	3,036,613	G大学	845床	3,621,585

※本学の病床数は2019年6月1日時点の運用病床数

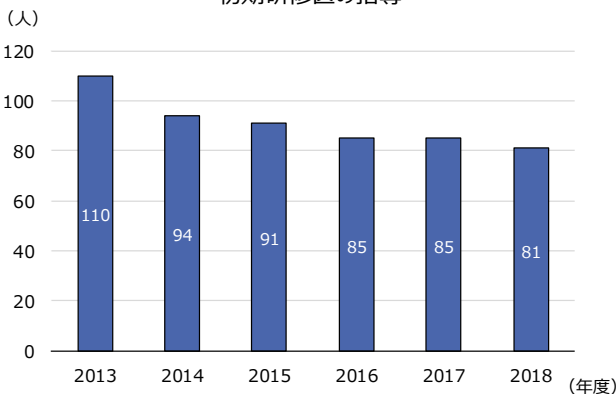
出典（診療報酬請求額、病床数）：国立大学附属病院長会議が東京大学医学部附属病院に設置した国立大学病院データベースセンターから、国立大学病院データベース管理委員会の定めたデータ提供/利用依頼規約に基づいて提供を受けた。(承認番号：118-20190819)

出典（運営費交付金）：各大学の財務諸表(附属病院の運営費交付金収益)

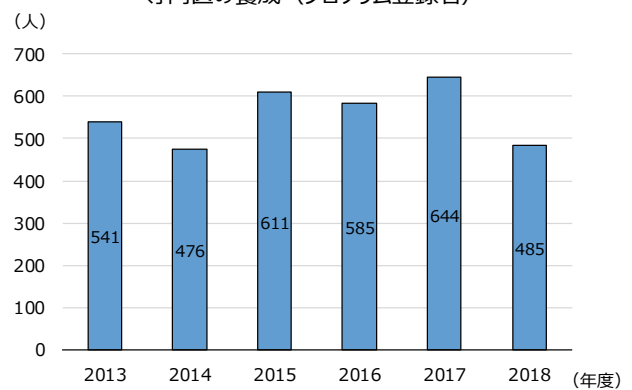
23-5 附属病院の取り組み —教育・研究への貢献—

○ 2018年度、本学では初期研修医を81人受け入れ、専門医を485人養成した。また、新薬等開発のための臨床試験（治験）の件数は128件となり、2016年度以降微増となっている。

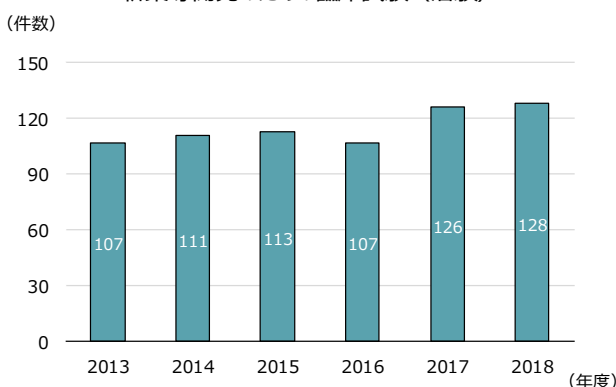
初期研修医の指導



専門医の養成（プログラム登録者）



新薬等開発のための臨床試験（治験）



24. 附属学校

基本データ

2019年5月1日現在

附属学校園	生徒数	クラス数	教諭数
附属幼稚園	119	6	7
附属小学校	407	12	20
附属中等教育学校	784	20	51
附属特別支援学校	53	9	33
計	1,363	47	111

- 附属幼稚園・小学校
(文部科学省事業)
・2013年度～2016年度 文部科学省 研究開発学校指定
・2017年度～2019年度 文部科学省 研究開発学校延長指定
- 附属中等教育学校
(文部科学省事業)
・2015年度 スーパーグローバルハイスクール (SGH) 指定
・2013年度～2016年度 文部科学省 研究開発学校指定
・2017年度～2019年度 文部科学省 研究開発学校延長指定

中等教育学校卒業生の進路状況

中等教育学校では、2015年3月に初めての卒業生を輩出し、主に大学等へ進学している。

単位：人

区分	2018年3月卒業			2019年3月卒業		
	男	女	計	男	女	計
国公立大学	24	26	50	30	26	56
海外の大学	0	0	0	2	0	2
私立大学 (大学校含む)	22	38	60	18	53	71
短期大学	0	0	0	0	1	1
各種・専門学校	4	4	8	1	4	5
就職：企業等	0	0	0	0	0	0
就職：公務員	0	0	0	0	0	0
進学準備	30	12	42	27	12	39
卒業生数	80	80	160	78	96	174

【主な進学先】

(国公立大学)

北海道大学、筑波大学、東京大学、一橋大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、岡山大学、広島大学、徳島大学、高知大学、九州大学、大阪市立大学、大阪府立大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学 他

(私立大学)

慶應義塾大学、上智大学、成城大学、東京農業大学、東京理科大学、明治大学、立教大学、早稲田大学、京都産業大学、京都薬科大学、同志社大学、立命館大学、関西大学、近畿大学、関西学院大学、神戸学院大学、甲南大学 他

(大学校)

水産大学校

(海外の大学)

Wake Forest University, Berklee College of Music

教育実習等の実施

附属学校部では、神戸大学の学生を中心に教育実習や介護等体験を実施している。

附属学校園	実習の種類	実習者数 (人)
附属幼稚園	教育実習	19
附属小学校		43
附属中等教育学校		67
附属特別支援学校	介護等体験	30
		131

神戸大学day等の開催

2019年6月

中等教育学校において4・5年生の生徒を対象とした、神戸大学全体及び各学部のガイダンスや講義を実施する「神戸大学day」を開催した。本取組は2012年度から開催しており、2019年度は神戸大学10学部から12名の教員と25名の学生が協力した。



2018年11月

医学部保健学科の協力の下、名谷キャンパスにおいて、約160名の小学生・中等教育学校生及び保護者が大学の授業・実習を受けた。



海外交流事業

2015年度より中等教育学校においてSGH (スーパーグローバルハイスクール) 事業として、「グローバルキャリア人の育成」に資するため、国内外の交流事業を行っており、2018年度は延べ227名の生徒を海外に派遣した。

また、附属小学校においても「グローバルキャリア人の基本的資質の育成」を目指し、オーストラリアに児童27名、アメリカ (ハワイ・ホノルル) に児童14名を派遣したほか、フランスのマノスクPACA国際学校に教諭を派遣するなど、活発な国際交流事業を展開している。



25. 公開講座等

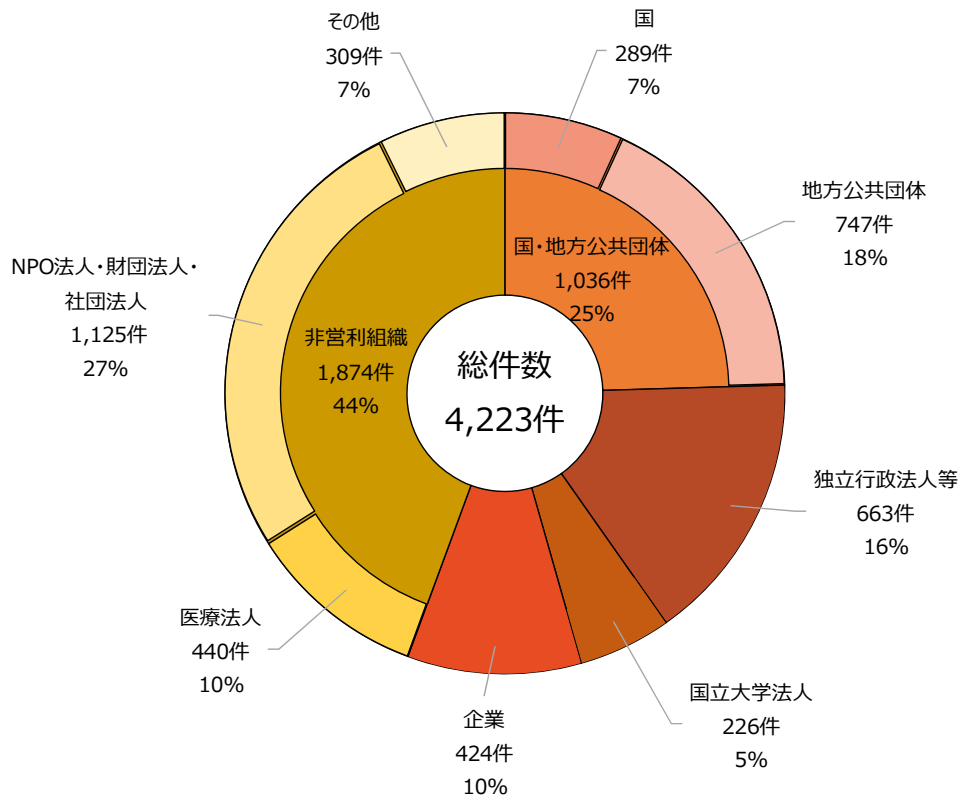
【2018年度】

部局名	講座等名	受講対象者	時間数 (時間)	募集人数 (人)	受講者数 (人)
人文学研究科	「嘘」の人文学	一般市民、学生	6	80	93
	まちづくり地域歴史遺産活用講座2018	一般市民、学生	9	20	10
	まちづくり地域歴史遺産活用講座2018オプションプログラム古文書解読初級講座	一般市民	6	20	18
国際文化学研究科	情報社会への対応：情報技術のセキュリティと歴史	一般社会人、学生（中学生以上）	4	200	64
人間発達環境学研究科	「青年期教育制度論」の創造と展開：「学ぶ・働く・生きる」をめぐるケア・支援の制度化は可能か	一般市民、学生、教職員	3	80	60
	学術Weeks2018 眠育シンポ in Kobe -いま必要！子どもの快眠-	一般市民、学生	2	—	25
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座第14弾 「春のいきいきウォーキング」	鶴甲地区住民、教職員、学生	6	—	53
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座第15弾 「園芸教室～野菜や草花を育ててみよう～」	鶴甲地区住民、教職員、学生	4.5	30	29
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座第16弾 「秋のいきいきウォーキング」	鶴甲地区住民、教職員、学生	6	—	48
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト連続講座第17弾 「園芸教室～野菜や草花を育ててみよう～」	鶴甲地区住民、教職員、学生	6	30	33
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクトアカデミックサロン第26回 「神戸大学大学院生企画 鶴甲わいわいパーク」	鶴甲地区住民、教職員、学生	2	—	96
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクトアカデミックサロン第27回 「神戸大学大学院生企画わくわくひろば」	鶴甲地区住民、教職員、学生	2	—	96
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト「防災避難訓練」	鶴甲地区住民、教職員、学生	2	—	120
	鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト「ラジオ体操講座」	鶴甲地区住民、教職員、学生	3	—	39
	笛の楽園 濱田芳通 & 黒田京子デュオ 学術WEEKSシリーズ vol.4 音楽文化のトランスポーター	研究者、学生、一般市民	2	—	60
	理学部	サイエンスセミナー2018「サイエンス最前線」	学生（高校生）・一般市民	50分×5	120
医学部附属病院	神戸大学エキスパートメディカルスタッフ育成フォーラム 「災害・救急医療コースフォーラム」	一般市民、行政関係者、医療従事者、学生	2	200	119
	神戸大学エキスパートメディカルスタッフ育成フォーラム 「周産期医療コースフォーラム」	一般市民、行政関係者、医療従事者、学生	1	200	226
	神戸大学エキスパートメディカルスタッフ育成フォーラム 「実践知を生かした最良の地域包括ケアシステムを目指して」	一般市民、行政関係者、医療従事者、学生	2	200	42
	神戸から発信する シリーズ『根治を目指す最新がん治療法』 耳鼻咽喉頭頸部外科：喉頭がん・咽頭がんの機能温存治療最前線 形成外科：腫瘍治療における形成外科～生活に合ったオーダーメイド治療を目指して～	一般市民	1	300	141
医学部附属国際がん医療・研究センター	消化器内科：消化器疾患の内視鏡診断・治療の最前線 整形外科：希少がんについてもっと知ろう！骨や軟部組織にできるがん～骨軟部肉腫(にくしゅ)～	一般市民	1	300	251
	神戸から発信する シリーズ『根治を目指す最新がん治療法』 腫瘍・血液内科：がんと遺伝～がんゲノム医療と遺伝性腫瘍を知る～ 泌尿器科：最新の膀胱がん診断と治療	一般市民	1	300	248
	地域医療シンポジウム2018 in ひょうご 「地域医療のあり方と住民の地域医療教育への関わりを考える」	市民一般、行政関係者、医療従事者、学生、医療従事者を目指す高校生	6	80	37
医学部 (附属地域医療活性化センター)	嚥下セミナー	一般市民、行政関係者、医療従事者、学生	4	50	34
医学部附属病院 (総合臨床教育センター)	大リーガー医セミナー	研修医、学生、指導医、一般市民	各1 (全6回)	180	158
医学研究科	第36回神戸大学大学院医学研究科公開講座 「超高齢時代の感覚器疾患」	一般市民、学生等	4	100	88
保健学研究科	「最新の研究から家庭の保健・医療へ」 —認知症予防に向けて(保健学研究科からの発信)—	一般市民、学生（高校生以上）	4	100	102
工学部	工学のインテリジェンス-過去を知り明日につなぐ-	一般市民、学生（高校生以上）	9	100	45
海事科学研究科	第4回海事科学国際シンポジウム	一般市民、学生	7	—	45
国際協力研究科 (キャンパスアジア室)	韓国・世宗研究所前所長 陳昌洙博士 特別講演 「北朝鮮核問題と東北アジア秩序の変化」	学生、一般市民	2	—	20
	高麗大学校 国際大学院：イ・スンホ博士 特別講演 "Hydropower Development in Laos; a Solution to Sustainable Development?"	学生、一般市民	2	—	20
	世界銀行本部・教育スペシャリスト 荘所真理博士 特別講演 「効果的な学びと教員に関する一考察」	学生、一般市民	2	—	20
	シラキユーズ大学 博士課程 Mr. SUN Jaisang 特別講演 リスク・マネジメントセミナー「難民の追放はリスク管理政策として効果的か？」	学生、一般市民	1.5	—	20
	ユネスコ国際教育計画研究所理事・元ユネスコ本部事務局長バ(ー)ネット・ニコラス博士 特別講演 「機能不全を起こしている国際教育構造は修復可能か」	学生、一般市民	2	—	20
国際協力研究科 極域協力センター	「北極に関するカナダの外交政策」	学生、一般市民	1.5	—	15
	「南極条約体制」関連セミナー	学生、一般市民	1.5	—	15
	「環北極協力：より統合された地域に向けて？」	学生、一般市民	1.5	—	15
	「国際環境法における国家のDue Diligence義務」	学生、一般市民	1.5	—	15
経済経営研究所	古文書読解講座-中級者から上級者-	一般市民、本学学生	4.5	30	23
	企業や地域の成長・活性化に貢献できる金融ビジネスに向けて	金融関係者、行政機関、学生、一般市民	3	120	100
	幸せの計り方	一般市民、学生	4	500	215
学術・産業イノベーション創造本部	Innovation Design Management	一般市民	12	16	16
社会システムイノベーションセンター 法学研究科、経済学研究科	日本学士院会員記念学術講演会	教職員、学生、一般市民	1	—	130

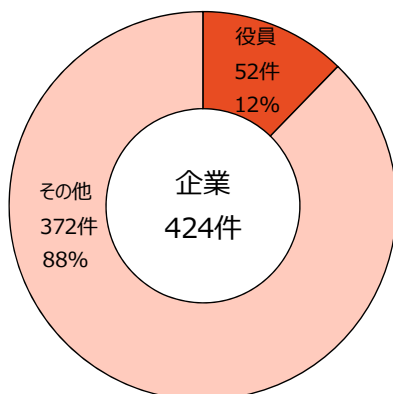
26. 学外機関への参画状況

- 本学教員の学外の機関への参画状況について、国・地方公共団体及び独立行政法人等への参画が41%、企業及び非営利組織への参画が54%となっている。
- 企業への参画件数424件のうち、52件（12%）は役員としての参画である。

◆組織別参画状況（2018年度）



◆企業への参画状況（2018年度）



- ※ 2018年度に当該機関から委嘱されているものが対象（2018年以前より継続しているものを含む）。1教員が複数機関から委嘱されている場合については、複数カウントしている。
- ※ 他大学等で教育に従事する者（非常勤講師等）及び、短期兼業は除く。

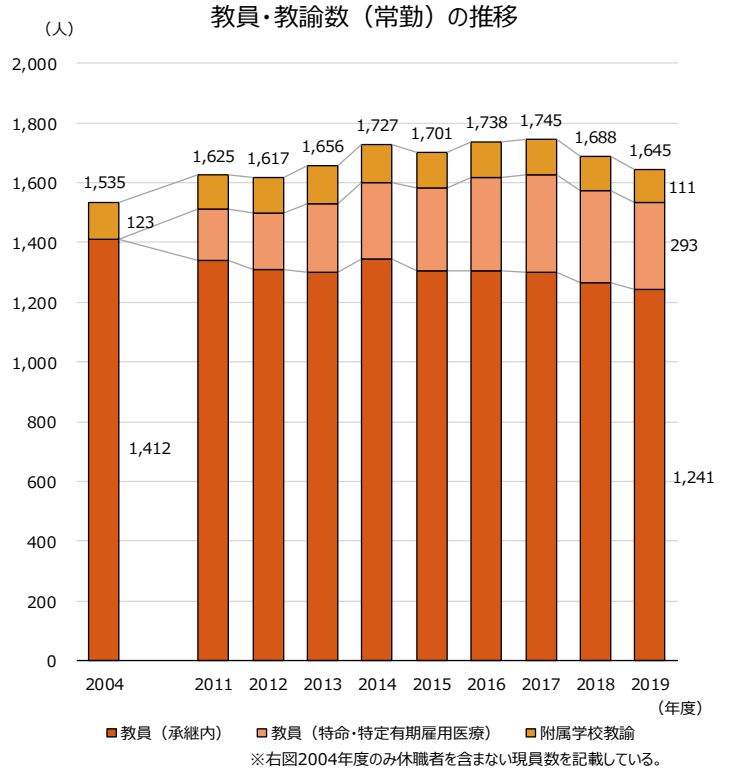
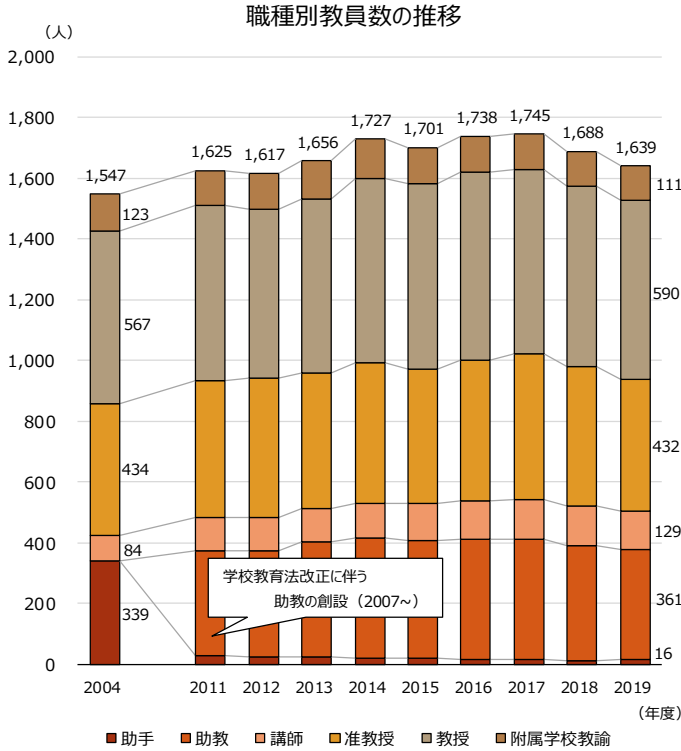
27. 教員

27-1 教員数の推移等

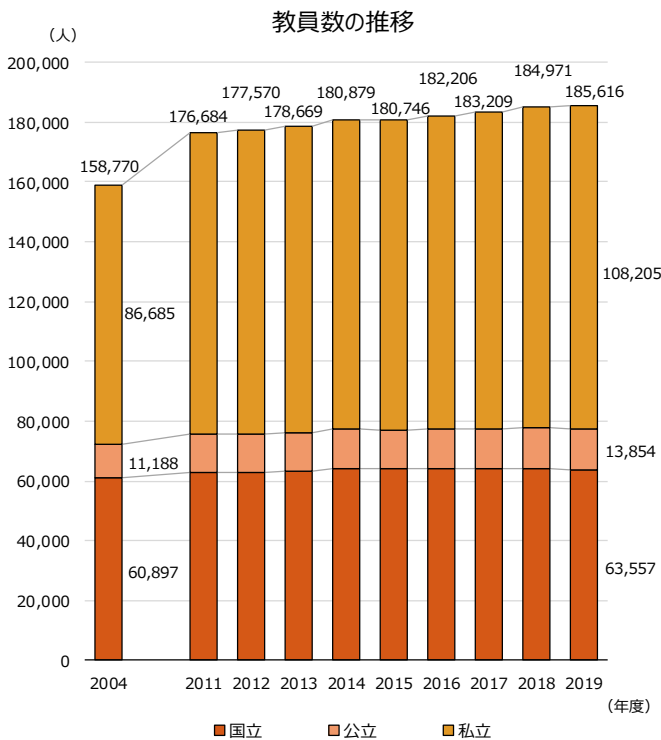
○ 教員数は近年減少傾向にあるが、法人化した2004年度と比べ、特命教員及び特定有期雇用医療教員は増加している。

各年度5月1日現在

◆教員◆ (神戸大学)



◆教員◆ (全国)



出典：文部科学省「学校基本調査」
(2019年度は2019年8月時点の速報値)

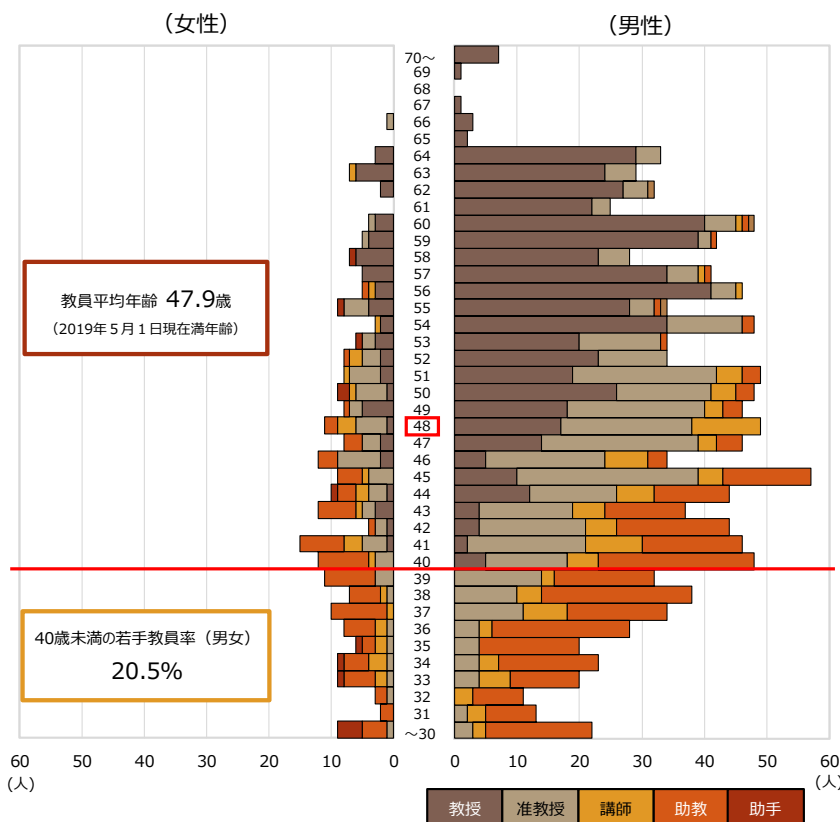
27-2 若手教員・外国人教員・女性教員等の推移等

- 教員の平均年齢は、近年上昇傾向にあり、2010年度から開始した定年延長の影響が現れていると言える。40歳未満の若手教員率は近年減少傾向にあり、2019年度は20.5%となっている。
- 外国人教員については、2017年度より人数が微減している。
- 女性教員については、人数、割合ともに近年緩やかな増加傾向にあったが、2018年度より人数は微減、2019年度は前年度と比べ割合は上昇した。

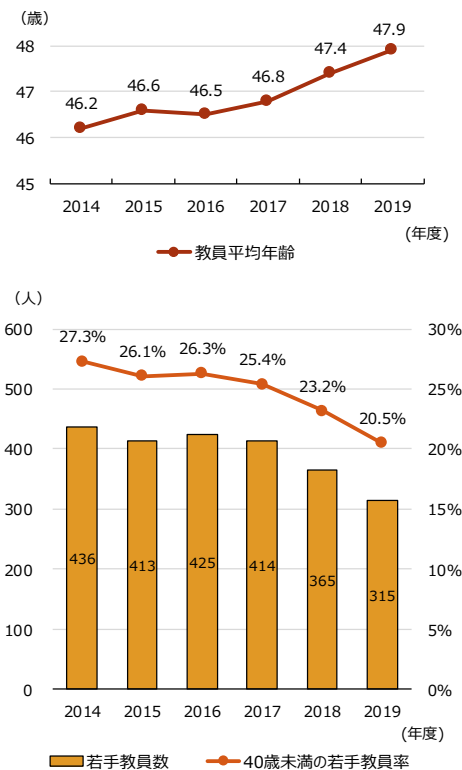
各年度5月1日現在

◆男女別・年齢別・職種別教員数◆ (神戸大学)

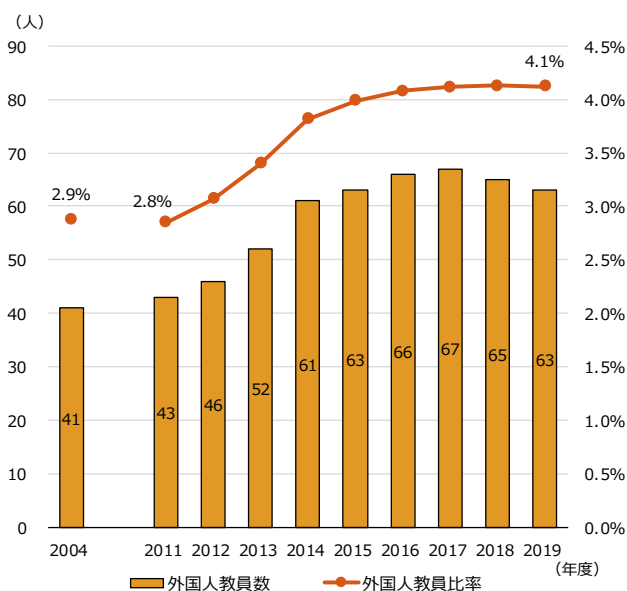
2019年5月1日現在



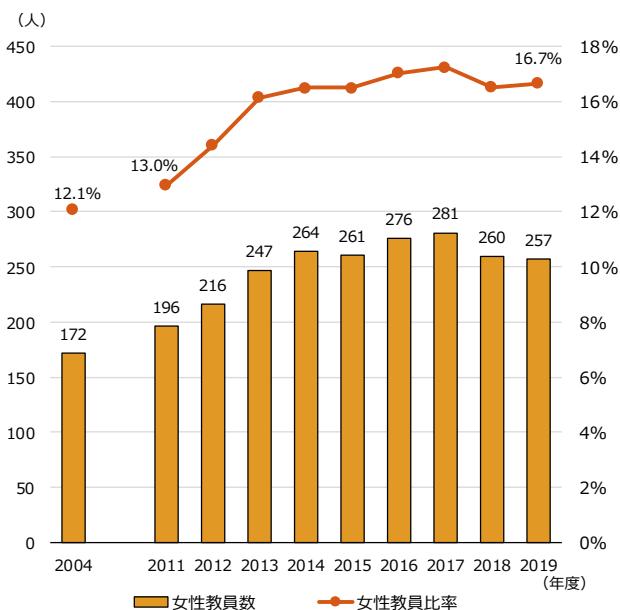
◆教員の平均年齢と若手教員数の推移◆ (神戸大学)



◆外国人教員数・外国人教員比率の推移◆ (神戸大学)



◆女性教員数・女性教員比率の推移◆ (神戸大学)

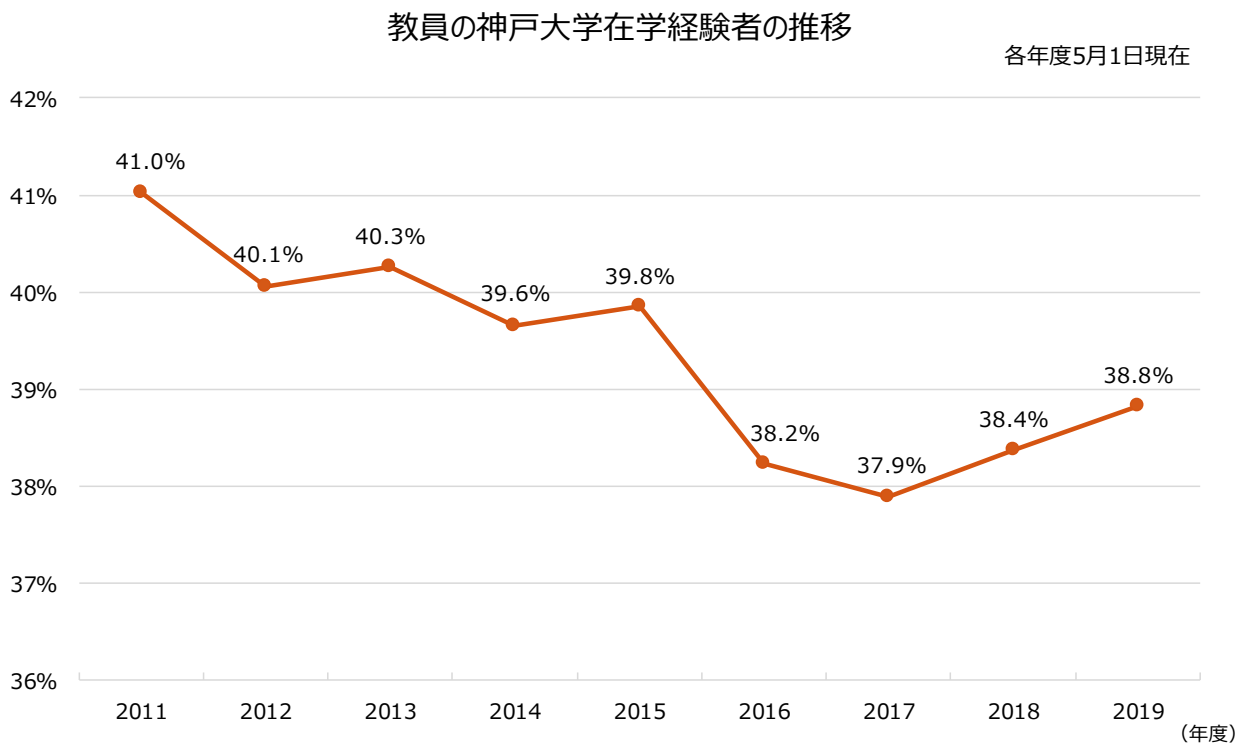
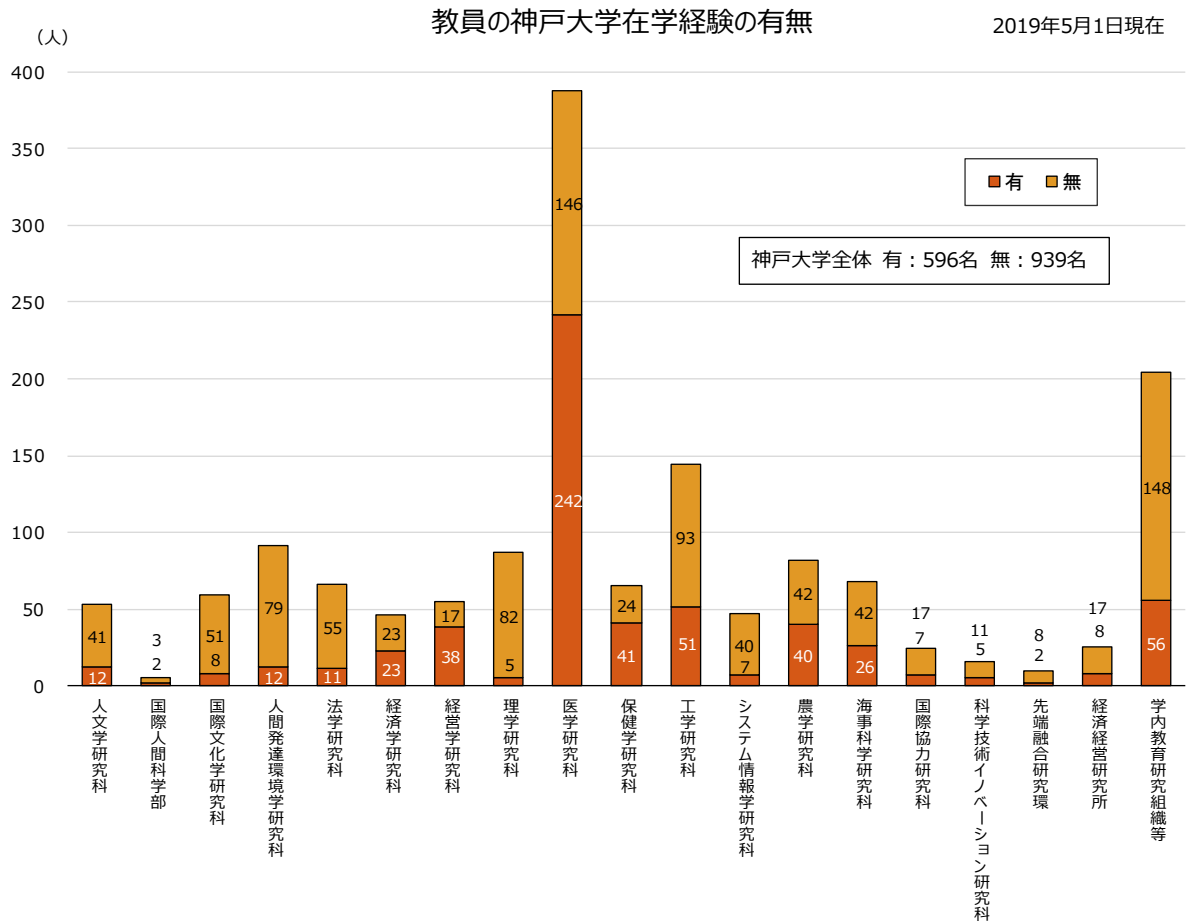


※2019年5月1日現在の外国人教員の国籍は、中華人民共和国、アメリカ合衆国、大韓民国、ドイツ、オーストラリア、フランス及びイギリス等21の国と地域となっている。

※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者を含む。

27-3 教員の神戸大学在学経験者

○ 教員の公募により幅広い人材の採用が進み、近年は神戸大学在学経験者が40%を切る状態が続いている。



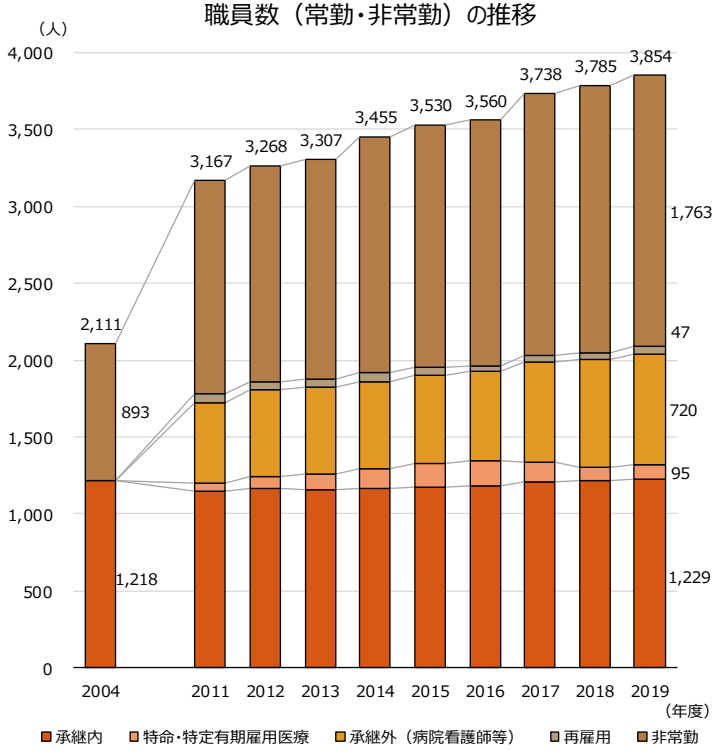
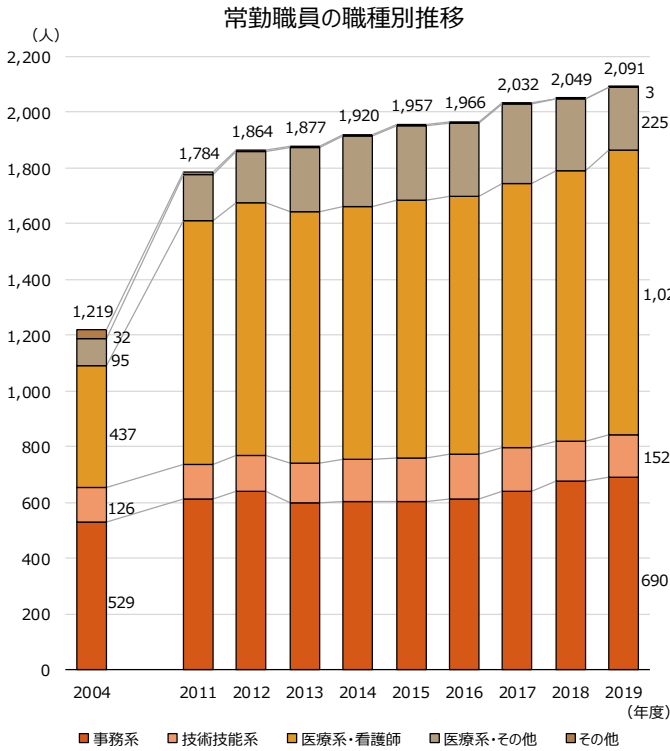
※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者は含む。

28. 職員

- 法人化した2004年度と比べ、非常勤職員は大幅に増加しており、職種別では、医療系職員が大幅に増加していることが分かる。
- また、女性職員については、法人化時に比べ人数・割合ともに大幅に増加しているが、これは看護師等の医療系職員の増加によるものである。

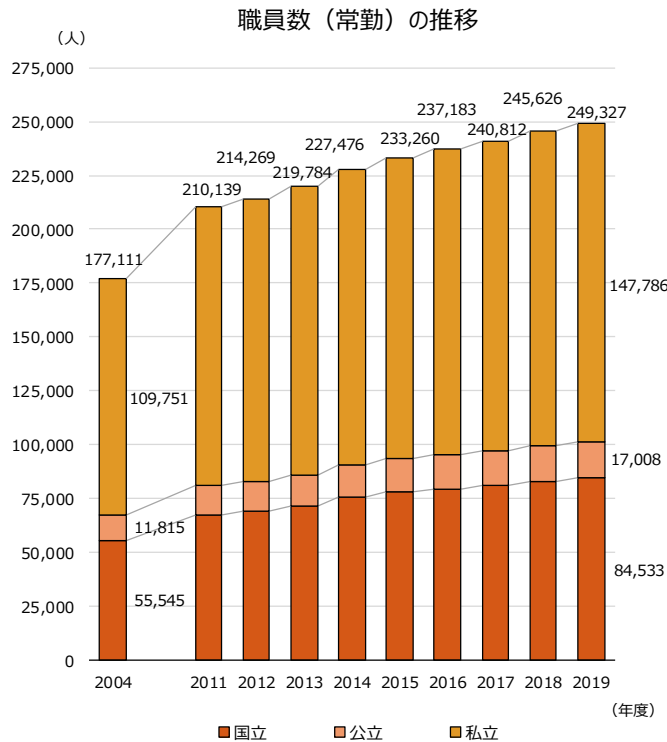
◆職員◆ (神戸大学)

各年度5月1日現在

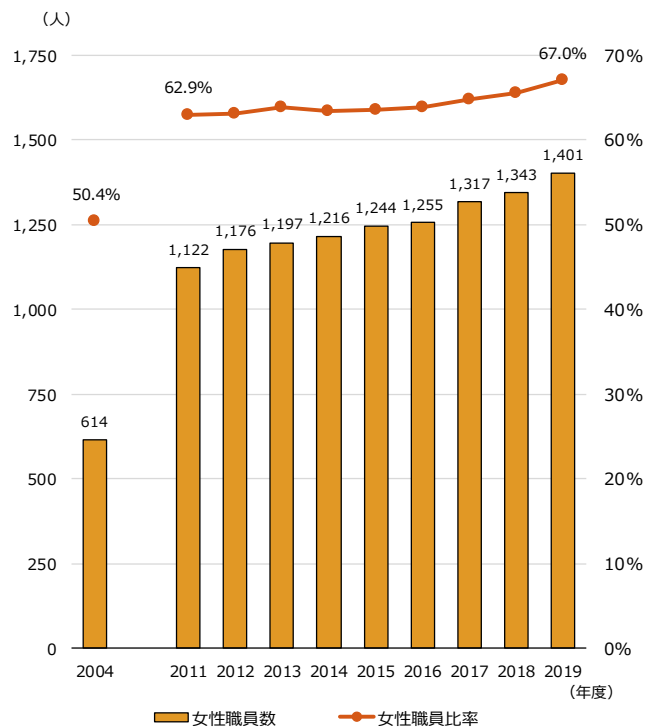


※右図2004年度のみ休職者を含まない現員数を記載している。

◆職員◆ (全国)



◆女性職員数・女性職員比率の推移◆ (神戸大学)



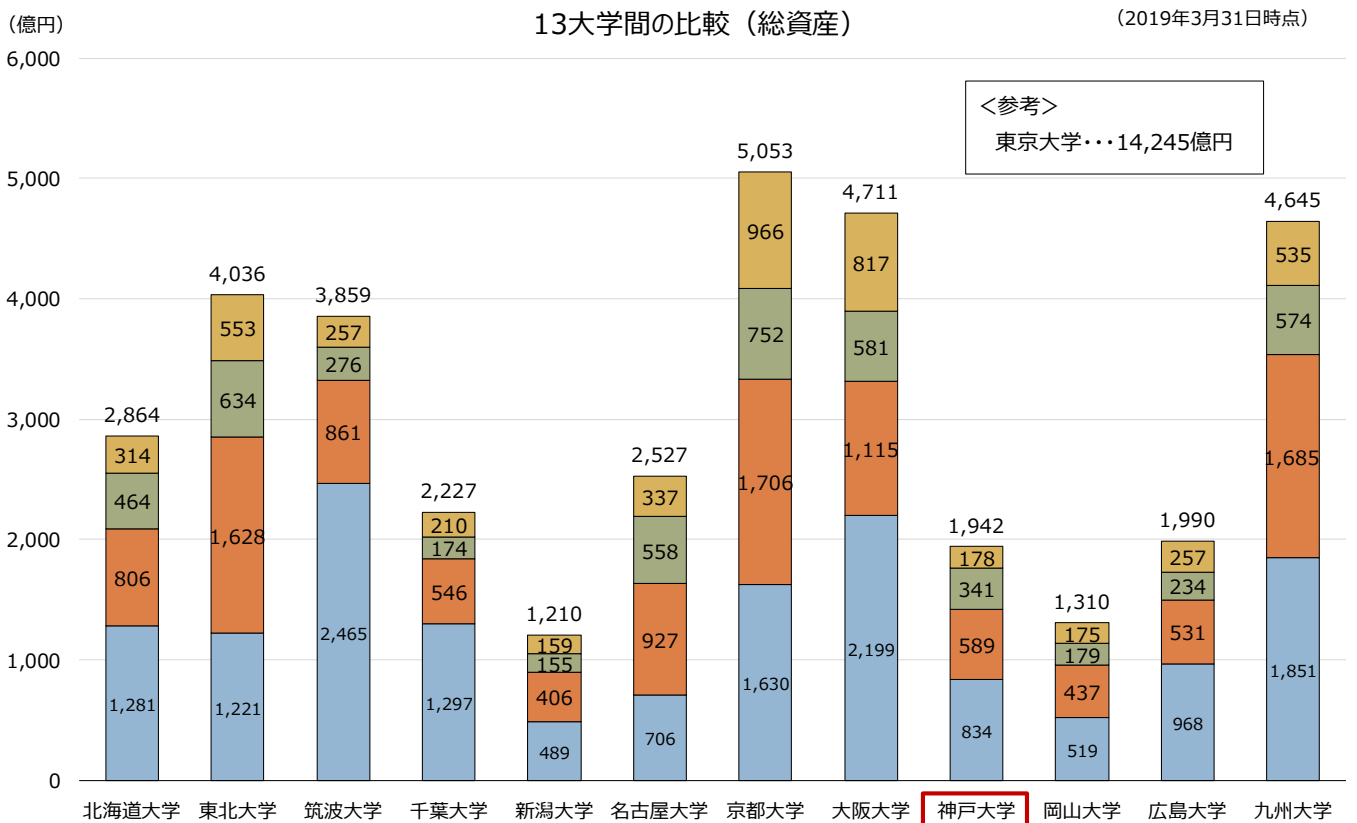
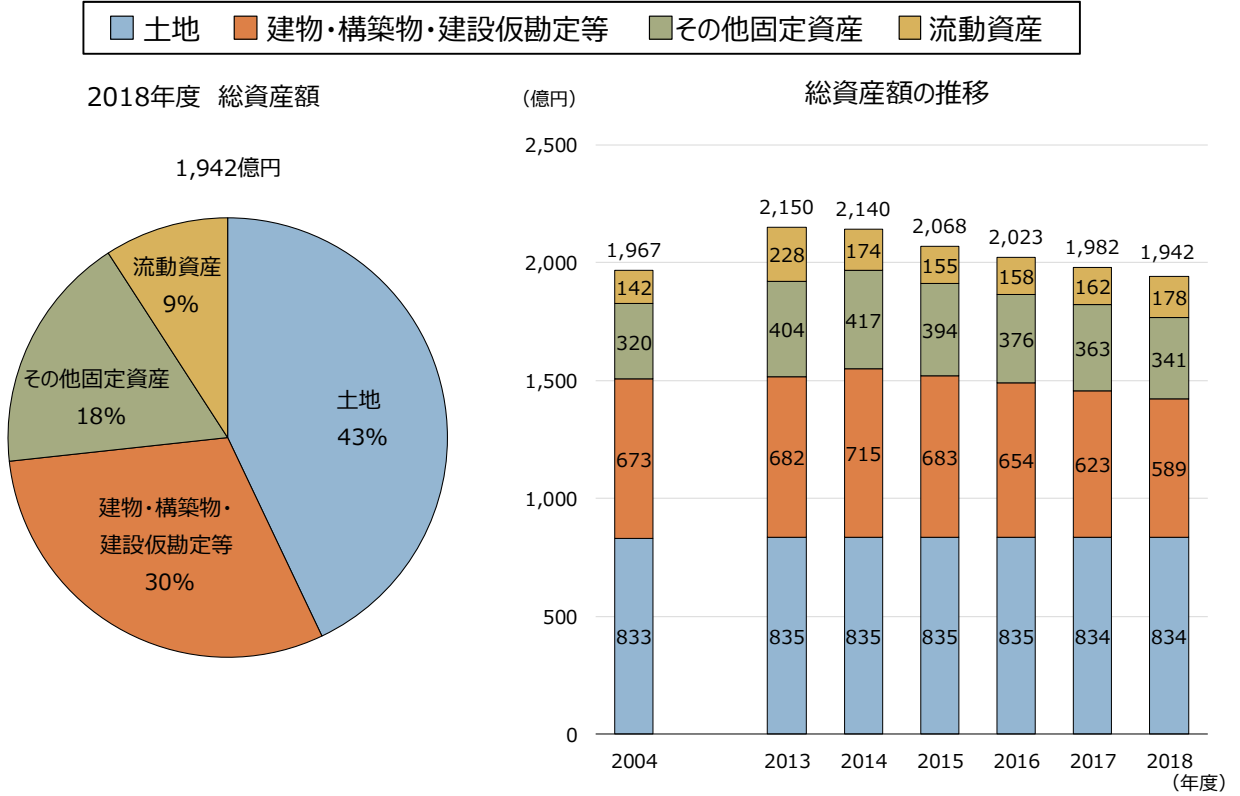
出典：文部科学省「学校基本調査」
(2019年度は2019年8月時点の速報値)

※休職者を含む。

29. 財務

29-1 貸借対照表の概要

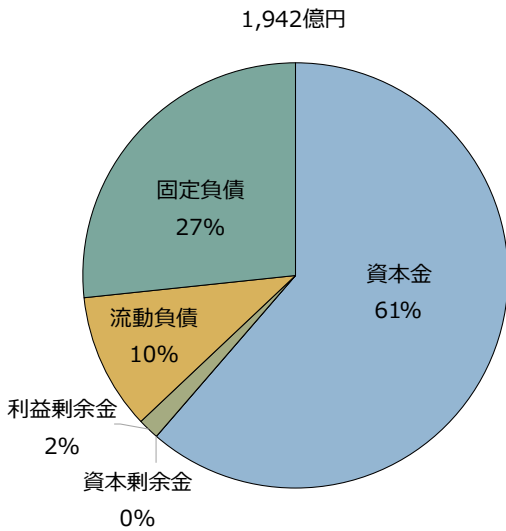
○ 土地・建物等が総資産に占める割合は約73%となっている。2004年度以降、新たな資産の取得があったものの、減価償却による簿価の減少に伴って、総資産額に大きな変動はない。



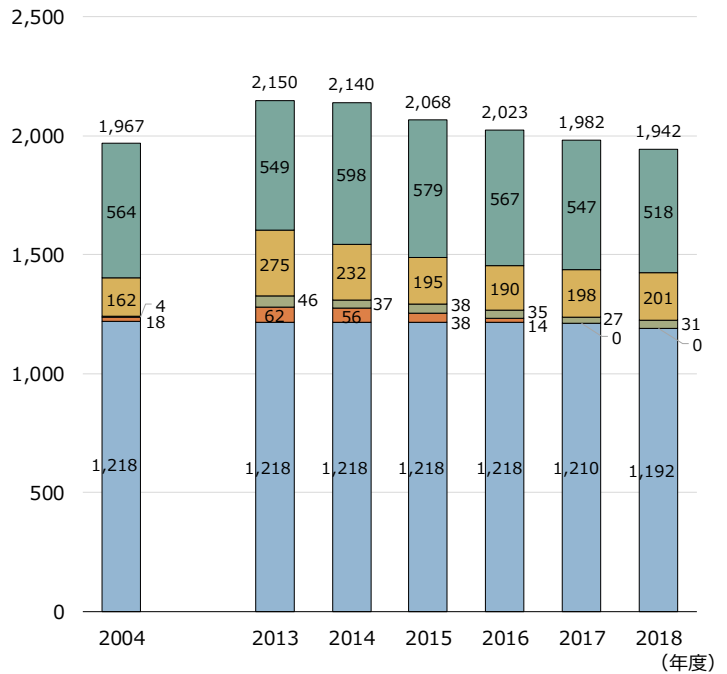
- 資本金は全額、国からの出資であり、法人化以降で大きな変動はない。
- 負債は2013年度に、学寮整備及び病院施設新営等のための借入金の増により増えた後、償還が進んでいる。

■ 資本金 ■ 資本剰余金 ■ 利益剰余金 ■ 流動負債 ■ 固定負債

2018年度 負債・純資産の内訳

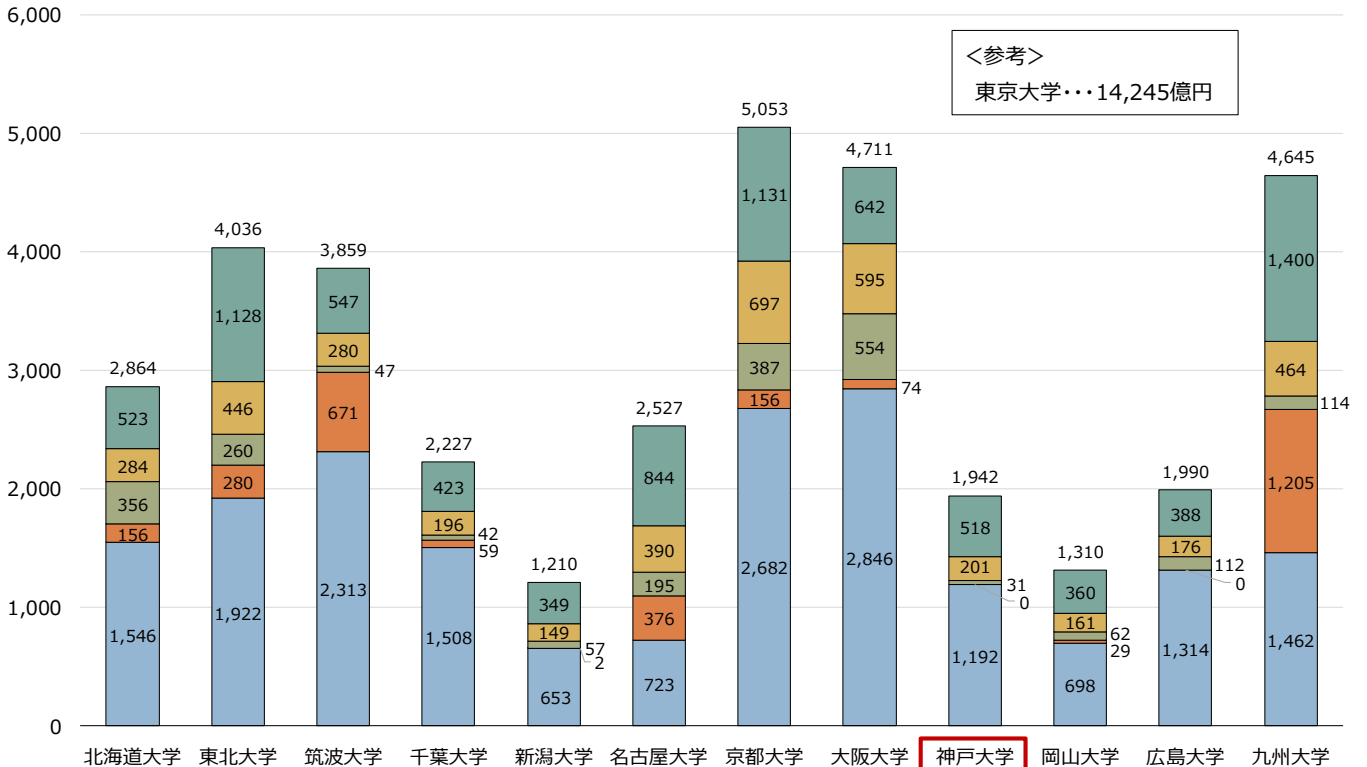


負債・純資産額の推移 (億円)



(2019年3月31日時点)

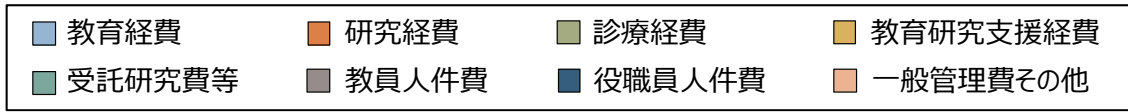
13大学間の比較 (負債・純資産項目) (億円)



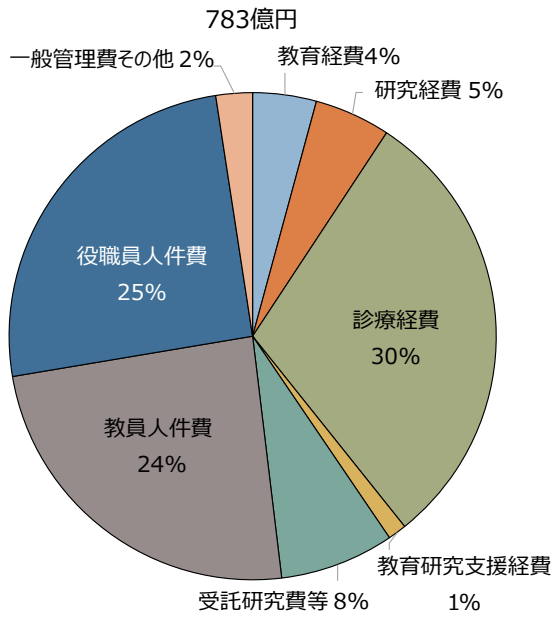
※資本剰余金がマイナスの大学は、グラフ上では資本金から除いて表示。

29-2 損益計算書の概要

○ 2004年度と比較すると、附属病院収益の大幅な増加に伴い、診療経費の規模も大きく増加している。

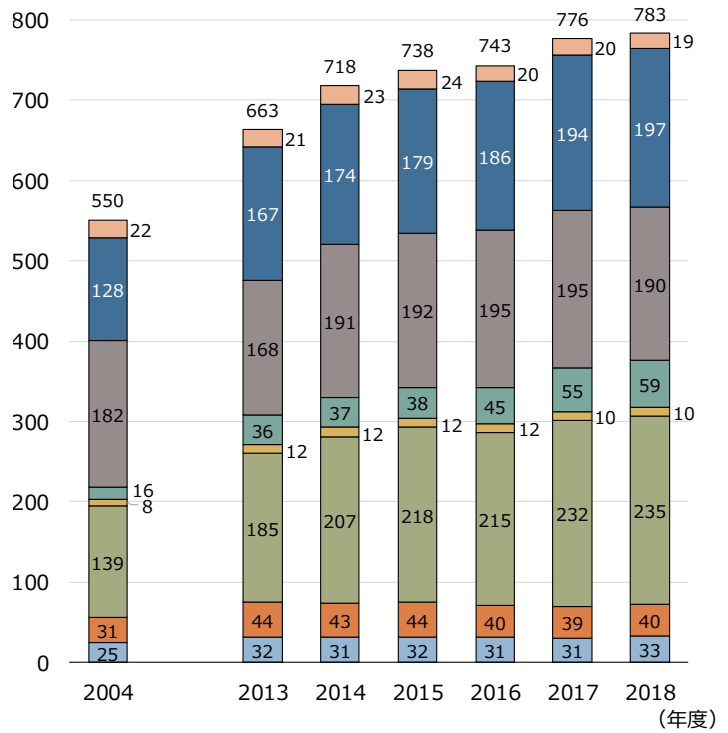


2018年度経常費用の内訳



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならない。

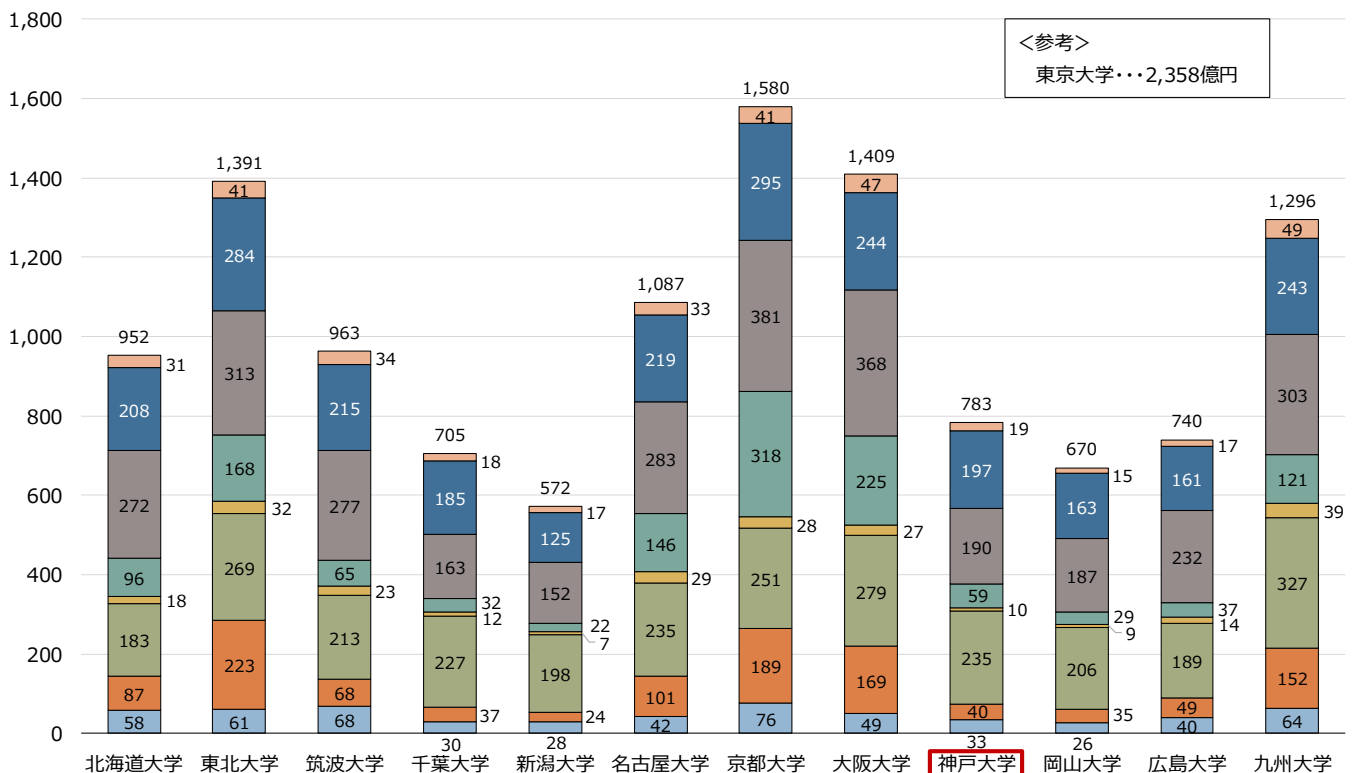
経常費用の推移 (億円)



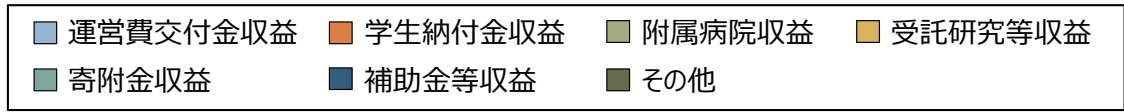
(億円)

13大学間の比較 (経常費用)

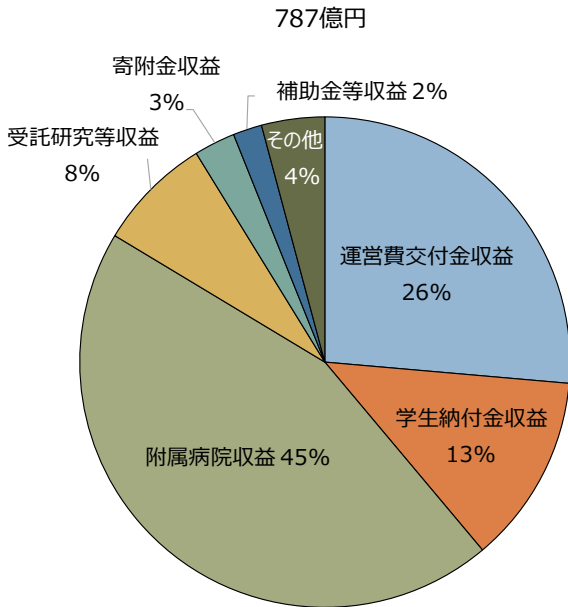
(2018年度)



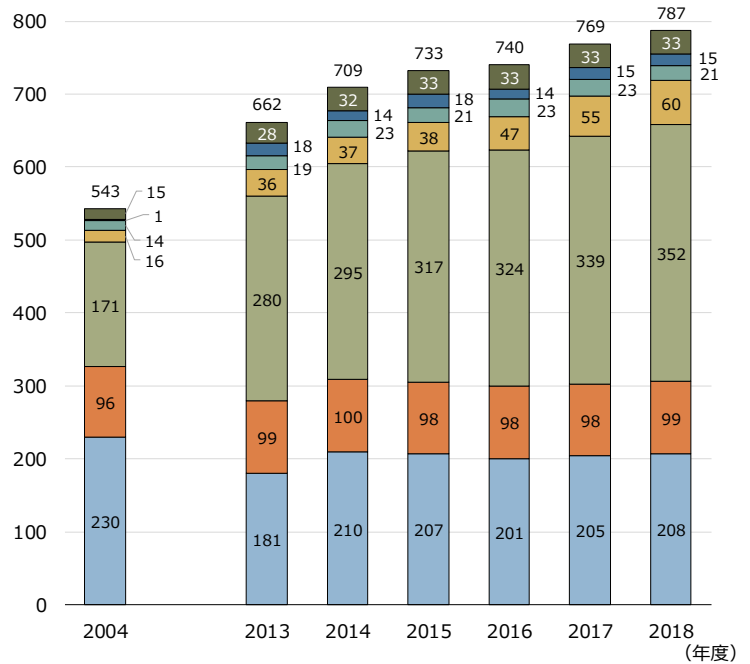
○ 自己財源である附属病院収益や受託研究等収益が増加しているに伴い、経常収益の規模は2004年度に比して1.4倍以上に増加している。



2018年度 経常収益の内訳



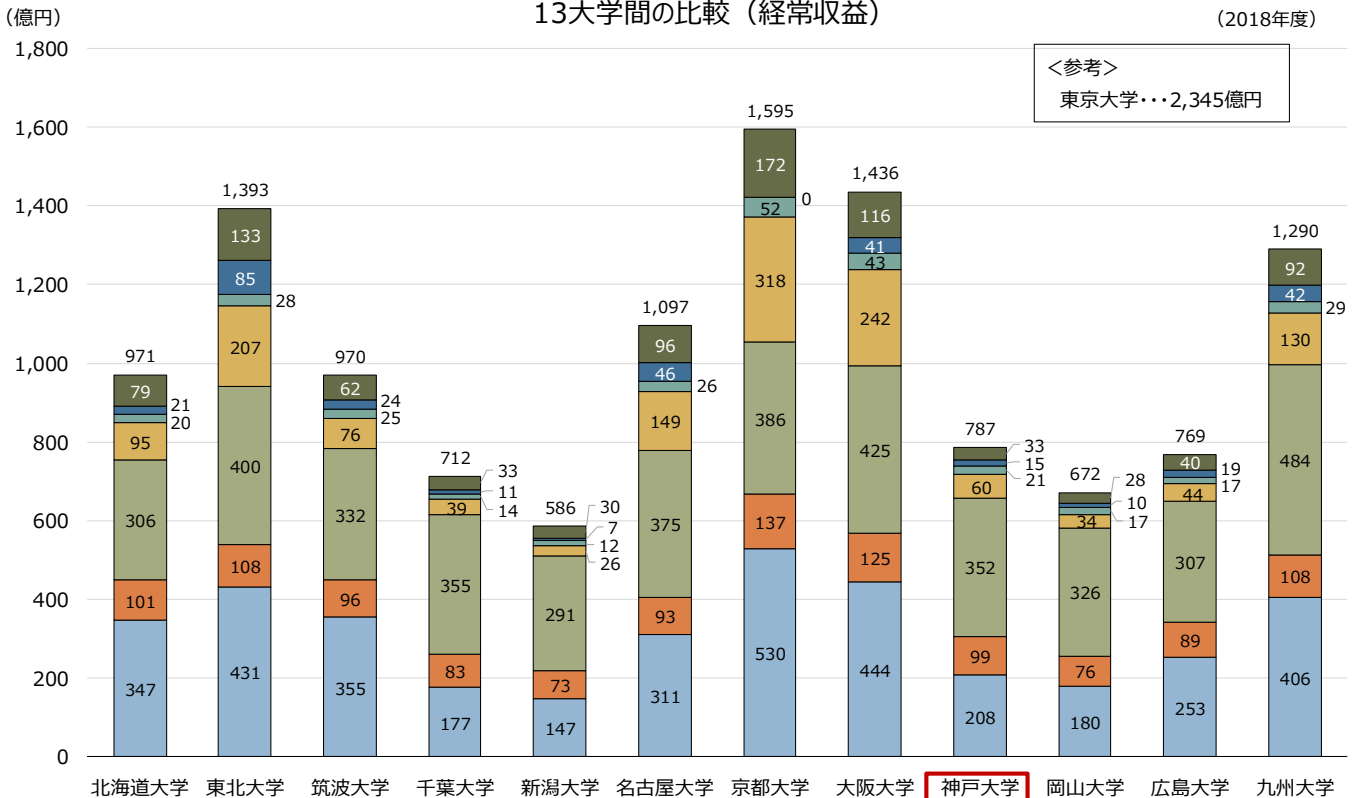
(億円) 経常収益の推移



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならない。

13大学間の比較 (経常収益)

(2018年度)

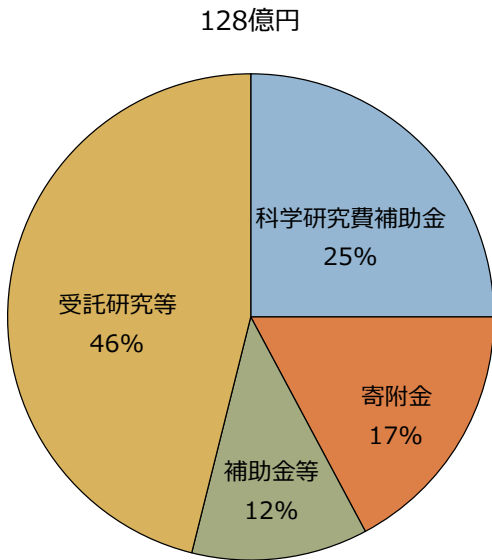


29-3 外部資金受入れ状況

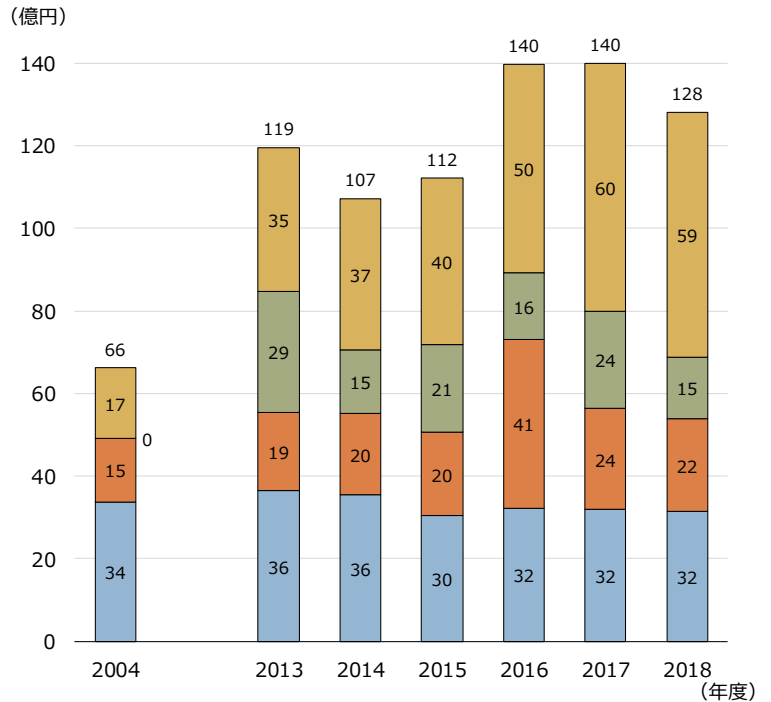
○ 外部資金の2018年度受入額は、2004年度と比較すると、約1.9倍に増加しており、特に受託研究等の増加が顕著となっている。



2018年度外部資金受入額の内訳



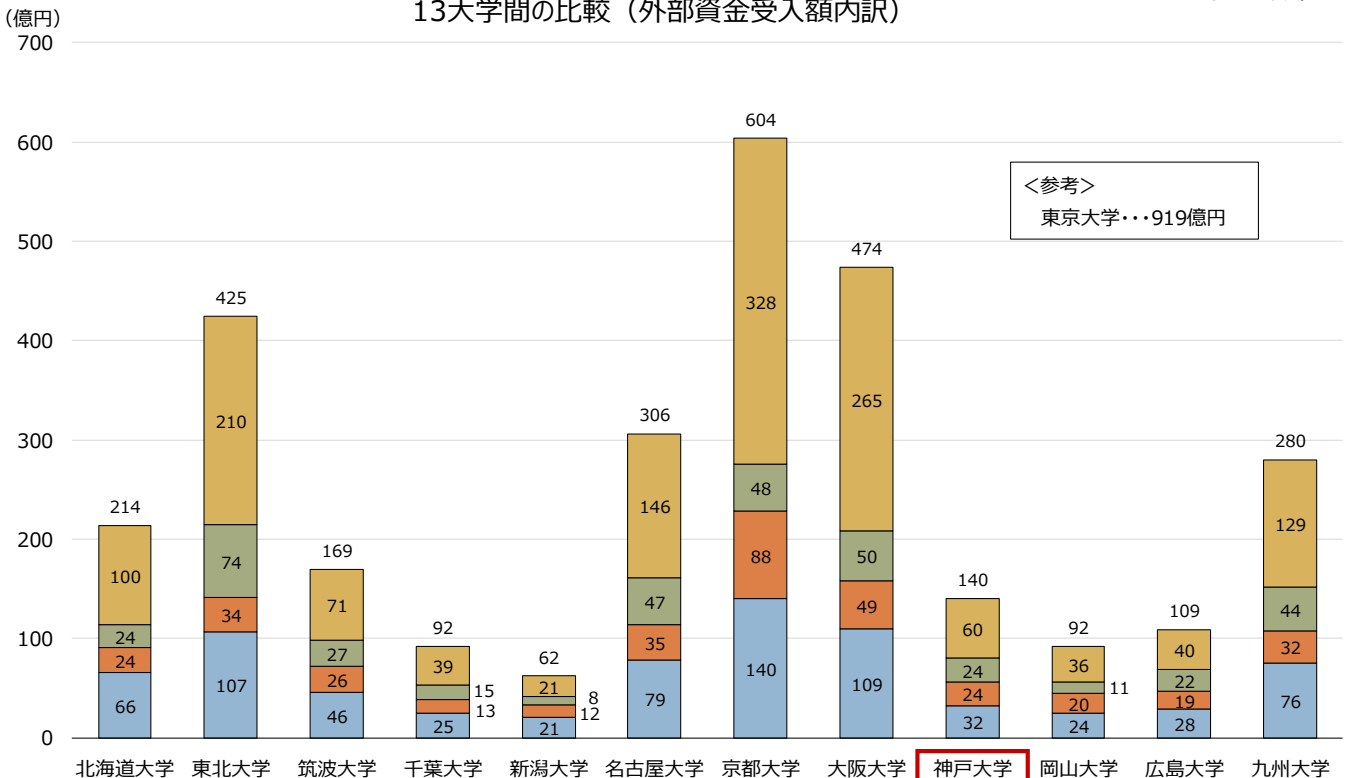
外部資金受入額の推移



※2016年度は国際がん医療・研究センター設立に伴う寄附金により、一時的に寄附金が増加している。

(2017年度)

13大学間の比較 (外部資金受入額内訳)



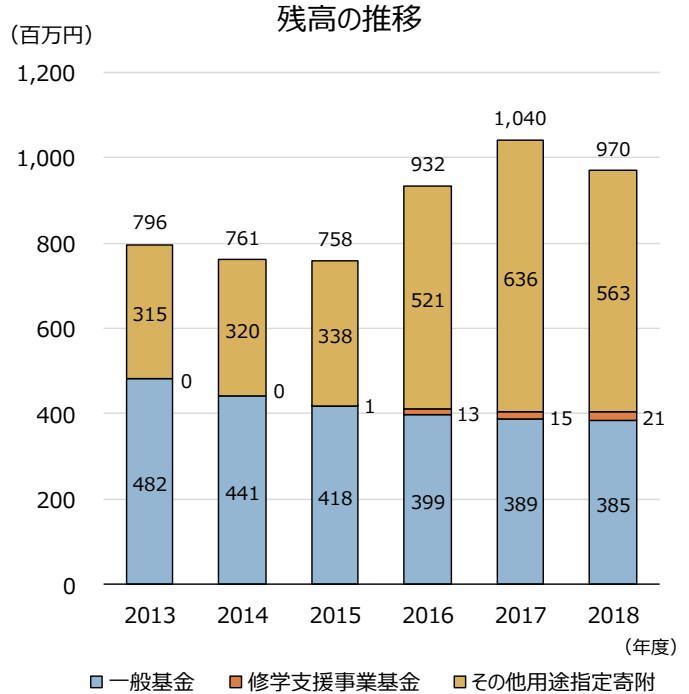
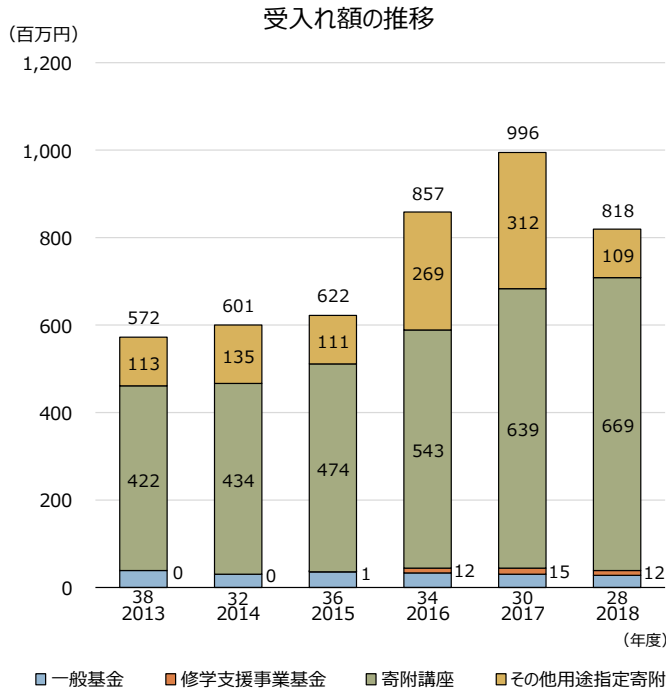
29-4 補助金・受託研究等による主な採択プログラム一覧

(単位：千円)

事業・プログラム名/取組名	実施担当部局	研究代表者名	2018年度 受入金額	採択期間
研究大学強化促進事業				
研究大学強化促進事業	学術研究推進機構	学長 (武田 廣)	152,000	2013～2022
大学教育再生加速プログラム (AP) 長期学外学修プログラム (ギャップイヤー)				
神戸グローバルチャレンジプログラム	大学教育推進機構	学長 (武田 廣)	13,320	2015～2019
スーパーグローバルハイスクール				
地球安全保障への提言を目指す「グローバルキャリア育成神戸モデル」	附属学校部	藤田 裕嗣	5,800	2015～2019
地 (知) の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+)				
地域創生に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム	地域連携推進室	奥村 弘	43,200	2015～2019
感染症研究国際展開戦略プログラム (J-GRID)				
インドネシアにおける新興・再興感染症の国際共同研究拠点形成	医学研究科	森 康子	98,417	2015～2019
ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題 (萌芽的課題)				
太陽系外惑星 (第二の地球) の誕生と太陽系内惑星環境変動の解明 (生命を育む惑星の起源・進化と惑星環境変動の解明)	理学研究科	牧野 淳一郎	90,670	2016～2019
大学の世界展開力強化事業 (キャンパスアジア)				
東アジアにおけるリスク・マネジメント専門家養成プログラム	国際協力研究科	陳 光輝	11,700	2016～2020
国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業				
巨大地震に対する創生型居住環境のレジリエンス研究の国際コミュニティを担う人材育成	工学研究科	藤谷 秀雄	21,120	2017～2019
課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 (グローバル展開プログラム)				
「難民危機」の時代におけるレイシズムの変容とその克服策に関する国際比較研究	法学研究科	飯田 文雄	3,372	2017～2019
再生医療実用化研究事業 (AMED)				
自家末梢血CD34陽性細胞移植による骨・血管再生療法に関する医師主導治験	医学研究科	黒田 良祐	52,800	2017～2019
CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業				
人流・気流センサを用いた屋外への開放部を持つ空間の空調制御手法の開発・実証	工学研究科	竹林 英樹	90,497	2017～2019
次世代人材育成事業グローバルサイエンスキャンパス				
根源を問い革新を生む国際的科学技术人材育成挑戦プログラム	人間発達環境学研究所	伊藤 真之	21,615	2017～2020
課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 (領域開拓プログラム)				
生命・環境技術の社会実装に関する先端融合研究—21世紀型参加のビジョンと試行—	人文学研究科	松田 毅	3,133	2017～2020
国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)				
研究課題「ストライガ防除によるスーダンの食料安全保障と貧困克服」 研究題目「根寄生雑草の発芽機構および宿主抵抗性に着目した防除法の開発ならびに有用性の探索」	農学研究科	杉本 幸裕	22,555	2017～2021
ストライガ防除による食料安全保障と貧困克服	農学研究科	杉本 幸裕	111,904	2017～2022
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム				
バイオ経済を加速する革新技術：ゲノム編集・合成技術の事業化	科学技術イノベーション 研究科	近藤 昭彦	157,760	2017～2022
先導研究プログラム/エネルギー・環境新技術先導研究プログラム (NEDO)				
有機溶剤の超過膜法開発による化学品製造プロセス革新	工学研究科	松山 秀人	52,210	2018～2020
Jean Monnet CoE 2018				
Consolidation of the Kobe Academic Base for EU Studies	国際連携推進機構	吉井 昌彦	7,813	2018～2021

29-5 神戸大学基金

○ 2006年12月に設置された「神戸大学基金」は多くの支援を賜り、様々な分野において活用されているが、「一般基金」・「修学支援事業基金」の合計残高は減少しており、事業実施自体が難しい学生支援事業もある。



※寄附講座については、年度ごとの使い切りの予算のため残高に計上されない。

◆「大学全般基盤事業」・「修学支援事業」による学生への支援実績

国際化対応 【1,533万円】

- 海外留学・研修への派遣支援
協定校等への海外派遣助成、部局企画プログラム（留学・研修・海外ボランティア等）、大学院ダブルディグリー学生海外派遣助成、神戸グローバルチャレンジプログラム
【利用者数 72名】
- 海外からの優秀な留学生の受入
【利用者数 延べ67名】

奨学金制度 【800万円】

- 「神戸大学基金」緊急奨学金
【支給者数 9名】
- 「神戸大学基金」奨学金
* 修学支援事業
対象：学部新1年次生
【支給者数 23名】

課外活動支援 【451万円】

（含ボランティア活動）

- 課外活動支援 団体／個人
【支援数 団体48件／個人12件】



神戸大学女子タッチフットボール部Rooks
「第24回全日本王座決定戦さくらボウル」優勝
（日本一5連覇）

- 東日本大震災関連ボランティア活動支援
被災地へのボランティアバス派遣
【被災地派遣学生数 延べ56名／年間】

30. 附属図書館・その他一般開放施設

30-1 附属図書館

蔵書数	貸出冊数	入館者数
3,784,027冊	250,767冊	823,380人

2019年3月31日時点

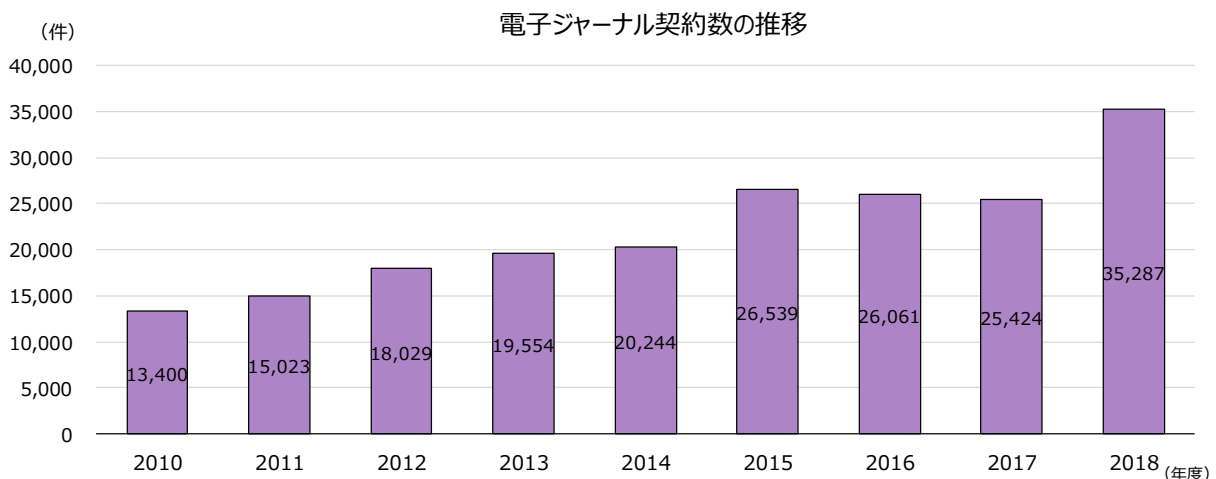
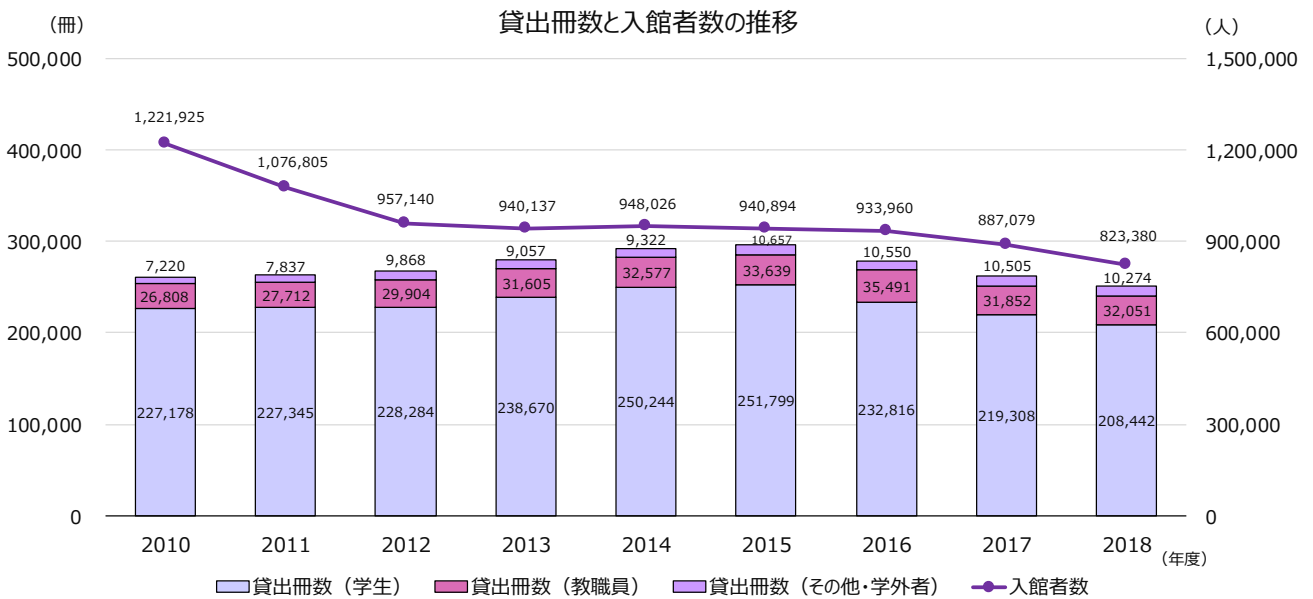
◆ 国立大学間での蔵書冊数の比較

順位	大学名	冊
1	東京大	9,665,812
2	京都大	7,093,273
3	九州大	4,199,828
4	東北大	4,142,543
5	大阪大	3,883,931
6	北海道大	3,830,206
7	神戸大	3,771,350
8	広島大	3,494,421
9	名古屋大	3,353,092
10	一橋大	2,715,217
11	筑波大	2,681,796
12	岡山大	2,049,335

学内4つのキャンパスに9つの館室を配置し教育研究支援を展開している。また、地域・社会との連携協力の一環として、2004年度より毎年資料展を実施している。2018年度は資料展「古典籍さまざま～近世の出版物より～」を開催。



出典：朝日新聞出版「大学ランキング2020年版」
2018年3月31日時点の蔵書冊数



30-2 その他一般開放施設



◆大学文書史料室 (2018年度来場者数：4,034人（常設展のみ）)

特定歴史公文書等その他神戸大学の歴史に係る資料を保存するとともに、一般の利用に供することを目的とする施設。

神戸大学の110年を超える伝統ある歴史を貴重な歴史資料や写真等で振り返ることができる展示を実施。

常設の展示会だけでなく、年1回の特別展や東京等での巡回展も開催。



◆海事博物館 (2018年度来館者数：2,685人)

海事に関する資料を幅広く収集展示して教育研究の資に供し、あわせて海事の啓発に寄与することを目的とする施設。

和船模型と和船の部分実物や航路図、近代から現代の船舶模型や近代の航海用具、進水式絵葉書、寄贈コレクションや書籍など約4万点を収蔵する。毎週、月・水・金の午後に開館。



◆山口誓子記念館 (2018年度利用者数：755人)

近代俳句に大きな足跡を残した山口誓子氏の居宅の母屋をほぼ忠実に復元した施設。

俳句俳諧文学を中心とする国文学研究の振興や海外との学術交流等に広く寄与することを目的とし、句会や茶会等にも利用できる。



神戸大学企画部企画課

2019年11月作成

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL (078) 803-5020